

# 北広島町子ども第三の居場所開設工事

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A－01	建築改修工事 特記仕様書 1	A－35	展開図 1 (改修後)	S－02	構造標準図 (配筋) 2	E－01	電気設備工事 特記仕様書	M－01	機械設備工事 特記仕様書 1
A－02	建築改修工事 特記仕様書 2	A－36	展開図 2 (改修後)	S－03	構造標準図 (配筋) 3	E－02	配置図	M－02	機械設備工事 特記仕様書 2
A－03	建築改修工事 特記仕様書 3	A－37	展開図 3 (改修後)	S－04	構造標準図 (配筋) 4	E－03	幹線、防災照明、非常警報設備 系統図、機器…	M－03	衛生設備 衛生器具表・機器表
A－04	建築改修工事 特記仕様書 4	A－38	展開図 1 (改修前)	S－05	構造標準図 (鉄骨) 1	E－04	分電盤結線図 (改修前・後)	M－04	衛生設備 樹リスト・勾配図 (改修後)
A－05	建築改修工事 特記仕様書 5	A－39	展開図 2 (改修前)	S－06	構造標準図 (鉄骨) 2	E－05	幹線、防災用照明、非常警報設備 平面図 (改…	M－05	衛生設備 1 階平面図 (改修後)
A－06	建築改修工事 特記仕様書 6	A－40	展開図 3 (改修前)	S－07	構造図 床伏図、基礎伏図	E－06	照明器具姿図	M－06	衛生設備 1 階平面詳細図 (改修後)
A－07	建築改修工事 特記仕様書 7	A－41	階段室 (改修前・後)	S－08	構造図 部材リスト、詳細図	E－07	電灯設備 平面図 (改修後)	M－07	衛生設備 2 階平面詳細図 (改修後)
A－08	建築改修工事 特記仕様書 8	A－42	家具図 1	S－09	外壁胴縁図 (改修前・後) 1 : 100	E－08	コンセント設備 平面図 (改修後)	M－08	空調設備 機器表 (改修後)
A－09	付近見取図、配置図	A－43	家具図 2			E－09	弱電設備 系統図	M－09	空調設備 1 階平面図 (改修後)
A－10	設計概要、外部仕上表	A－44	家具図 3			E－10	弱電設備 平面図 (改修後)	M－10	空調設備 2 階平面図 (改修後)
A－11	内部仕上表 1 (改修前・後)	A－45	家具図 4			E－11	幹線、防災用照明、非常警報設備 平面図 (改…	M－11	換気設備 機器表 (改修後)
A－12	内部仕上表 2 (改修前・後)	A－46	家具図 5			E－12	電灯設備 平面図 (改修前)	M－12	換気設備 1 階平面図 (改修後)
A－13	改修概要 平面図、立面図	A－47	外構詳細図			E－13	コンセント設備 平面図 (改修前)	M－13	換気設備 2 階平面図 (改修後)
A－14	改修概要 パース	A－48	外部詳細図 1			E－14	弱電設備 平面図 (改修前)	M－14	凡例・空調機器表・換気機器表 (改修前)
A－15	改修概要 断面パース	A－49	外部詳細図 2					M－15	衛生設備 樹リスト (改修前)
A－16	1 階平面図 (改修前・後)	A－50	外部詳細図 3					M－16	衛生設備 1 階平面図 (改修前)
A－17	2 階平面図 (改修前・後)	A－51	内部 部分詳細図 1					M－17	衛生設備 2 階平面図 (改修前)
A－18	屋根伏図 (改修前・後)	A－52	内部 部分詳細図 2					M－18	空調・換気設備 1 階平面図 (改修前)
A－19	立面図 (改修後)	A－53	システムキッチン詳細図					M－19	空調・換気設備 2 階平面図 (改修前)
A－20	立面図 (改修前)	A－54	ユニットシャワー詳細図						
A－21	断面図 (改修前・後)	A－55	仮設計画図 (案) 配置図						
A－22	平面詳細図 (改修後)								
A－23	平面詳細図 (改修前)								
A－24	断面詳細図 1 (改修後)								
A－25	断面詳細図 2 (改修後)								
A－26	断面詳細図 3 (改修後)								
A－27	断面詳細図 1 (改修前)								
A－28	断面詳細図 2 (改修前)								
A－29	断面詳細図 3 (改修前)								
A－30	天井伏図 (改修前・後)								
A－31	建物求積図								
A－32	法チェック計算表 (新棟)								
A－33	建具表 1 : 100 (改修後)								
A－34	建具表 1 : 100 (改修前)								



[illegible]

[illegible]

③	防水改修工事	10	アルミニウム製笠木	[ 3. 9. 2.、3 ]	とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 ※ 改修標準仕様書表3. 8. 2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの 多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示 銅管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書表3. 8. 4による たてとい受金物の取付け ※ 図示 種類 ・ オープン形式 ( ・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形 ) ・ 板材折曲げ形 ( ・ オープン形式 ・ シール形式 ) 本体幅 ( ) mm 板厚 ( ※ 2. 0mm ・ mm ) 表面処理 種別 ( ) 種 色合等 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・ ) ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示 ・ 笠木の固定金具の工法等 1章 17 適用区分による風圧力の ( ・ 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法				
					防水改修フロー及び数量 ・ 既存保護層の補修及び処置				
防水面調査 ( 施 工 数 量 調 査 )									
ひび割れ部補修					欠損部改修				
欠損部改修					浮き部補修				
浮き部補修					ぜい弱部補修				
ぜい弱部補修					既存目地欠損部補修				
既存目地欠損部補修					既存目地欠損部補修 ( 脱気を利用する場合 )				
アスファルト防水工用シール材 (幅2mm未満)					ポリマーセメントモルタル補修				
ポリマーセメントモルタル補修					既存目地撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修				
既存目地撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修					ケレン等のうえ、ポリマーセメントベース補修				
ケレン等のうえ、ポリマーセメントベース補修					アスファルト防水工用シール材				
アスファルト防水工用シール材					ポリマーセメントモルタル補修				
ポリマーセメントモルタル補修					既存目地撤去のうえ、ポリウレタン系シーリング材				
既存目地撤去のうえ、ポリウレタン系シーリング材					0m				
シーリング改修					0m				
シーリング再充填工法					0m				
mm× mm					0m				
mm× mm					0m				
④	外壁改修工事 (共通事項)	1	ポリマーセメントモルタル	[ 4. 2. 2 ]	(品質・性能) 項目 品質・性能 だれ 下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。 曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> ) 6. 0以上 圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> ) 20. 0以上 接着強さ (N/mm <sup>2</sup> ) 標準条件 1. 0以上 特殊条件 湿度時 0. 8以上 低温時 0. 5以上 透水性 表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。 その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。				
					(品質・性能) 項目 品質・性能 保水率 70. 0%以上 単位容積質量 1. 80 kg / L以上 標準時 0. 00 N / mm <sup>2</sup> 以上 接着強さ 0. 40 N / mm <sup>2</sup> 以上 試験方法 (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準値より上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ方を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10. 2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちにて用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨きガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を/として次式により保水率を求める。 保水率=50÷平均値×100 (注) 50：リング型わくの内径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N=300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆる「50角ユニットタイル				
④	外壁改修工事 (共通事項)	2	ポリマーセメントスラリー	[ 4. 2. 2 ]	(品質・性能) 項目 品質・性能 保水率 70. 0%以上 単位容積質量 1. 80 kg / L以上 標準時 0. 00 N / mm <sup>2</sup> 以上 接着強さ 0. 40 N / mm <sup>2</sup> 以上 試験方法 (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準値より上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ方を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10. 2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちにて用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨きガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を/として次式により保水率を求める。 保水率=50÷平均値×100 (注) 50：リング型わくの内径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N=300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆる「50角ユニットタイル				
					(品質・性能) 項目 品質・性能 保水率 70. 0%以上 単位容積質量 1. 80 kg / L以上 標準時 0. 00 N / mm <sup>2</sup> 以上 接着強さ 0. 40 N / mm <sup>2</sup> 以上 試験方法 (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準値より上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ方を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10. 2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちにて用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨きガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を/として次式により保水率を求める。 保水率=50÷平均値×100 (注) 50				



5	建具改修工事	⑩	ガラス	⑤	ガラス	⑥	内装改修工事	⑭	軽量鉄骨天井下地
				⑤	ガラス	⑥	内装改修工事	⑭	軽量鉄骨天井下地
20	ガラスブロック積み	⑩	ガラス	⑤	ガラス	⑥	内装改修工事	⑭	軽量鉄骨天井下地
				⑤	ガラス	⑥	内装改修工事	⑭	軽量鉄骨天井下地
21	ガラス用フィルム	⑩	ガラス	⑤	ガラス	⑥	内装改修工事	⑭	軽量鉄骨天井下地
				⑤	ガラス	⑥	内装改修工事	⑭	軽量鉄骨天井下地

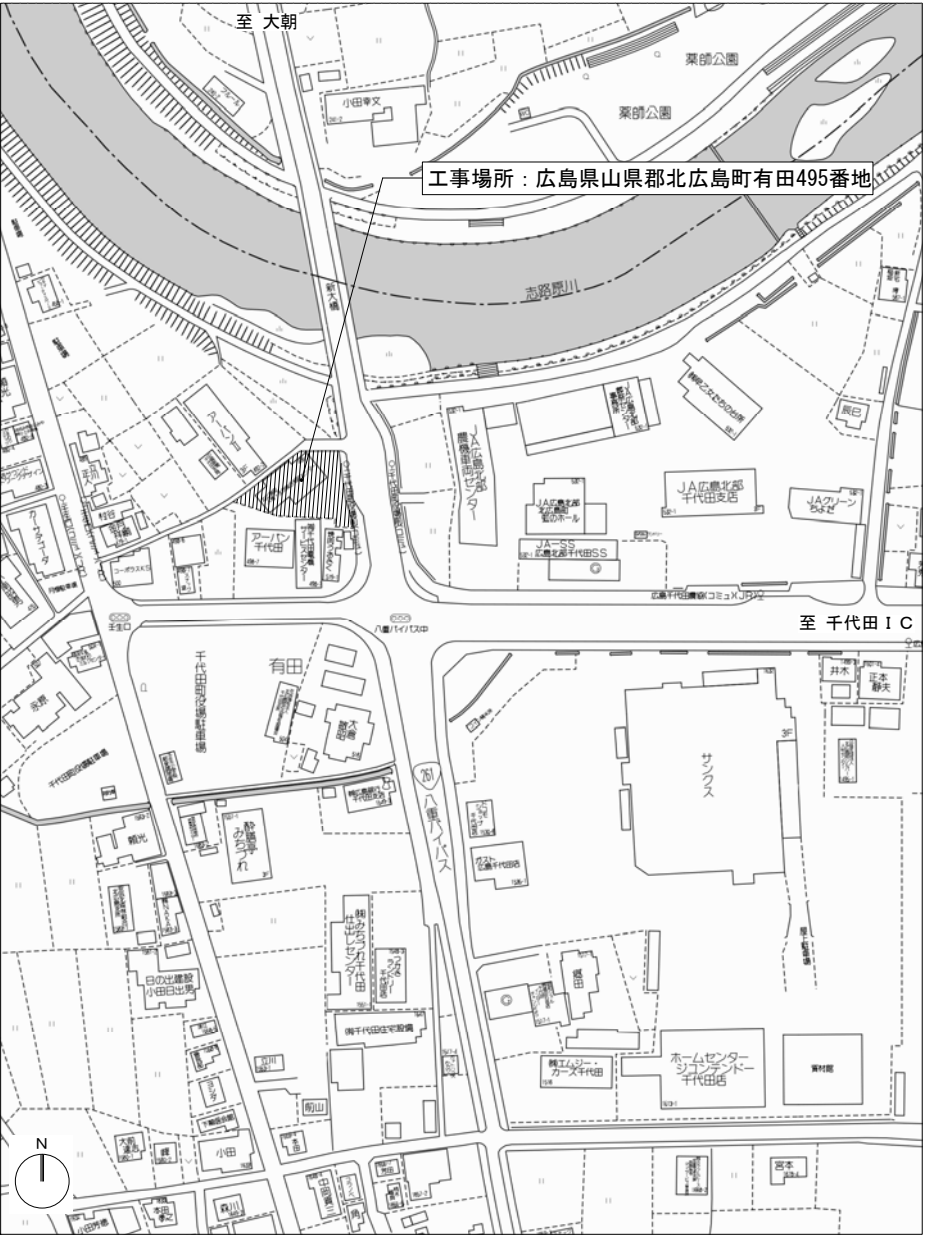


内装改修工事	23	防じん用塗床	[ 6. 1 0. 2. 3 ]		内装改修工事	[ 6. 1 1. 2 ~ 6 ]		24	フローリング張り	[ 6. 1 1. 2 ~ 6 ]		25	畳敷き	[ 6. 1 2. 2 ]		26	せっこうボードその他ボード及び合板張り	[ 6. 1 3. 2. 3 ]		27	壁紙張り	[ 6. 1 5. 3. 5. 6 ]		28	モルタル塗り	[ 6. 1 5. 3. 5. 6 ]		29	タイル張り	[ 6. 1 6. 2 ~ 4 ]		30	セルフレベリング材塗り	[ 6. 1 7. 2. 3 ]		31	塗装改修工事	[ 7. 1. 3 ]		32	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		33	耐震改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		34	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		35	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		36	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		37	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		38	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		39	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		40	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		41	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		42	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		43	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		44	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		45	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		46	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		47	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		48	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		49	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		50	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		51	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		52	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		53	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		54	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		55	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		56	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		57	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		58	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		59	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		60	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		61	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		62	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		63	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		64	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		65	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		66	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		67	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		68	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		69	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		70	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		71	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		72	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		73	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		74	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]		75	環境配慮改修工事	[ 7. 2. 1 ~ 7 ]	
--------	----	--------	------------------	--	--------	-------------------	--	----	----------	-------------------	--	----	-----	---------------	--	----	---------------------	------------------	--	----	------	---------------------	--	----	--------	---------------------	--	----	-------	-------------------	--	----	-------------	------------------	--	----	--------	-------------	--	----	----------	-----------------	--	----	--------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--	----	----------	-----------------	--

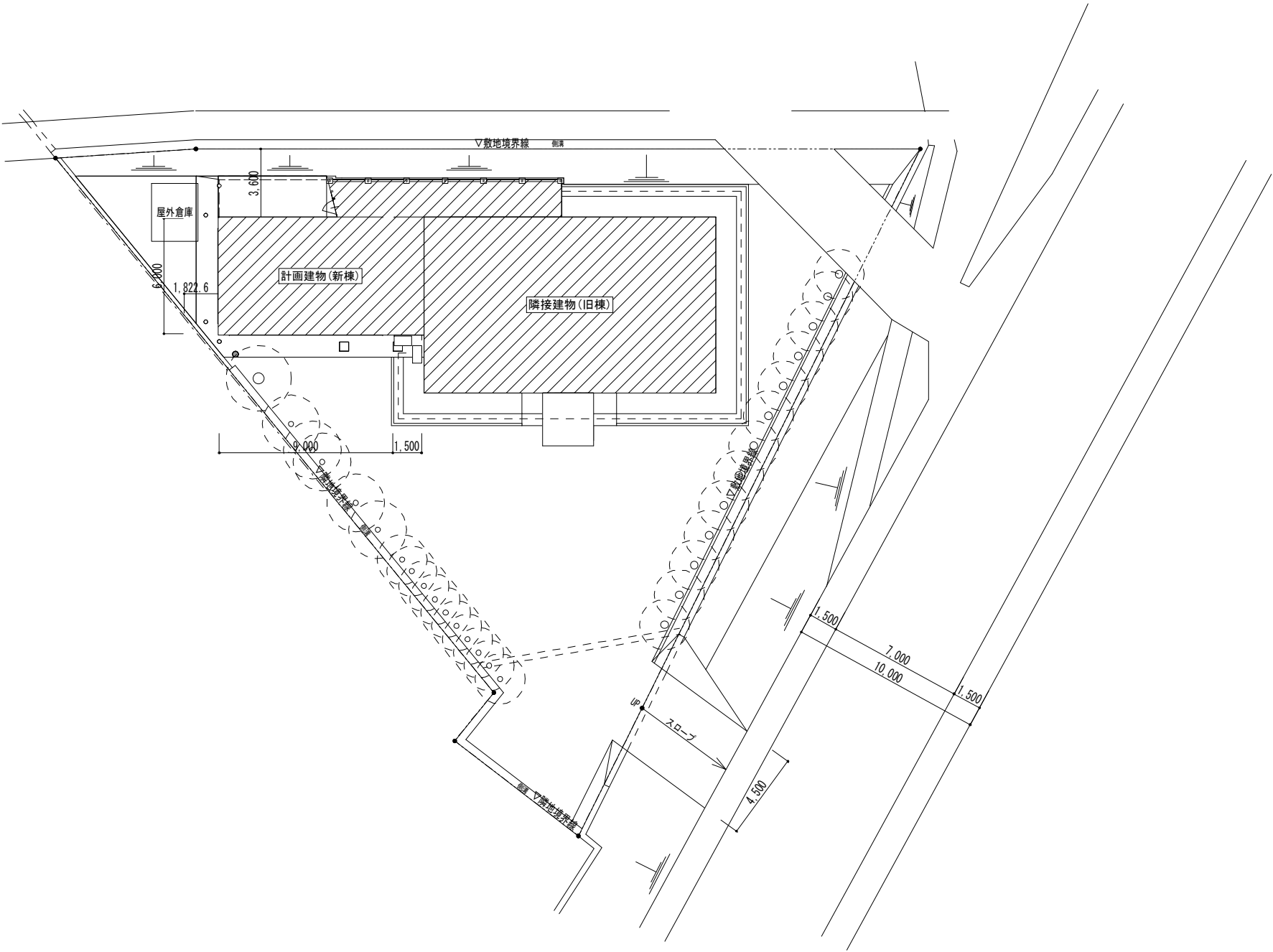
⑨	環境 配座 改修 工事		<div>測定方法 ・ 自動測定器による測定</div> <table><tr><td>測定名称</td><td>測定方法</td></tr><tr><td>・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ( )</td><td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、 繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉 じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td></tr></table> <div>・ JIS K 3850-1に基づいた測定</div> <table><tr><td>測定名称</td><td>メンブレンフィ ルタ直径 (mm)</td><td>試料の吸引流量 ( l / m i n )</td><td>試料の吸引時間 ( m i n )</td></tr><tr><td>・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ( )</td><td>25</td><td>5</td><td>30</td></tr><tr><td>・ 測定 ( )</td><td>47</td><td>10</td><td>120</td></tr><tr><td>・ 測定 ( )</td><td>47</td><td>10</td><td>240</td></tr><tr><td>・ 測定 ( )</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>石綿含有建材の処理 ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</div> <div>・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破碎して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</div> <div>・ 石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外) の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</div> <div>・ 石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種) の除去 除去対象範囲 ※ 図示 養生方法 ・ 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</div> <div>・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ・ ※ 石綿障害予防規則 (平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6条 による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30～50MPa程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・ 超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用) ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用高圧水洗工法 (30～50MPa程度) ・ 剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 除去対象範囲 ※ 図示 作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う 試験施工 ※ 行わない ・ 行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)(7)、(9)、(8)及び(9)による</div> <div>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示 ・</div>	測定名称	測定方法	・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ( )	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、 繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉 じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィ ルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 ( l / m i n )	試料の吸引時間 ( m i n )	・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ( )	25	5	30	・ 測定 ( )	47	10	120	・ 測定 ( )	47	10	240	・ 測定 ( )				③	環境 配座 改修 工事	断熱・防露改修工事	<div>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ ・ 断熱材打込み工法</div> <table><tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td>・ 25 ・</td><td>・</td></tr><tr><td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td><td>※ 2種bA ・ ※ 3種bA ・</td><td>※ 25 ・ ※ 外壁 ・ ※ スラブ ・</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>・ 25 ・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ フェノールフォーム断熱材</td><td>・ 25 ・</td><td>・</td></tr></table> <div>施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による</div> <div>・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後 張りとしなければならない箇所 ・ 図示</div> <div>現場発泡断熱材 (品質・性能)</div> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>難燃性</td><td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロ リー試験) に適合していること。</td></tr><tr><td>発熱性</td><td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ～ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m<sup>2</sup>以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m<sup>2</sup>を超えないこと。</td></tr></table> <div>(試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチックー液状、乳濁状又は分散状の樹脂ーブルックフィールド 形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1 による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験品の作製はJIS A 9526 の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の 評価方法に使用している試験方法に準じる。</div> <div>・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類 ( ) 断熱材の厚さ ( mm) ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル (材質 厚さ mm)</div> <div>・ 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 ・ 断熱材へのボードの張り付け工法 ・</div> <div>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 ・ 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示 ・</div> <div>(品質・性能等)</div> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>透水、排水層等構</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>成材の主要材質</td><td>(保水層を有する場合は、保水層共)</td></tr><tr><td>透水層</td><td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出さ せない構造であること。</td></tr><tr><td>排水層</td><td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。</td></tr><tr><td>排水層の鉛直方 向の排水性能</td><td>240L/m<sup>2</sup>・h以上</td></tr><tr><td>耐荷重性能 (排水層の許容 圧縮強度)</td><td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10<sup>6</sup> N/m<sup>2</sup>以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td></tr><tr><td>耐根層</td><td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>耐根層保護層</td><td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工 後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td></tr></table> <div>(試験方法) (1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3×10<sup>6</sup> N/m<sup>2</sup>の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変 形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を 測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/mi n以下とする。  1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ ) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない  新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年 ・</div>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25 ・	・	※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	※ 2種bA ・ ※ 3種bA ・	※ 25 ・ ※ 外壁 ・ ※ スラブ ・	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25 ・	・	・ フェノールフォーム断熱材	・ 25 ・	・	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロ リー試験) に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ～ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m <sup>2</sup> 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m <sup>2</sup> を超えないこと。	項目	品質・性能	透水、排水層等構	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	成材の主要材質	(保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出さ せない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。	排水層の鉛直方 向の排水性能	240L/m <sup>2</sup> ・h以上	耐荷重性能 (排水層の許容 圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>6</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工 後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。	④	環境 配座 改修 工事	屋上緑化改修工事	<div>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 ・ 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示 ・</div> <div>(品質・性能等)</div> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>透水、排水層等構</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>成材の主要材質</td><td>(保水層を有する場合は、保水層共)</td></tr><tr><td>透水層</td><td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出さ せない構造であること。</td></tr><tr><td>排水層</td><td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。</td></tr><tr><td>排水層の鉛直方 向の排水性能</td><td>240L/m<sup>2</sup>・h以上</td></tr><tr><td>耐荷重性能 (排水層の許容 圧縮強度)</td><td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10<sup>6</sup> N/m<sup>2</sup>以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td></tr><tr><td>耐根層</td><td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>耐根層保護層</td><td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工 後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td></tr></table> <div>(試験方法) (1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3×10<sup>6</sup> N/m<sup>2</sup>の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変 形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を 測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/mi n以下とする。  1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ ) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない  新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年 ・</div>	項目	品質・性能	透水、排水層等構	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	成材の主要材質	(保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出さ せない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。	排水層の鉛直方 向の排水性能	240L/m <sup>2</sup> ・h以上	耐荷重性能 (排水層の許容 圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>6</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工 後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。	⑤	環境 配座 改修 工事	透水性アスファルト 舗装改修工事	<div>下記以外は、10章その他による</div> <div>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示 ・</div>	⑥	環境 配座 改修 工事	断熱材	<div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑦	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑧	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑨	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑩	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑪	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑫	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑬	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑭	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑮	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑯	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑰	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑱	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑲	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			⑳	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉑	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉒	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉓	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉔	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉕	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉖	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉗	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉘	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉙	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉚	環境 配座 改修 工事	外断熱改修工事	<div>断熱材</div> <div>断熱材の種類 ( )、断熱材の厚さ ( mm)</div> <div>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <div>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による ・</div> <div>工法 1章適用区分による風圧力 ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・</div>	種類	防火性能	備考	・			㉛	環境 配座 改修 工事	外
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ( )	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、 繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉 じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
測定名称	メンブレンフィ ルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 ( l / m i n )	試料の吸引時間 ( m i n )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ( )	25	5	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 測定 ( )	47	10	120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 測定 ( )	47	10	240																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 測定 ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	※ 2種bA ・ ※ 3種bA ・	※ 25 ・ ※ 外壁 ・ ※ スラブ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ フェノールフォーム断熱材	・ 25 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロ リー試験) に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ～ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m <sup>2</sup> 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m <sup>2</sup> を超えないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
透水、排水層等構	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
成材の主要材質	(保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出さ せない構造であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
排水層の鉛直方 向の排水性能	240L/m <sup>2</sup> ・h以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐荷重性能 (排水層の許容 圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>6</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工 後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
透水、排水層等構	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
成材の主要材質	(保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出さ せない構造であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
排水層の鉛直方 向の排水性能	240L/m <sup>2</sup> ・h以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐荷重性能 (排水層の許容 圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 <sup>6</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工 後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													



⑩ その他	9	床点検口	<table><tr><td>材種</td><td>寸法 (mm)</td><td>形式</td><td>備考</td></tr><tr><td>・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td><td>・ 450×450 ※ 600×600 ・</td><td>・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用</td><td>・ 鍵付き</td></tr><tr><td colspan="4">密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)</td></tr><tr><td>部材名</td><td>材質</td><td>屋内外用</td><td>屋内用</td></tr><tr><td rowspan="3">受枠材 蓋枠材</td><td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材</td><td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td><td></td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td><td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td></tr><tr><td>鋼製</td><td>—</td><td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td></tr><tr><td>二重蓋の中蓋</td><td>鉄鉄</td><td>JIS G 5501のFC150、FC200</td><td></td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>塩化ビニル樹脂製等</td><td></td></tr><tr><td>目地材</td><td>黄銅</td><td>JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604</td><td></td></tr><tr><td></td><td>ステンレス</td><td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">底板材コーナーステーパー底板補強材</td><td>ステンレス鋼板</td><td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td><td>JIS G 4305のSUS430</td></tr><tr><td>アルミニウム板</td><td>JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)</td><td>—</td></tr><tr><td>鋼材</td><td>—</td><td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td></tr><tr><td>パッキン材</td><td colspan="3">塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等特の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</td></tr><tr><td>アンカー材</td><td colspan="3">鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</td></tr><tr><td>取手</td><td colspan="3">黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td></tr><tr><td>鍵</td><td colspan="3">黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td></tr><tr><td>蓋の耐荷重性能</td><td colspan="3">蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返し返す。</td></tr><tr><td>⑩</td><td>手すり</td><td><table><tr><td>材質</td><td>表面仕上げ</td><td>直径 (mm)</td><td>取付箇所</td></tr><tr><td>○集成材</td><td>○クリアラッカー</td><td>・ 35 ・ 45 ・</td><td>階段</td></tr><tr><td>・ ステンレスパイプ</td><td>・ HL程度</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ 鋼製パイプ</td><td>・ S O P ・ E P - G</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ビニル製ハンドレール</td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td><td></td></tr><tr><td>⑪</td><td>天井見切り縁等</td><td>壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ※ アルミニウム既製品 ○ビニル既製品</td><td></td></tr><tr><td>12</td><td>視覚障害者用床タイル (視覚障害者誘導用ブロック)</td><td>(11.2.2.19.2.2) <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>寸法 (mm)</td><td>厚さ (mm)</td></tr><tr><td rowspan="4">屋内</td><td>・ 塩化ビニル製</td><td>※ 300×300</td><td>・ 7.0</td></tr><tr><td>・ セラミックタイル</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ レジンコンクリート製</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ コンクリート製</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">屋外</td><td>・ セラミックタイル</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ レジンコンクリート製</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ コンクリート製</td><td></td><td></td></tr></table> 突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</td><td></td></tr><tr><td>⑬</td><td>鉄筋</td><td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><td>種類の記号</td><td>呼び名</td><td>備考</td></tr><tr><td>※ SD295A</td><td>※ D16以下</td><td></td></tr><tr><td>※ SD345</td><td>※ D19以上</td><td></td></tr></table></td><td></td></tr><tr><td>14</td><td>溶接金網</td><td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2) <table><tr><td>種類</td><td>網目寸法、鉄線の径 (mm)</td><td>備考</td></tr><tr><td>※ 溶接金網</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td></tr></table></td><td></td></tr><tr><td>⑮</td><td>鉄筋の継手及び定着</td><td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継手の長さ ※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による ・ 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・ 図示による 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 縦合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定</td><td></td></tr><tr><td>⑩ その他</td><td>16</td><td>コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等</td><td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート <table><tr><td>設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]</td><td>スランプ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>※ 24 ○ 21</td><td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td><td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td></tr></table></td><td></td></tr><tr><td>⑰</td><td>セメント</td><td>種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種</td><td></td></tr><tr><td>⑱</td><td>型枠</td><td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ ( ※ 12mm ) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m<sup>2</sup>h<sup>2</sup>℃/kcal以上</td><td></td></tr><tr><td>⑲</td><td>無筋コンクリート</td><td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1) <table><tr><td>種類</td><td>設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]</td><td>スランプ (mm)</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>※ 普通コンクリート</td><td>※ 18</td><td>※ 15</td><td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による</td></tr></table> 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種</td><td></td></tr><tr><td>⑳</td><td>床コンクリート直均し仕上げ</td><td>(8.1.4)(表8.1.5) 仕上げる平坦さは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5による平坦さの種類別 <table><tr><td>a種</td><td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式) ( )</td></tr><tr><td>b種</td><td>カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り ( )</td></tr><tr><td>c種</td><td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ( )</td></tr></table></td><td></td></tr><tr><td>㉑</td><td>あと施工アンカー</td><td>(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記によるあと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない</td><td></td></tr><tr><td>22</td><td>トイレブース</td><td>(20.2.5) <table><tr><td>表面材の材料</td><td>脚部 形状</td><td>ドアエッジ 材質</td></tr><tr><td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td><td>※ 幅木タイプ ・</td><td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td></tr></table> (品質・性能) (1) パネル <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>表面材</td><td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td></tr><tr><td>裏打材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td></tr><tr><td>心材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td></tr><tr><td>枠材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td></tr><tr><td>エッジ材</td><td>処理を施した材料とする。</td></tr><tr><td>小口</td><td>防水処理を施す。</td></tr></table> (2) 構造金物 <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>脚部</td><td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td></tr></table> (3) 付属金物 <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>ヒンジ</td><td>耐蝕性のあるものとする。</td></tr><tr><td>ラッチセット</td><td></td></tr><tr><td>戸当り</td><td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td></tr></table> (4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。 (5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 <table><tr><td>項目</td><td colspan="2">品質・性能</td></tr><tr><td></td><td>耐薬品性及び耐汚染性</td><td>耐引ひかき性</td></tr><tr><td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td><td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。</td><td>—</td></tr><tr><td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td><td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td><td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。</td><td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系化粧MDF</td><td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード</td><td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td><td></td></tr></table> (試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</td><td></td></tr></table>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)				部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鉄鉄	JIS G 5501のFC150、FC200			その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604			ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		底板材コーナーステーパー底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等特の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの			アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの			取手	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする			鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする			蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。				受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返し返す。			⑩	手すり	<table><tr><td>材質</td><td>表面仕上げ</td><td>直径 (mm)</td><td>取付箇所</td></tr><tr><td>○集成材</td><td>○クリアラッカー</td><td>・ 35 ・ 45 ・</td><td>階段</td></tr><tr><td>・ ステンレスパイプ</td><td>・ HL程度</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ 鋼製パイプ</td><td>・ S O P ・ E P - G</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ビニル製ハンドレール</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	○集成材	○クリアラッカー	・ 35 ・ 45 ・	階段	・ ステンレスパイプ	・ HL程度	・		・ 鋼製パイプ	・ S O P ・ E P - G			・ ビニル製ハンドレール					⑪	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ※ アルミニウム既製品 ○ビニル既製品		12	視覚障害者用床タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	(11.2.2.19.2.2) <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>寸法 (mm)</td><td>厚さ (mm)</td></tr><tr><td rowspan="4">屋内</td><td>・ 塩化ビニル製</td><td>※ 300×300</td><td>・ 7.0</td></tr><tr><td>・ セラミックタイル</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ レジンコンクリート製</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ コンクリート製</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">屋外</td><td>・ セラミックタイル</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ レジンコンクリート製</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ コンクリート製</td><td></td><td></td></tr></table> 突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製			屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製				⑬	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><td>種類の記号</td><td>呼び名</td><td>備考</td></tr><tr><td>※ SD295A</td><td>※ D16以下</td><td></td></tr><tr><td>※ SD345</td><td>※ D19以上</td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼び名	備考	※ SD295A	※ D16以下		※ SD345	※ D19以上			14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2) <table><tr><td>種類</td><td>網目寸法、鉄線の径 (mm)</td><td>備考</td></tr><tr><td>※ 溶接金網</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td></tr></table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 溶接金網			・ 鉄筋格子				⑮	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継手の長さ ※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による ・ 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・ 図示による 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 縦合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定		⑩ その他	16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート <table><tr><td>設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]</td><td>スランプ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>※ 24 ○ 21</td><td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td><td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td></tr></table>	設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]	スランプ (cm)	適用箇所	※ 24 ○ 21	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)		⑰	セメント	種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種		⑱	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ ( ※ 12mm ) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m <sup>2</sup> h <sup>2</sup> ℃/kcal以上		⑲	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1) <table><tr><td>種類</td><td>設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]</td><td>スランプ (mm)</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>※ 普通コンクリート</td><td>※ 18</td><td>※ 15</td><td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による</td></tr></table> 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種	種類	設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]	スランプ (mm)	施工箇所	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による		⑳	床コンクリート直均し仕上げ	(8.1.4)(表8.1.5) 仕上げる平坦さは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5による平坦さの種類別 <table><tr><td>a種</td><td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式) ( )</td></tr><tr><td>b種</td><td>カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り ( )</td></tr><tr><td>c種</td><td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ( )</td></tr></table>	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式) ( )	b種	カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り ( )	c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ( )		㉑	あと施工アンカー	(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記によるあと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない		22	トイレブース	(20.2.5) <table><tr><td>表面材の材料</td><td>脚部 形状</td><td>ドアエッジ 材質</td></tr><tr><td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td><td>※ 幅木タイプ ・</td><td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td></tr></table> (品質・性能) (1) パネル <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>表面材</td><td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td></tr><tr><td>裏打材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td></tr><tr><td>心材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td></tr><tr><td>枠材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td></tr><tr><td>エッジ材</td><td>処理を施した材料とする。</td></tr><tr><td>小口</td><td>防水処理を施す。</td></tr></table> (2) 構造金物 <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>脚部</td><td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td></tr></table> (3) 付属金物 <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>ヒンジ</td><td>耐蝕性のあるものとする。</td></tr><tr><td>ラッチセット</td><td></td></tr><tr><td>戸当り</td><td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td></tr></table> (4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。 (5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 <table><tr><td>項目</td><td colspan="2">品質・性能</td></tr><tr><td></td><td>耐薬品性及び耐汚染性</td><td>耐引ひかき性</td></tr><tr><td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td><td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。</td><td>—</td></tr><tr><td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td><td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td><td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。</td><td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系化粧MDF</td><td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード</td><td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td><td></td></tr></table> (試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上	表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 材質	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	項目	品質・性能			耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	—	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。		
		材種	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																																																																																																																																																																																																									
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き																																																																																																																																																																																																																																																																											
密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)																																																																																																																																																																																																																																																																														
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																																																																																																																											
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																																																																																																																																																																																																																											
	鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																																											
二重蓋の中蓋	鉄鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																																																																																																																																																																												
	その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																																																																																																																																																												
目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																																																																																																																																																																																																												
底板材コーナーステーパー底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																																																																																																																																																																																																											
	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—																																																																																																																																																																																																																																																																											
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																																											
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等特の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの																																																																																																																																																																																																																																																																													
アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																																													
取手	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																																																																																																																																																																																																													
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																																																																																																																																																																																													
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。																																																																																																																																																																																																																																																																													
	受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返し返す。																																																																																																																																																																																																																																																																													
⑩	手すり	<table><tr><td>材質</td><td>表面仕上げ</td><td>直径 (mm)</td><td>取付箇所</td></tr><tr><td>○集成材</td><td>○クリアラッカー</td><td>・ 35 ・ 45 ・</td><td>階段</td></tr><tr><td>・ ステンレスパイプ</td><td>・ HL程度</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ 鋼製パイプ</td><td>・ S O P ・ E P - G</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ビニル製ハンドレール</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	○集成材	○クリアラッカー	・ 35 ・ 45 ・	階段	・ ステンレスパイプ	・ HL程度	・		・ 鋼製パイプ	・ S O P ・ E P - G			・ ビニル製ハンドレール																																																																																																																																																																																																																																																											
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																											
○集成材	○クリアラッカー	・ 35 ・ 45 ・	階段																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ ステンレスパイプ	・ HL程度	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 鋼製パイプ	・ S O P ・ E P - G																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ ビニル製ハンドレール																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑪	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ※ アルミニウム既製品 ○ビニル既製品																																																																																																																																																																																																																																																																												
12	視覚障害者用床タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	(11.2.2.19.2.2) <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>寸法 (mm)</td><td>厚さ (mm)</td></tr><tr><td rowspan="4">屋内</td><td>・ 塩化ビニル製</td><td>※ 300×300</td><td>・ 7.0</td></tr><tr><td>・ セラミックタイル</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ レジンコンクリート製</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ コンクリート製</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">屋外</td><td>・ セラミックタイル</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ レジンコンクリート製</td><td>※ 300×300</td><td>・</td></tr><tr><td>・ コンクリート製</td><td></td><td></td></tr></table> 突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製			屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																											
屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ コンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																																													
屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ コンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																																													
	⑬	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><td>種類の記号</td><td>呼び名</td><td>備考</td></tr><tr><td>※ SD295A</td><td>※ D16以下</td><td></td></tr><tr><td>※ SD345</td><td>※ D19以上</td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼び名	備考	※ SD295A	※ D16以下		※ SD345	※ D19以上																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																																																																																																																																																																												
※ SD295A	※ D16以下																																																																																																																																																																																																																																																																													
※ SD345	※ D19以上																																																																																																																																																																																																																																																																													
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2) <table><tr><td>種類</td><td>網目寸法、鉄線の径 (mm)</td><td>備考</td></tr><tr><td>※ 溶接金網</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td></tr></table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 溶接金網			・ 鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																												
※ 溶接金網																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑮	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継手の長さ ※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による ・ 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・ 図示による 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 縦合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑩ その他	16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート <table><tr><td>設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]</td><td>スランプ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>※ 24 ○ 21</td><td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td><td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td></tr></table>	設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]	スランプ (cm)	適用箇所	※ 24 ○ 21	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																																																																																																																																																																																																																																					
設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]	スランプ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																												
※ 24 ○ 21	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑰	セメント	種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑱	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ ( ※ 12mm ) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m <sup>2</sup> h <sup>2</sup> ℃/kcal以上																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑲	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1) <table><tr><td>種類</td><td>設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]</td><td>スランプ (mm)</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>※ 普通コンクリート</td><td>※ 18</td><td>※ 15</td><td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による</td></tr></table> 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種	種類	設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]	スランプ (mm)	施工箇所	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	設計基準強度 (Fcc) [N/mm2]	スランプ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																											
※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑳	床コンクリート直均し仕上げ	(8.1.4)(表8.1.5) 仕上げる平坦さは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5による平坦さの種類別 <table><tr><td>a種</td><td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式) ( )</td></tr><tr><td>b種</td><td>カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り ( )</td></tr><tr><td>c種</td><td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ( )</td></tr></table>	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式) ( )	b種	カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り ( )	c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ( )																																																																																																																																																																																																																																																																						
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式) ( )																																																																																																																																																																																																																																																																													
b種	カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り ( )																																																																																																																																																																																																																																																																													
c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ( )																																																																																																																																																																																																																																																																													
㉑	あと施工アンカー	(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記によるあと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																												
22	トイレブース	(20.2.5) <table><tr><td>表面材の材料</td><td>脚部 形状</td><td>ドアエッジ 材質</td></tr><tr><td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td><td>※ 幅木タイプ ・</td><td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td></tr></table> (品質・性能) (1) パネル <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>表面材</td><td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td></tr><tr><td>裏打材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td></tr><tr><td>心材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td></tr><tr><td>枠材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td></tr><tr><td>エッジ材</td><td>処理を施した材料とする。</td></tr><tr><td>小口</td><td>防水処理を施す。</td></tr></table> (2) 構造金物 <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>脚部</td><td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td></tr></table> (3) 付属金物 <table><tr><td>項目</td><td>品質・性能</td></tr><tr><td>ヒンジ</td><td>耐蝕性のあるものとする。</td></tr><tr><td>ラッチセット</td><td></td></tr><tr><td>戸当り</td><td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td></tr></table> (4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。 (5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 <table><tr><td>項目</td><td colspan="2">品質・性能</td></tr><tr><td></td><td>耐薬品性及び耐汚染性</td><td>耐引ひかき性</td></tr><tr><td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td><td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。</td><td>—</td></tr><tr><td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td><td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td><td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。</td><td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系化粧MDF</td><td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード</td><td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td><td></td></tr></table> (試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上	表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 材質	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	項目	品質・性能			耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	—	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																								
表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 材質																																																																																																																																																																																																																																																																												
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材																																																																																																																																																																																																																																																																												
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																													
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																																																																																																																																																																																																																																																													
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																																																																													
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																																																																													
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																													
エッジ材	処理を施した材料とする。																																																																																																																																																																																																																																																																													
小口	防水処理を施す。																																																																																																																																																																																																																																																																													
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																													
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																																																																																																																																																																																																																																													
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																													
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																													
ラッチセット																																																																																																																																																																																																																																																																														
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																													
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																													
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひかき性																																																																																																																																																																																																																																																																												
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	—																																																																																																																																																																																																																																																																												
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																													
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。																																																																																																																																																																																																																																																																												
ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																													
ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																													



付近見取図



配置図 1:200



計 画 概 要		凡 例		防 火 性 能 認 定 番 号		特 記 事 項				
建物概要		一 般	C : コンクリート	左 官	外薄塗材E : 外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材	GB-R 厚9.5 : 準不燃QM-9828	1. 参考品番は、改修工事特記仕様書 8 に記載している。 2. 特記なき限り、撤去する周囲にはカッター入を行う。 3. 内部仕上表の下地欄（ ）は既設部分を示す。 4. 照明・空調・設備配管など設備機器類の位置は、プロット図を作成し、監督職員の承諾を得ること。 5. 内部の床の桧フローリング、巾木、壁、天井の杉板の材料は、北広島町が支給する。 搬入時期、場所については協議による。			
建築主 北広島町長			M : モルタル		塗 装	VP : 塩化ビニル樹脂塗 WP : 木材保護塗料塗 OS : オイルステイン塗 CL : クリヤラッカー		GB-R 厚12.5～15.0 : 不燃 NM-8619		
建築主住所 〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田1234			CB : コンクリートブロック					GB-D 厚9.5(ﾄﾗﾊﾞｰｼﾝ) : 不燃 NM-0127		
			As : アスファルト					GB-F 厚12.5 : 不燃 NM-1498		
敷地の場所 〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田495番地		ボ ー ド 類	S : 鉄骨	塗 装	DR 厚9.0 : 不燃 NM-8599	ケイカル板 厚5～12.0 : 不燃 NM-8576 繊維混入石膏板 厚6 : 不燃 NM-2967				
敷地面積 806.06㎡			LGS : 軽量鉄骨(一般形鋼、軽量形鋼)							
前面道路 前面道路：10.00m			STPW : 構造用合板							
用途地域 商業地域			SOPW : 針葉樹合板(耐水1類)							
防火地域 指定なし			GW : グラスウール							
その他区域 法22条区域、宅地造成工事規制区域			VB : バイブレーション仕上(ステンレス)							
			TB : トイレブース							
施設名称 北広島町人権・生活総合相談センター			シ ー リ ン グ				GB-R : 石膏ボード	塗 装		
建物用途 建築基準法：08990 複合施設(新棟：児童養護施設、旧棟：集会所) 防火対象物：(16)項イ(新棟：(6)項ハ(3)、旧棟：(1)項ロ)							GB-D : 化粧石膏ボード			
							GB-F : 強化石膏ボード			
		VP : 硬質塩化ビニル管(一般管)								
面積 建築面積：219.37㎡(旧棟：151.80㎡、新棟：67.57㎡) 延床面積：263.85㎡ (旧棟 1階：132.00㎡) (新棟 128.85㎡ 1階：65.85㎡、2階63.00㎡)		シ ー リ ン グ	VU : 硬質塩化ビニル管(薄肉管)	塗 装						
構造 旧棟：RC造平屋建て、新棟：S造2階建て、その他建築物			ケイカル : けい酸カルシウム板							
建物高さ 新棟 軒高：6.700m、最高高さ：8.050m			DR : ロックウール化粧吸音板							
建蔽率 27.22% ≦ 80%										
容積率 32.74% ≦ 400%										
その他 建設：新棟：1987年(昭和62年)5月 旧棟：1978年(昭和53年)12月										
工事概要										
1. 主として新棟の用途替えによる改修										
2. 屋根塗替え、外壁カバー工法、通路上屋撤去										
3. 間仕切変更に伴う内装の撤去・新設										
4. 電気設備の改修に伴う撤去・新設										
5. 空調・換気設備の改修に伴う撤去・新設										
6. 給水配管引込の改修に伴う撤去・復旧										
7. 給排水配管に伴う土間、外構撤去・新設										
外 部 仕 上 表 ( 改 修 前 ・ 後 )										
部 位	改 修 前		改 修 後		部 位	改 修 前	改 修 後			
屋根	旧棟 新棟	カラーベストコロニアル葺き 既設のまま 棟包み：カラー鋼板厚0.6加工 既設のまま、鼻隠し：既設のまま カラーベストコロニアル葺き 高圧水洗浄 軒先：カラー鋼板厚0.6加工 高圧水洗浄 棟包み：カラー鋼板厚0.6加工 高圧水洗浄、一部撤去 壁隙水切：カラー鋼板厚0.6加工 高圧水洗浄	新棟 DP(1級)塗替え(RB種) 軒先：DP(1級)塗替え(RB種) 棟包み：DP(1級)塗替え(RB種)、換気棟(L1090×3)、カラーGL厚0.5加工 新設 鼻隠し、ケラバ：カラーGL厚0.6H150加工 新設 壁隙水切：DP(1級)塗替え(RB種)	通路	床：カーペット敷き 撤去 C金コテ 一部撤去 壁：壁材・アルミ材 撤去、S柱・S横胴縁現し 撤去 天井：屋根材・アルミ材現し 撤去	床：C金コテ 一部新設				
軒裏	旧棟 新棟	外薄塗材E C打放し 既設のまま 庇：VP 石綿板厚6 撤去	新棟 庇：EP-G ケイカル板厚6(目透し) 新設							
外壁	旧棟 新棟	外薄塗材E C打放し 既設のまま 窯業系サイディング横張り厚12 アスファルト防水シート 一部撤去、高圧水洗浄 Sタテ胴縁 一部撤去 出隅役物：窯業系サイディング厚12 撤去 水切：カラー鋼板厚0.6 一部撤去	新棟 カラーGL厚0.5スパンドレル ヨコ通気胴縁(W18×45@450)(カバー工法) 新設 透湿防水シート、気密防水両面テープW75(サイディング・GB-R継部) 外壁新設部下地：GB-F厚12.5 新設 水切：DP(1級)塗替え(RB種)、DP(1級) カラーGL厚0.6加工 新設 出隅：カラーGL厚0.4役物加工 新設 開口部廻り・壁見切：カラーGL厚0.4加工 新設							
根廻り	旧棟 新棟	M金コテ C下地 既設のまま M金コテ C下地 高圧水洗浄								
樋	旧棟 新棟	銅板加工箱樋 既設のまま 軒樋：VP 塩ビ製角樋W120 撤去(吊金物共) 壁樋：VP VUΦ75 撤去(掴み金物共)	新棟 軒樋：カラー塩ビ製樋W138(スチール芯) 新設(専用吊金物共) 壁樋：カラー塩ビ製Φ75 新設(専用掴み金物、排水管カバー共)							
シーリング	屋根包み 建具廻り 外壁タテ 外壁水切	: 25×10 撤去 : 20×10 撤去 : 20×10 撤去 : 20×10 撤去	外壁水切(旧棟)：PU-2 25×10 新設 屋根包み : PU-2 25×10 新設 建具廻り : MS-2 20×10 新設							
外構	一般部：C舗装、カラーAs舗装 既設のまま 犬走：C直均し 既設のまま スロープ(旧棟)：塗装 C直均し 既設のまま、一部タイル口100 既設のまま 土間：C直均し厚120 砕石厚100 一部撤去 舗装：カラーAs厚50 砕石厚150 一部撤去 外部倉庫：スチール製既製品(W3000D2400H2200)、CB基礎 撤去		スロープ：カラーC ホーキ目 土間：C直均し 一部新設 舗装：カラーAs厚50 砕石厚150 一部新設							
断熱材	新棟 新棟	外壁：なし 天井：GW 既設のまま 外壁：GW(アルミ箔付)厚50 撤去 天井：GW厚50 撤去	新棟 外壁：高性能GW厚100(防湿フィルム付、GWHG14-38) 新設 天井：GW厚200(防湿フィルム付、GWHG20-35) 新設 開口部廻り、胴縁同士の隙間等：発砲ウレタン充填	その他		アルミ庇：L2200×D1350 新設、S胴縁補強共 館名板：SUS製 壁付ポスト：SUS製				

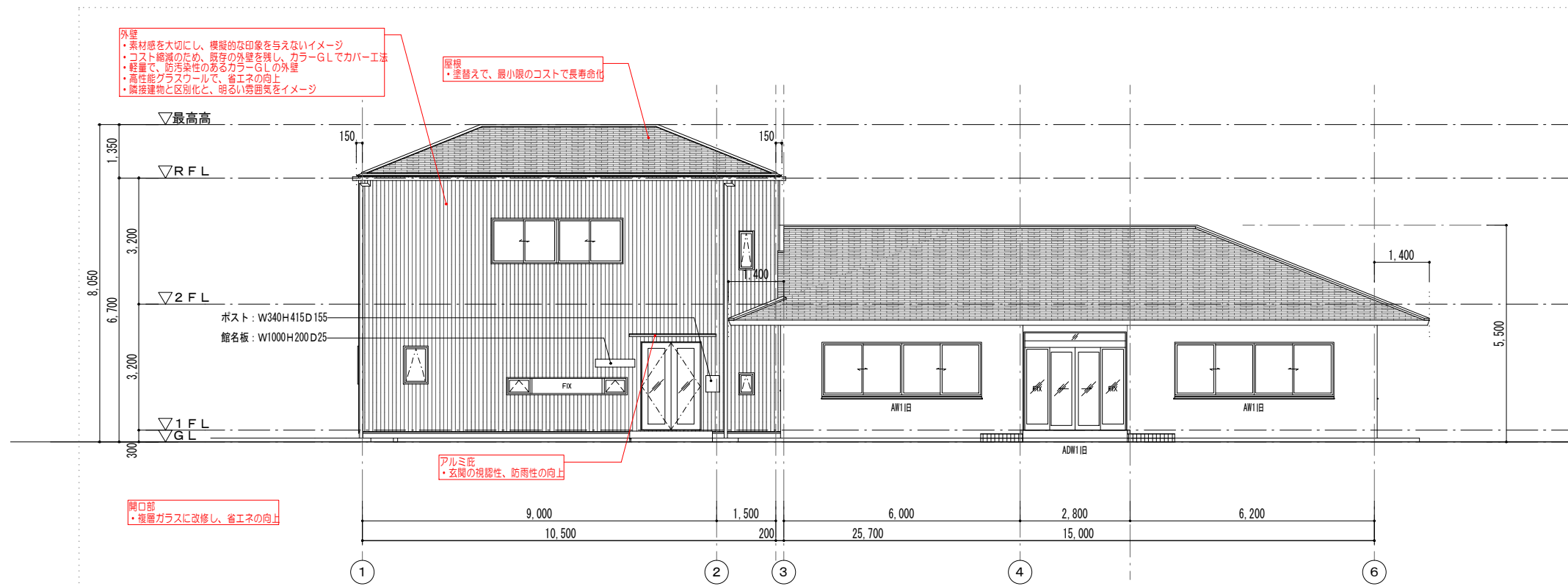


内 部 仕 上 表 ( 改 修 前 ・ 後 )														
階 数	室 名	区 分	床			巾 木	壁			天 井			天井高	備 考
			下地	仕 上	床高		下地	仕 上	腰高	下地	仕 上	廻縁		
1 階 旧 棟	玄関・ホール	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	廊下	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	事務所	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	第2相談室	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	印刷室	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	健康衛生室	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	第1相談室	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	大集会室	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	湯沸室	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
	トイレ	改修前	C+M	磁器質口100タイル 既設のまま ノンスリップビニルタイル厚4.0 既設のまま	-150	V P 塗 M金コテH100 既設	C	V P M金コテ 既設のまま V P G B－R厚12+厚9(直貼り工法) 既設のまま	0	LGS	D R厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	2.750	
1 階 新 棟	廊下	改修前	C+M	ビニル床シート厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H75 撤去	LGS 一部撤去	ビニルクロス G B－R厚12.5 撤去	0	LGS 一部撤去	G B－D厚9.5 撤去	塩ビ製 撤去	2.500	
	静養娛樂室	改修前	C+M	パンチカーベット敷き 撤去	0	ソフト巾木H75 撤去	LGS 一部撤去	ビニルクロス G B－R厚12.5 撤去 流し台廻り：S U S厚0.5 撤去	0	LGS 一部撤去	G B－D厚9.5 撤去	塩ビ製 撤去	2.500	(タテ型ブラインド、ブラインド取付板)撤去
	生活改善室	改修前	C+M	ビニル床シート厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H75 撤去	LGS 一部撤去	ビニルクロス G B－R厚12.5 撤去	0	LGS 一部撤去	G B－D厚9.5 撤去	塩ビ製 撤去	2.500	(タテ型ブラインド、ブラインド取付板)撤去 (流し台)撤去
	倉庫	改修前	C+M	M金コテ 既設のまま	0		LGS 一部撤去	石綿板厚6 撤去	0		デッキプレート、鉄骨梁、鉄骨階段裏現し		-	
	階段室	改修前	C+M	ビニル床シート厚2.0 撤去	0	ソフト巾木H75 撤去	LGS 一部撤去	ビニルクロス G B－R厚12.5 撤去	0	LGS 一部撤去	ビニルクロス G B－R厚12.5 撤去	塩ビ製 撤去	-	
	玄関	改修後	(C+M) M新設	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共	5	ソフト巾木H75 新設	LGS 一部新設	ビニルクロス G B－R厚12.5 新設	0	LGS 新設	D R厚9 G B－R厚9.5捨て張り 新設	塩ビ製 新設	2.425	(下足入、S U S床見切)新設
	ホール	改修後	(C+M)	O S 桧フローリング厚15 S O P W厚12 新設 下地調整共	30	O S 杉9×H40 新設	LGS 新設	ビニルクロス G B－R厚12.5 新設	0	LGS 新設	D R厚9 G B－R厚9.5捨て張り 新設	塩ビ製 新設	2.400	(面台)新設
	廊下	改修後	(C+M)	O S 桧フローリング厚15 S O P W厚12 新設 下地調整共、増築部：S L厚30	30	O S 杉9×H40 新設	LGS 一部新設	ビニルクロス G B－R厚12.5 新設 一部 O S 杉フローリング厚15横張り G B－R厚12.5新設	0	LGS 新設	D R厚9 G B－R厚9.5捨て張り 新設	塩ビ製 新設	2.400	
	談話室	改修後	(C+M)	ビニル床タイル厚2.0 新設 下地調整共	30	O S 杉9×H40 新設	LGS 一部新設	ビニルクロス G B－R厚12.5 新設 一部 O S 杉フローリング厚15横張り G B－R厚12.5 新設	0	LGS 新設	D R厚9 G B－R厚9.5捨て張り 新設	塩ビ製 新設	2.300	
	トイレ1	改修後	(C+M)	ビニル床シート厚2.0(防臭) S O P W厚12(二重) 新設 下地調整共	30	O S 杉9×H40 新設	LGS 一部新設	ビニルクロス G B－R厚12.5 新設 一部 O S 杉羽目板厚9横張り G B－R厚12.5 新設	0	LGS 新設	D R厚9 G B－R厚9.5捨て張り 新設	塩ビ製 新設	-	(固定棚)新設
	トイレ2	改修後	(C+M)	ビニル床シート厚2.0(防臭) S O P W厚12(二重) 新設 下地調整共	30	O S 杉9×H40 新設	LGS 新設	ビニルクロス G B－R厚12.5 新設 一部 O S 杉羽目板厚9横張り G B－R厚12.5 新設	0	LGS 新設	D R厚9 G B－R厚9.5捨て張り 新設	塩ビ製 新設	2.250	(固定棚)新設
	階段下収納	改修後	(C+M)	ビニル床シート厚2.0(防臭) S O P W厚12(二重) 新設 下地調整共	30	杉9×40 新設	LGS 一部新設	G B－R厚12.5素地 新設	0		S O P 塗替え 鉄骨梁、鉄骨階段裏現し		-	
	静養娛樂室	改修後	(C+M)	O S 桧フローリング厚15 S O P W厚12 新設 下地調整共	30	O S 杉9×H40 新設	LGS 一部施設	ビニルクロス G B－R厚12.5 新設	0	LGS 一部新設	D R厚9 G B－R厚9.5捨て張り 新設	塩ビ製 新設	2.500	(階段状ベンチ、本棚、ロッカー、キッチンカウンター、ロールスクリーン)新設
	キッチン	改修後	(C+M)	O S 桧フローリング厚15 S O P W厚12 新設 下地調整共	30	O S 杉9×H40 新設	LGS 一部新設	ビニルクロス G B－R厚12.5 新設 壁一部・ラインｸﾞ 壁：メタル化粧板厚0.8 G B－R厚12.5 新設	0	LGS 新設	D R厚9 G B－R厚9.5捨て張り 新設	塩ビ製 新設	2.500	(システムキッチン、レンジフード)新設 (家電収納カウンター)新設

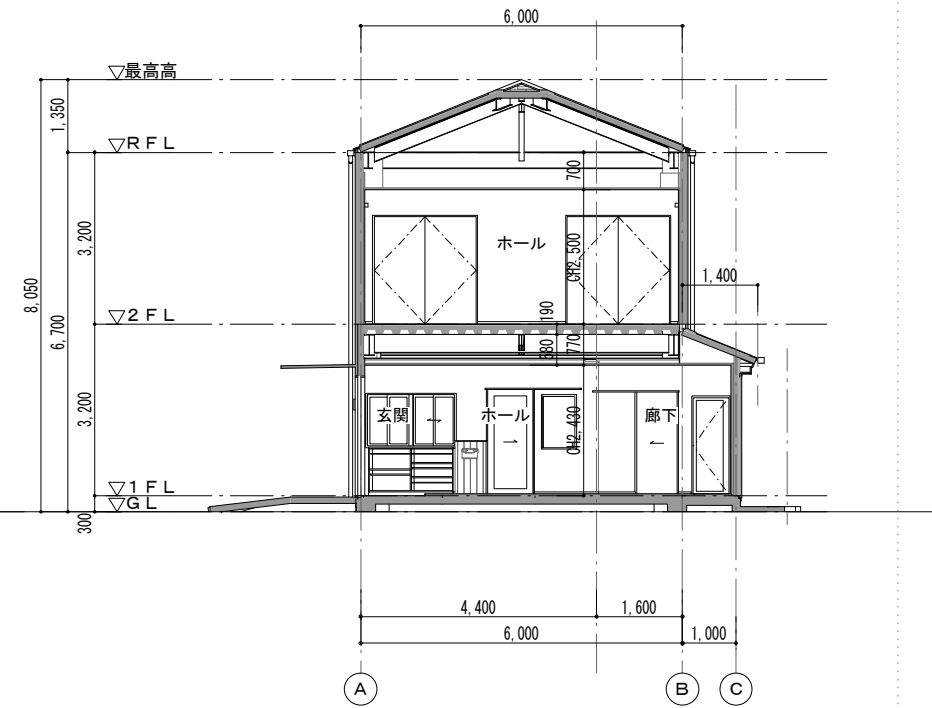


内部仕上表（改修前・後）

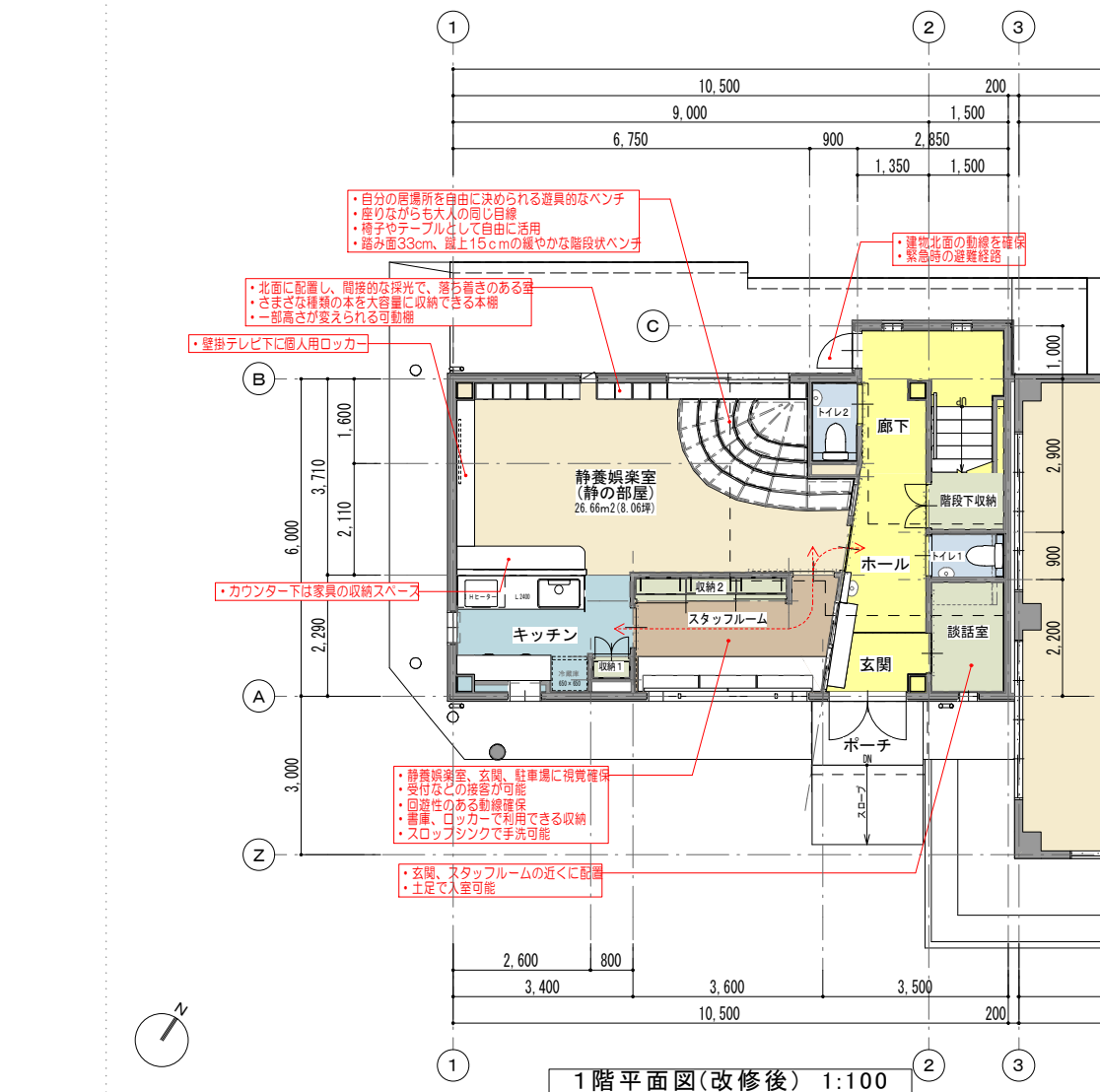
[illegible]



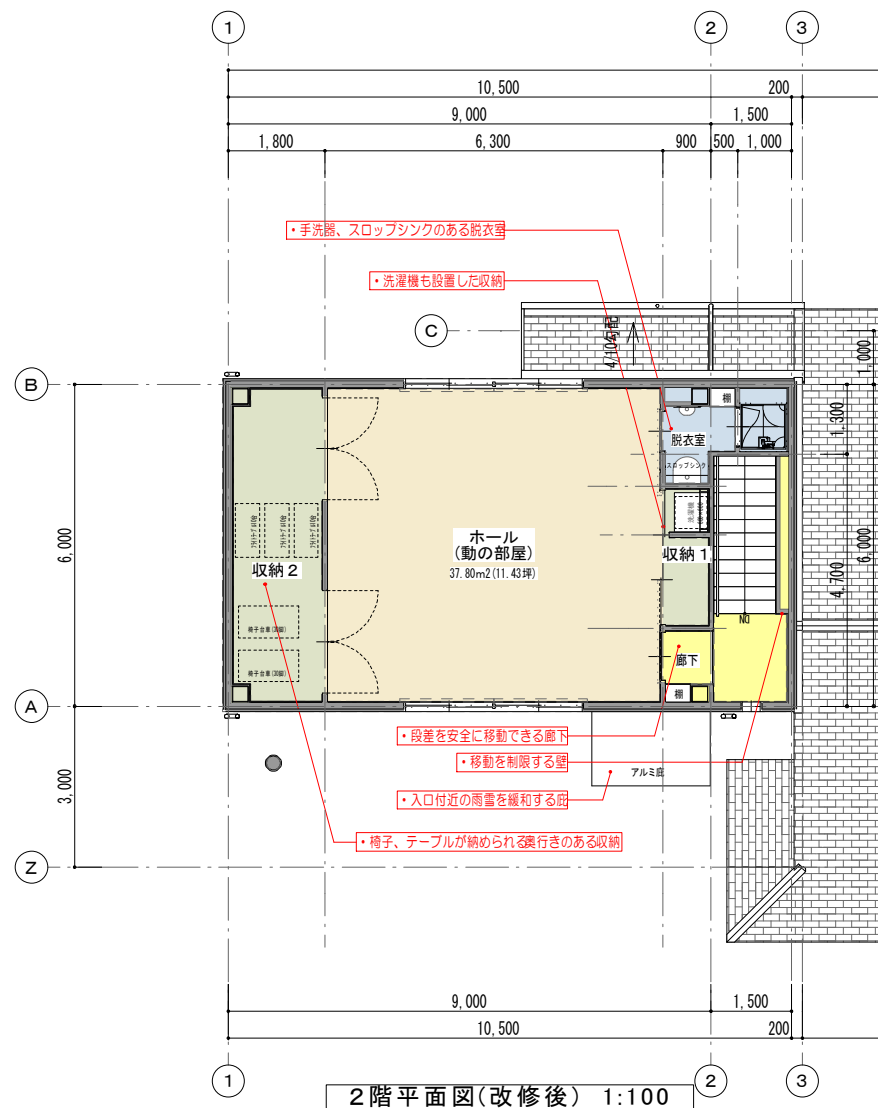
南側立面図(改修後) 1:100



A断面図(改修後) 1:100

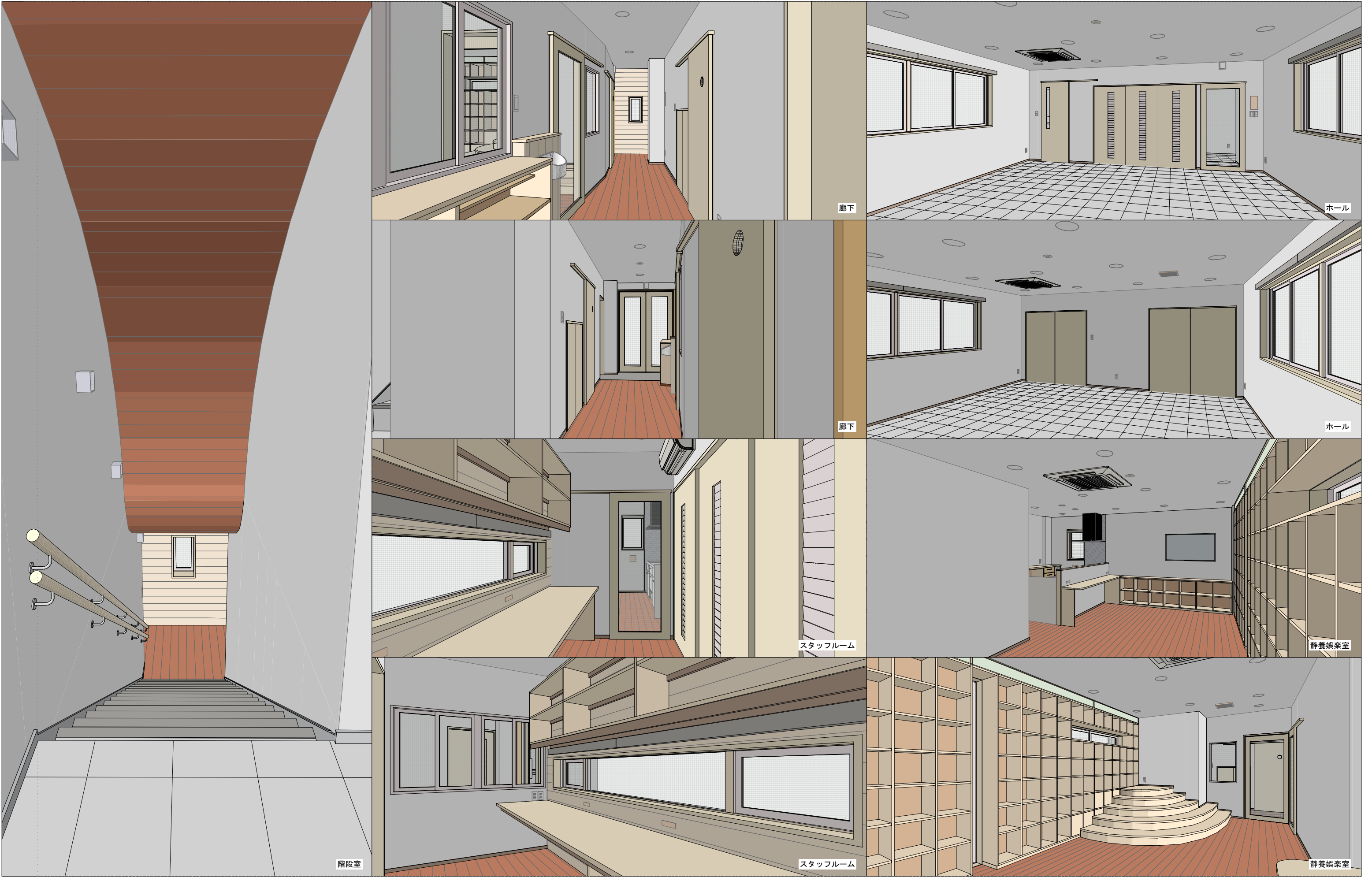


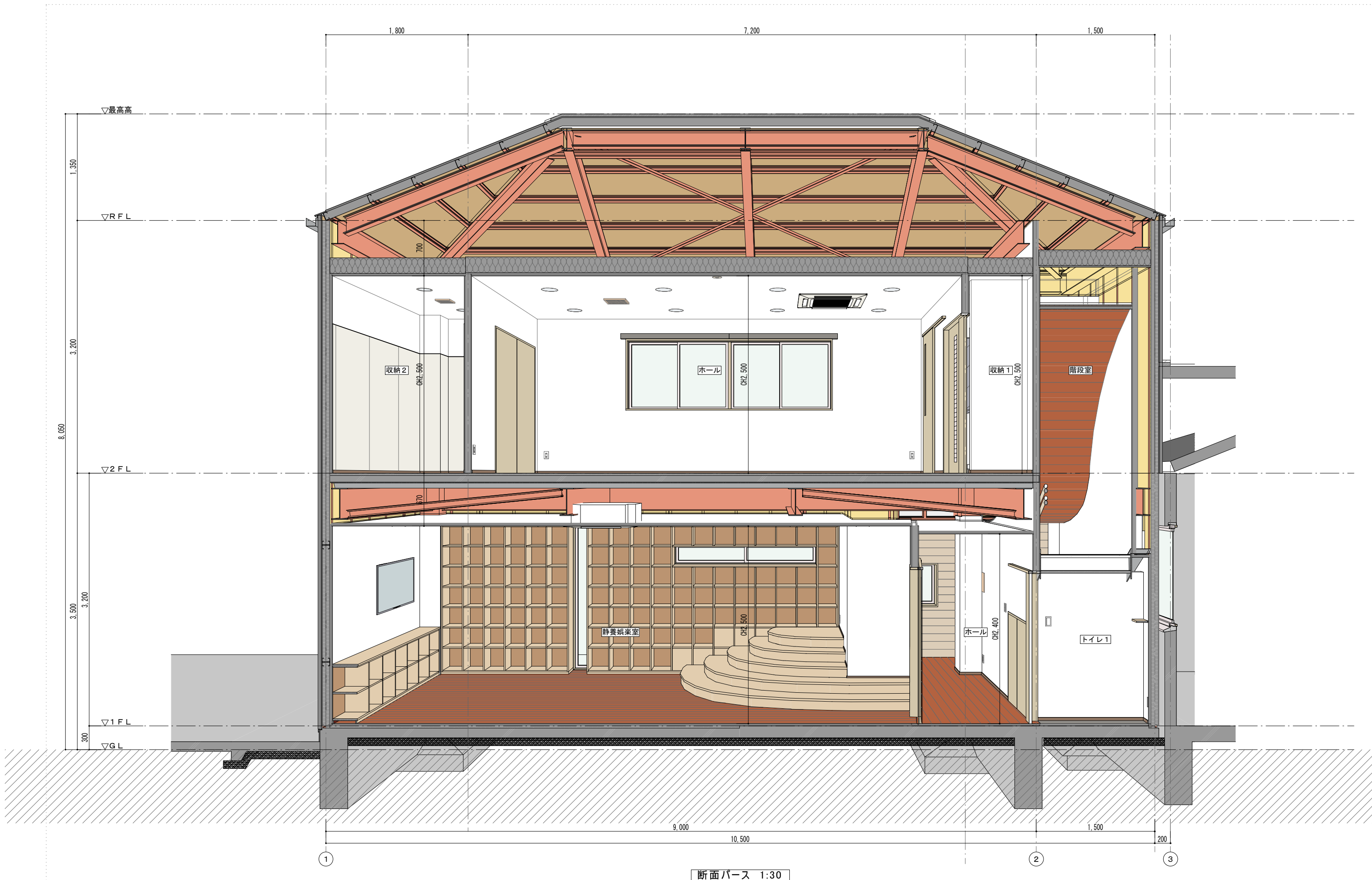
1階平面図(改修後) 1:100

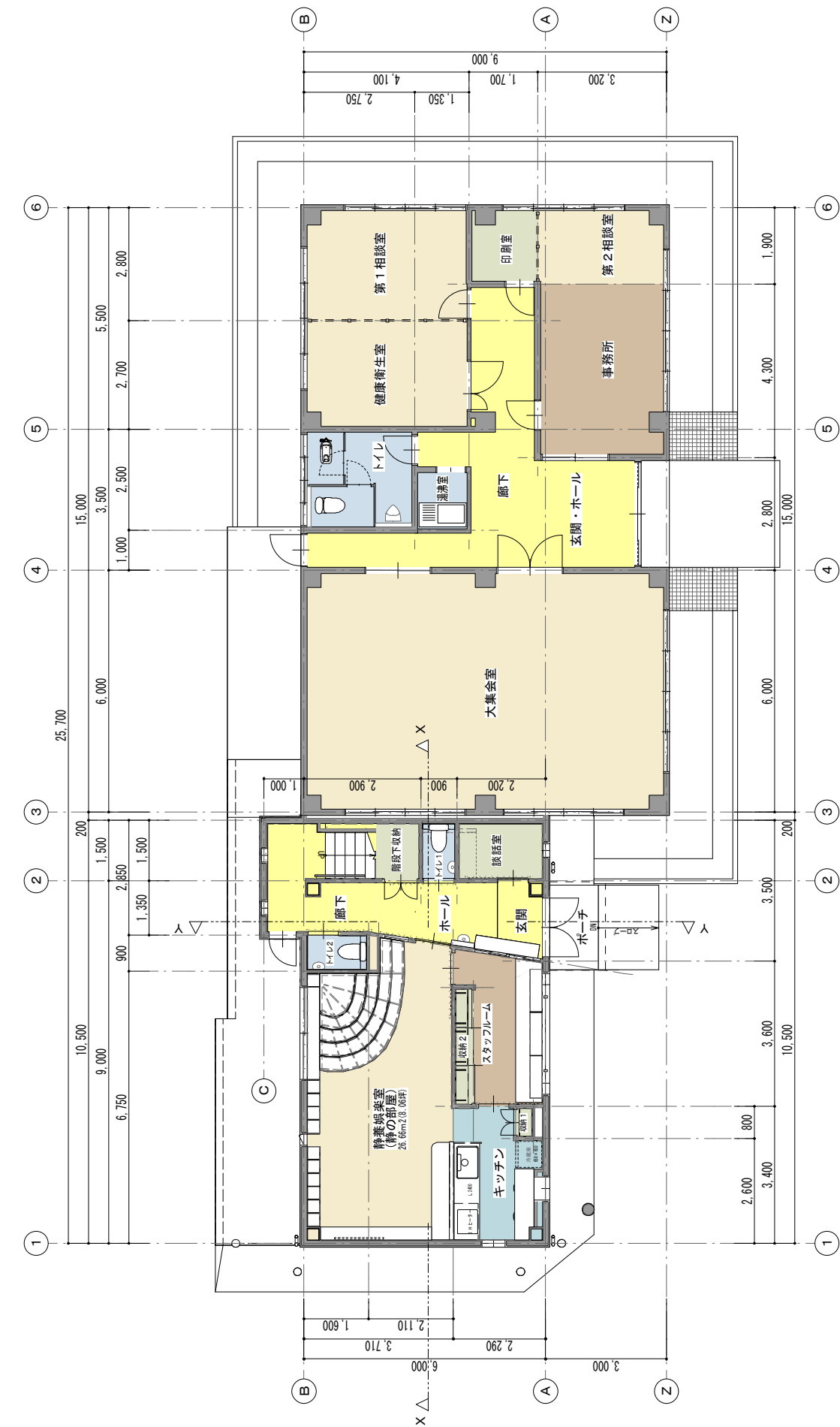


2階平面図(改修後) 1:100

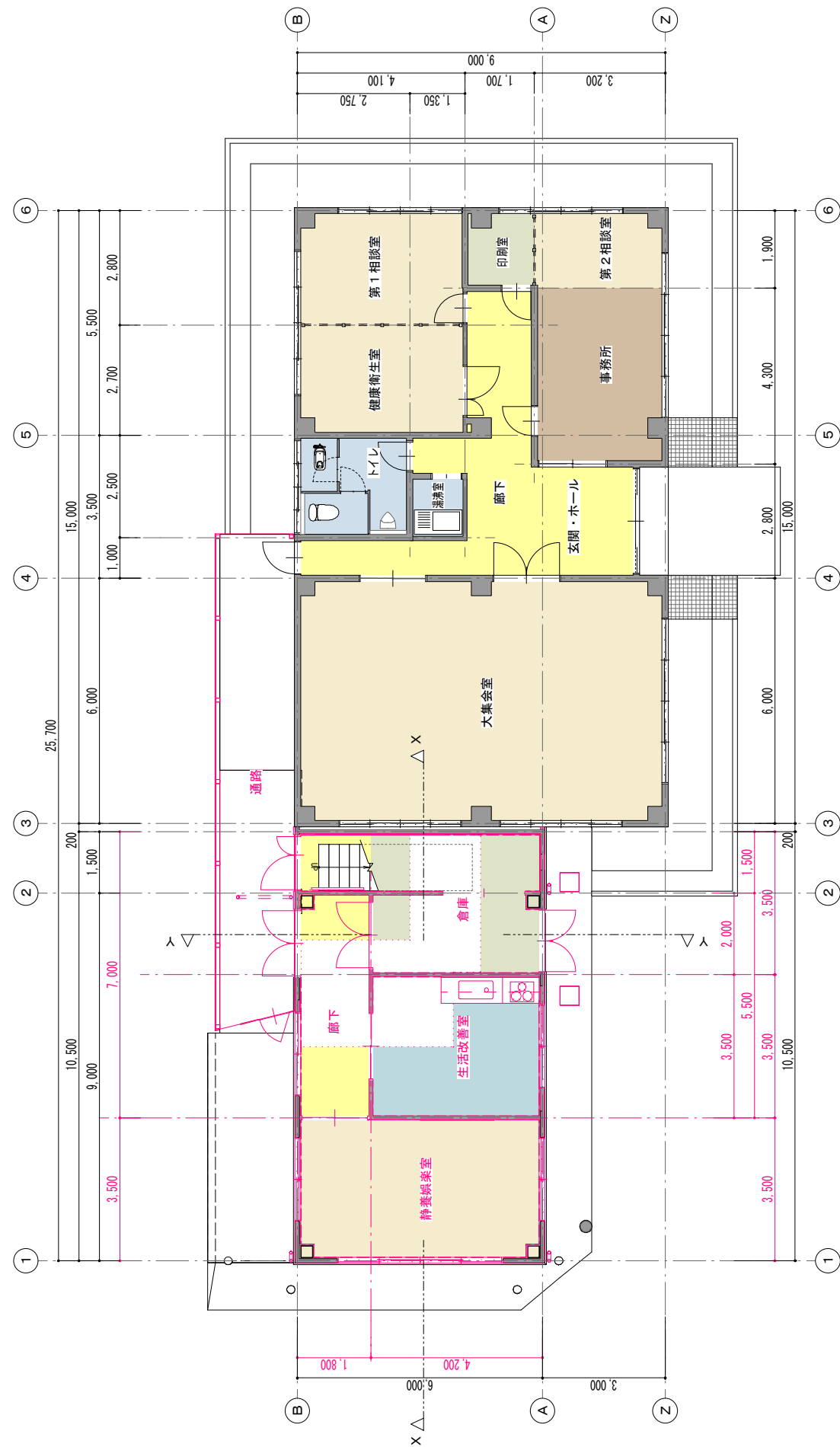




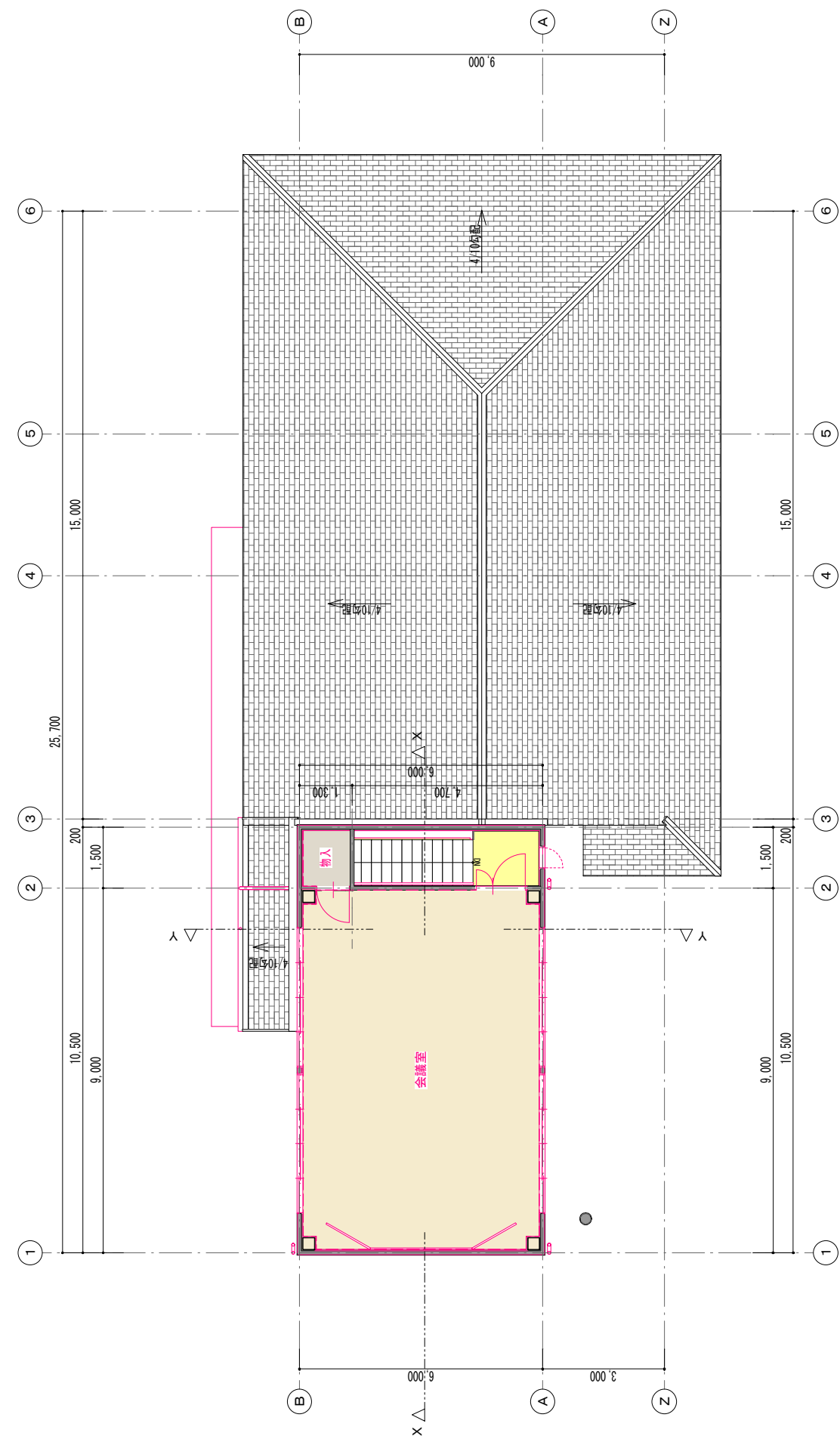
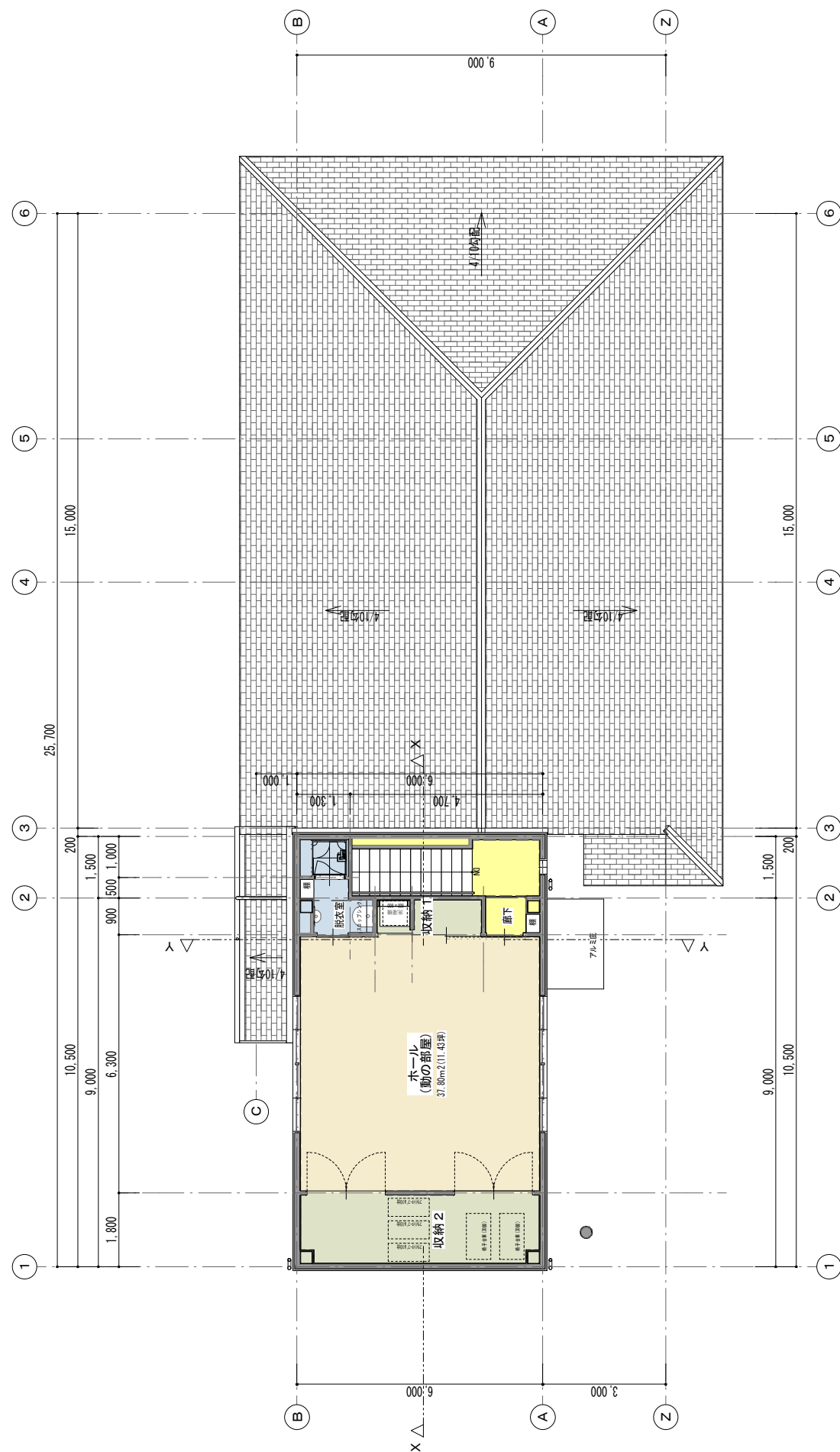




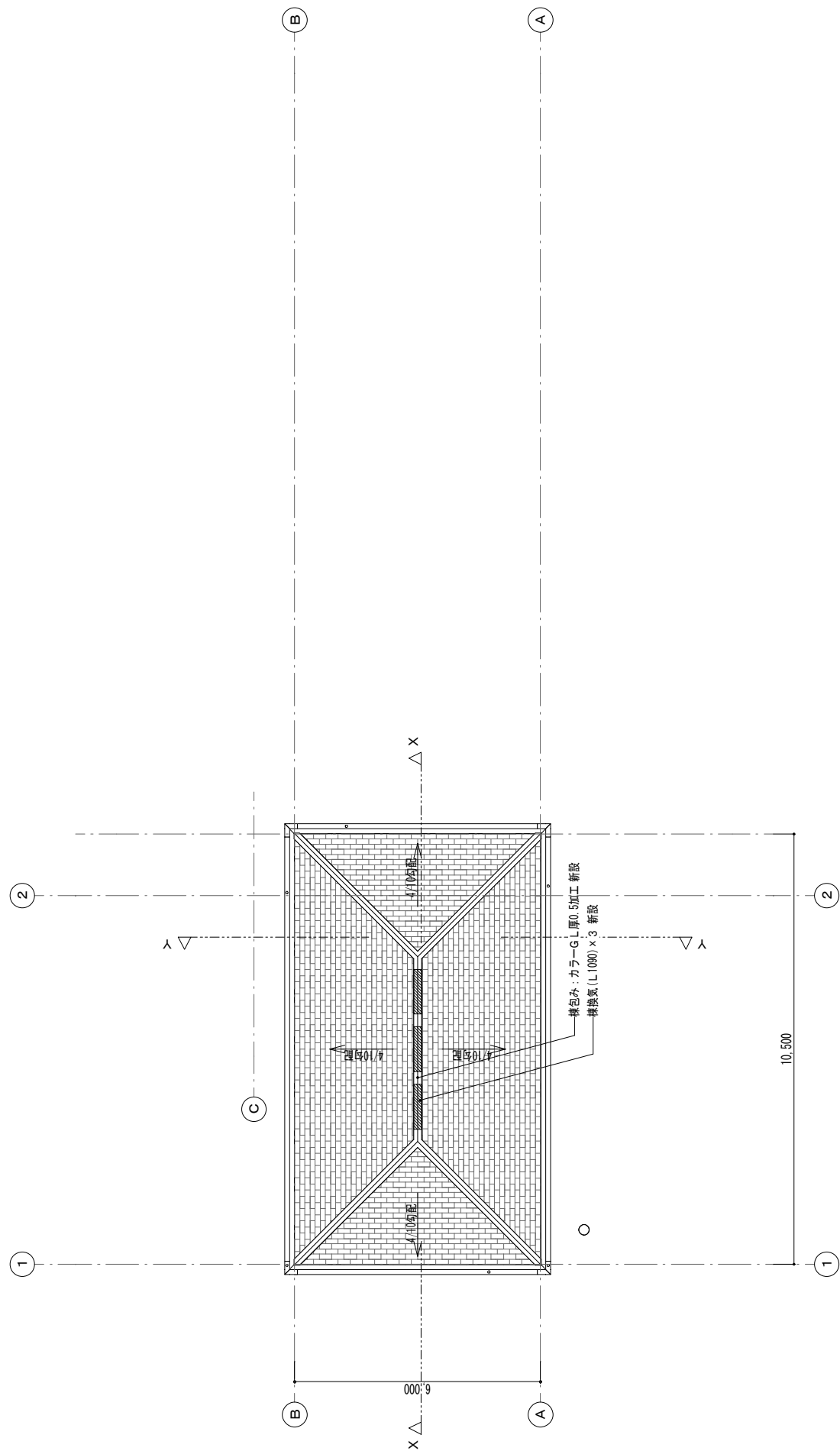
1階平面図(改修後) 1:100



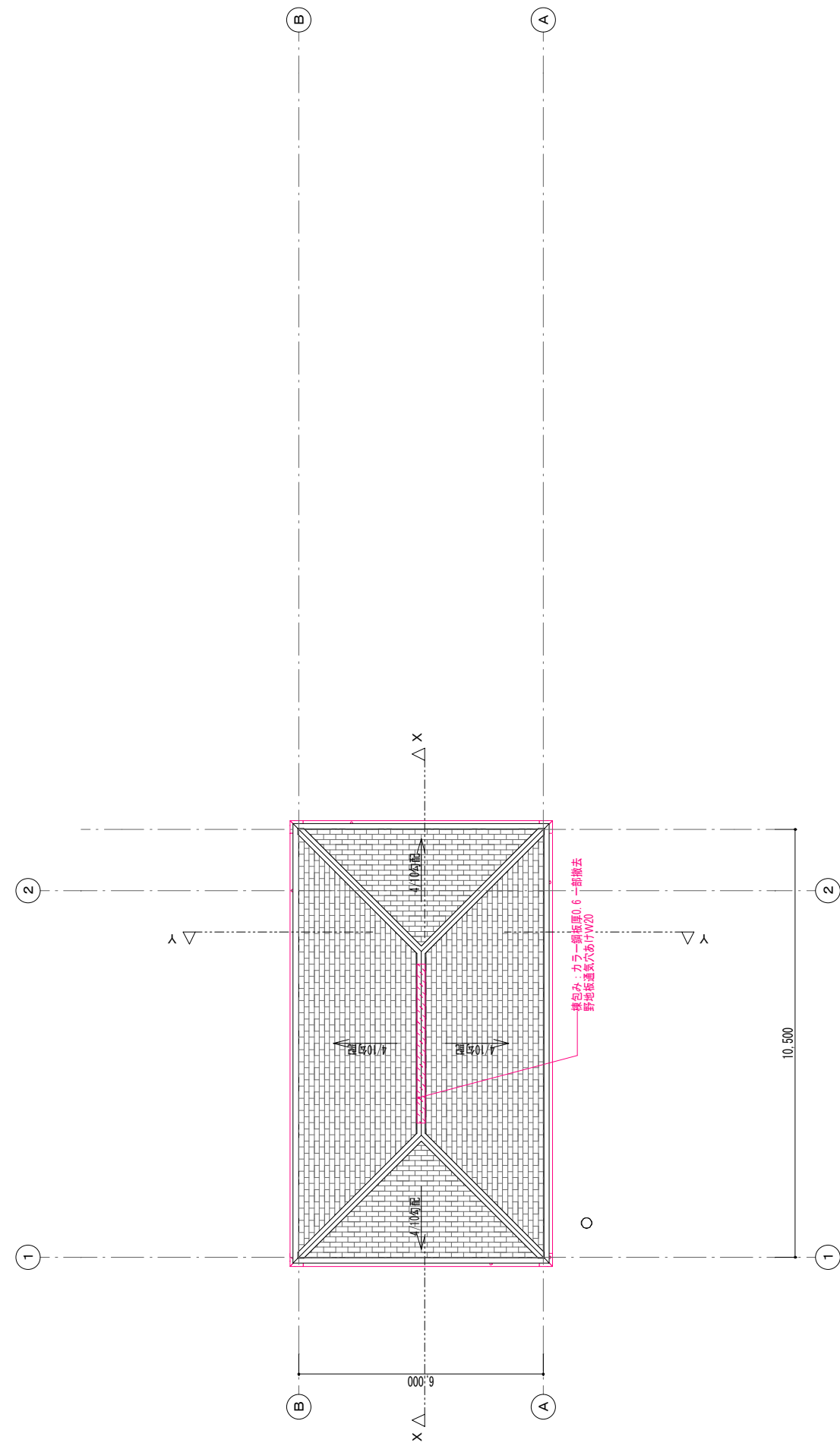
1階平面図(改修前) 1:100



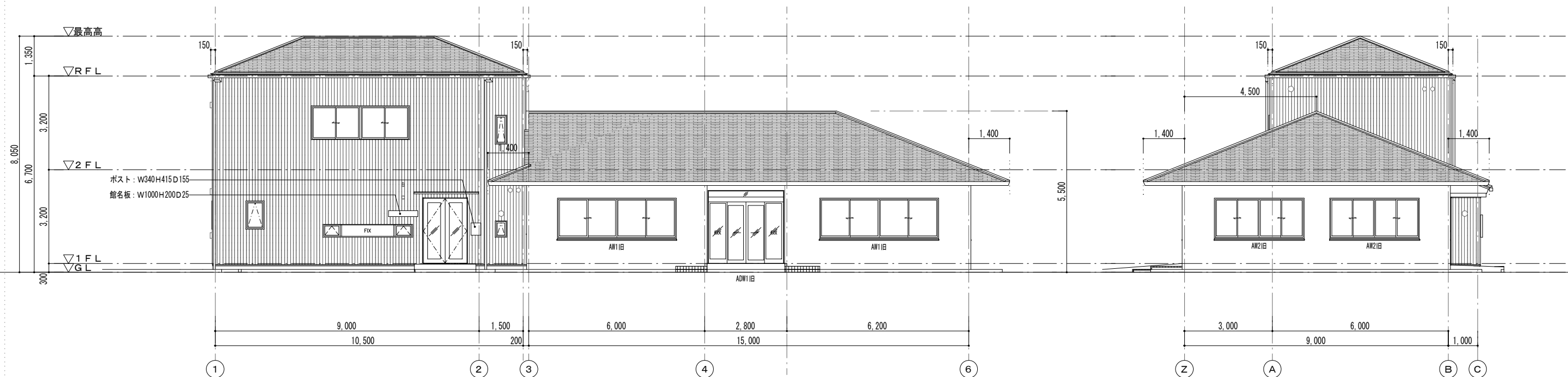




屋根伏図(改修後) 1:100

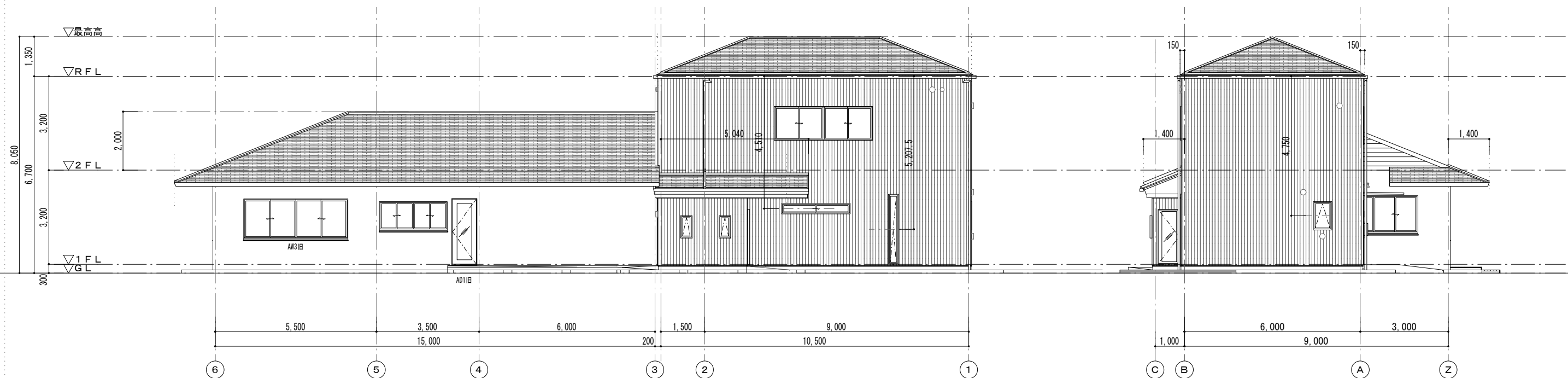


屋根伏図(改修前) 1:100



南側立面図(改修後) 1:100

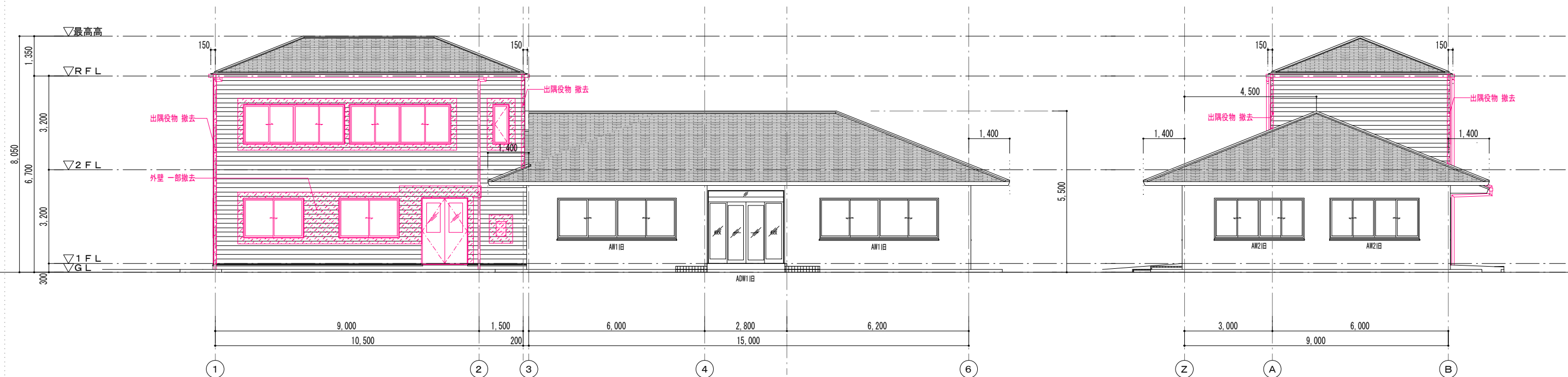
東側立面図(改修後) 1:100



北側立面図(改修後) 1:100

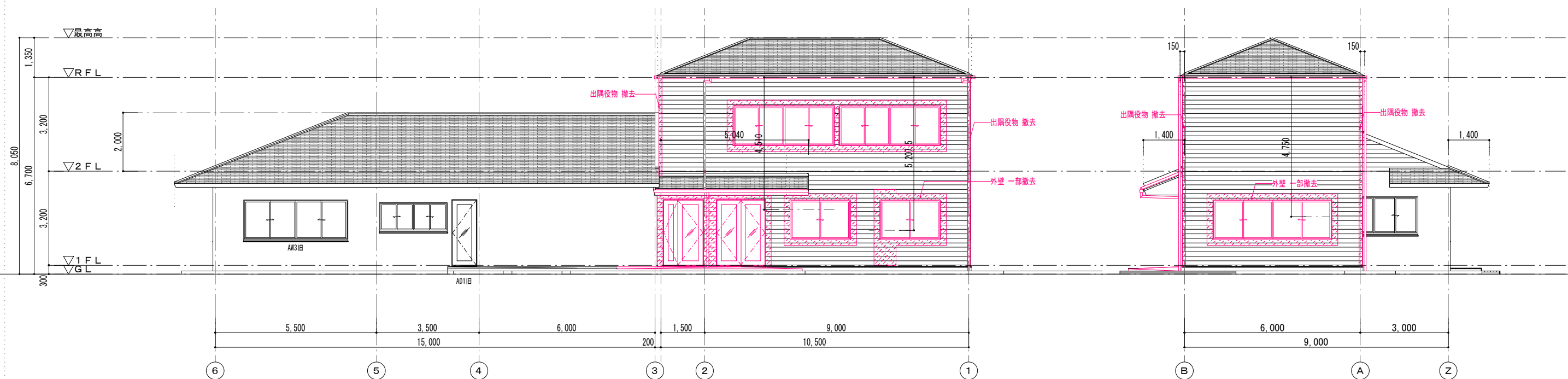
西側立面図(改修後) 1:100





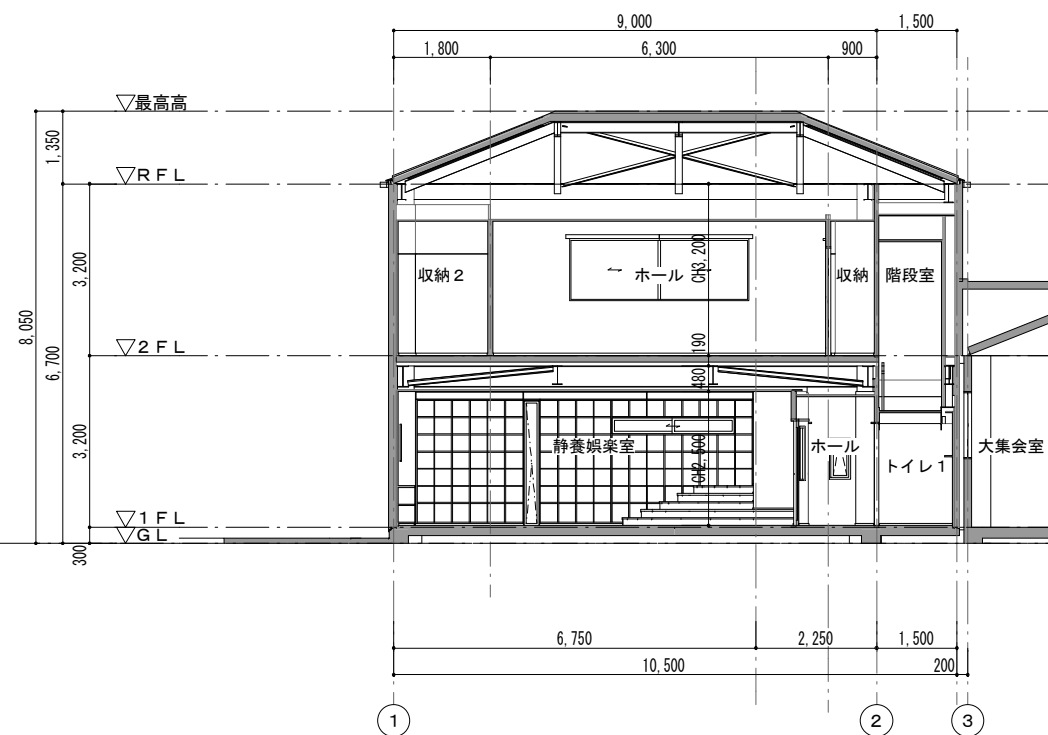
南側立面図(改修前) 1:100

東側立面図(改修前) 1:100

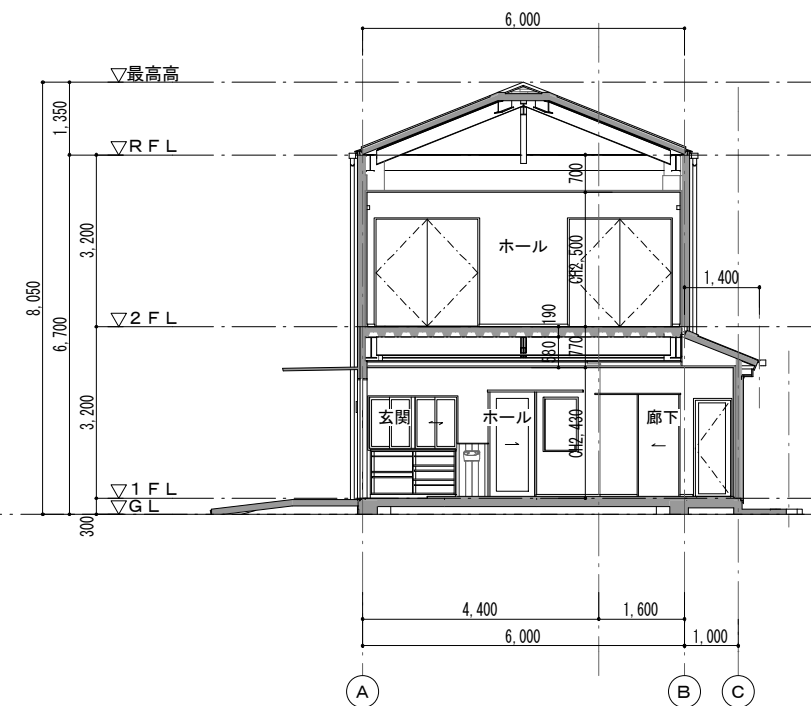


北側立面図(改修前) 1:100

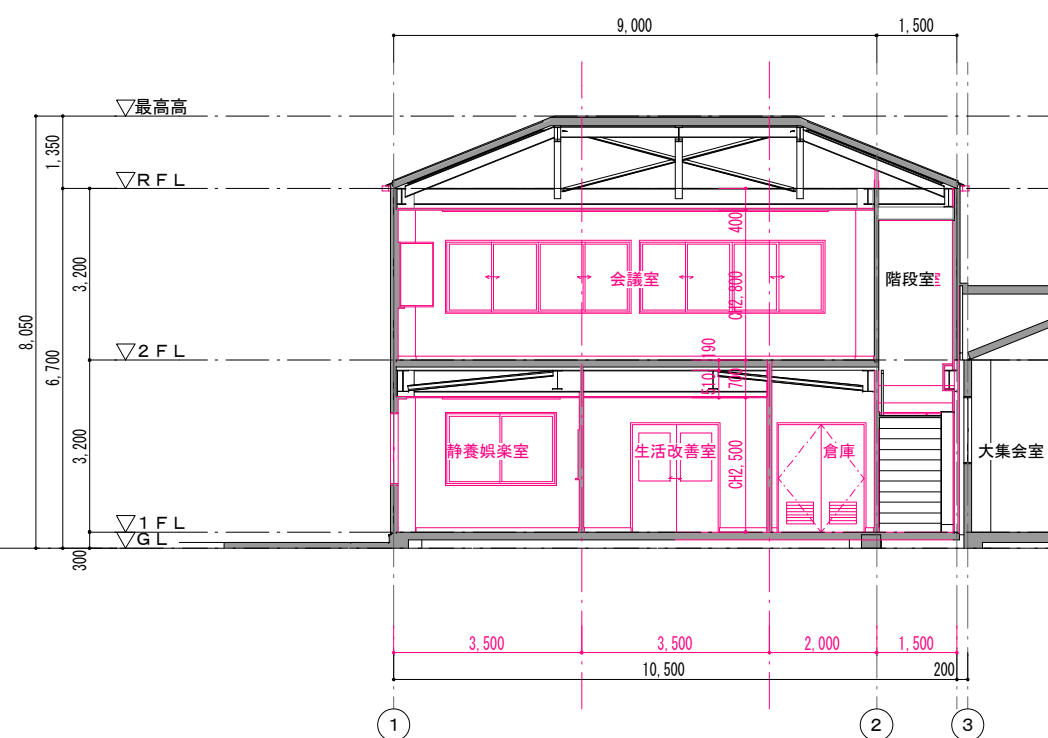
西側立面図(改修前) 1:100



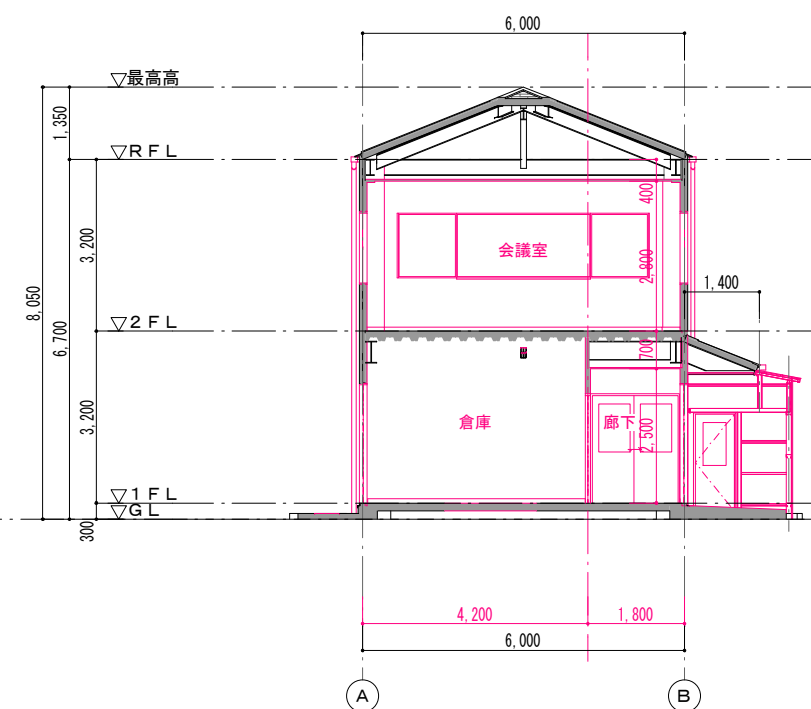
X断面図(改修後) 1:100



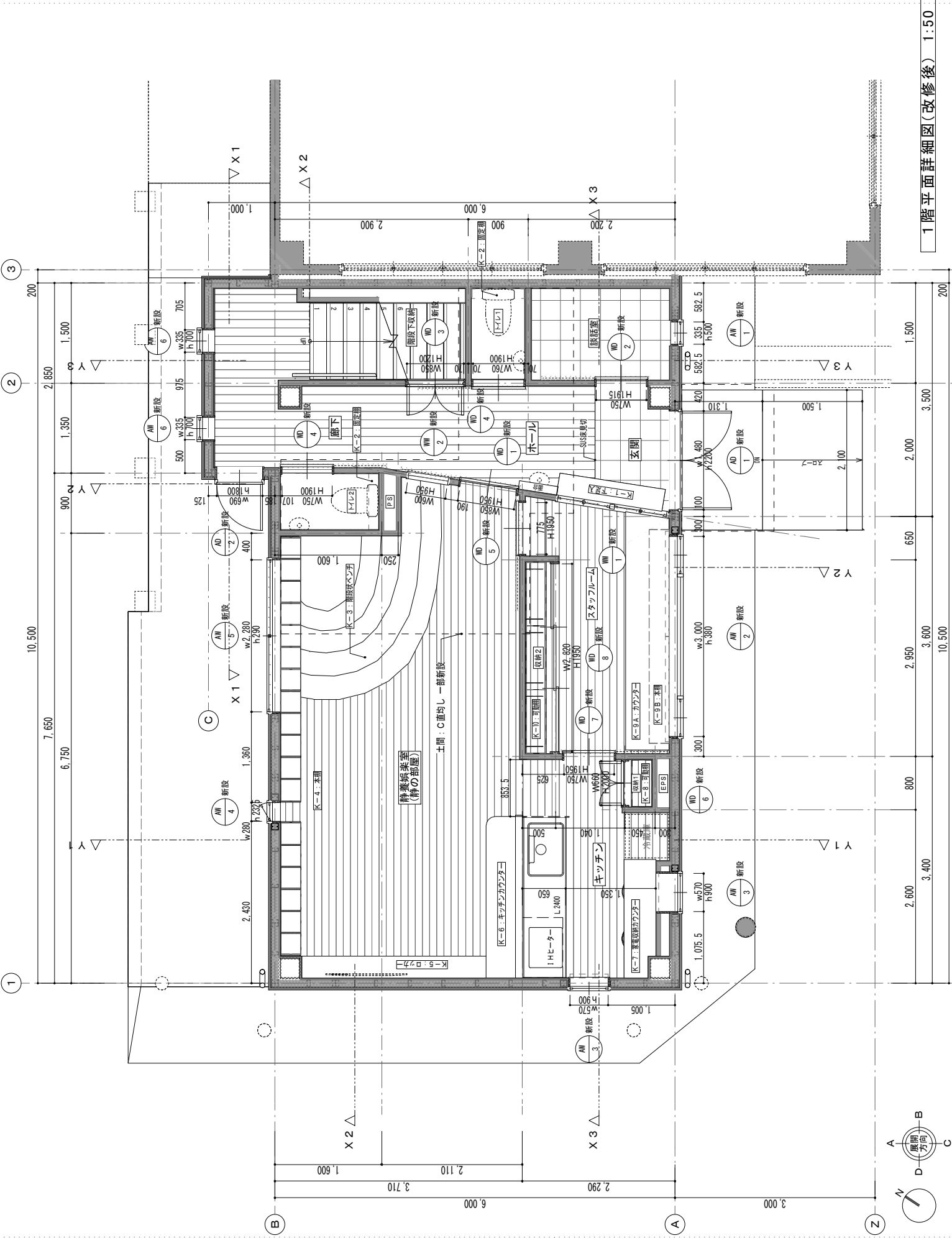
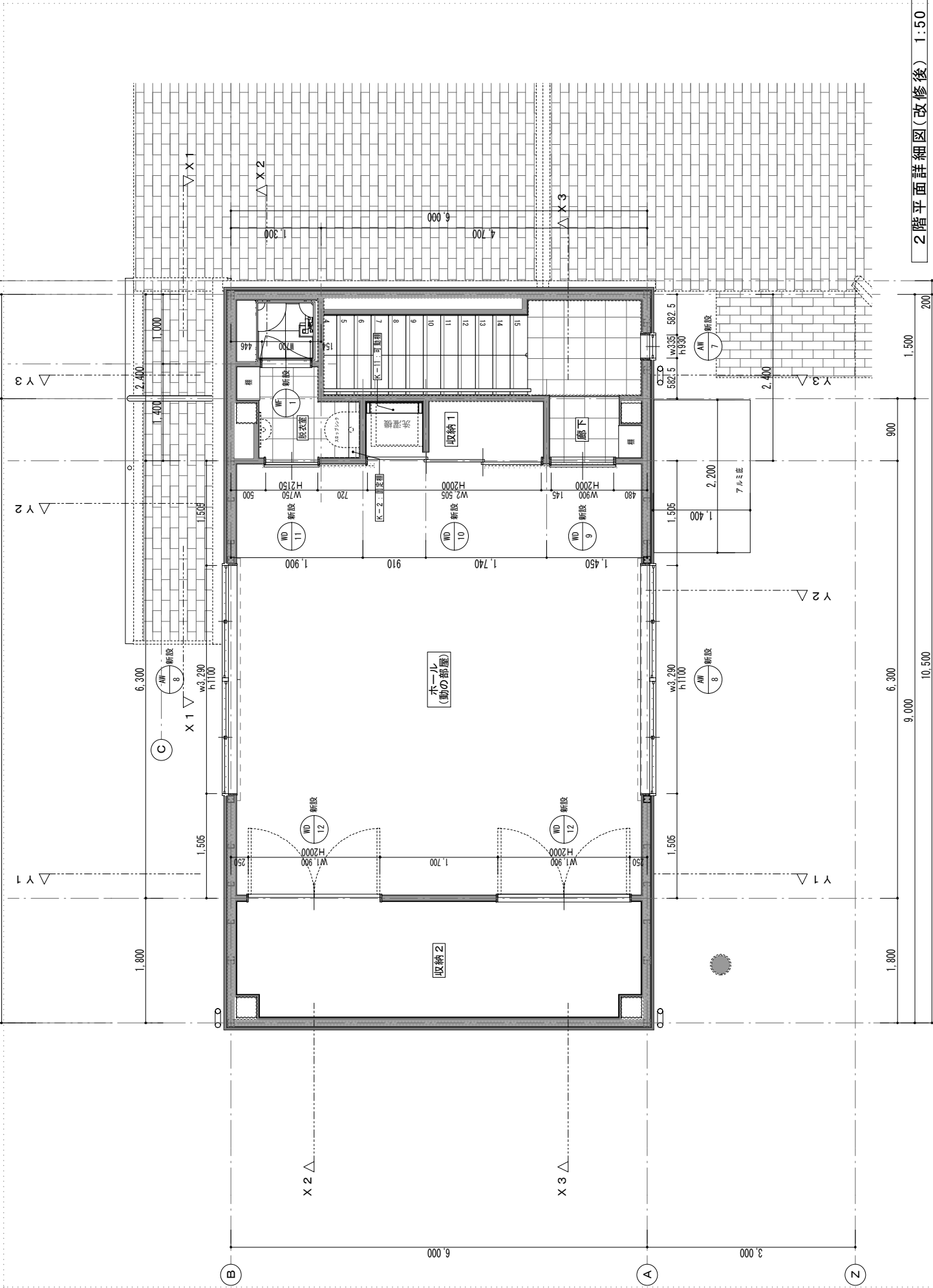
Y断面図(改修後) 1:100

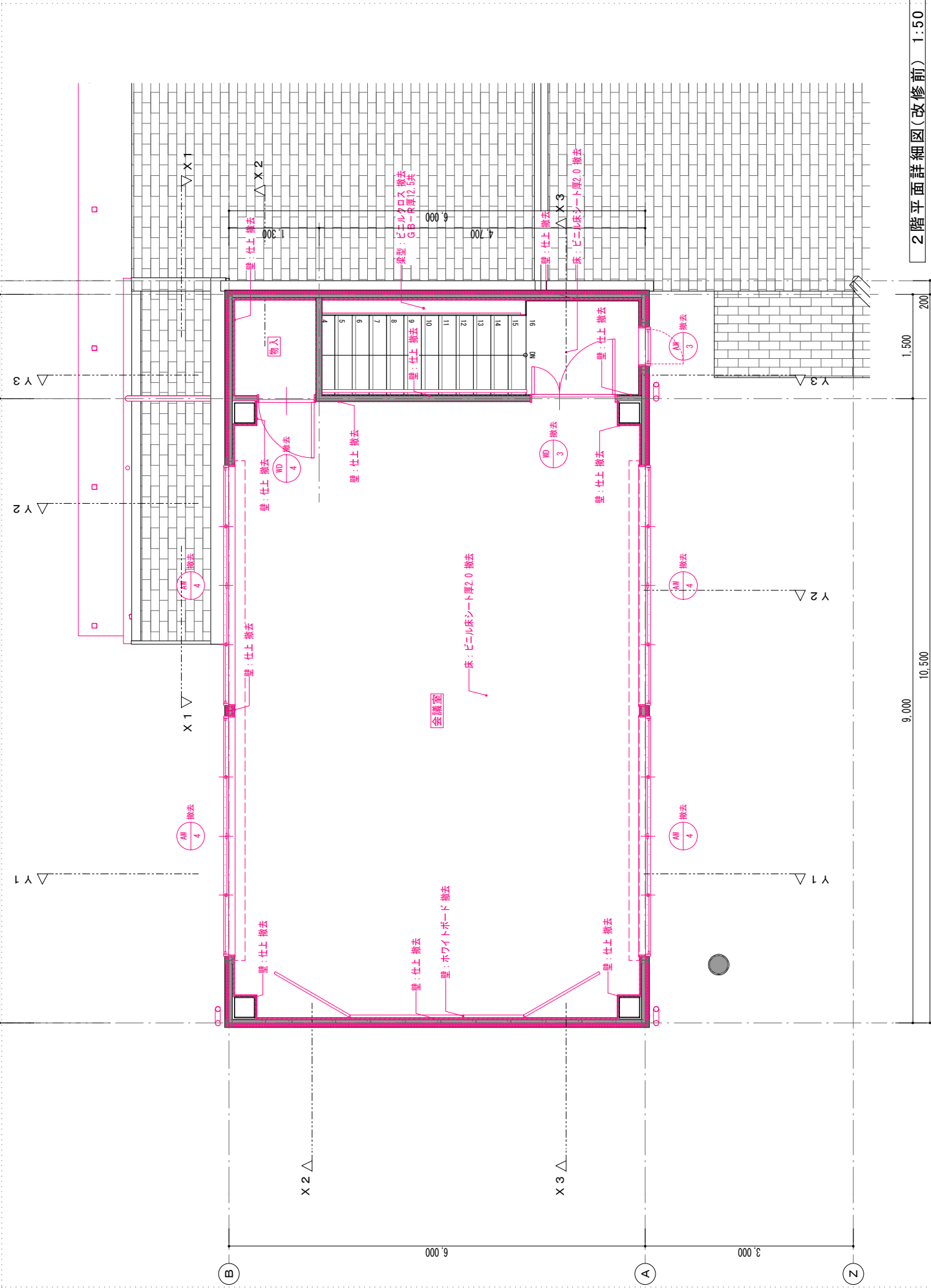


X断面図(改修前) 1:100

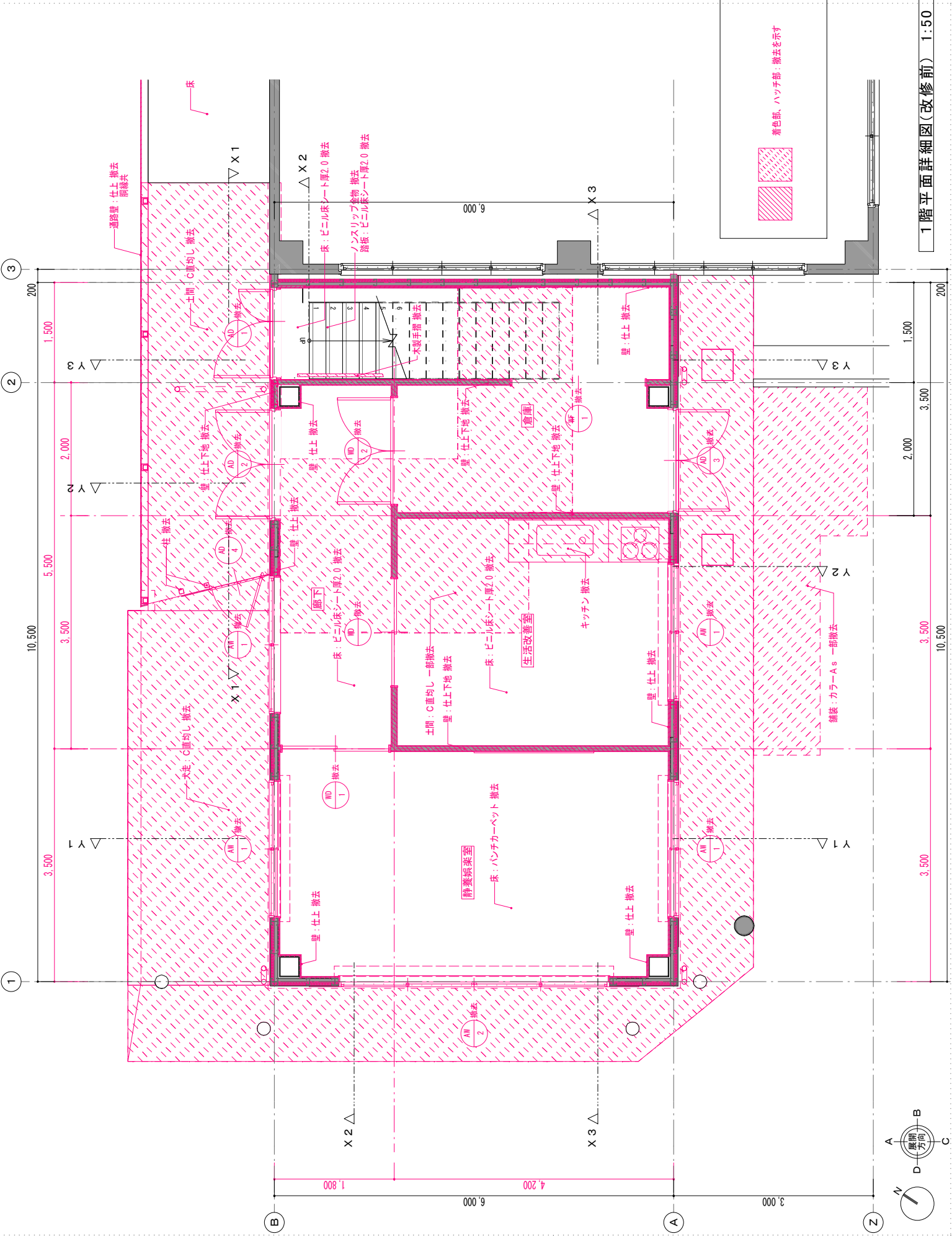


Y断面図(改修前) 1:100

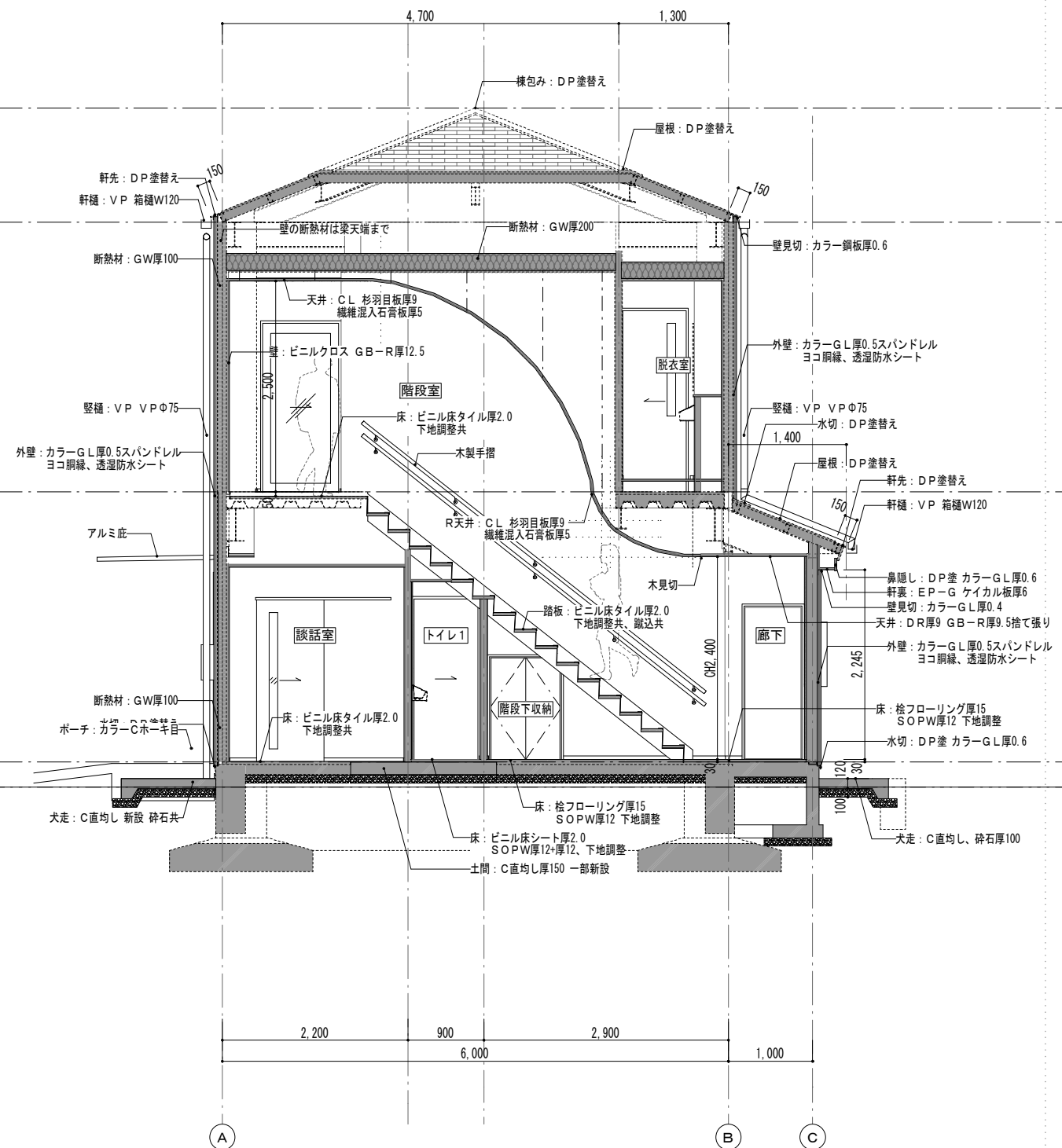
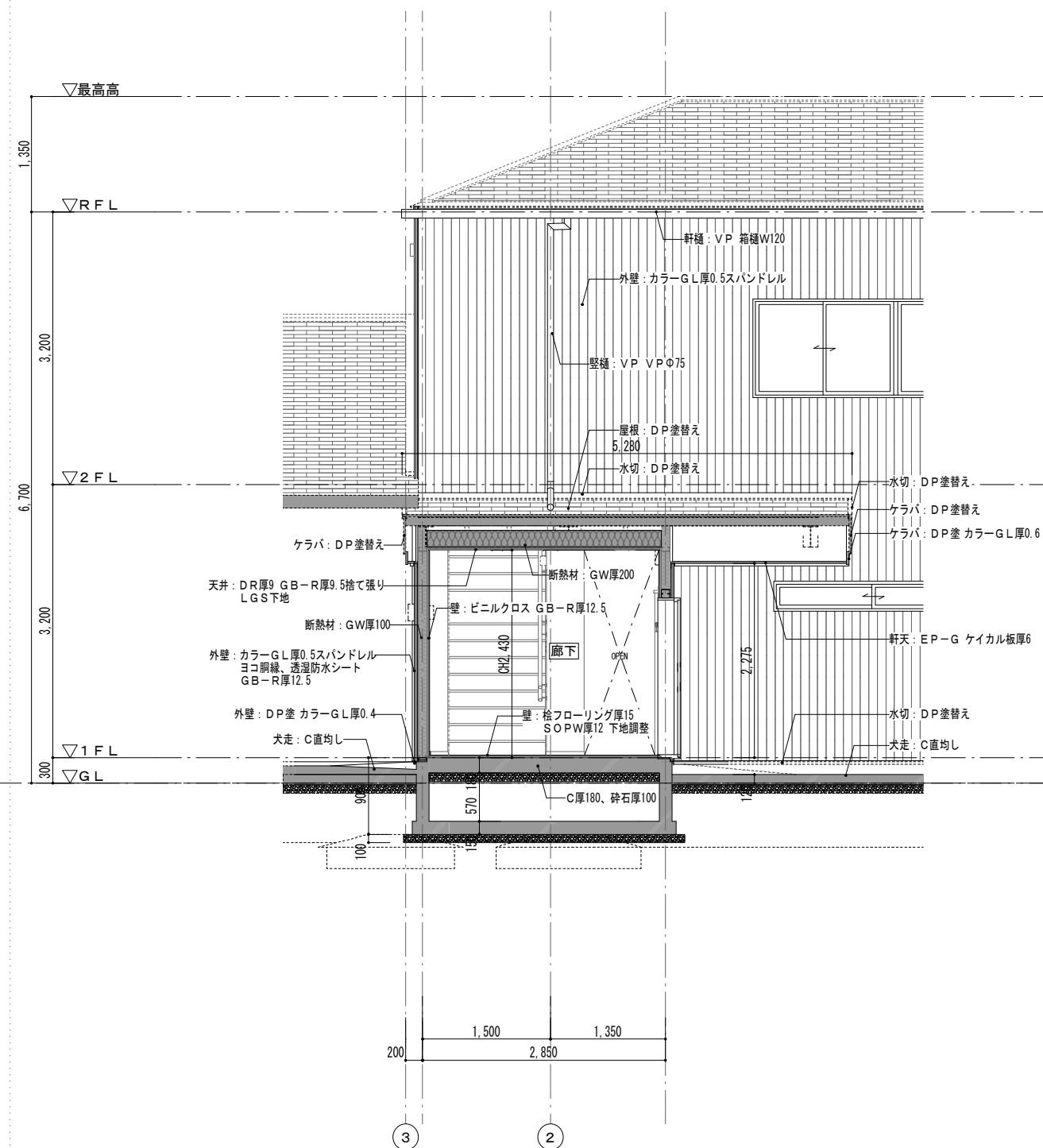


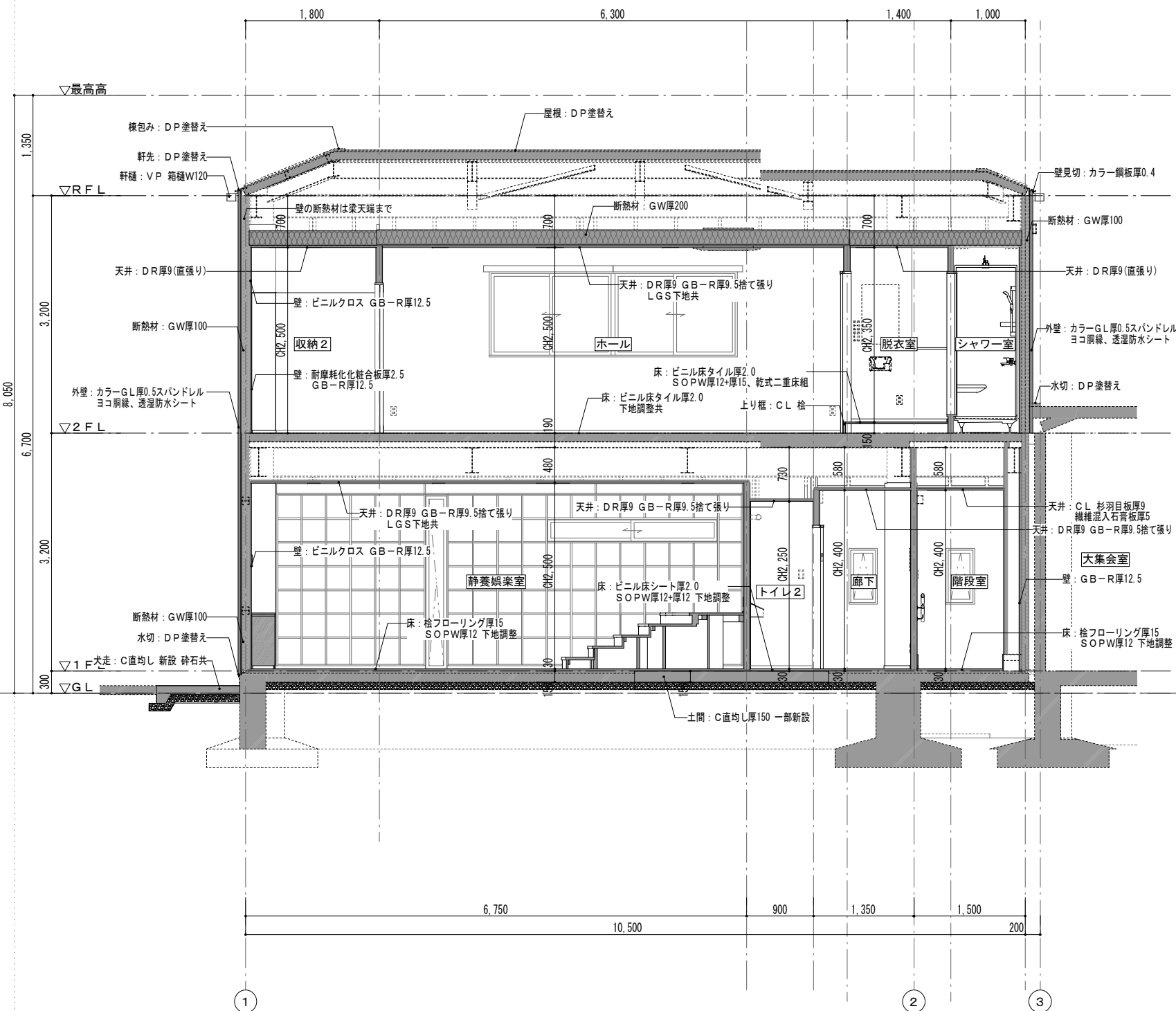


2階平面詳細図(改修前) 1:50

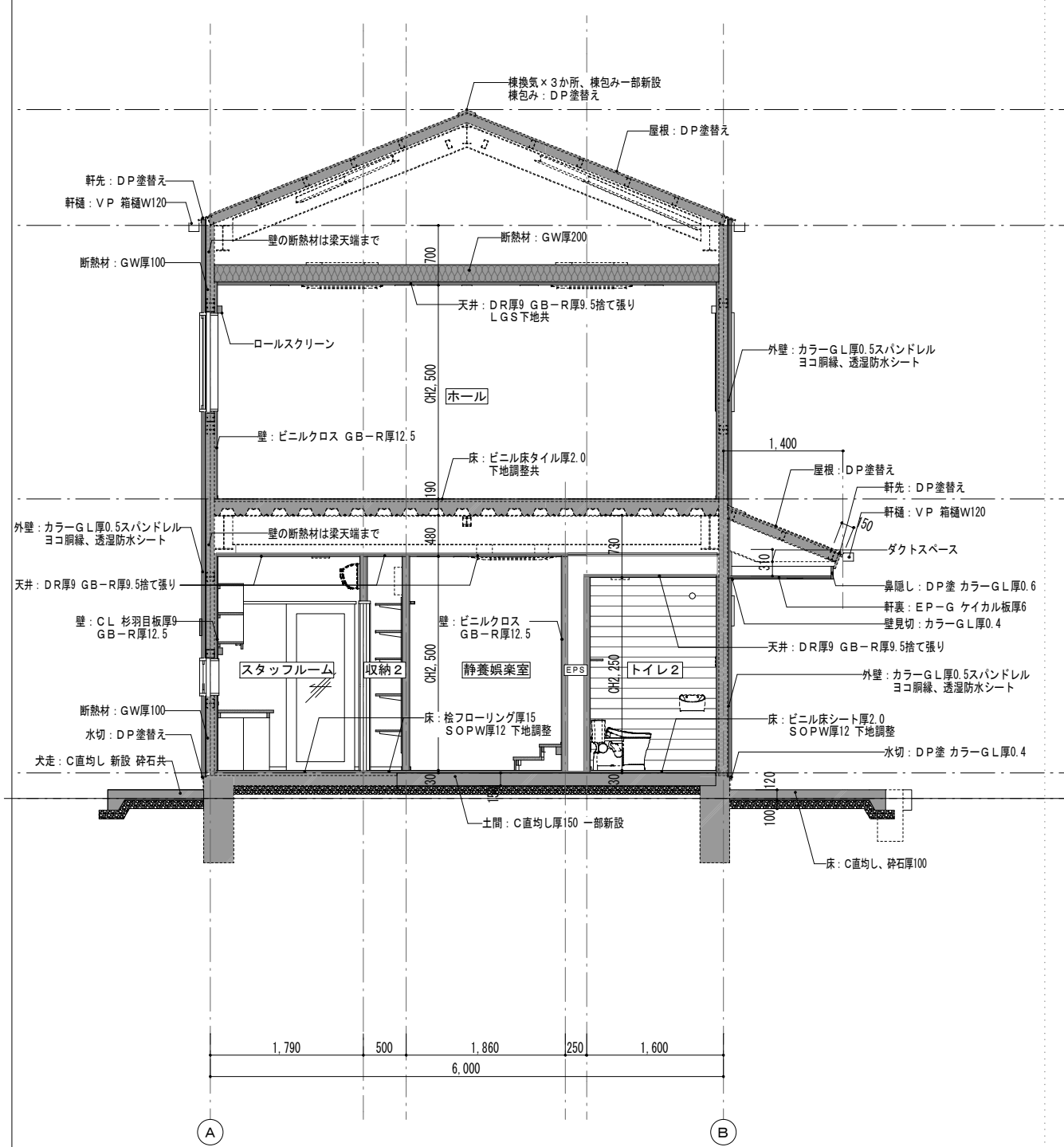


1階平面詳細図(改修前) 1:50



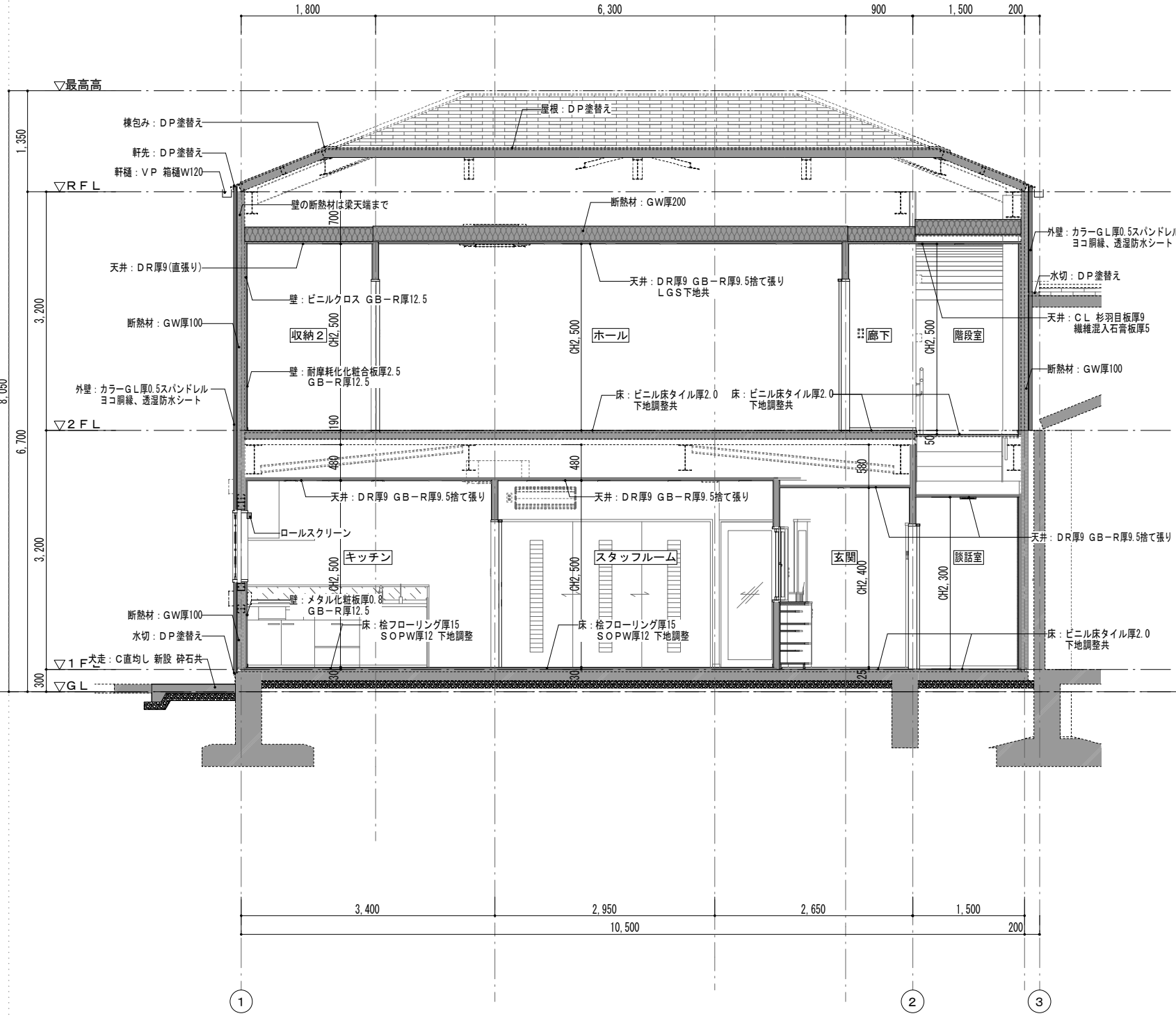


X2 断面詳細図(改修後) 1:50

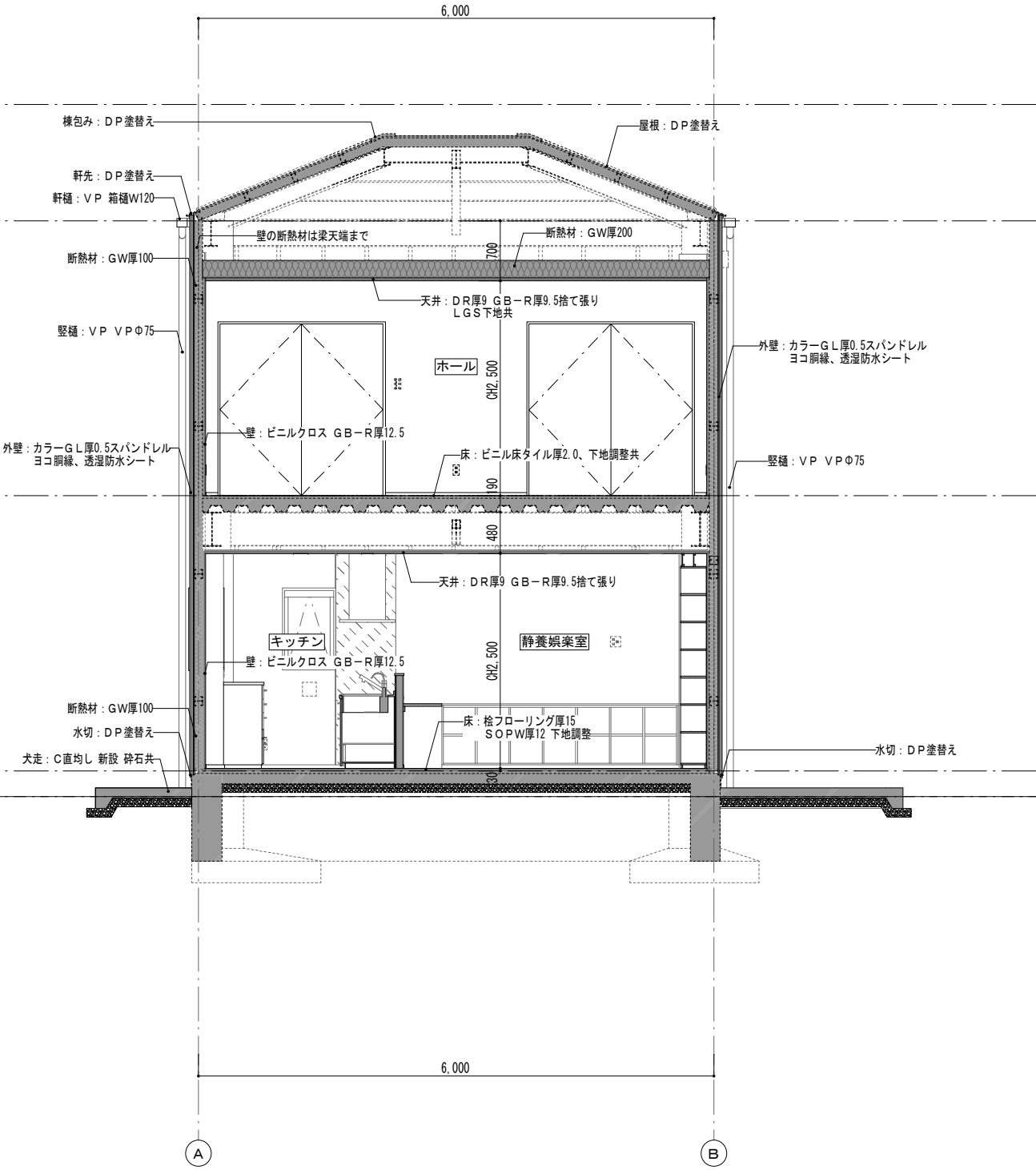


Y2 断面詳細図(改修後) 1:50

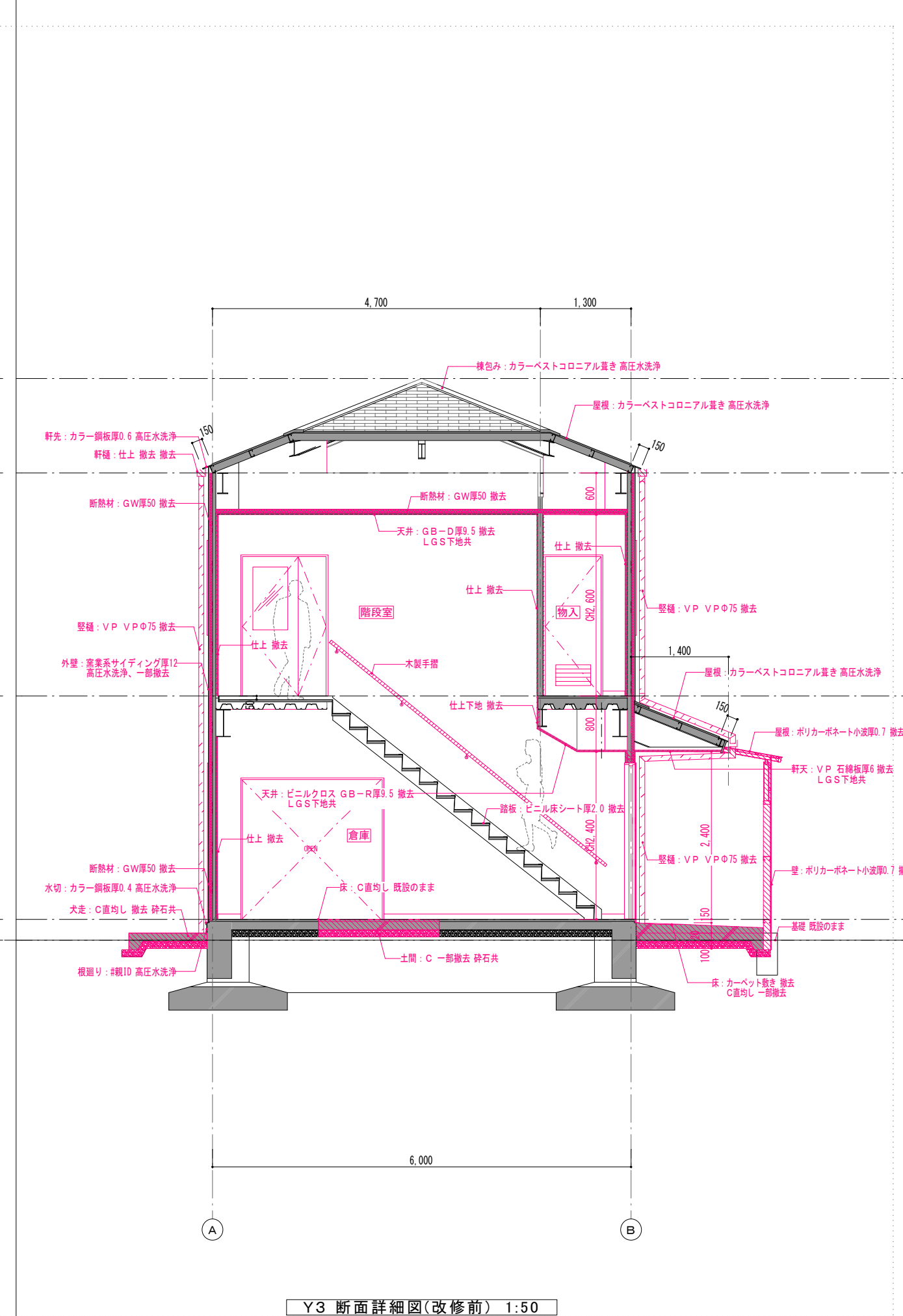
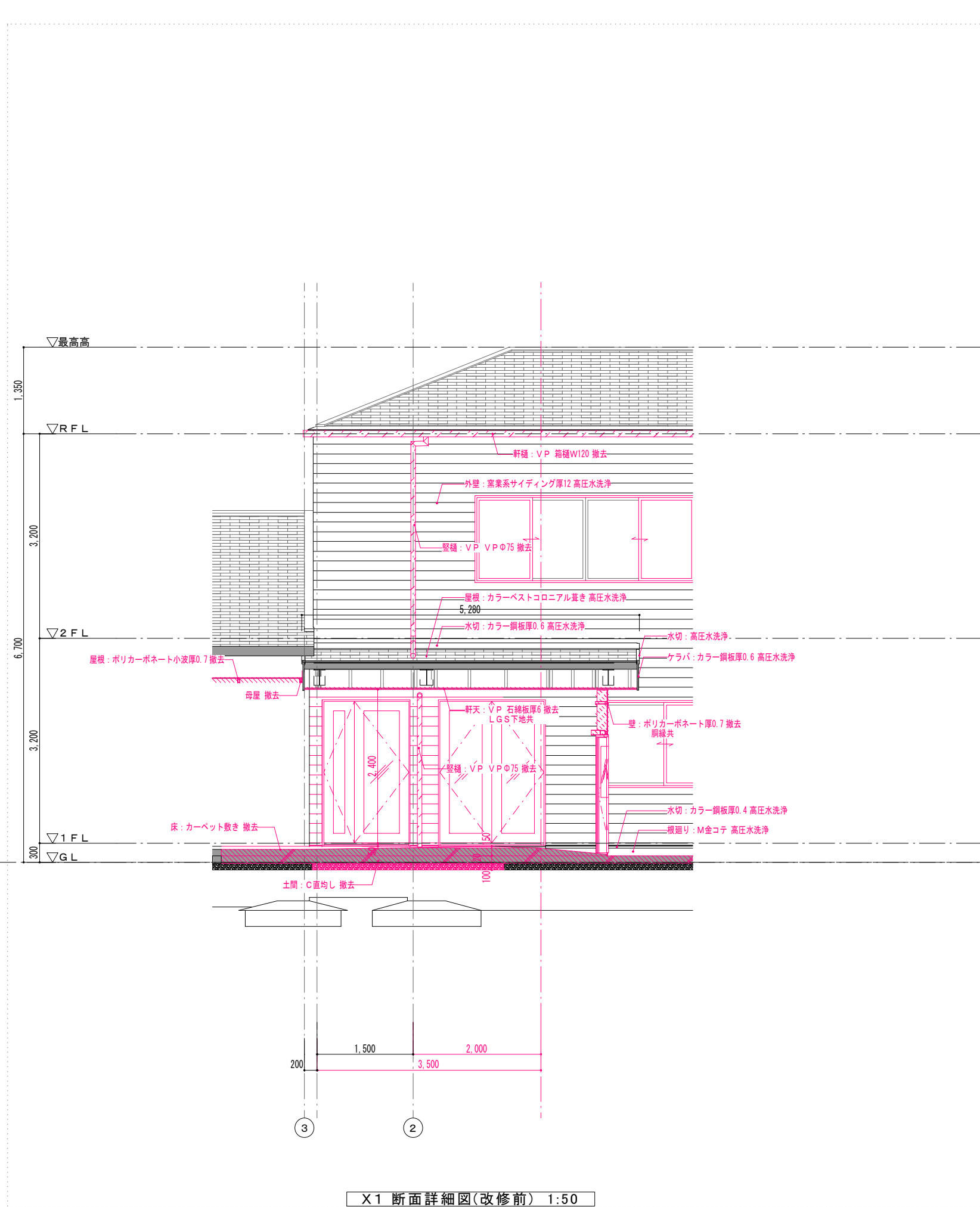


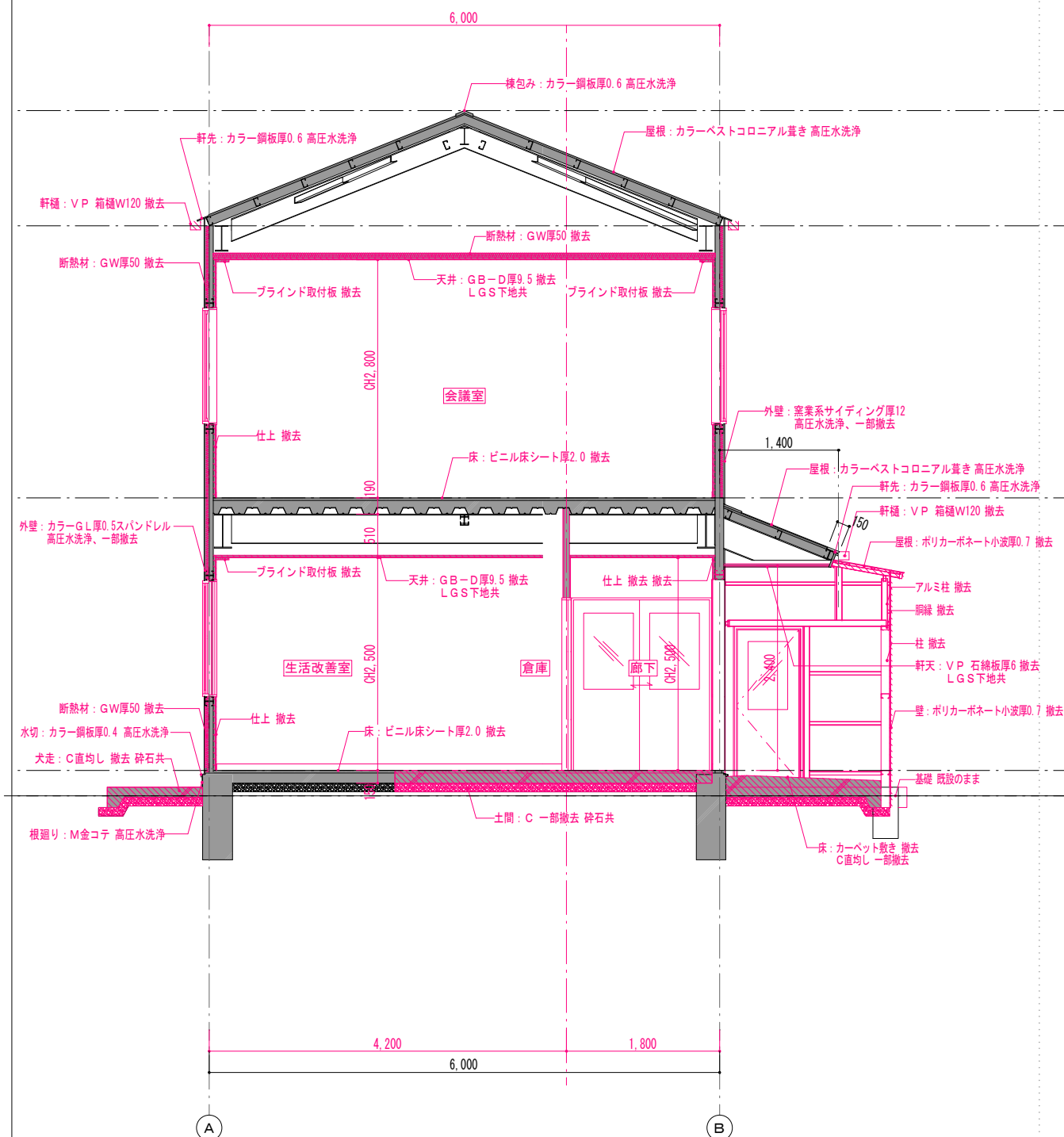
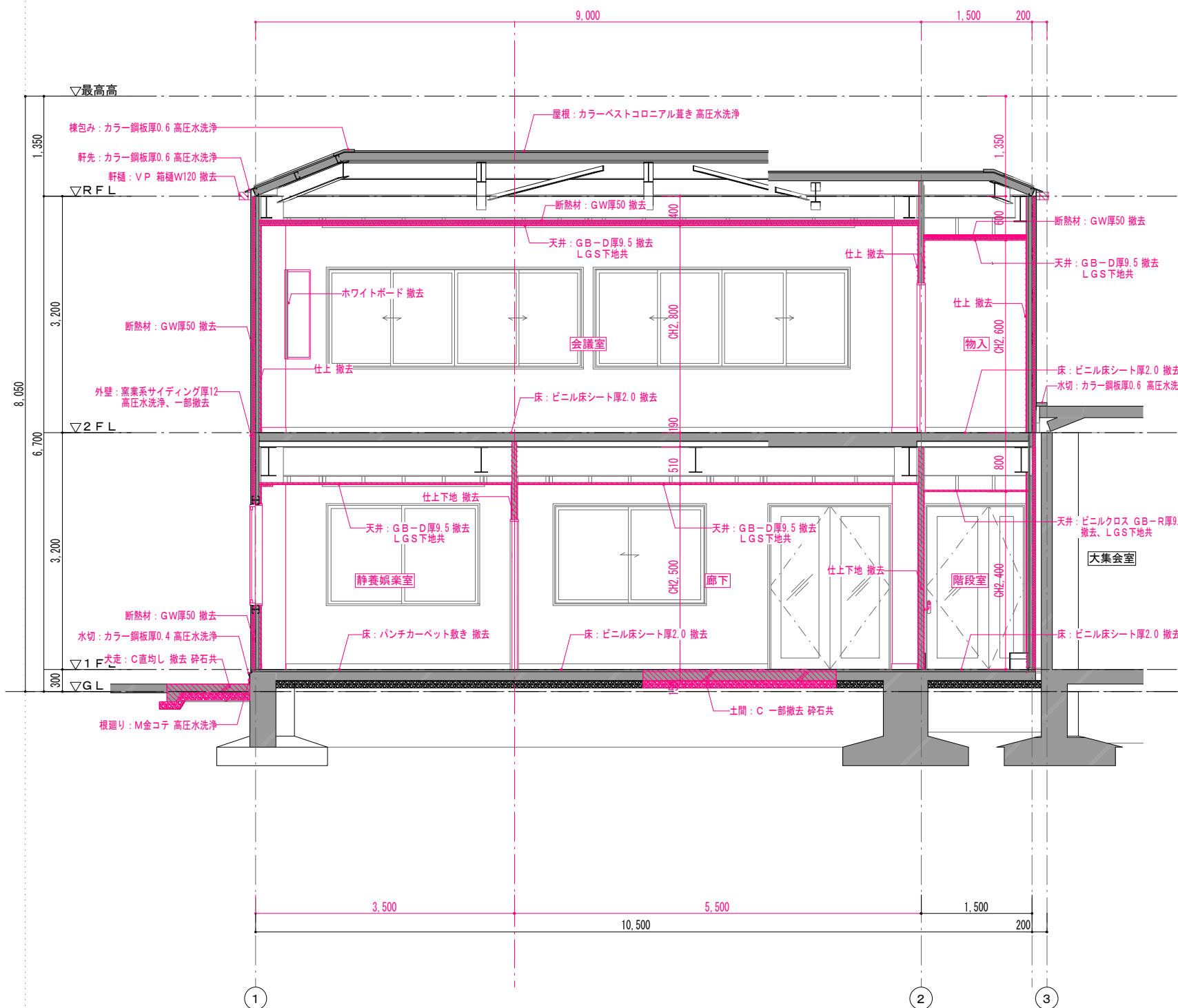


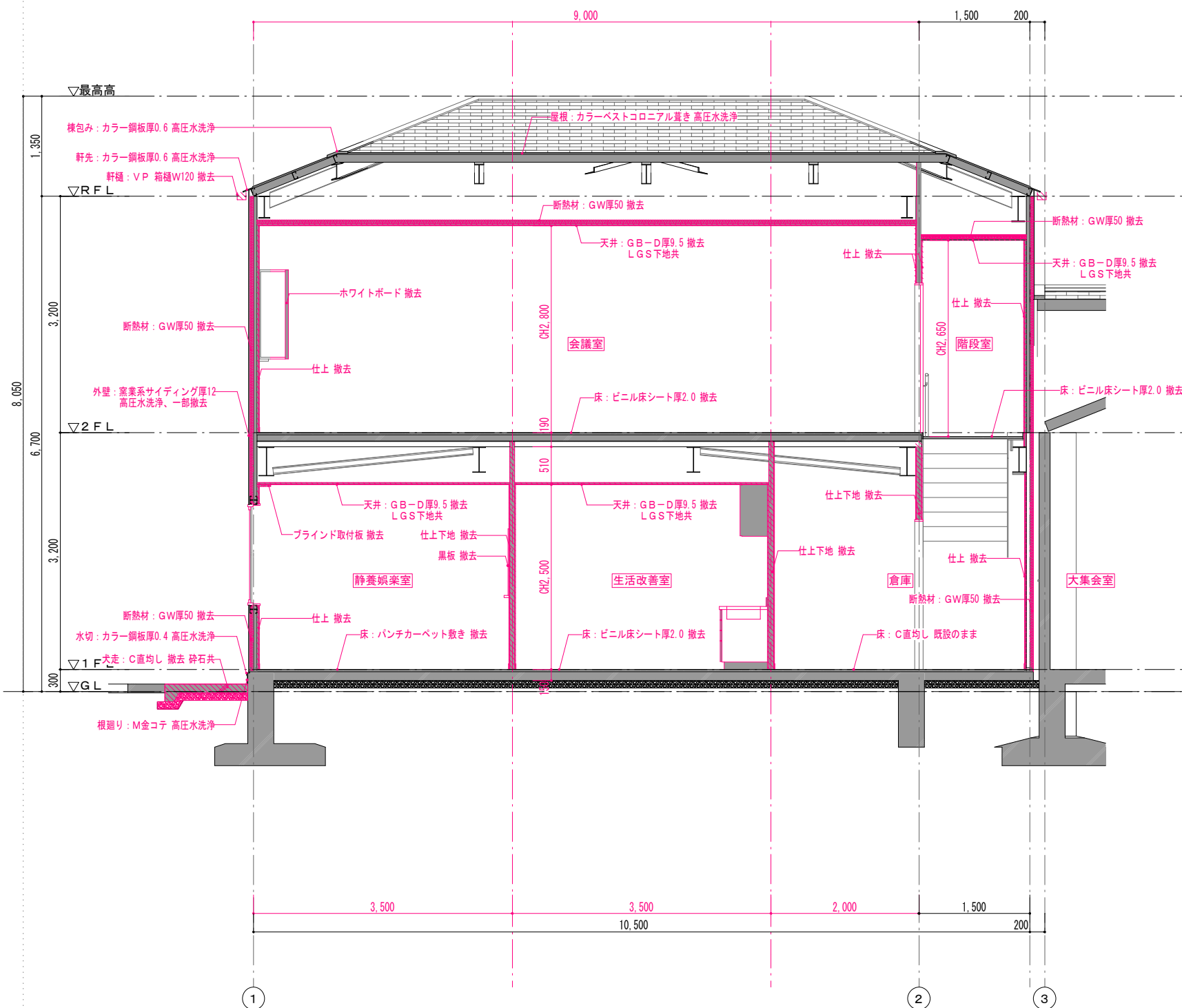
X3 断面詳細図(改修後) 1:50



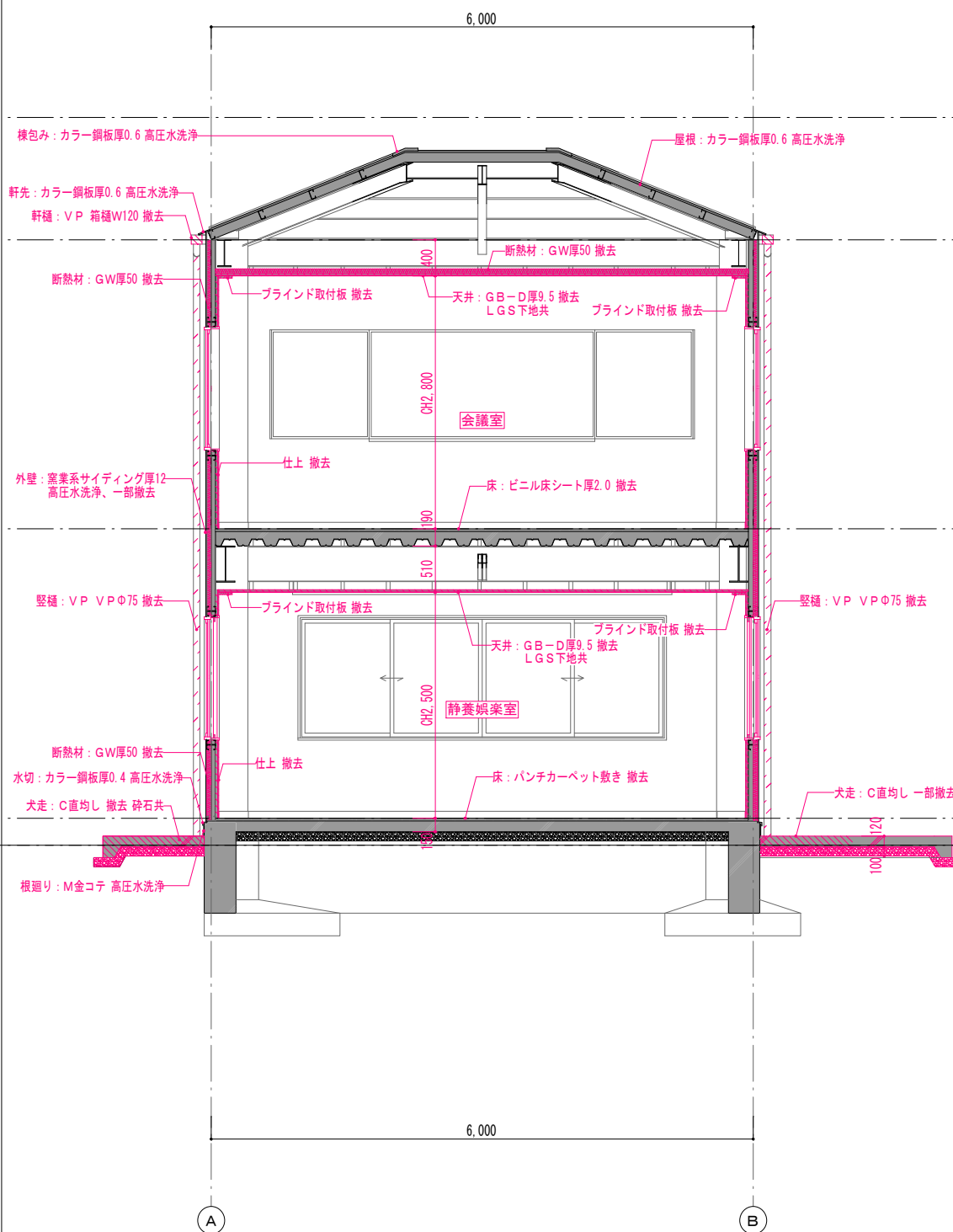
Y1 断面詳細図(改修後) 1:50



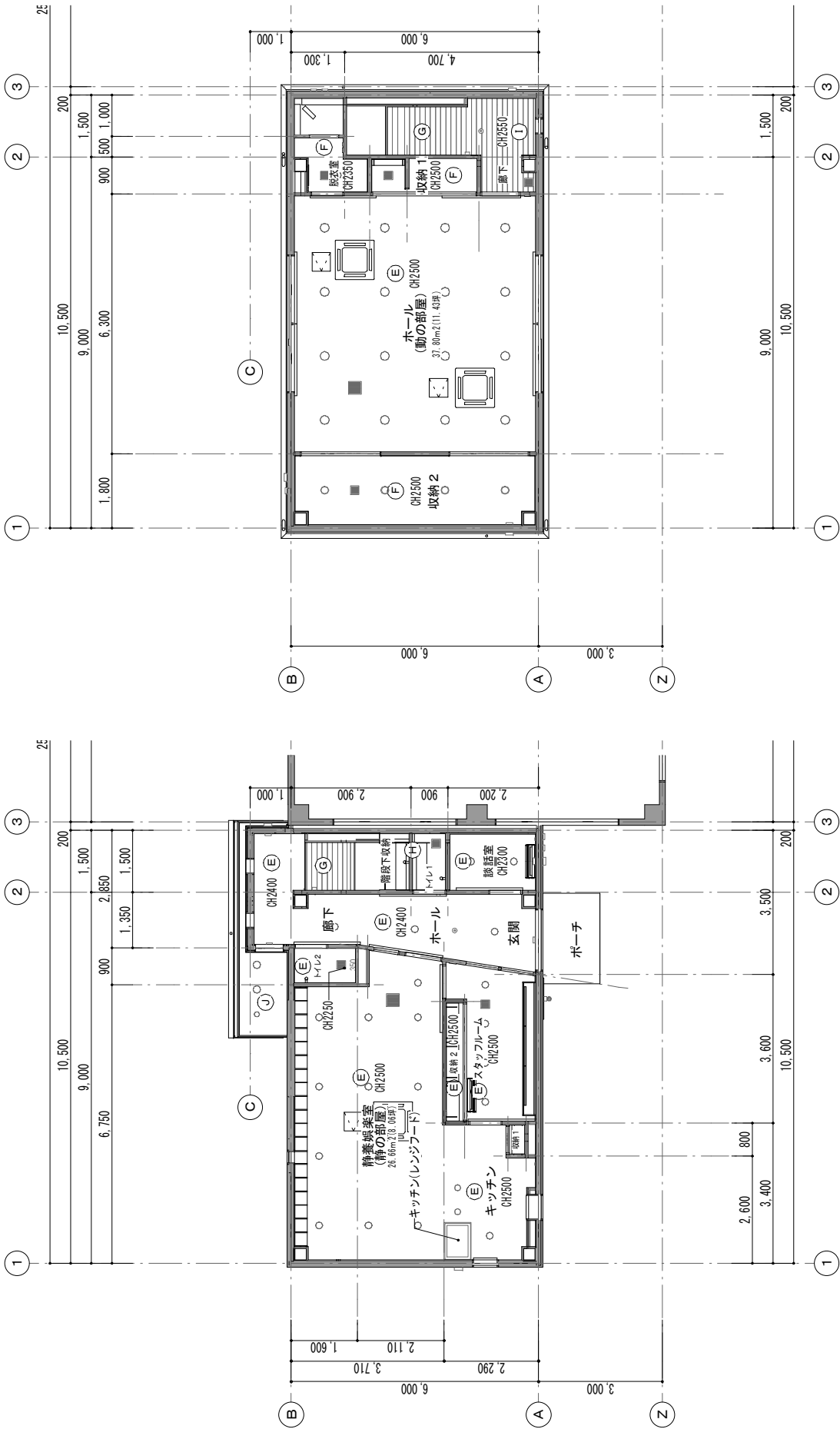




X3 断面詳細図(改修前) 1:50

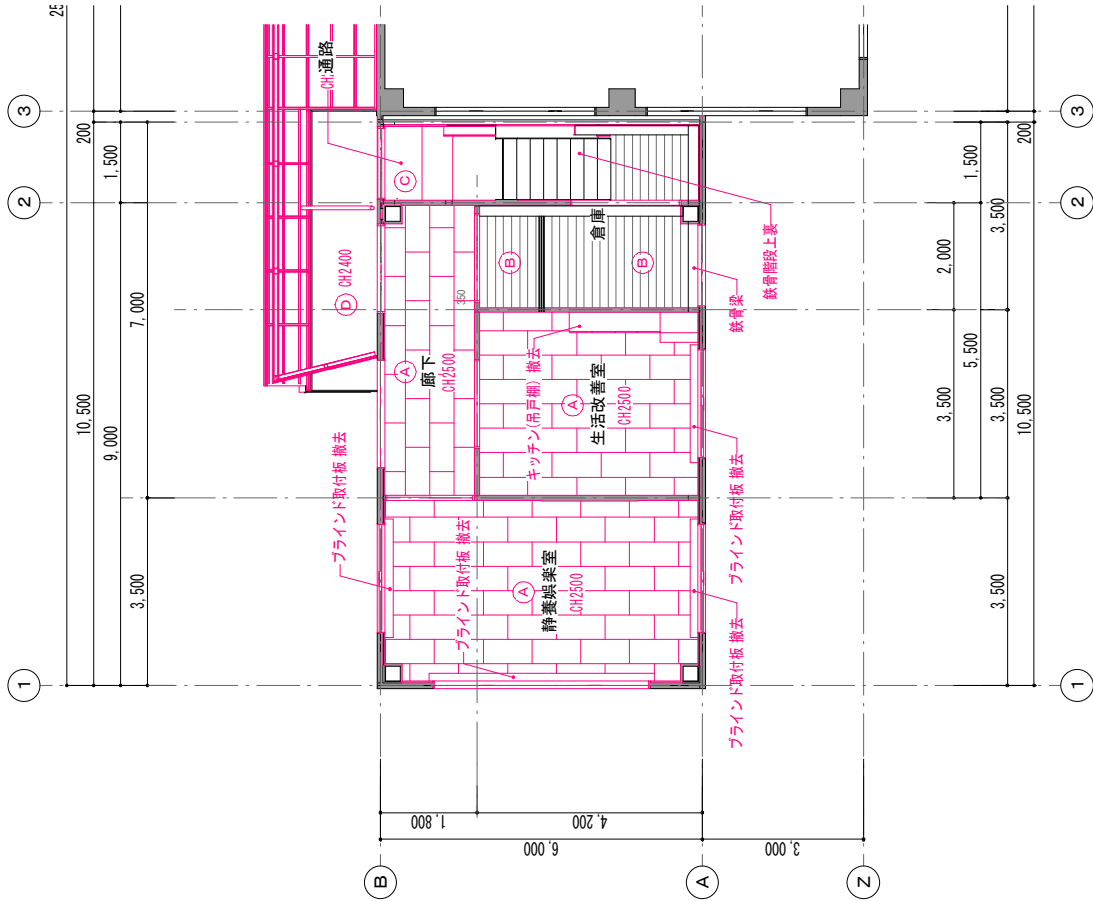


Y1 断面詳細図(改修前) 1:50

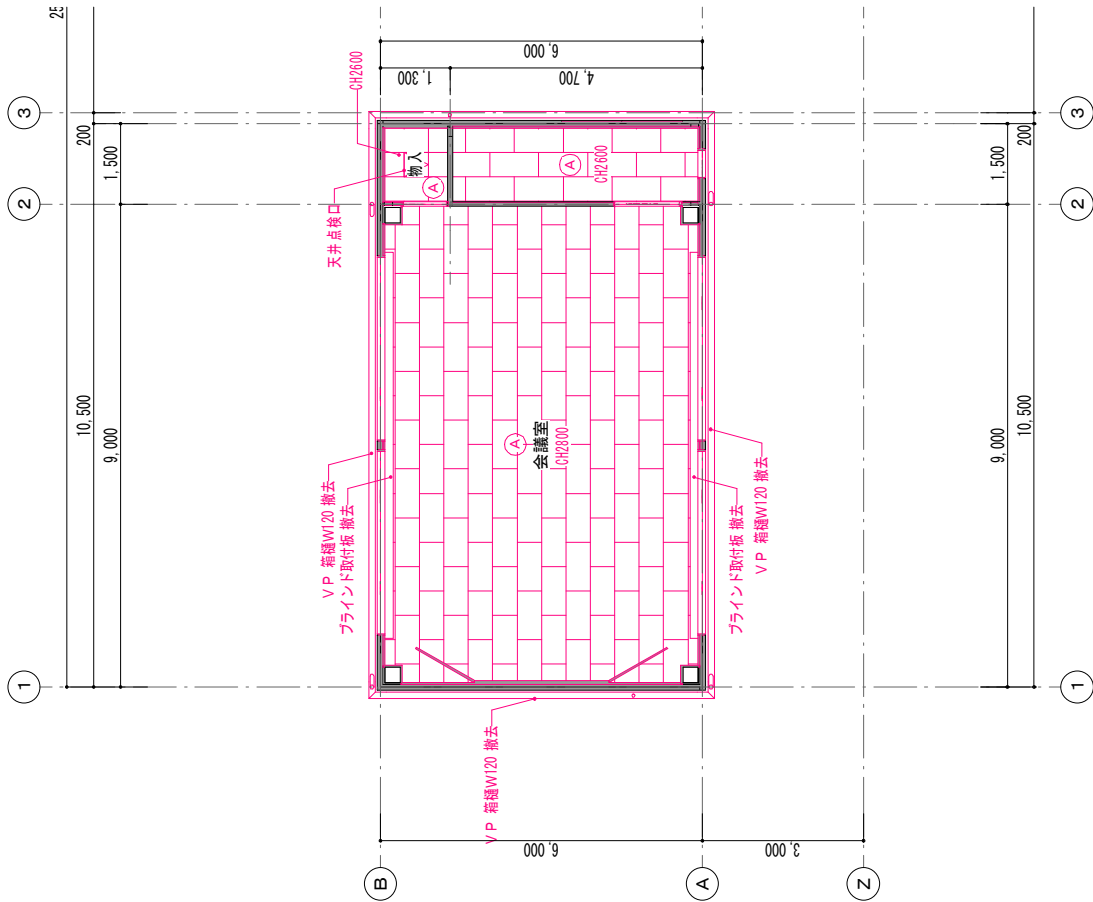


1階天井伏図(改修後) 1:100

(A)	GB-D厚9.5
(B)	デッキプレート現し
(C)	ビニルクロス GB-R厚9.5
(D)	VP 石綿板厚6
(E)	DR厚9 GB-R厚9.5捨て張り
(F)	DR厚9(直張り)
(G)	CL 杉羽目板厚9 繊維混入石膏板厚5
(H)	SOP塗替え
(I)	CL 杉羽目板厚9 繊維混入石膏板厚5
(J)	EP-G ケイカル板厚6
[点線]	天井点検口450(新設は目地タイプ)
[破線]	電気・機械設備機器(開口補強)

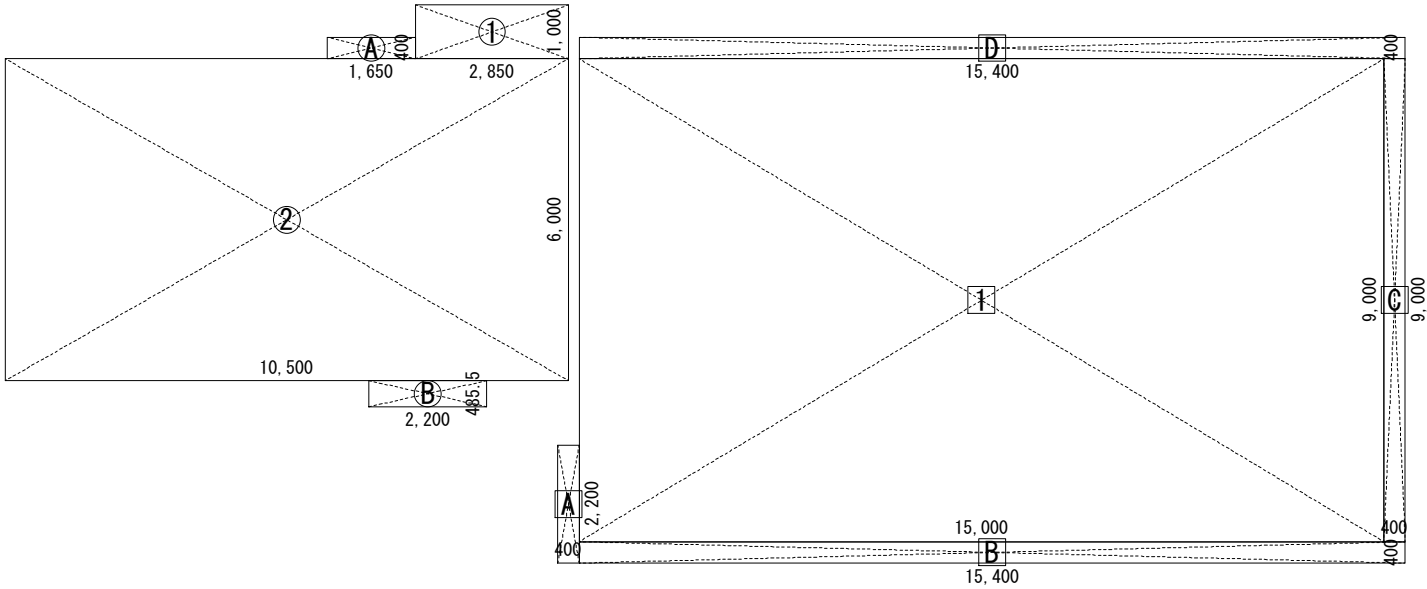


1階天井伏図(改修前) 1:100



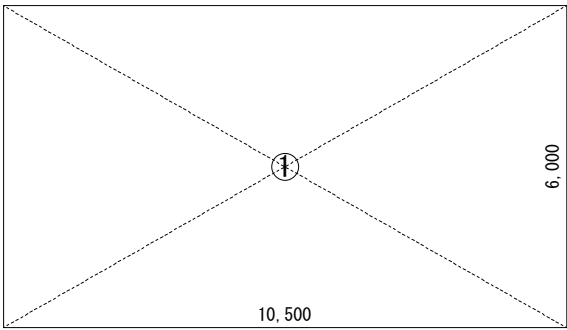
2階天井伏図(改修前) 1:100





1階 建物求積図 1:100

記号	計算式	面積
①	$2.850 \times 1.000$	2.8500
②	$10.500 \times 6.000$	63.0000
A	$1.650 \times 0.400$	0.6600
B	$2.200 \times 0.4855$	1.0681
①	$15.000 \times 9.000$	135.0000
A	$0.400 \times 2.200$	0.8800
B	$15.400 \times 0.400$	6.1600
C	$0.400 \times 9.000$	3.6000
D	$15.400 \times 0.400$	6.1600



記号	計算式	面積
①	$10.500 \times 6.000$	63.0000

2階 建物求積図 1:100

新棟 建築面積		
記号	計算式	面積
③	$①+②+A+B$	67.5781
合計		67.57

旧棟 建築面積		
記号	計算式	面積
④	$①+A+B+C+D$	151.8000
合計		151.80

新棟 1階床面積		
記号	計算式	面積
①	$①+②$	65.8500
合計		65.85

旧棟 1階床面積		
記号	計算式	面積
⑤	①	135.0000
合計		135.00

新棟 2階床面積		
記号	計算式	面積
②	①	63.0000
合計		63.00

	総建築面積			総延床面積					
	新棟 建築面積	旧棟 建築面積		新棟 延床面積		旧棟 延床面積			
				新棟 1階床面積	新棟 2階床面積	旧棟 1階床面積	旧棟 2階床面積		
2 F L	0.00	0.00	0.00	0.00	63.00	63.00	0.00	0.00	63.00
1 F L	67.57	151.80	219.37	65.85	0.00	65.85	135.00	135.00	200.85
合計	67.57	151.80	219.37	65.85	63.00	128.85	135.00	135.00	263.85





L V S 計算表

	室 名	室/居室	計 算 式						室面積 (㎡)	採光							換気							排煙											
										必要面積 (㎡)	建具 符号	建具面積 (㎡)			計 (㎡)	補正係数A≤3			有効採光 面積 (㎡)	判定	必要面積 (㎡)	建具 符号	建具面積 (㎡)			計 (㎡)	判定	必要面積 (㎡)	建具 符号	建具面積 (㎡)			計 (㎡)	判定	
												1/7	W	H		ヶ所	d	h					W	H	ヶ所										
1階	静養娯楽室 キッチン	居室		×		+		×	33.83	4.84	AW5	2.28	0.29	1	0.66	3.50	4.5	3.00	1.98	○ K	1.70	AW5	1.14	0.29	1	0.33	○ K	0.68	AW5	0.57			1		
				×		+		×			AW4	0.23	2.32	1	0.53	3.50	5.2	3.00	1.59			AW4	0.23	2.32	1	0.53			AW4	0.23	0.62		1	0.14	
											AW3	0.57	0.90	2	1.02	1.82	4.75	2.83	2.89			AW3	0.57	0.90	2	1.02			告示1436-4-へ(5)		0.30	2	0.34		
																		計	6.46							計			1.88					計	
	スタッフルーム	居室		×		+		×	7.17	1.03	AW2	3.00	0.38	1	1.14			1.00	1.14	○ K	0.36	AW2	0.56	0.38	2	0.42	○ K	0.15	AW2	0.56			2		
				×		+		×								1.00			告示1436-4-へ(5)																
																	計	1.14						計	0.42							計			
2階	ホール		×		+		×	37.80	5.40	AW8	3.15	1.10	2	6.93	4.26	1.12	1.00	6.93	○ K	1.89	AW8	0.48	1.10	4	2.11	○ K	0.76	AW8	0.48	0.45		4	0.86	○ K	
																計	6.93						計	2.11						計	0.86				

### 24時間換気計算表

### 換氣設備諸元表

居室等の一般換気量計算

[illegible]

消防法無窓階判定(1階)

必要面積	200.85	×	1/30	=	6.70	m <sup>2</sup>		
有効開口面積	AD1	1.48	×	2.20	×	1ヶ所 =	3.25	m <sup>2</sup>
	AD2	0.69	×	1.80	×	1ヶ所 =	1.25	
	AD1旧	0.77	×	2.20	×	1ヶ所 =	1.70	
	ADW1旧	1.12	×	2.10	×	1ヶ所 =	2.36	
	AW1旧	2.00	×	1.30	×	2ヶ所 =	5.20	
	AW2旧	1.50	×	1.30	×	2ヶ所 =	3.90	
	AW3旧	1.75	×	1.30	×	1ヶ所 =	2.28	
	合計							19.94
判定	○ K							

消防法無窓階判定(2階)

必要面積	63.00	×	1/30	=	2.10	㎡		
有効開口面積	AW8	0.81	×	1.10	×	4ヶ所 =	3.56	㎡
								0.00
	合 計							3.56
判定	○ K							

記 号	AD 1 新設	AD 2 新設		AW 1 新設	AW 2 新設	AW 3 新設	AW 4 新設
形 式	両開き扉	片開き扉		スベリ出し窓	スベリ出し窓、FIX窓付き連窓	スベリ出し窓	タテスベリ出し窓
数 量	1	1		1	1	2	1
※ 図							
扉 仕 上	アルミ製 100 半外付	アルミ製 半外付		アルミ製+樹脂製	アルミ製+樹脂製	アルミ製+樹脂製	アルミ製+樹脂製
枠 仕 上	WP 杉厚25	C.L 杉厚25		C.L 杉厚25	C.L 杉厚25	C.L 杉厚25	C.L 杉厚25
ガラス	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)		フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)
金物	標準金物一式、丁番、シリゲ-錠、DC、ﾌﾞｯｼｭﾊﾞﾝﾄﾞﾙ、SUS下枠	標準金物一式、ﾊﾞｰﾝﾄﾞﾙ、シリゲ-錠、SUS下枠		標準金物一式、カムラッチ	標準金物一式、カムラッチ	標準金物一式、カムラッチ	標準金物一式、カムラッチ
備考		06920 規格寸法		横引きロール網戸、03605 規格寸法	横引きロール網戸	横引きロール網戸、06009 規格寸法	横引きロール網戸

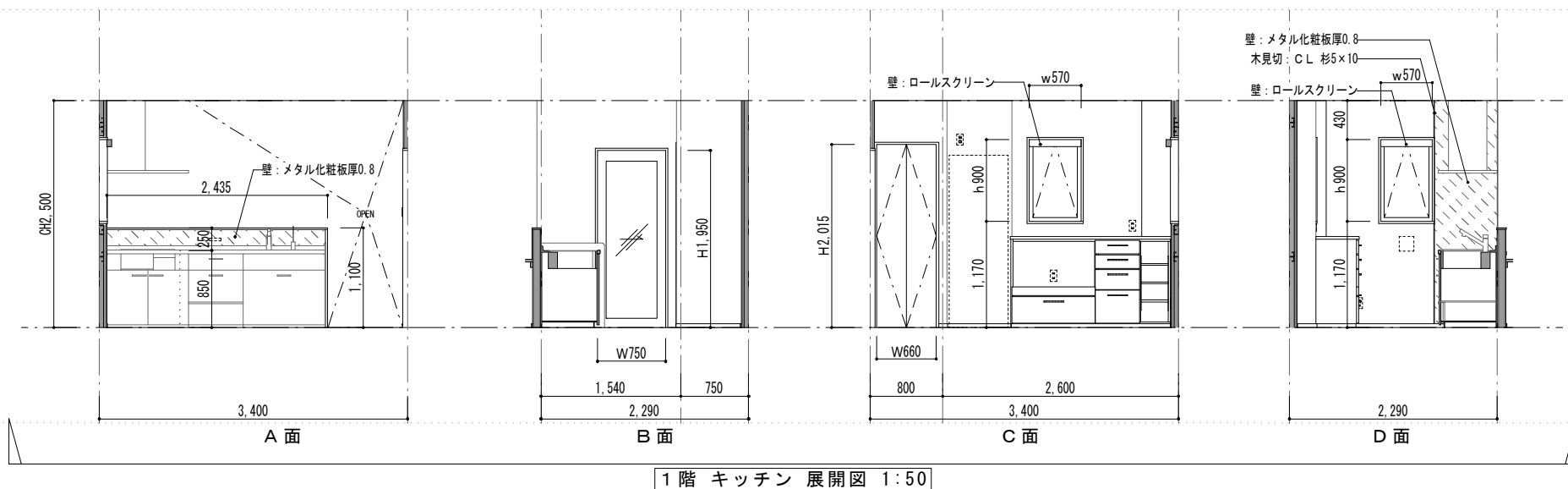
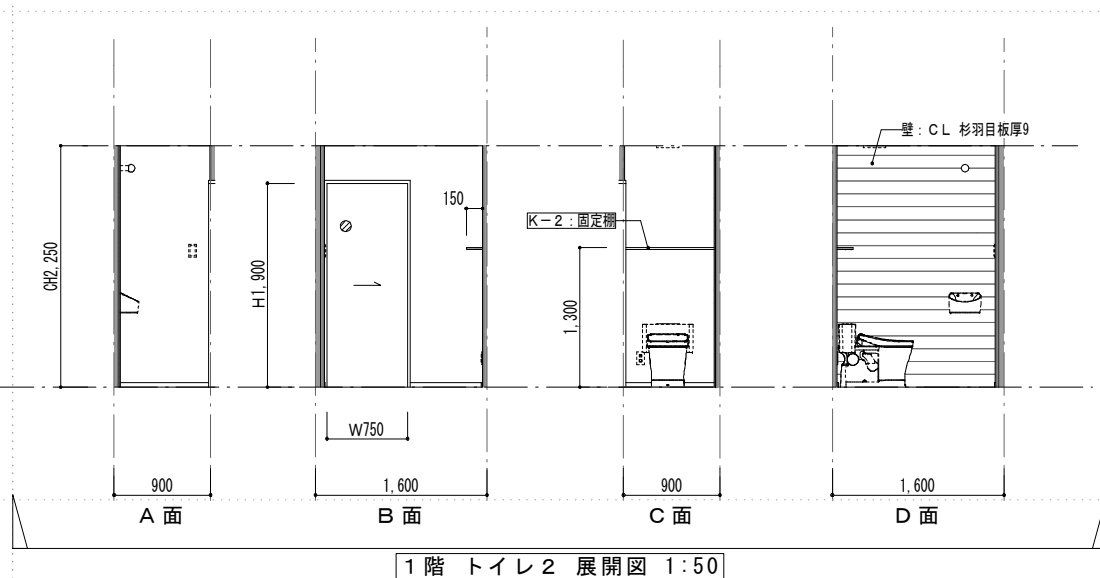
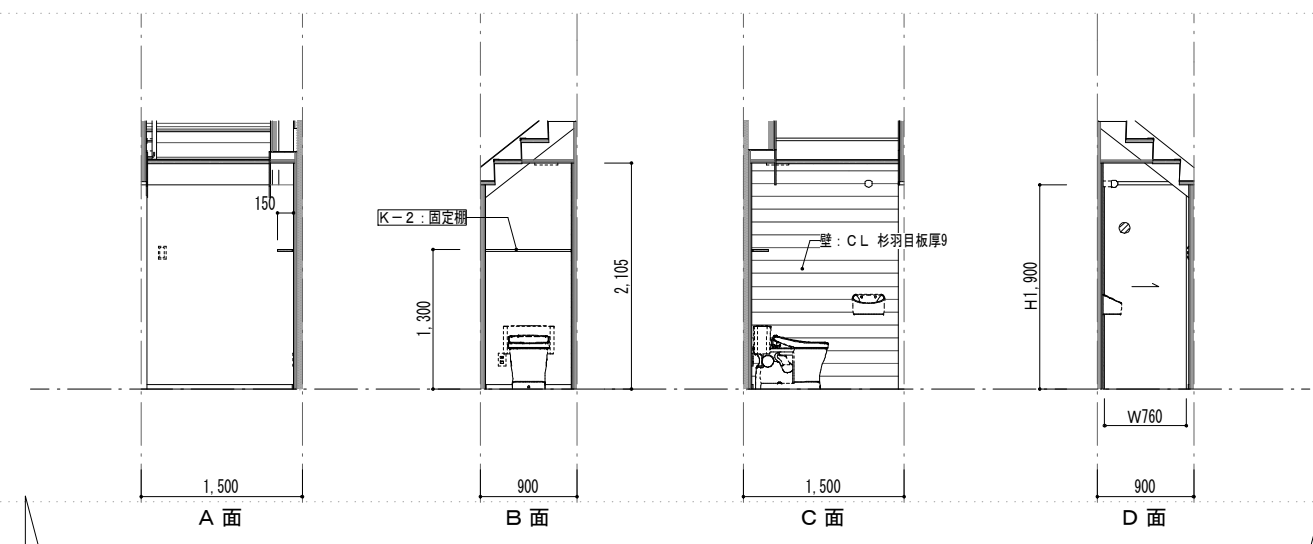
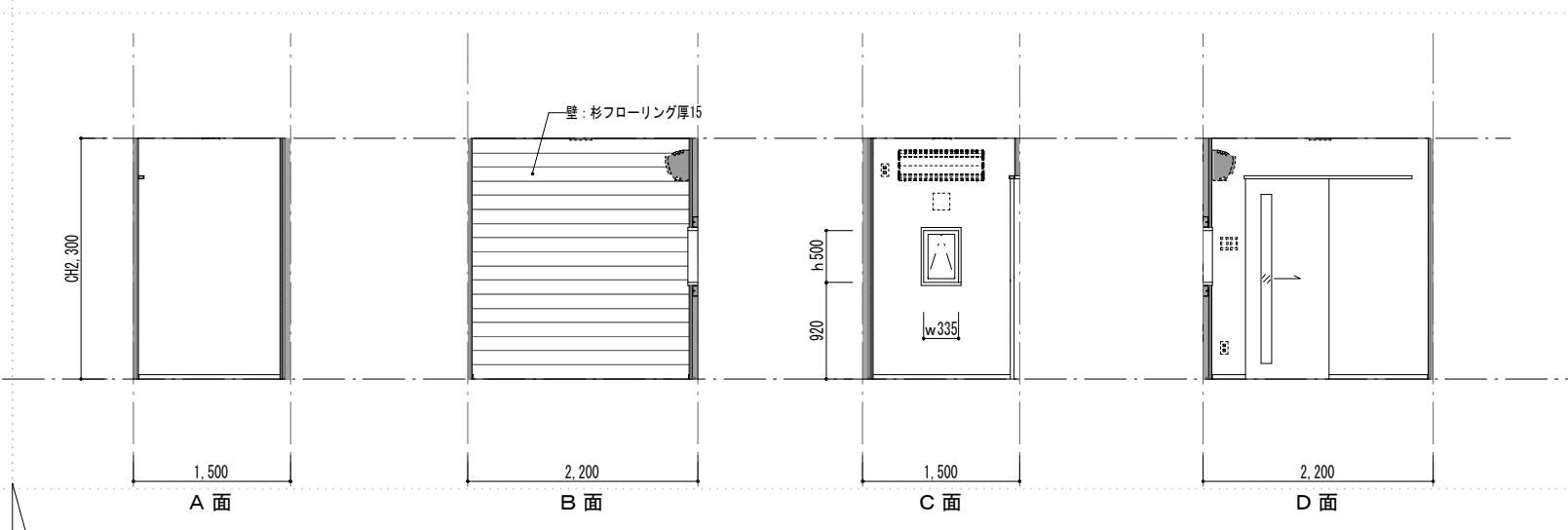
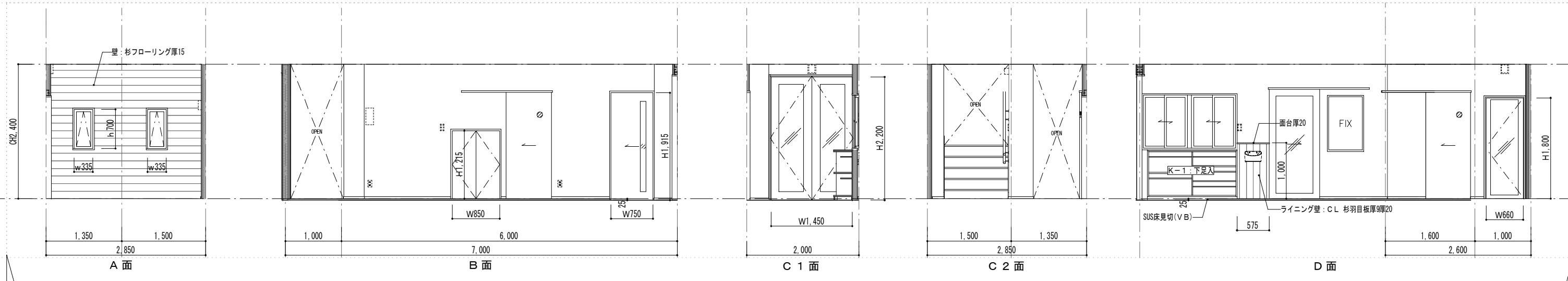
記 号	AW 5 新設	AW 6 新設	AW 7 新設	AW 8 新設		WW 1 新設	WW 2 新設
形 式	2枚引違い窓	スベリ出し窓	スベリ出し窓	引違い連窓		2枚引違い連窓	FIX窓
数 量	1	2	1	2		1	1
※ 図							
扉 仕 上	アルミ製+樹脂製	アルミ製+樹脂製	アルミ製+樹脂製	アルミ製+樹脂製		C.L 杉 戸厚30、タテ框手掛け加工W15	押縁 C.L 杉15×10
枠 仕 上	C.L 杉厚25	C.L 杉厚25	C.L 杉厚25	C.L 杉厚25		C.L 杉厚25 見込み110、方立：C.L 杉70×100	C.L 杉厚25 見込み110
ガラス	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)	フロート厚4-A14-Low-E厚4(クリア)		強化ガラス板厚4	強化ガラス板厚4
金物	標準金物一式	標準金物一式、カムラッチ	標準金物一式、カムラッチ	標準金物一式、クレセント		7&Tﾊﾞｰ、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)	
備考	スライド網戸	横引きロール網戸、03607 規格寸法	横引きロール網戸	引違い網戸、16511 規格寸法連窓			

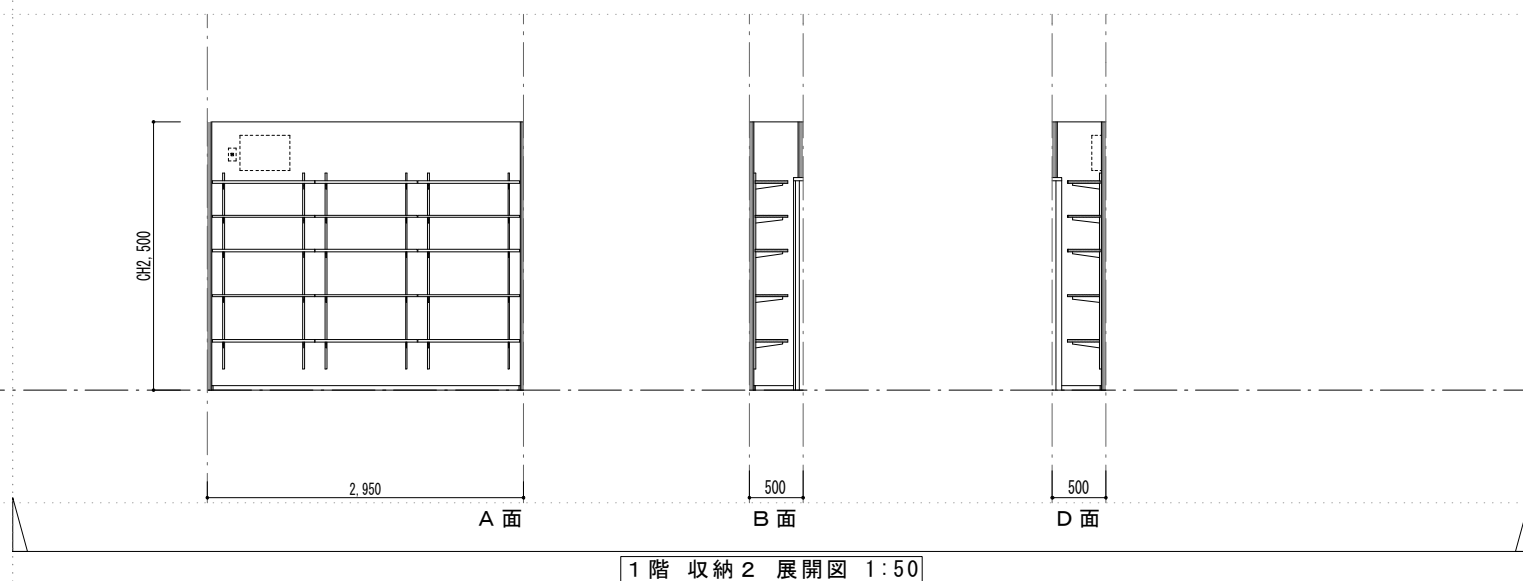
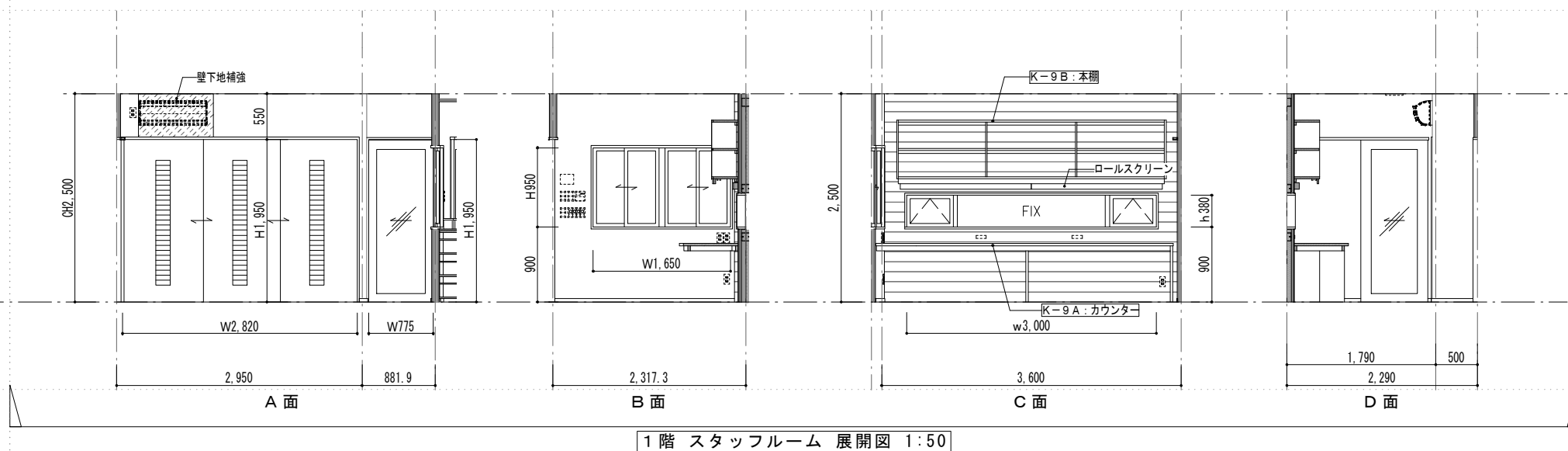
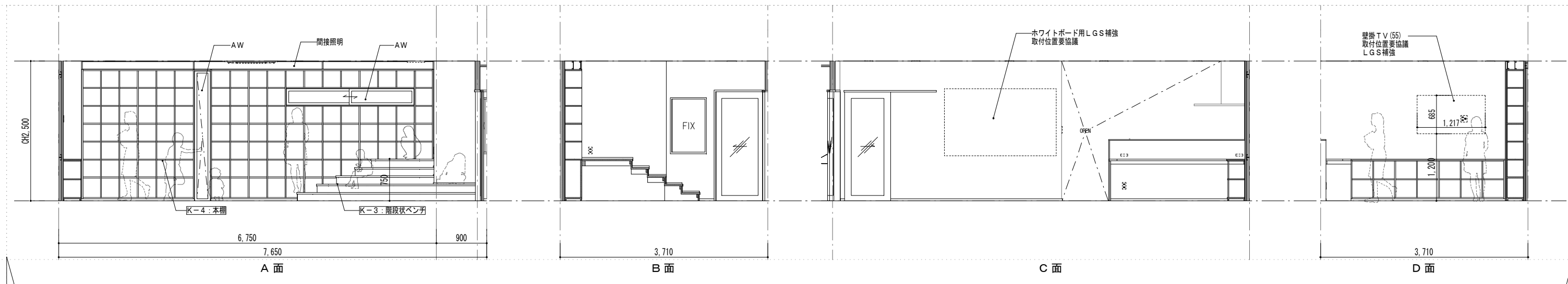
記 号	WD 1 新設	WD 2 新設	WD 3 新設	WD 4 新設	WD 4 新設	WD 5 新設	WD 6 新設
形 式	片引きフラッシュ框戸(ソフト開閉動作)	片引きフラッシュ戸(ソフト開閉動作)	両開きフラッシュ扉	片引きフラッシュ戸(ソフト開閉動作)	片引きフラッシュ戸(ソフト開閉動作)	片引き框戸(ソフト開閉動作)	両開き戸
数 量	1	1	1	1	1	1	1
※ 図							
扉 仕 上	C.L 杉 戸厚36、タテ框手掛け加工W20	C.L シナ合板 戸厚36	C.L シナ合板、収納側：ラウン合板 戸厚36	C.L シナ合板 戸厚36	C.L シナ合板 戸厚36	C.L 杉、腰板：シナ合板 戸厚36、タテ框手掛け加工W20	C.L シナ合板 戸厚36
枠 仕 上	C.L 杉厚25 見込み110、上枠厚30 見込み150	C.L 杉厚25 見込110	C.L 杉厚25 見込110	C.L 杉厚25 見込110	C.L 杉厚25 見込110	C.L 杉厚25 見込110	C.L 杉厚25 見込110
ガラス	アクリル板(透明)厚5	アクリル板(透明)厚5	-	アクリル板(透明)厚5	アクリル板(透明)厚5	アクリル板(透明)厚5	-
金物	引戸加-ﾀﾞｰ(ﾊﾞｽﾄ：No790)、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、据込力マ錠(両面サムターン)	引戸加-ﾀﾞｰ(ﾊﾞｽﾄ：No790)、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、引手(ﾊﾞｽﾄ：No350a古代ﾌﾞﾛｽﾞ)、据込力マ錠(両面サムターン)	面付けシリゲ-錠、丁番、ｸﾏｽﾞ(ﾊﾞｽﾄ：No385)、床付戸当り(室金物：TOATO A B1)、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾌﾞｯｼｭﾊﾞﾝﾄﾞﾙ	引戸加-ﾀﾞｰ(ﾊﾞｽﾄ：No790)、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、引手(ﾊﾞｽﾄ：No350a古代ﾌﾞﾛｽﾞ)、据込力マ錠(表示)	引戸加-ﾀﾞｰ(ﾊﾞｽﾄ：No790)、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、引手(ﾊﾞｽﾄ：No350a古代ﾌﾞﾛｽﾞ)、据込力マ錠(表示)	引戸加-ﾀﾞｰ(ﾊﾞｽﾄ：No790)、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、据込力マ錠(両面サムターン)	面付けシリゲ-錠、丁番、ｸﾏｽﾞ(ﾊﾞｽﾄ：No3540)、床付戸当り(室金物：TOATO A B1)、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾌﾞｯｼｭﾊﾞﾝﾄﾞﾙ
備考							

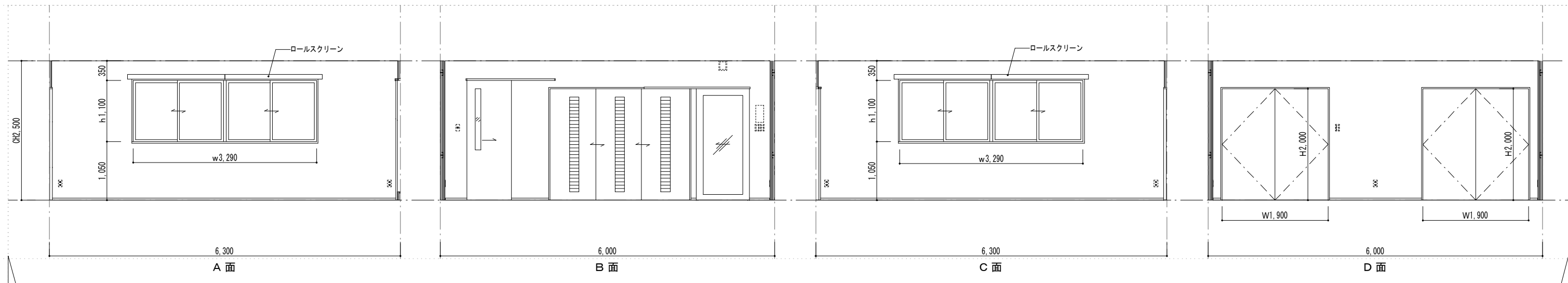
記 号	WD 7 新設	WD 8 新設	WD 9 新設	WD 10 新設	WD 11 新設	WD 12 新設	
形 式	片引き框戸(ソフト開閉動作)	3枚連動引違い上吊戸(ソフト開閉動作)	片引きフラッシュ框戸(ソフト開閉動作)	3枚連動引違いフラッシュ戸(ソフト開閉動作)	片引きフラッシュ戸(ソフト開閉動作)	両開きフラッシュ扉	
数 量	1	1	1	1	1	2	
※ 図							
扉 仕 上	C.L 杉、腰板：シナ合板 戸厚36	C.L シナ合板、戸厚36	C.L シナ合板 戸厚36	C.L シナ合板 戸厚36	C.L シナ合板 戸厚36	ホール側：ビニルクロス、収納側：ラウン合板 戸厚36	
枠 仕 上	C.L 杉厚25 見込110	C.L 杉厚25 見込140、上枠厚30 見込140	C.L 杉厚25 見込110	C.L 杉厚25 見込140、上枠厚30 見込140	C.L 杉厚25 見込110	SOP 杉厚25 見込110	
ガラス	アクリル板(透明)厚5	木製ガラリ	アクリル板(透明)厚5	木製ガラリ	アクリル板(透明)厚5	-	
金物	引戸加-ﾀﾞｰ(ﾊﾞｽﾄ：No790)、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、据込力マ錠(両面サムターン)	上吊連動金物一式、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、引手(ﾊﾞｽﾄ：No350a古代ﾌﾞﾛｽﾞ)	引戸加-ﾀﾞｰ(ﾊﾞｽﾄ：No790)、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、据込力マ錠(両面サムターン)	連動金物一式、埋込Yﾊﾞｰﾙ(3本ｼﾙﾊﾞｰ)、引戸錠、引手(ﾊﾞｽﾄ：No350a古代ﾌﾞﾛｽﾞ)	引戸加-ﾀﾞｰ(ﾊﾞｽﾄ：No790)、戸車、埋込Yﾊﾞｰﾙ(ｼﾙﾊﾞｰ)、引手(ﾊﾞｽﾄ：No350a古代ﾌﾞﾛｽﾞ)、据込力マ錠(表示)	シリゲ-錠、ケースハンドル、丁番、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾄﾞﾌﾞﾍﾞﾙ	
備考		ｽﾏｰﾄﾓﾆﾀﾞｰ側 幕板杉厚10 見付70(取外可)	ｽﾏｰﾄﾓﾆﾀﾞｰ側 幕板杉厚10 見付70(取外可)	ｽﾏｰﾄﾓﾆﾀﾞｰ側 幕板杉厚10 見付70(取外可)	ｽﾏｰﾄﾓﾆﾀﾞｰ側 幕板杉厚10 見付70(取外可)		

記 号	<div>AD 1</div> 撤去	<div>AD 2</div> 撤去	<div>AD 3</div> 撤去	<div>AD 4</div> 撤去		<div>AW 1</div> 撤去	<div>AW 2</div> 撤去
形 式	親子扉	両開き扉	両開き扉	片開き扉		2枚引違い窓(2重窓)	2枚引違い連窓
数 量	1	1	1	1		4	1
姿 図							
扉 仕上	アルミ製 見込み70	アルミ製 見込み70	アルミ製 見込み70	アルミ製		アルミ製 見込み70	アルミ製 見込み70
枠 仕上	木製厚25	木製厚25	木製厚25	なし		木製厚25	木製厚25
ガラス	フロート厚6	フロート厚6	アルミパネル	型ガラス厚4		フロート厚6	フロート厚6
金物	標準金物一式、#Mタン付ツリナゲ錠、DC、フタス落し、レバーハンドル&、SUS下枠	標準金物一式、#Mタン付ツリナゲ錠、DC、フタス落し、レバーハンドル&、SUS下枠	標準金物一式、#Mタン付ツリナゲ錠、DC、フタス落し、レバーハンドル&、SUS下枠	標準金物一式、シリンダー錠、握り玉		標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント
備考						SUS網戸	SUS網戸
記 号	<div>AW 3</div> 撤去	<div>AW 4</div> 撤去		<div>WD 1</div> 撤去	<div>WD 2</div> 撤去	<div>WD 3</div> 撤去	<div>WD 4</div> 撤去
形 式	タテスベリ出し窓	2枚引違い窓		2枚引違いフラッシュ戸	両開きフラッシュ扉	片開きフラッシュ親子扉	片開きフラッシュ親子扉
数 量	1	4		2	1	1	1
姿 図							
扉 仕上	アルミ製 見込み70	アルミ製 見込み70		メラミン化粧合板 戸厚36	メラミン化粧合板 戸厚40	メラミン化粧合板 戸厚40	メラミン化粧合板 戸厚40
枠 仕上	木製厚25	木製厚25		木製厚25	木製厚25	木製厚25	木製厚25
ガラス	フロート厚6	フロート厚6		型ガラス厚4	木製ガラリ	型ガラス厚4	型ガラス厚4
金物	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント		引手、戸車	レバーハンドル&、丁番、DC、フタス落し	レバーハンドル&、丁番、DC、フタス落し	レバーハンドル&、丁番、DC、フタス落し
備考		SUS網戸					
記 号	<div>WF 1</div> 撤去						
形 式	三方枠						
数 量	1						
姿 図							
扉 仕上							
枠 仕上	木製厚25						
ガラス	—						
金物							
備考							
記 号	<div>AD 1</div> 旧	<div>ADW 1</div> 旧		<div>AW 1</div> 旧	<div>AW 2</div> 旧	<div>AW 3</div> 旧	
形 式	片開き扉	ランマ、袖FIX付引き分け戸		4枚引違い窓	4枚引違い窓	4枚引違い窓	
数 量	1	1		2	2	1	
姿 図							
扉 仕上	アルミ製	アルミ製		アルミ製	アルミ製	アルミ製	
枠 仕上	木製	木製		木製	木製	木製	
ガラス	フロート厚6	フロート厚6		フロート厚3.0	フロート厚3.0	フロート厚3.0	
金物	標準金物一式、シリンダー錠	標準金物一式、フタス落し、シリンダー錠		標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	
備考							

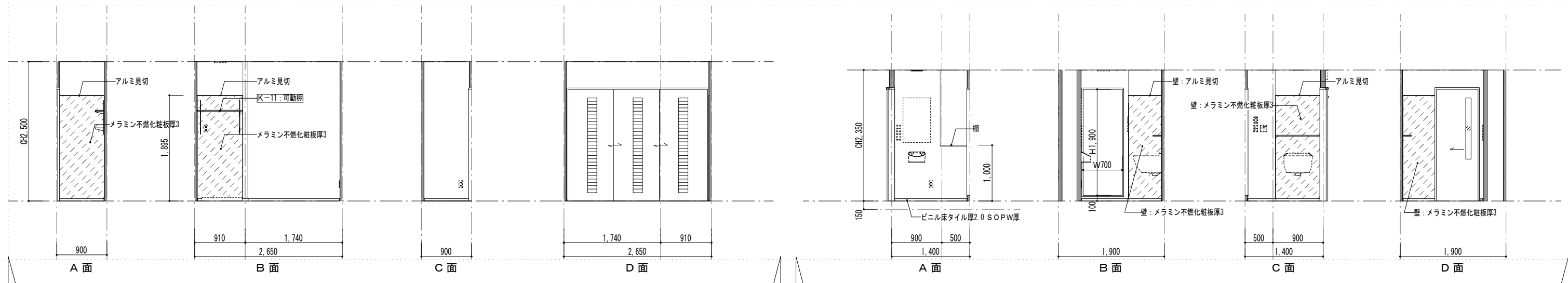




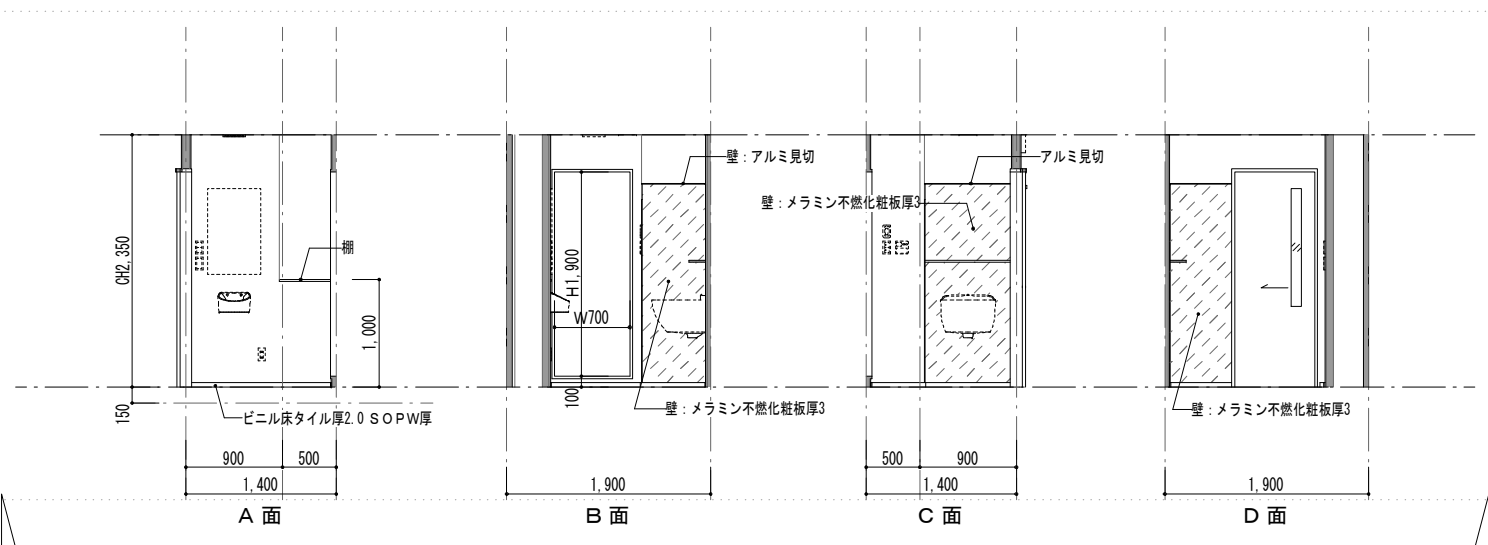




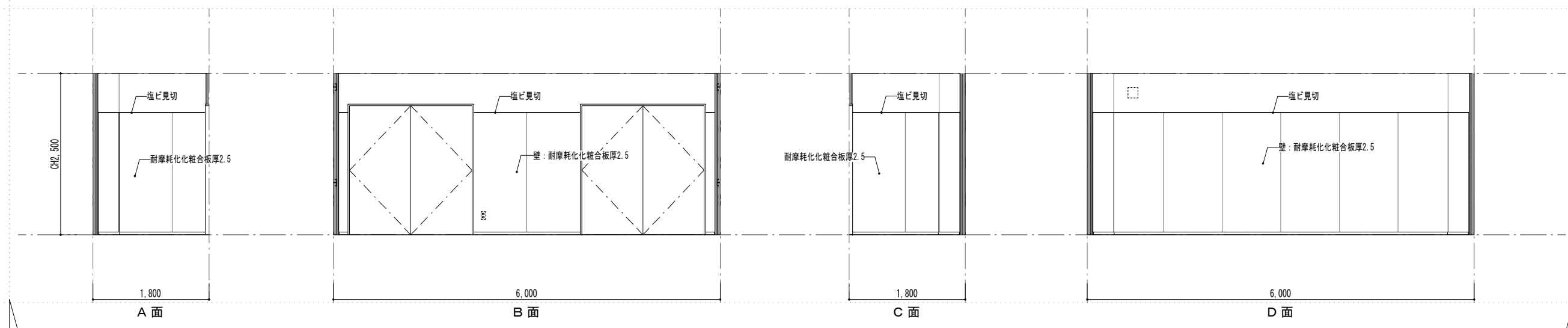
2階 ホール 展開図 1:50



2階 収納1 展開図 1:50

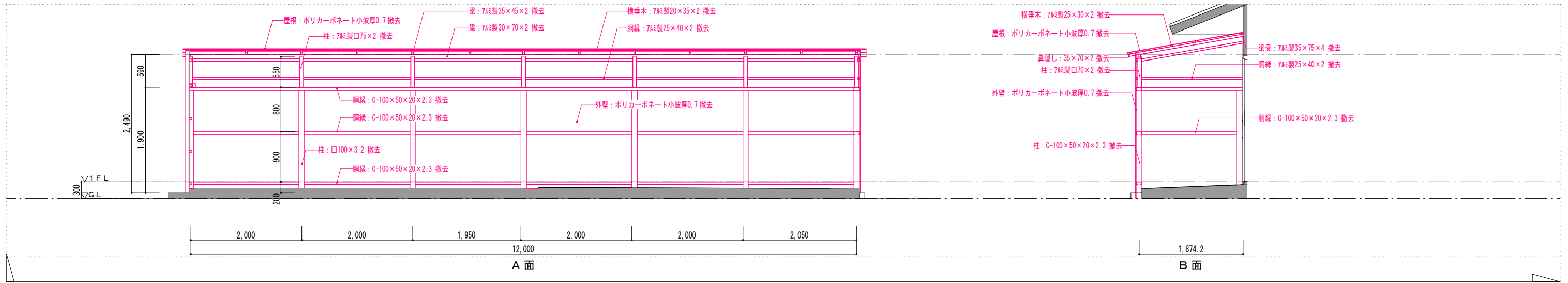


2階 脱衣室 展開図 1:50

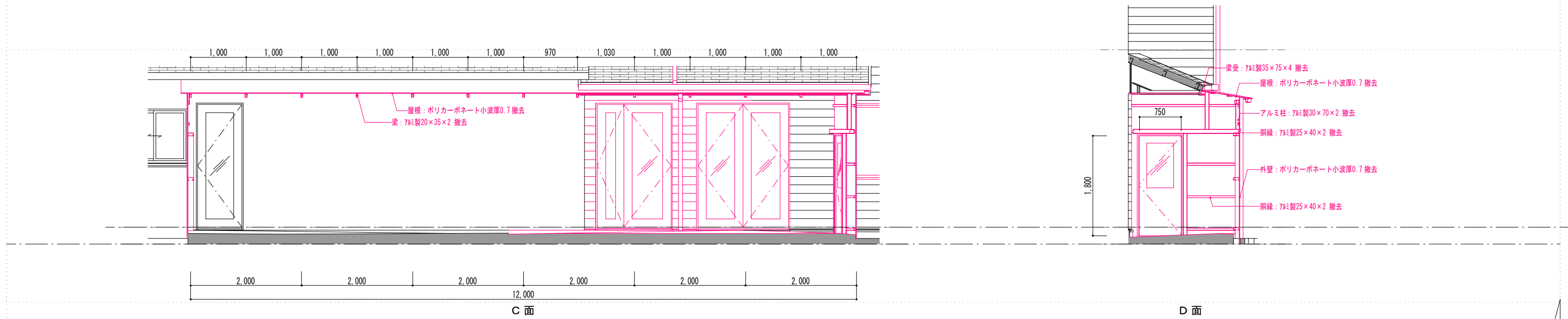


2階 収納2 展開図 1:50

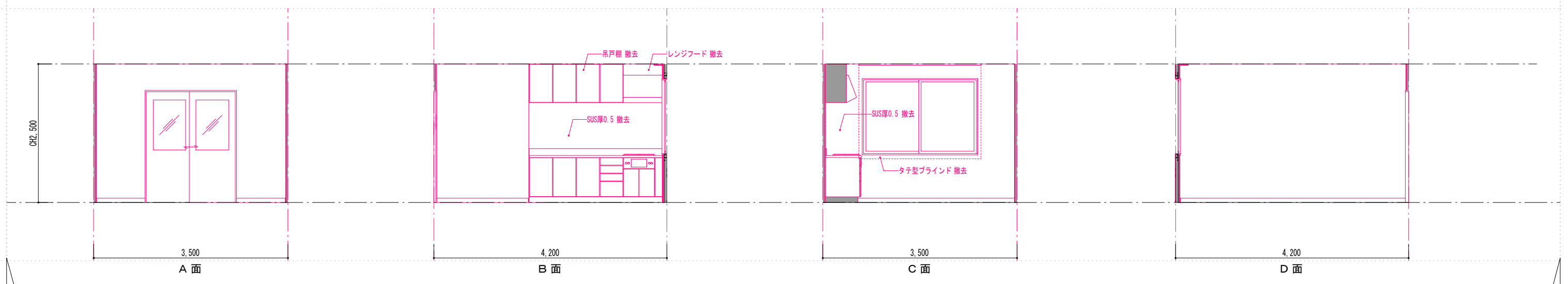
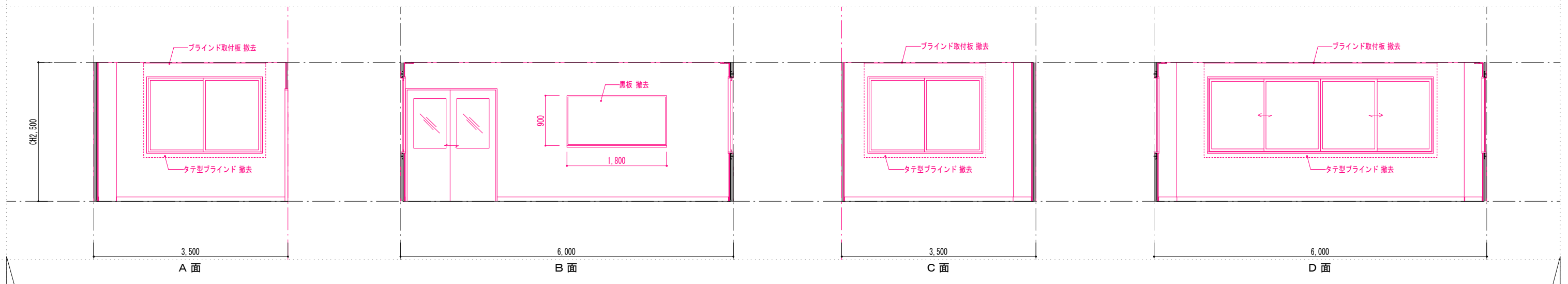
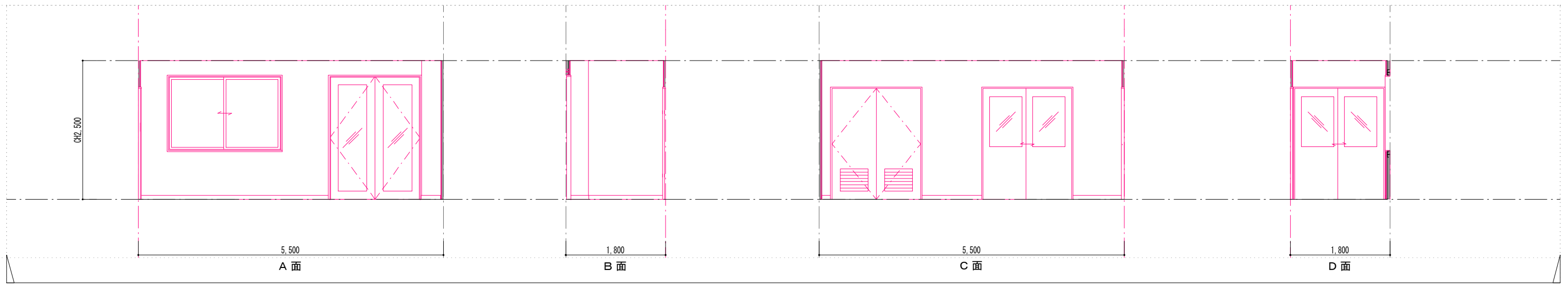


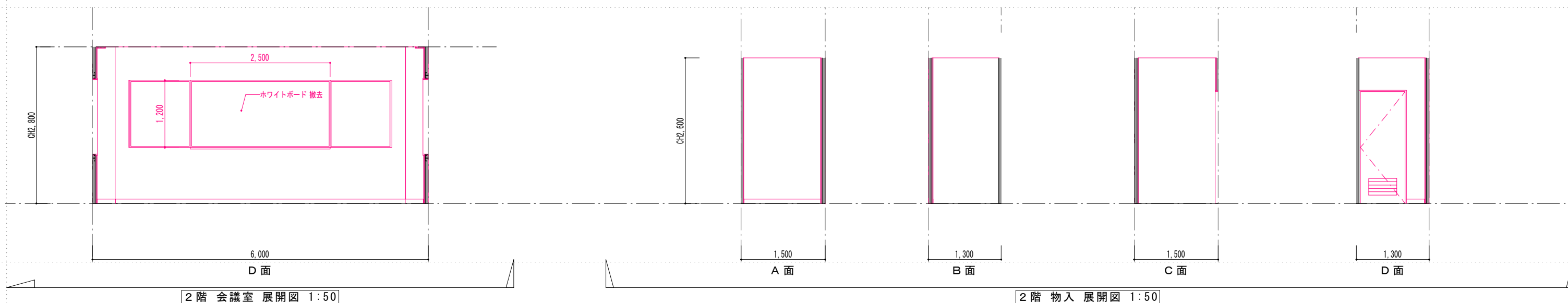
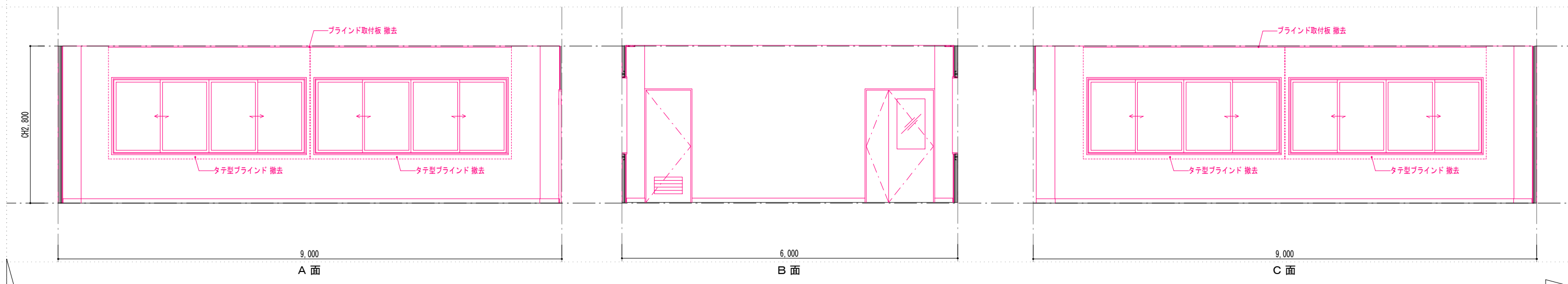
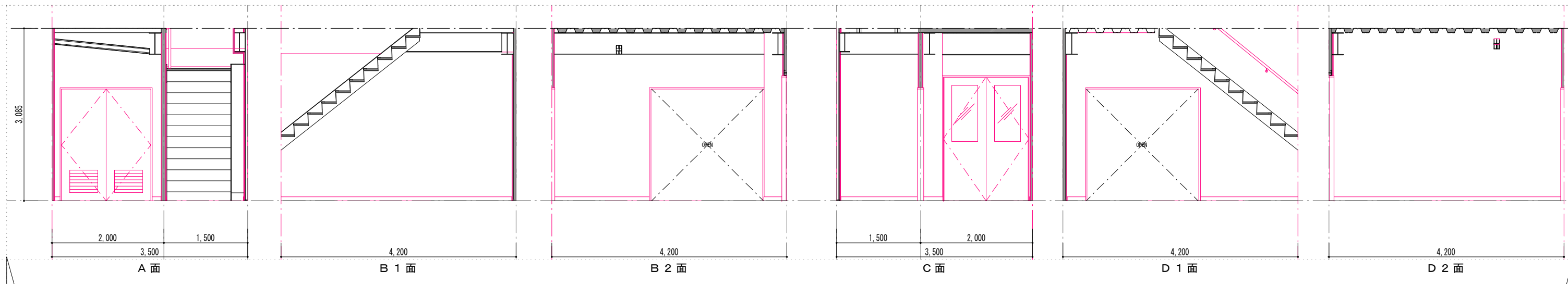


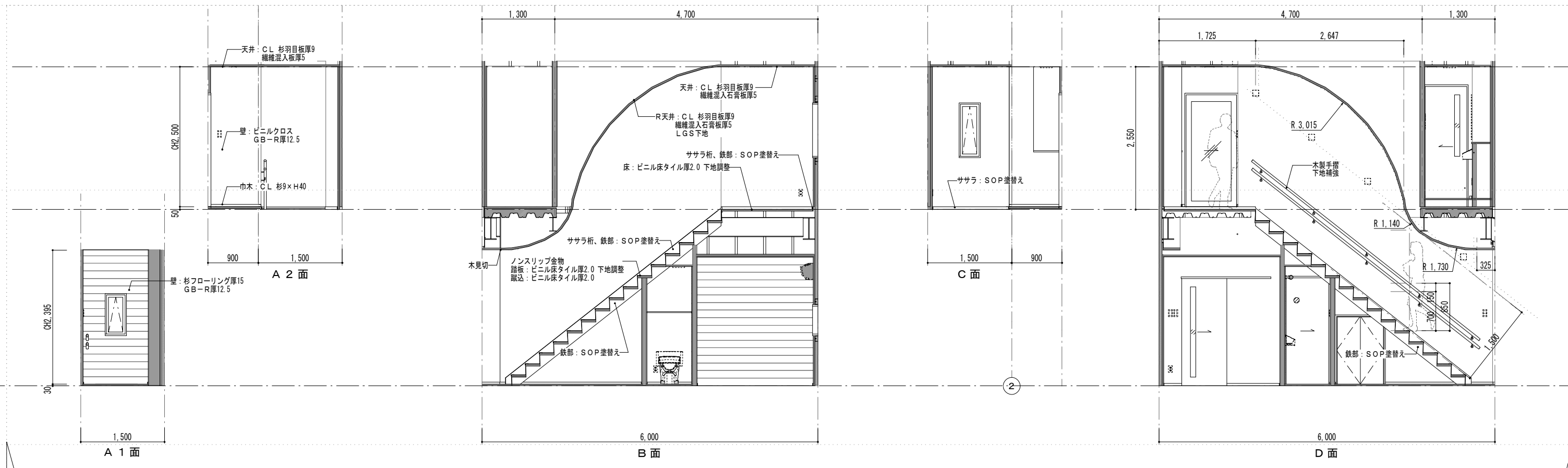
1階 通路 展開図 1:50



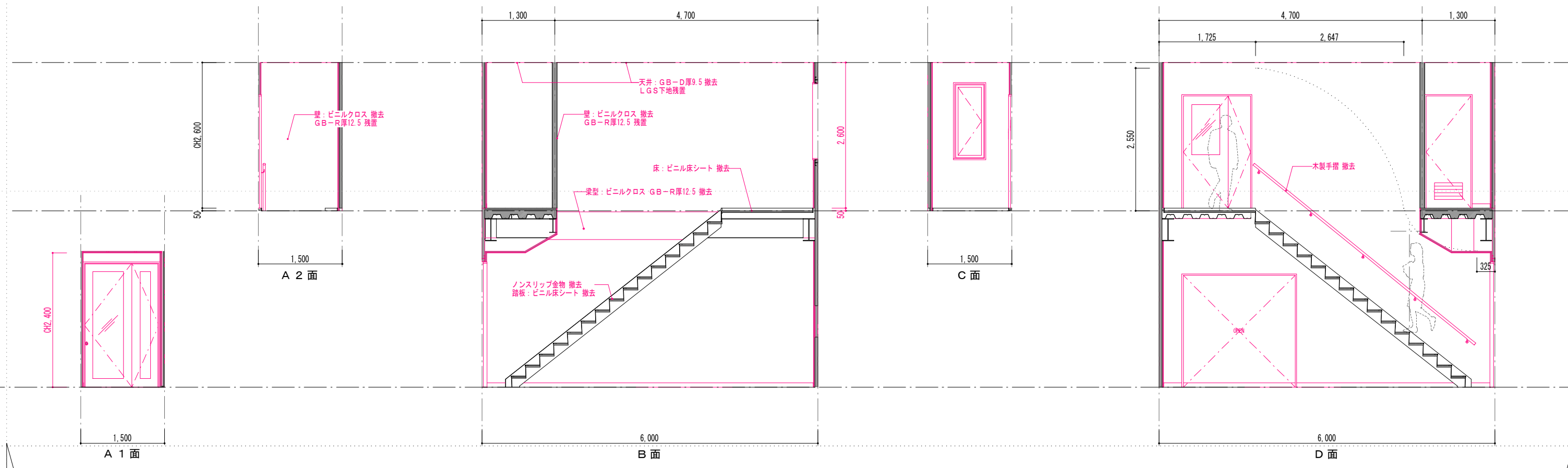
1階 通路 展開図 1:50





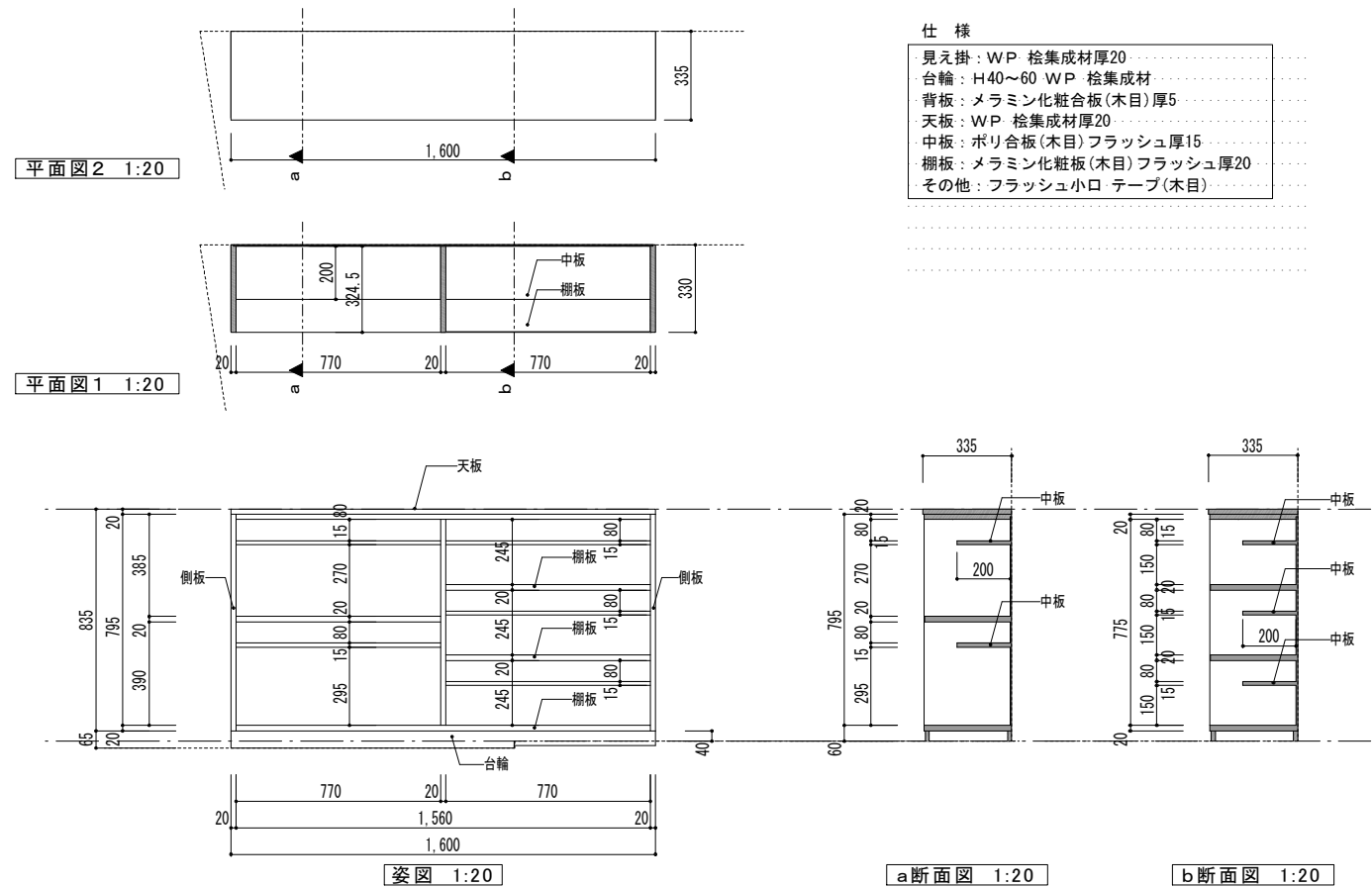


階段室 展開図(改修後) 1:50

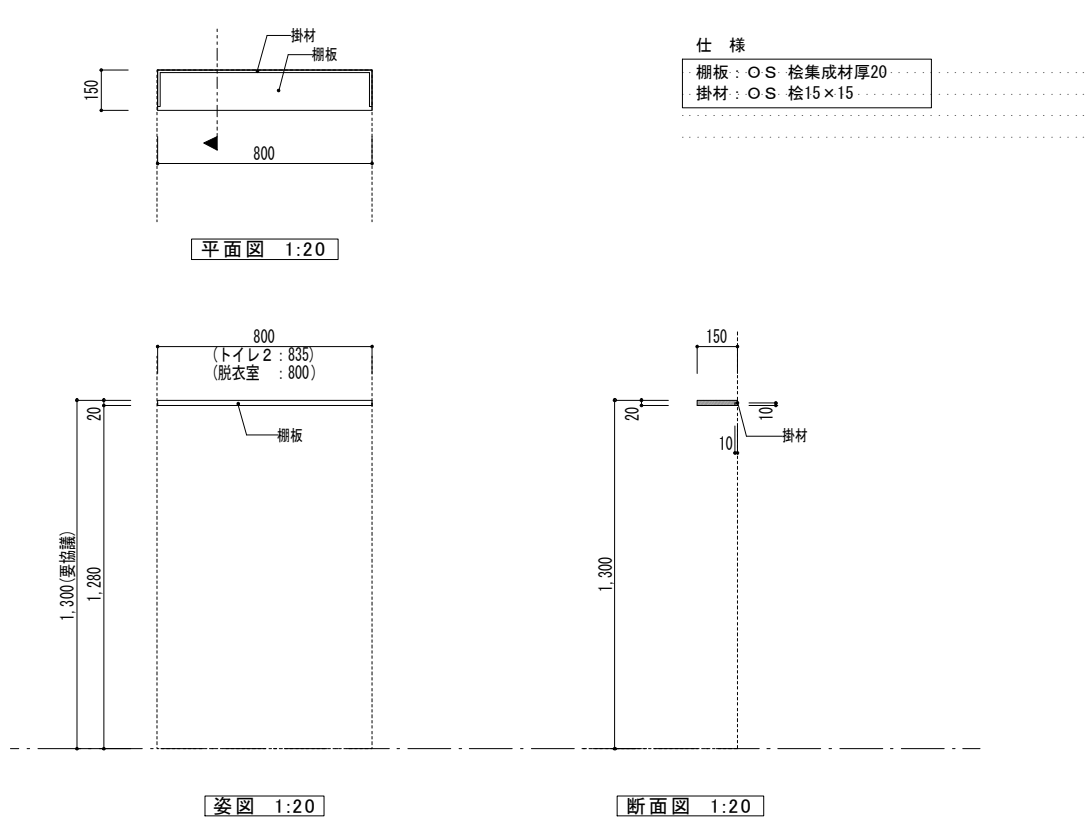


階段室 展開図(改修前) 1:50

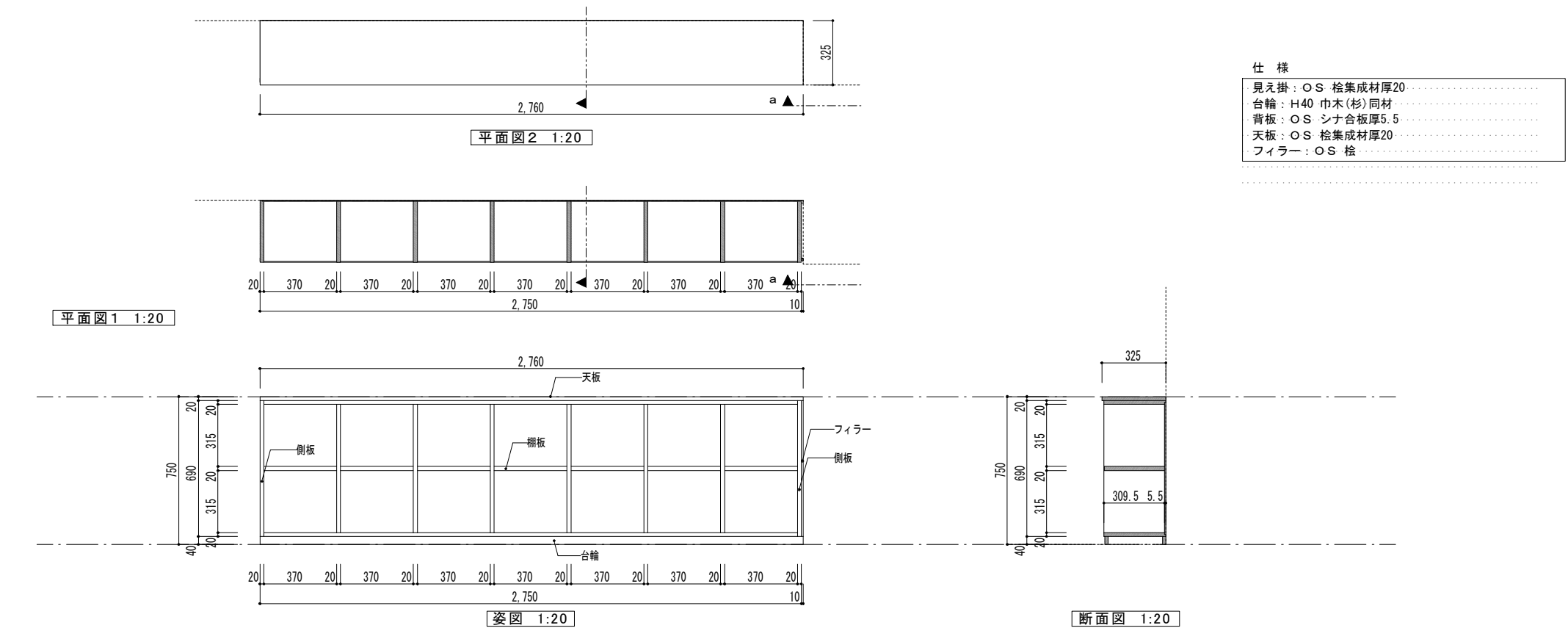
K-1: 下足入 1か所

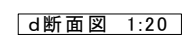
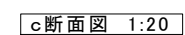
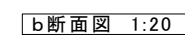
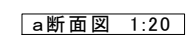
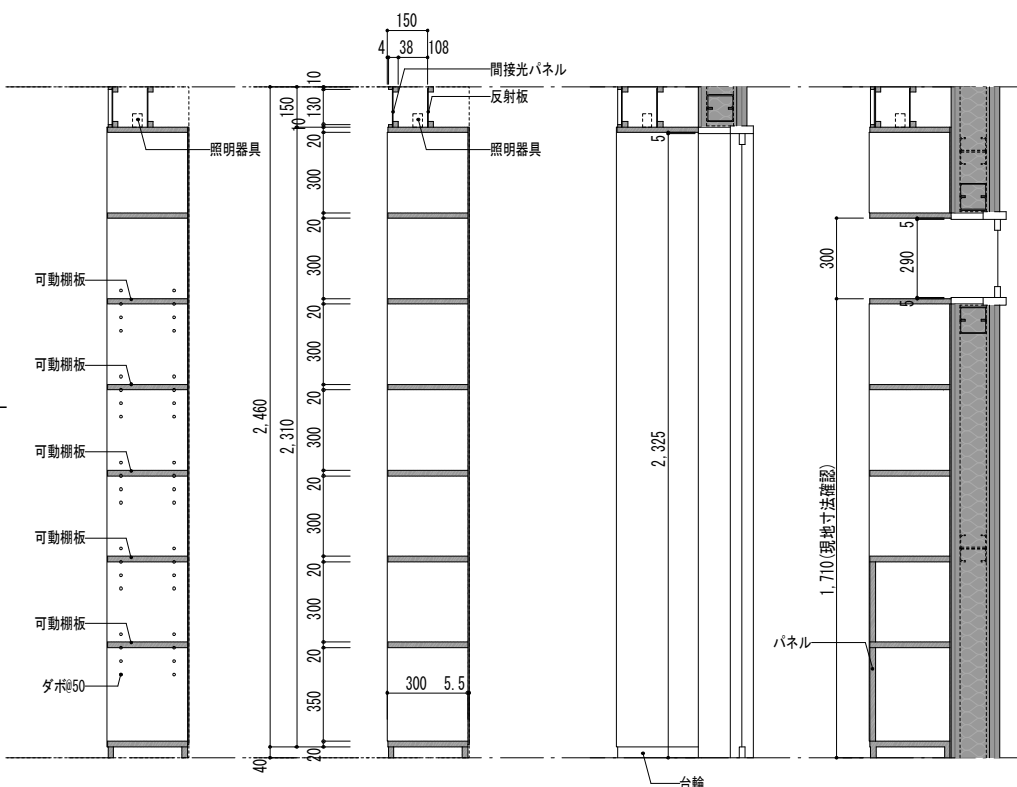
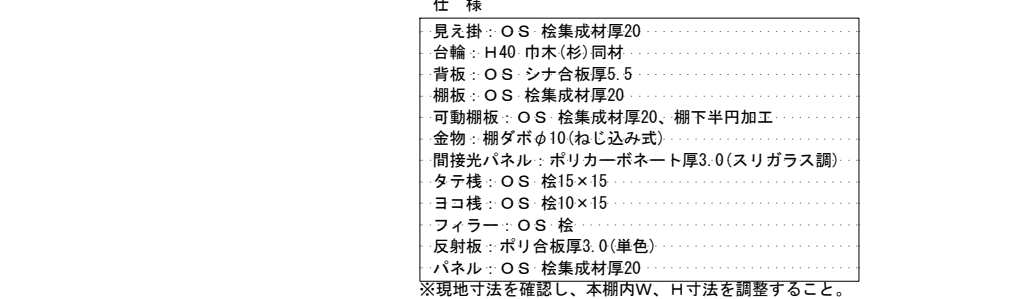
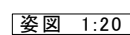
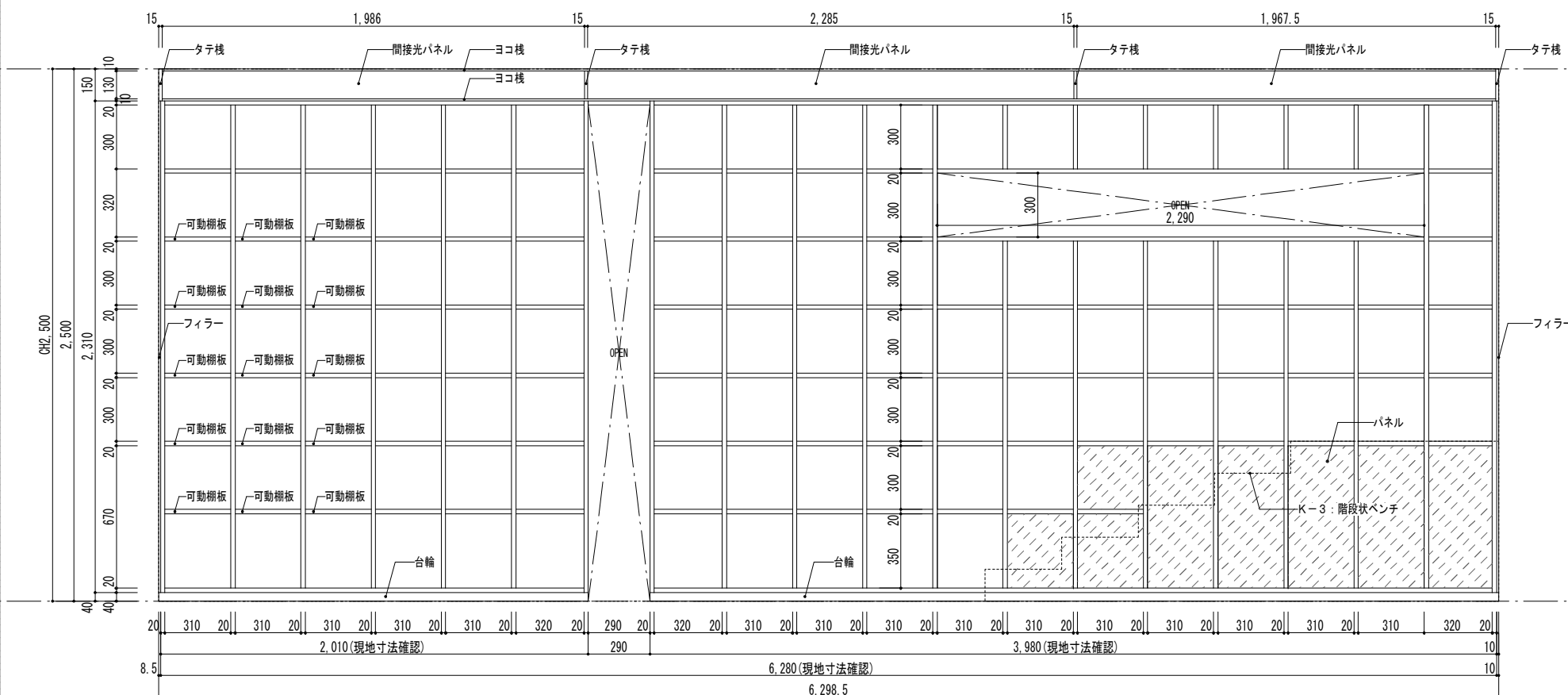
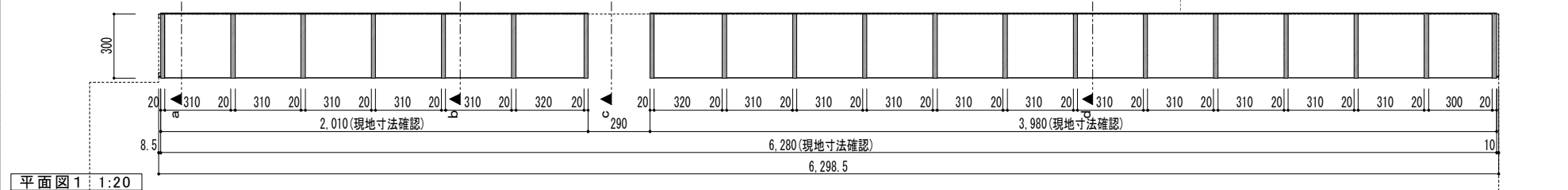
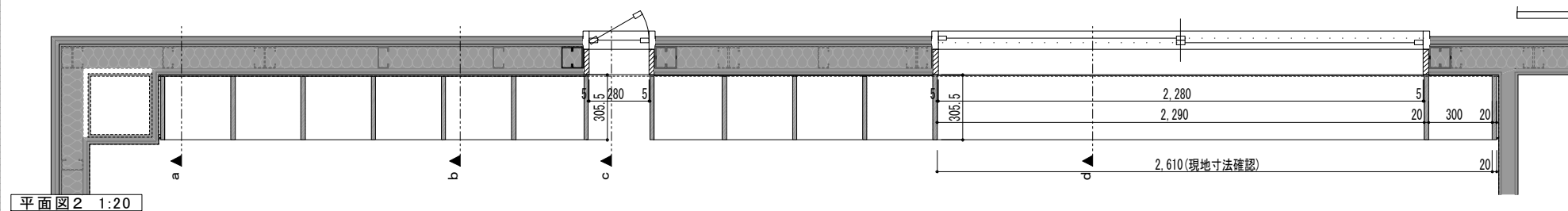
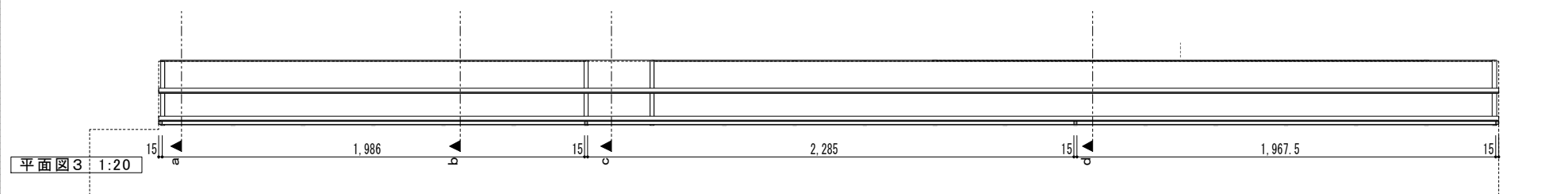


K-2: 固定棚 3か所



K-5: ロッカー 1か所







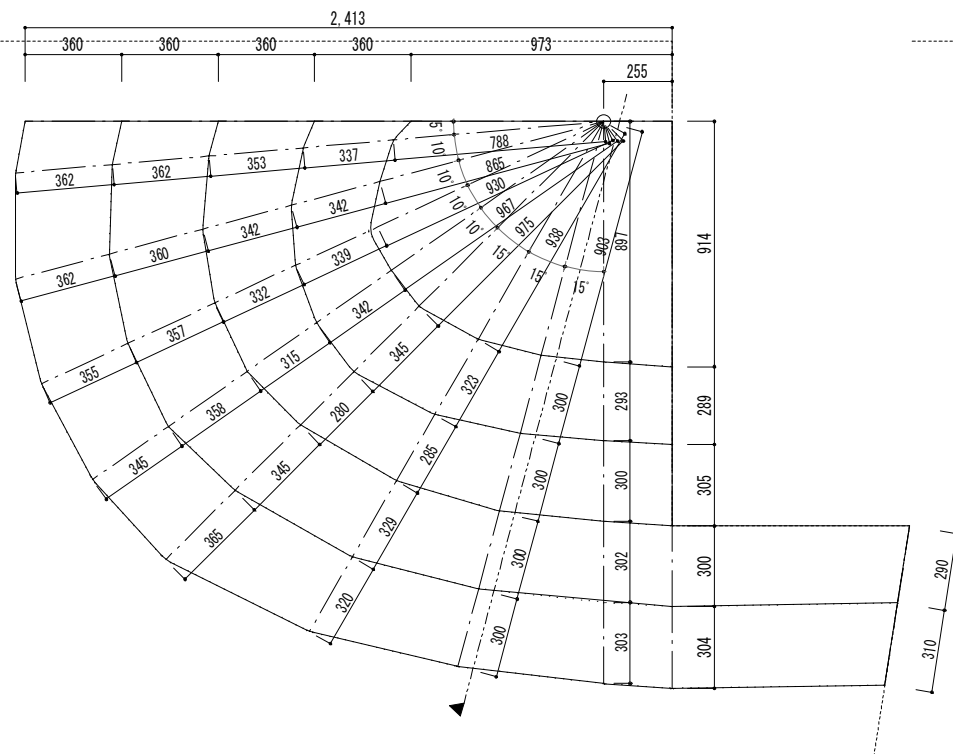
仕 様

・踏板：OS 桧集成材厚30(突き付け面はR加工)

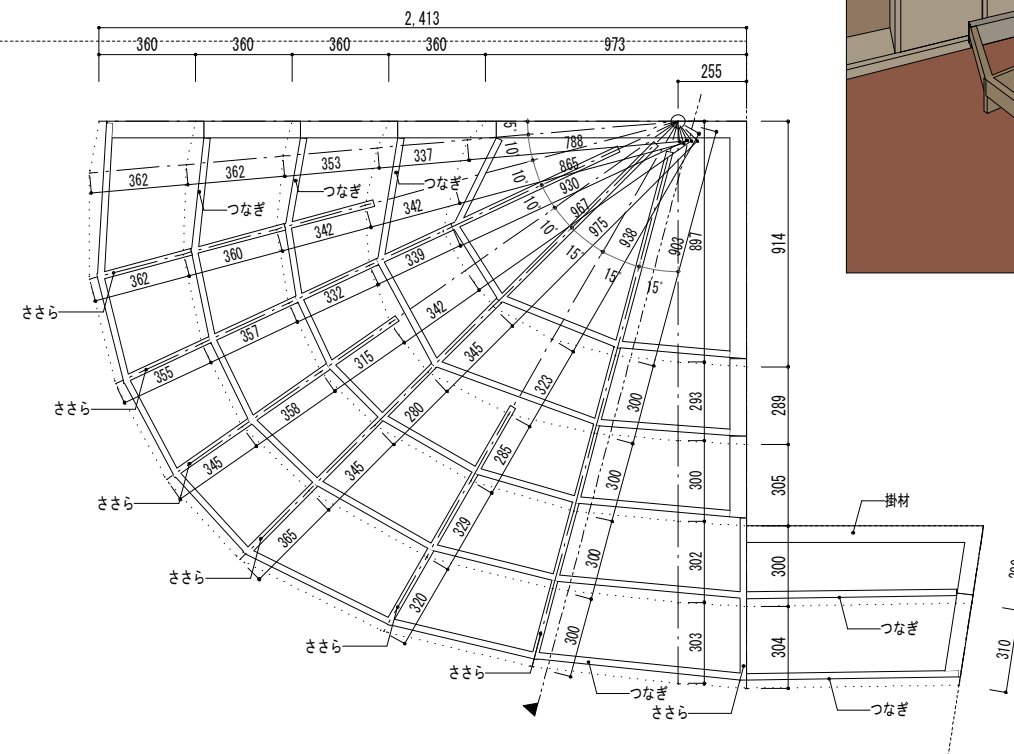
蹴込板: OS 桧集成材厚20

ささら、つなぎ：構造用合板厚24

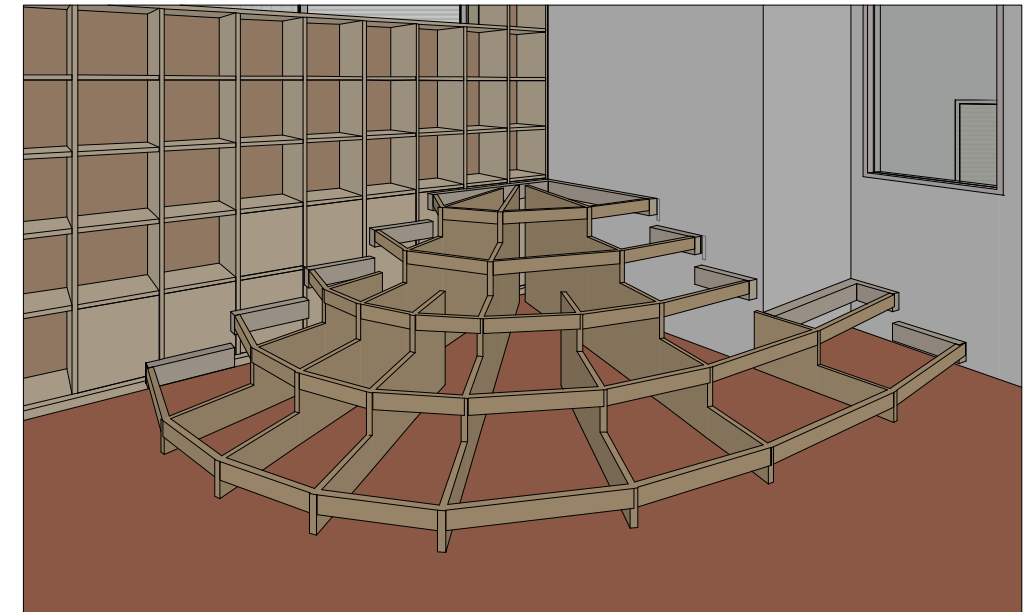
掛材：杉60×90



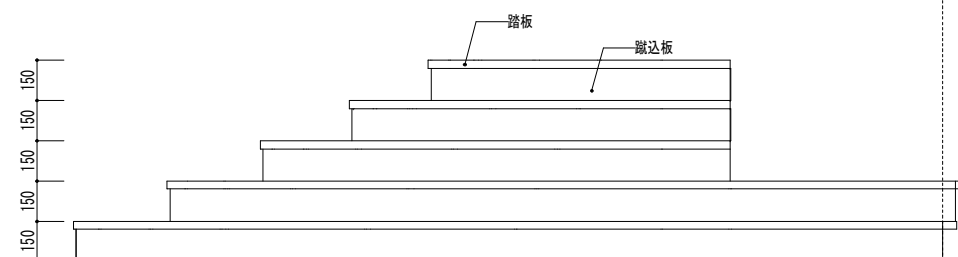
平面图 1 1:20



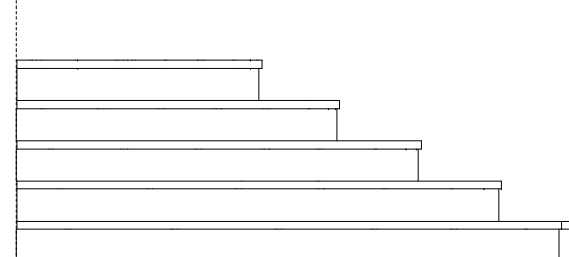
平面图2(下地) 1:20



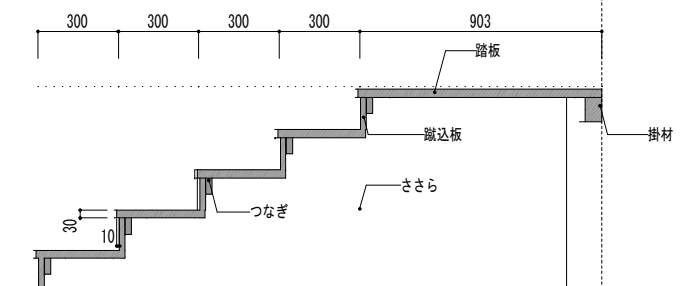
## 下地イメージ



姿図 1 1:20

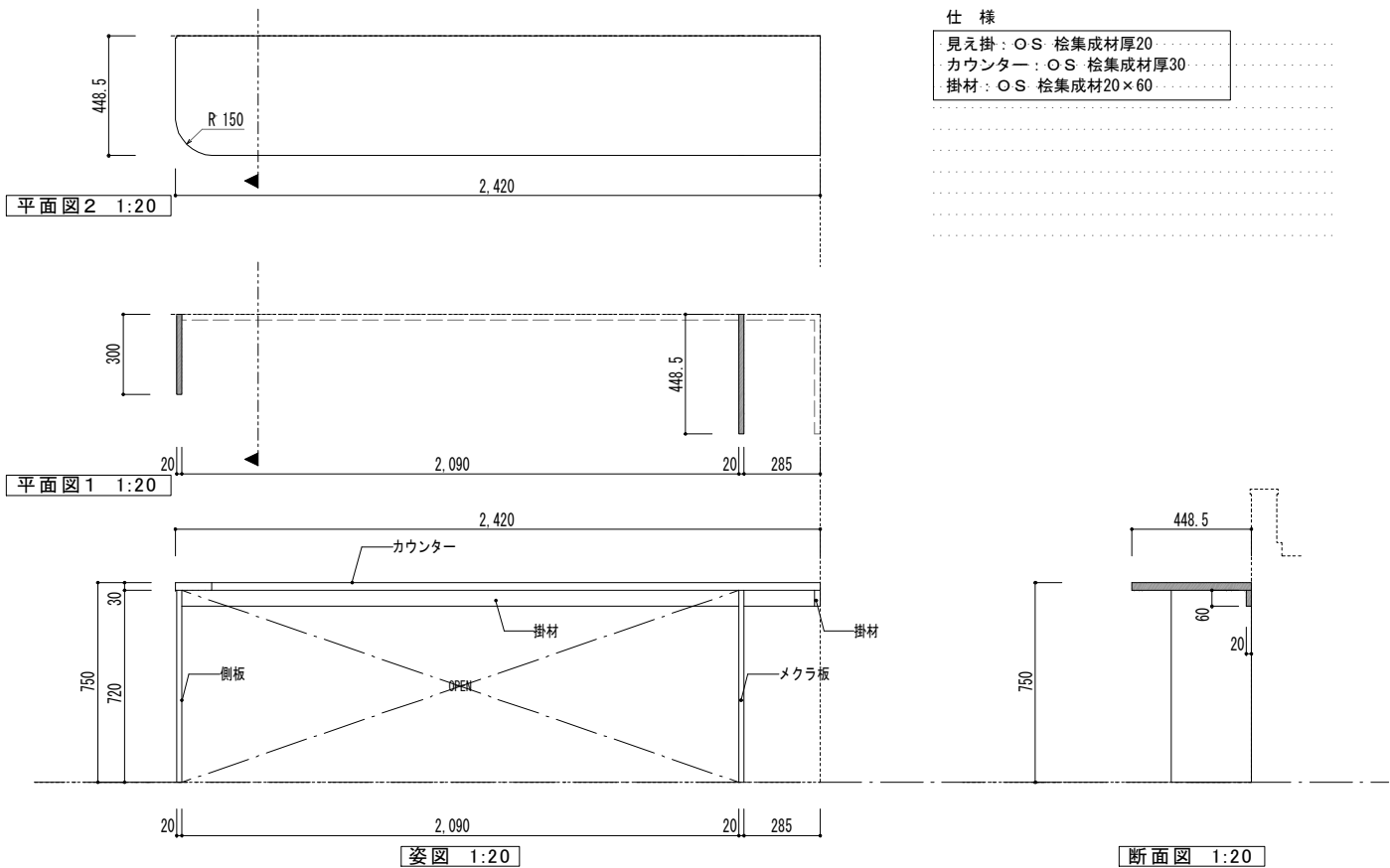


姿図2 1:20

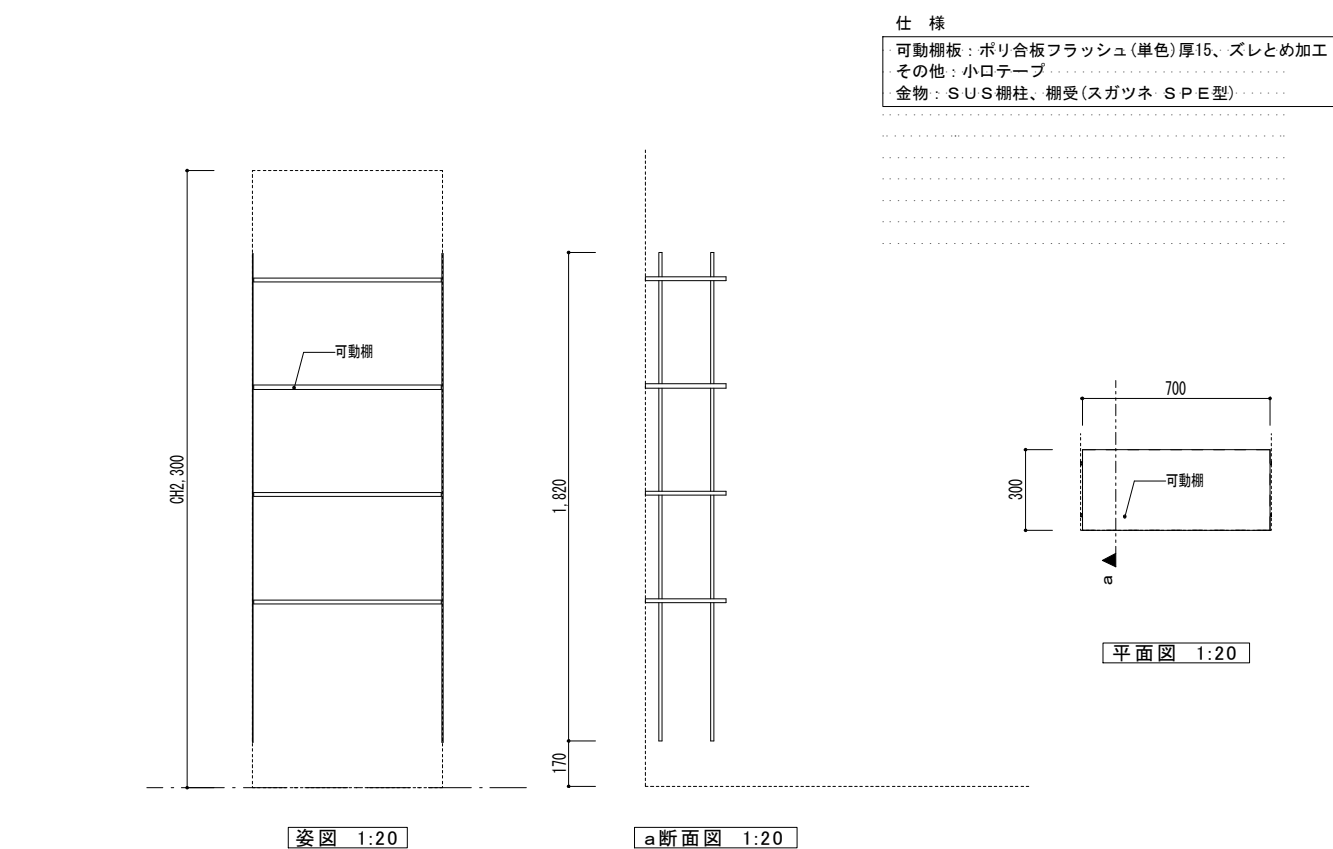


断面图 1:20

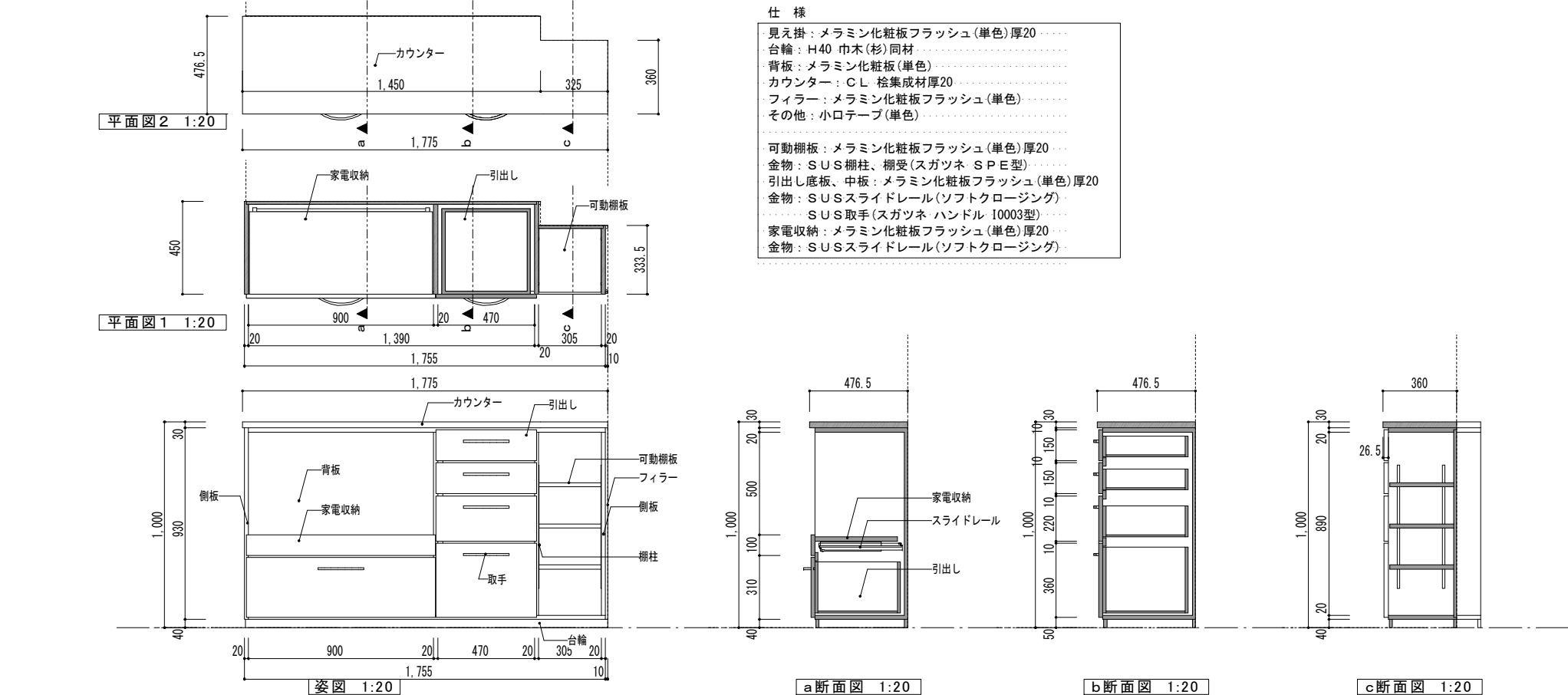
K-6: キッチンカウンター 1か所

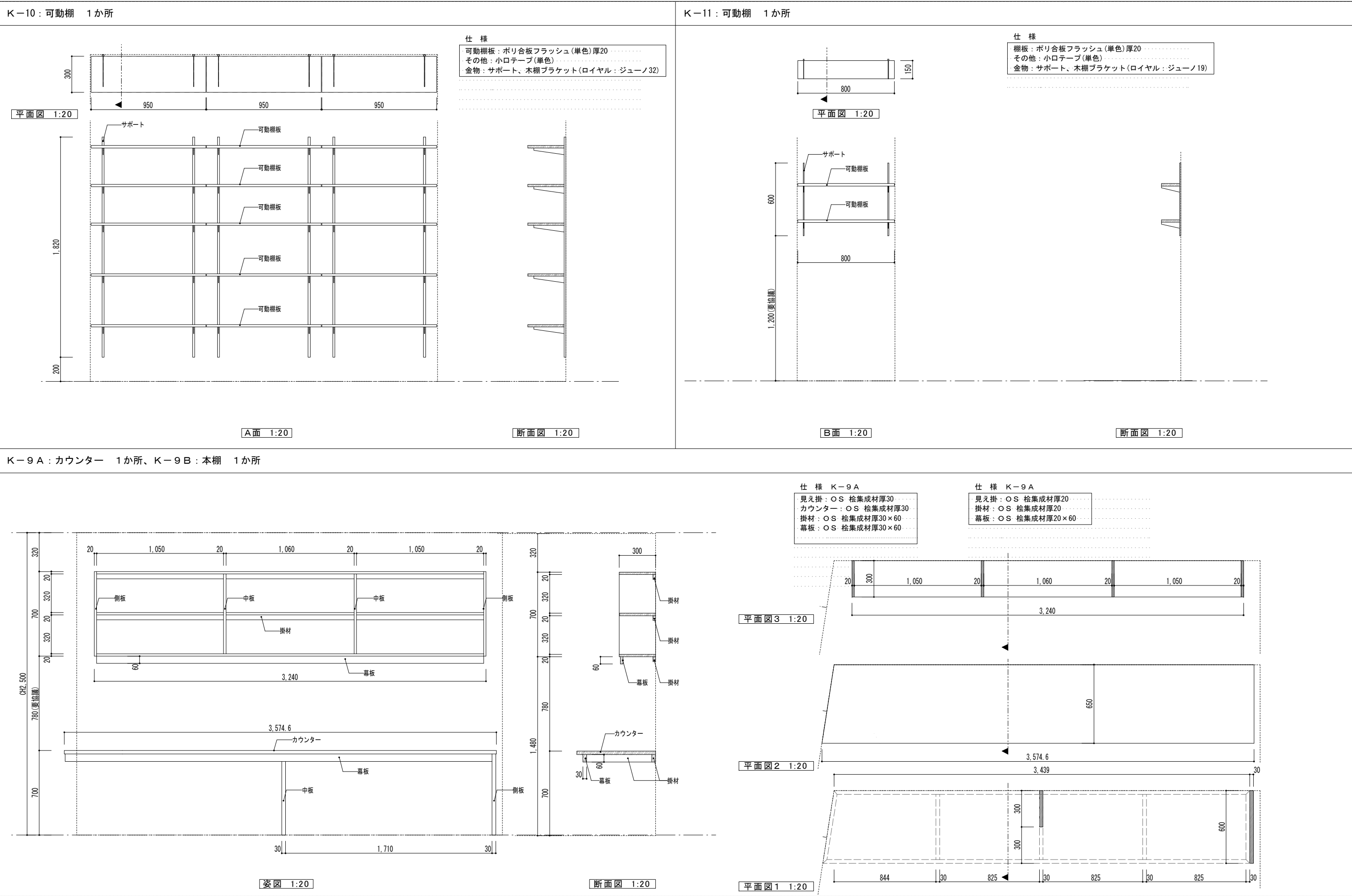


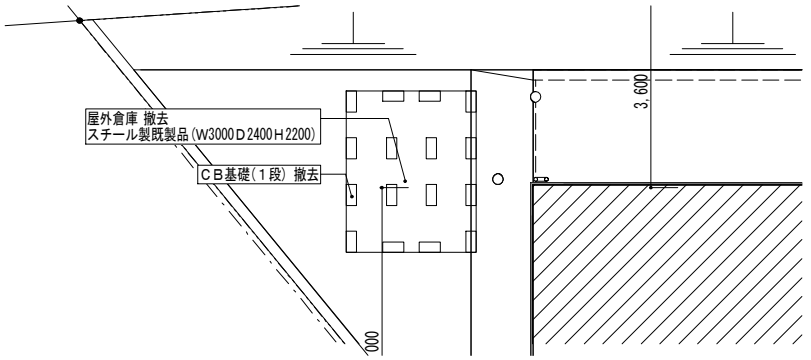

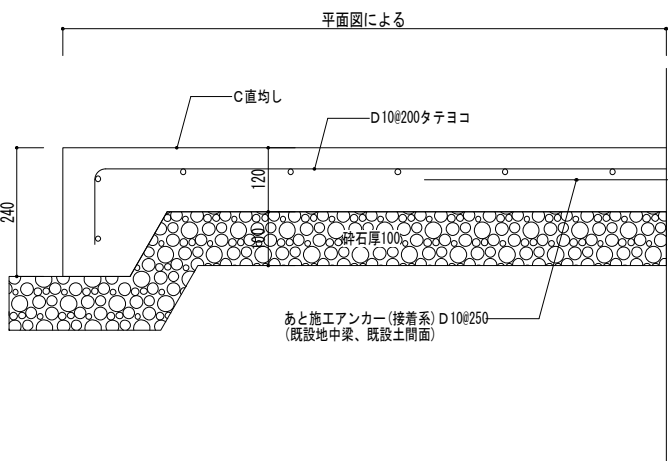
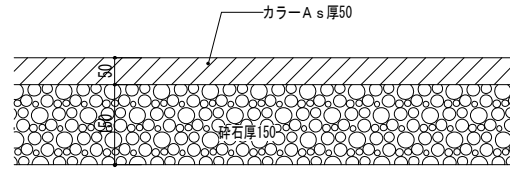
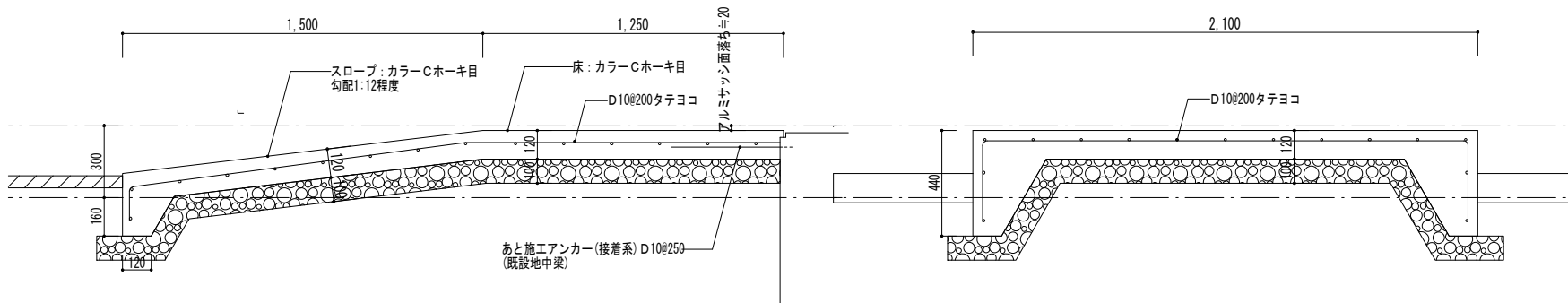
K-8: 可動棚 1か所



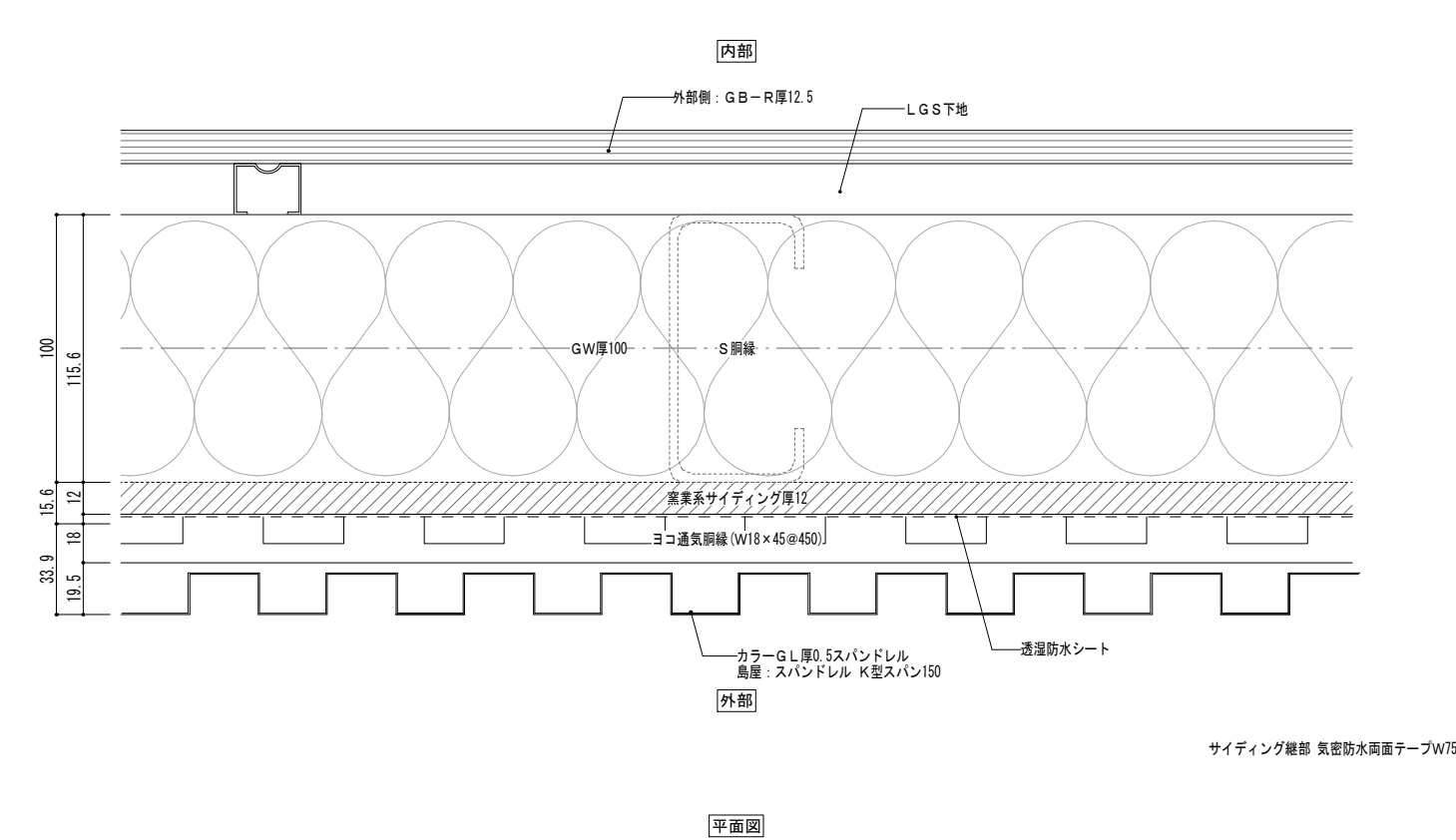
K-7: 家電収納カウンター 1か所



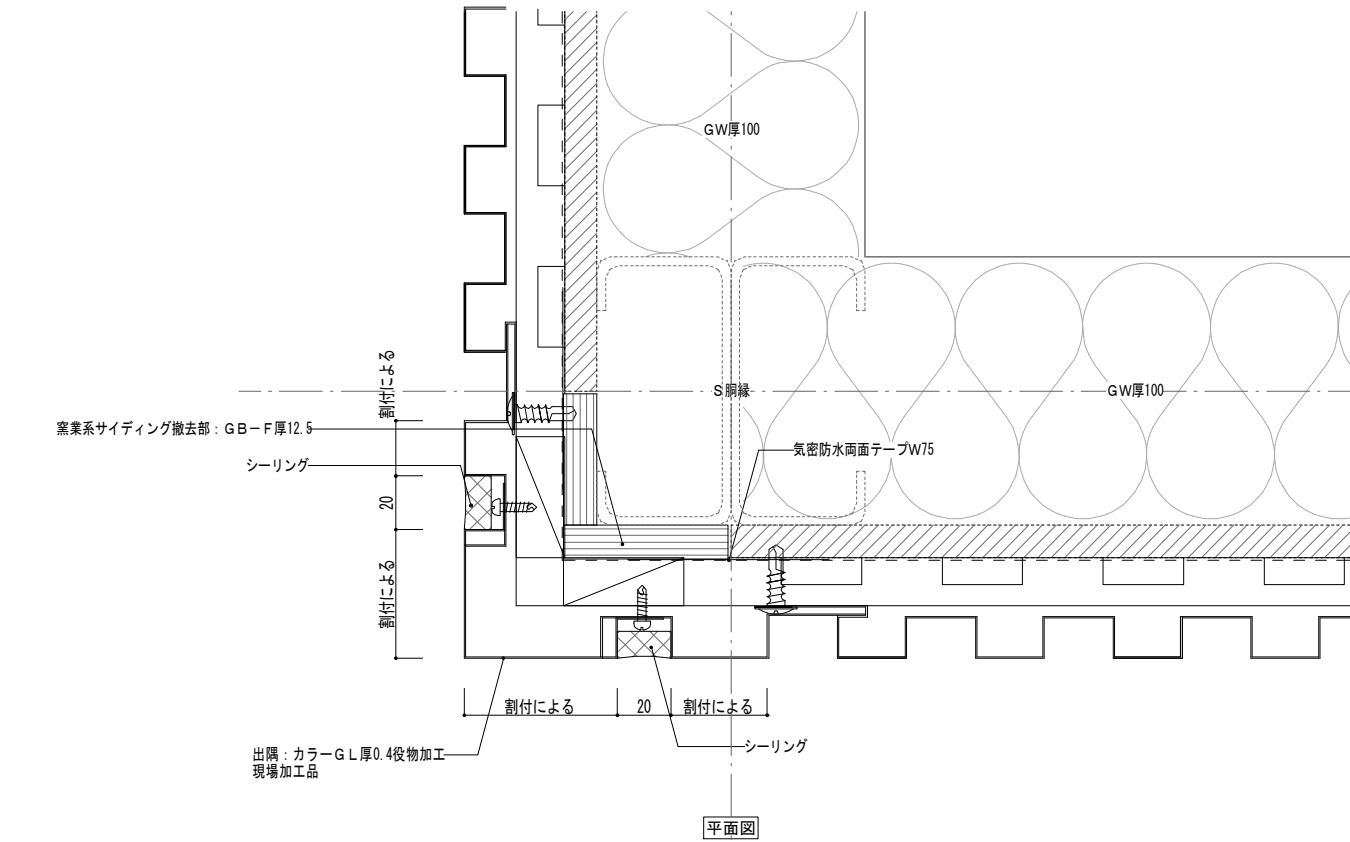


<div>屋外倉庫 1 箇所</div> <div><p>屋外倉庫 撤去 スチール製既製品 (W3000 D2400 H2200)</p><p>CB基礎(1 段) 撤去</p><p>3,600</p><p>100</p><p>平面図 1:100</p></div> <div></div> <div><div>犬走 1:10</div><div><p>平面図による</p><p>C直均し</p><p>D10@200タテヨコ</p><p>240</p><p>120</p><p>80</p><p>砕石厚100</p><p>あと施工アンカー(接着系) D10@250 (既設地中梁、既設土間面)</p></div></div> <div><div>カラーA s 1:10</div><div><p>カラーA s 厚50</p><p>砕石厚150</p></div></div>	<div>スロープ</div> <div><p>1,500</p><p>1,250</p><p>スロープ・カラーCホーキ目 勾配1:12程度</p><p>床: カラーCホーキ目</p><p>D10@200タテヨコ</p><p>300</p><p>160</p><p>120</p><p>あと施工アンカー(接着系) D10@250 (既設地中梁)</p><p>断面図1 1:20</p><p>2,100</p><p>D10@200タテヨコ</p><p>440</p><p>120</p><p>断面図2 1:20</p></div>

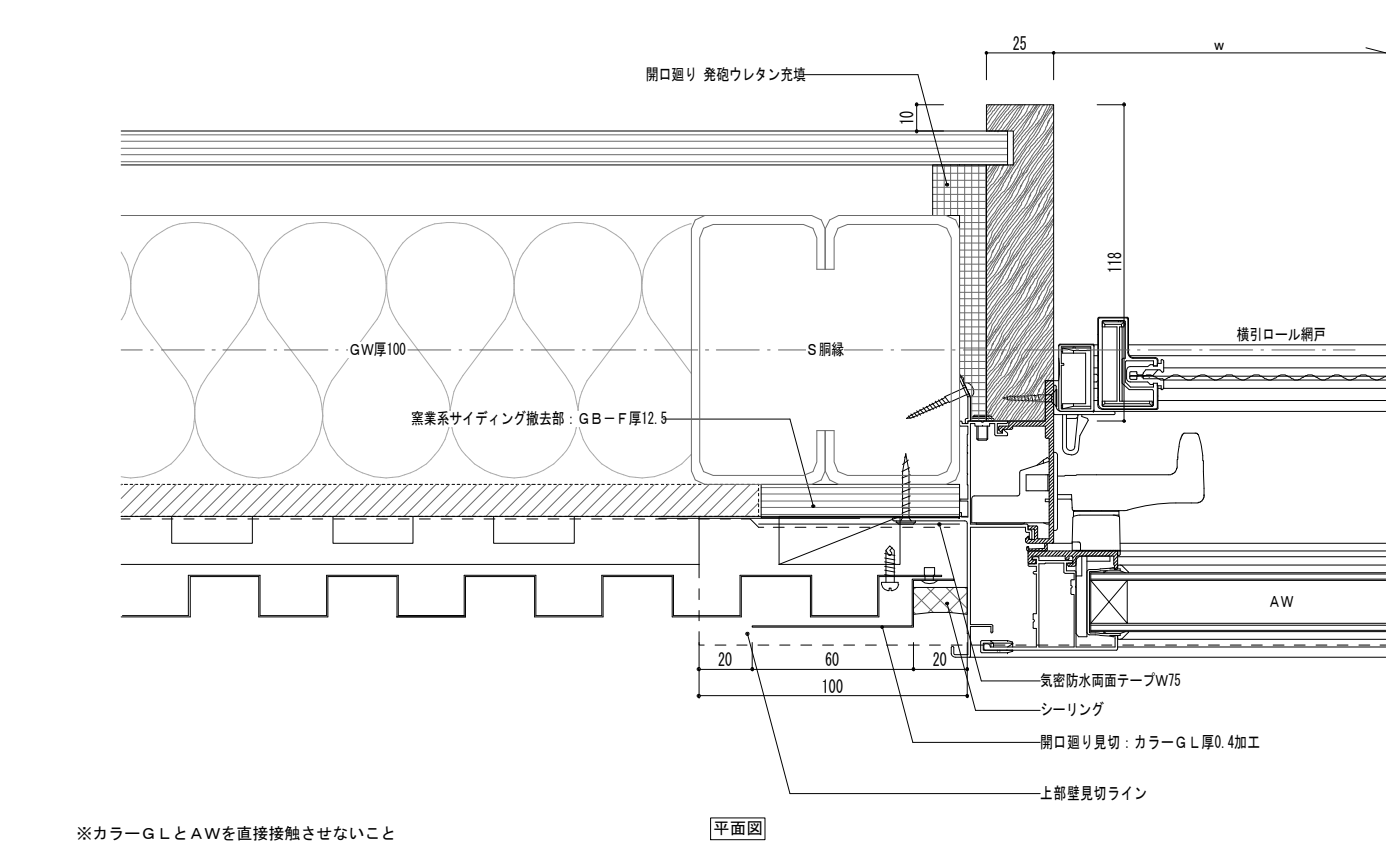
外壁 一般部



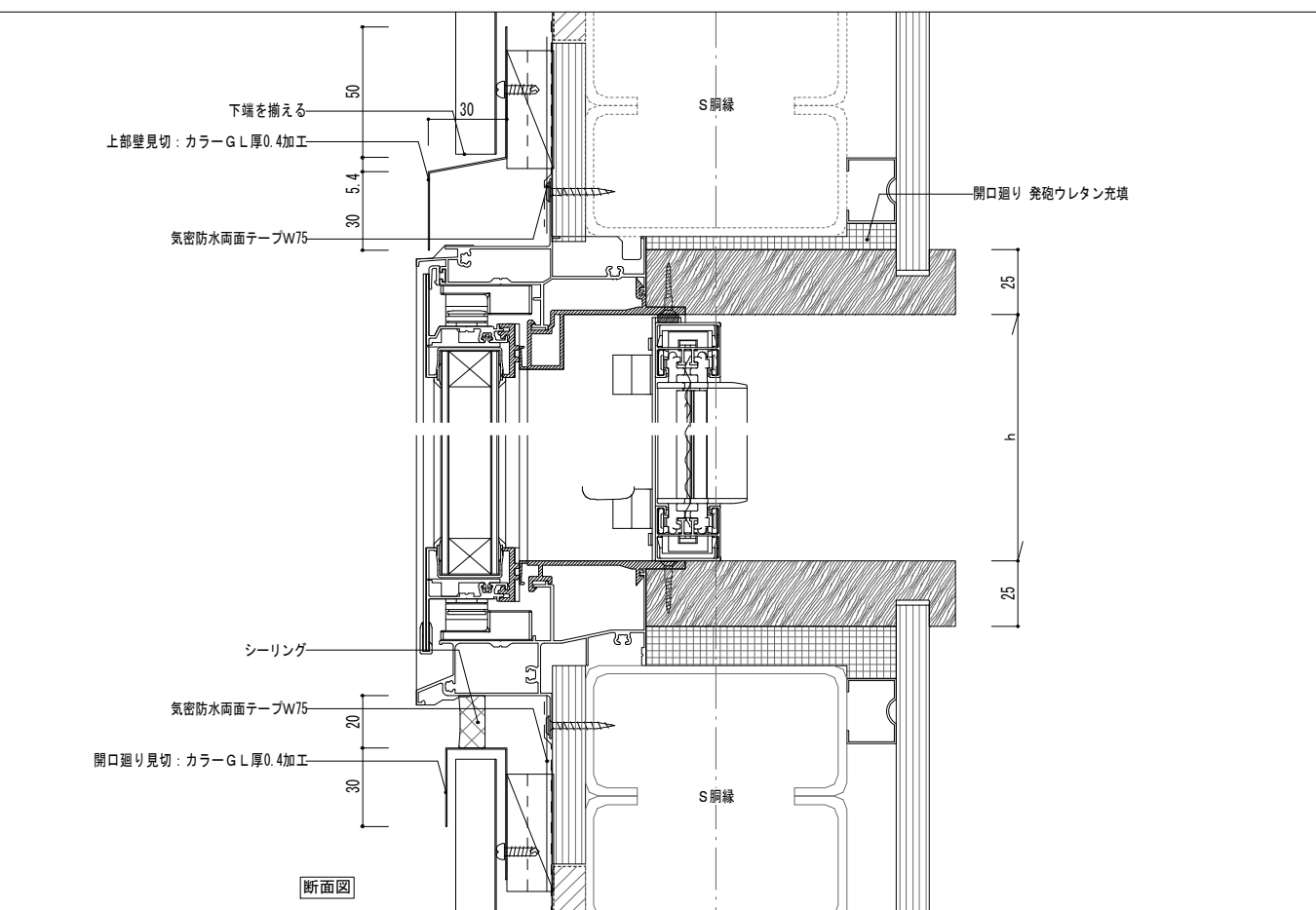
外壁 出隅部



外壁 AW部

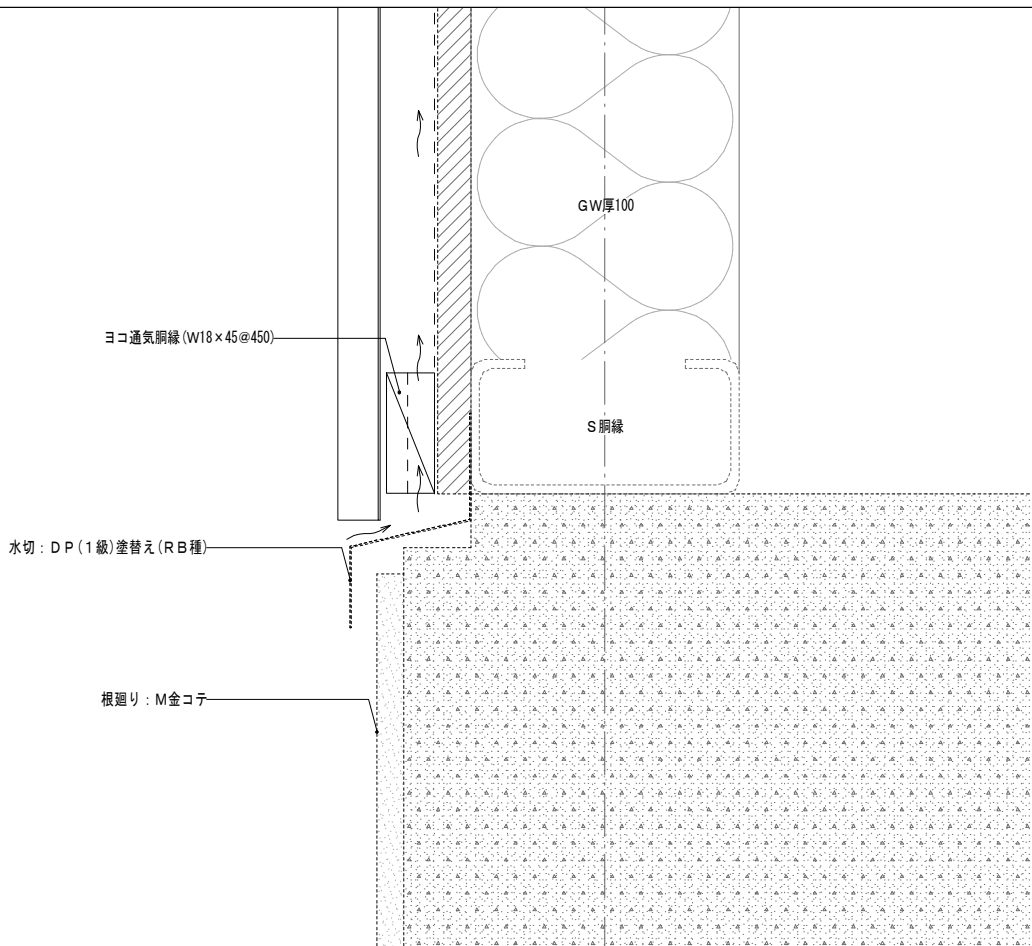


※カラーGLとAWを直接接触させないこと

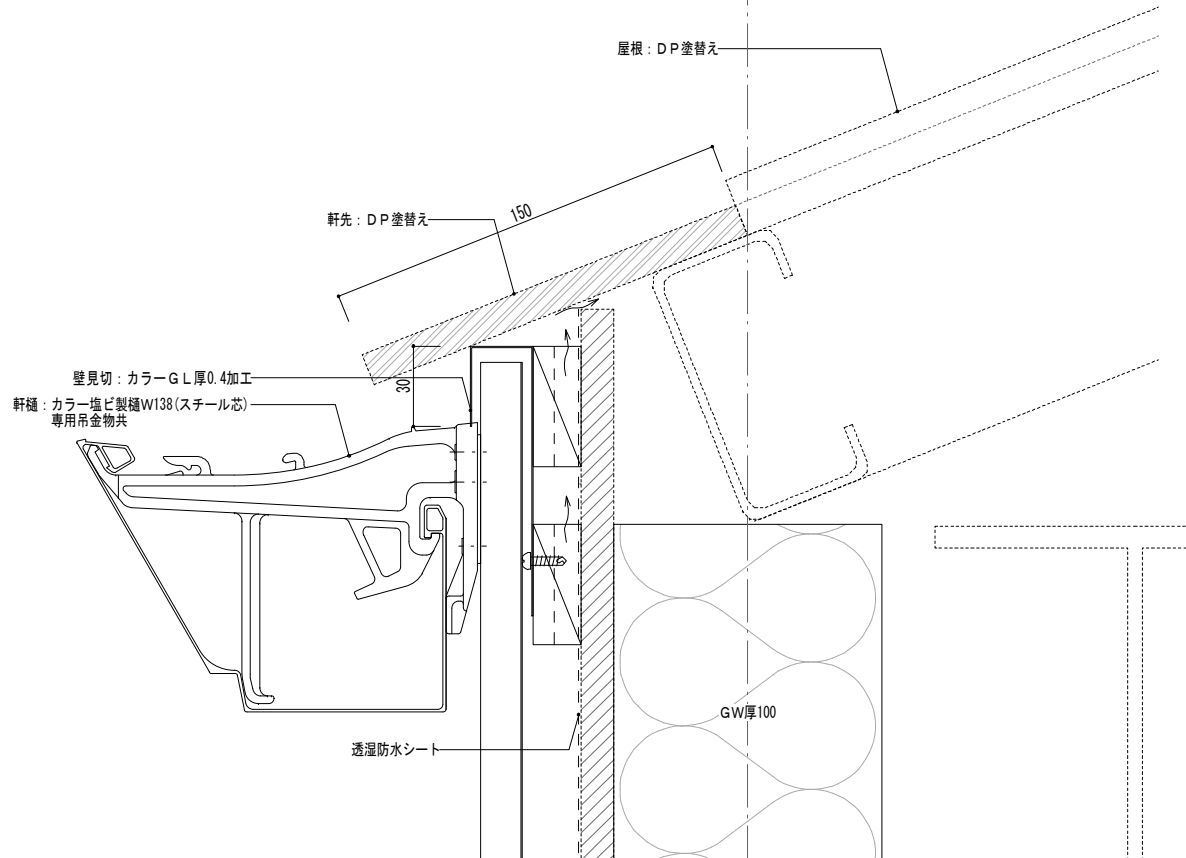


外壁詳細図 1 : 2

外壁 根廻り

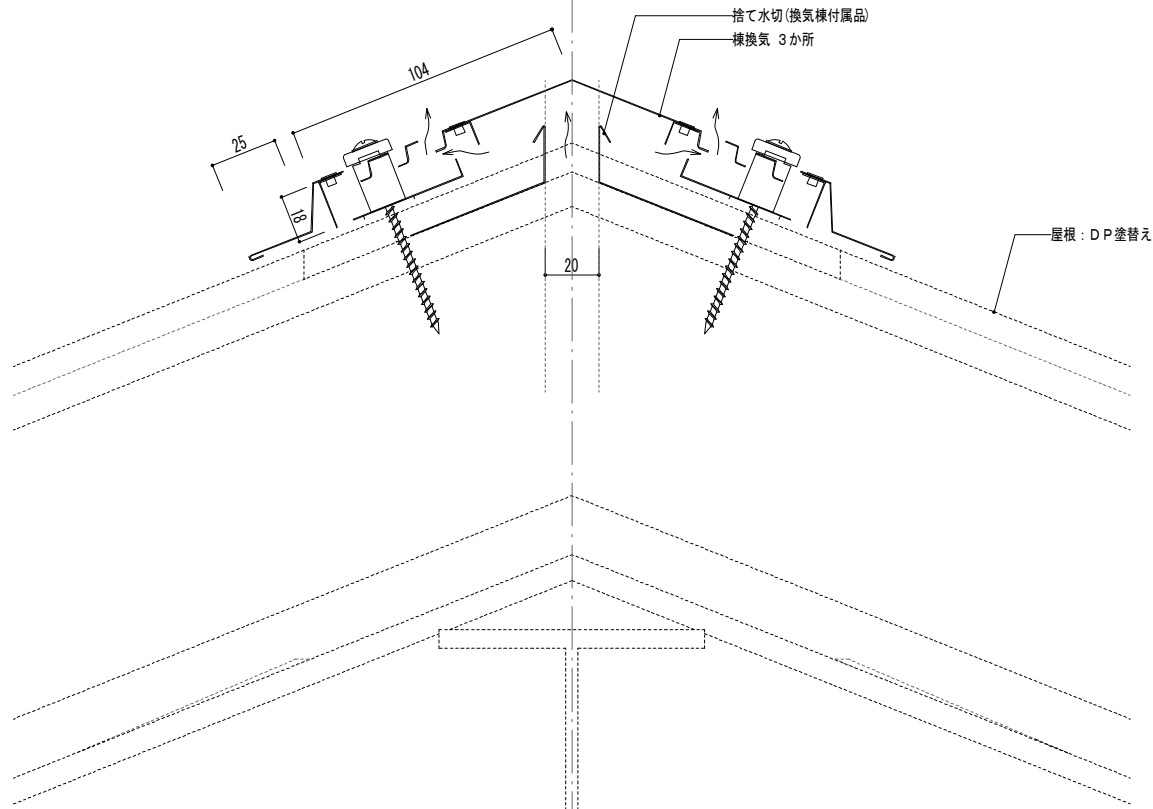


外壁 軒先



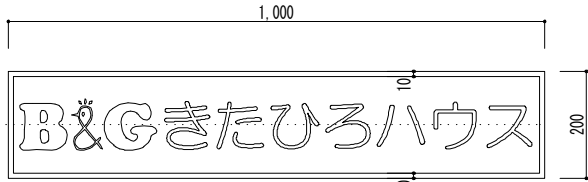
屋根詳細図 1 : 2

屋根 棟換気



その他 1 : 5

館名板 W1000H200D25 1か所



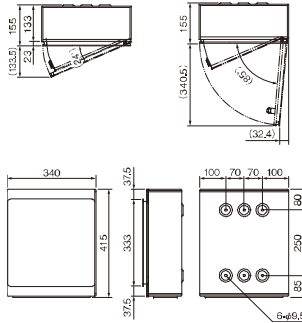
材質 : SUS  
仕上 : 文字・枠 HL、底 VB  
PL 加工フレーム

・書体、館名、レイアウト等要協議  
・留付金具は漏水がないように留意すること

ポスト W340H415D155

投入時

取出時



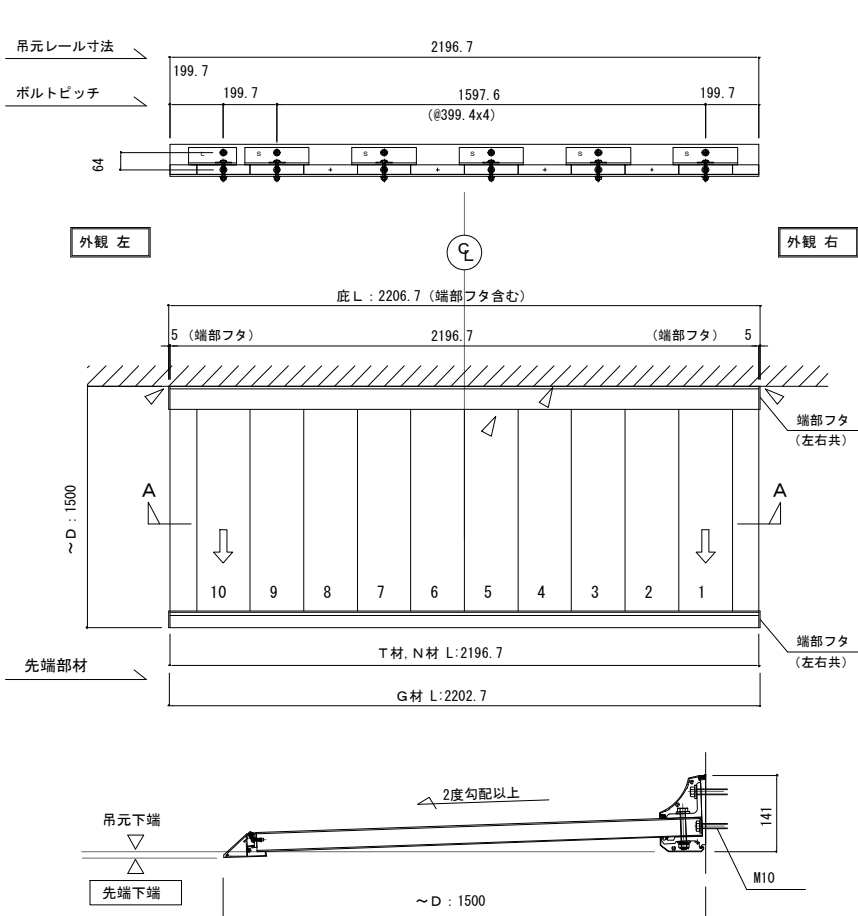
※本図は右勝手 (RPK) を示す。  
参考品番 : 杉田エース 大型郵便物対応ポスト MB36 F (壁付タイプ) 右勝手



吊元正面図  
(ボルトピッチ図)  
S=1:20

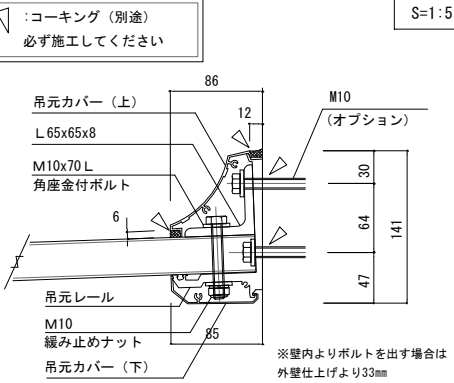
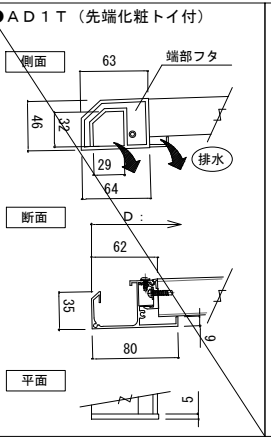
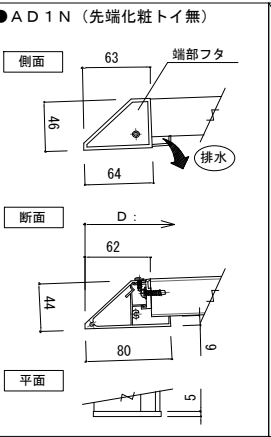
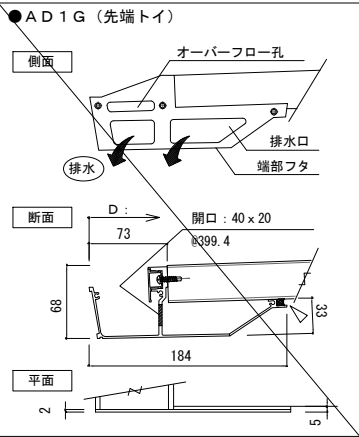
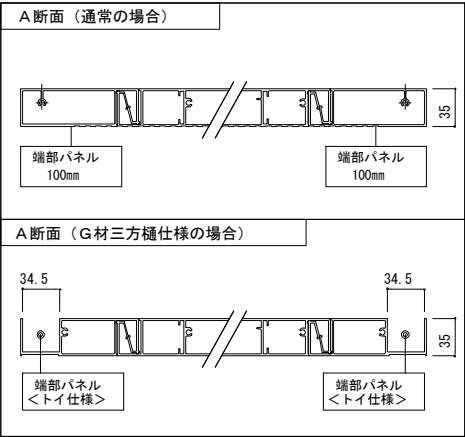
平面図  
S=1:20

断面図  
S=1:10

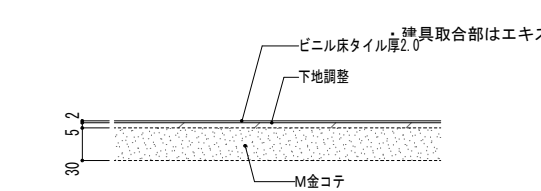
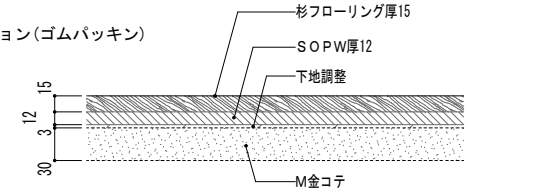
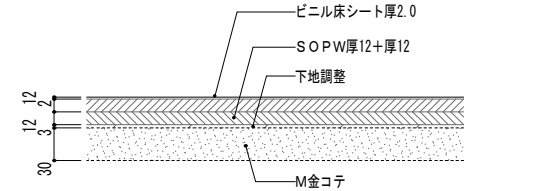
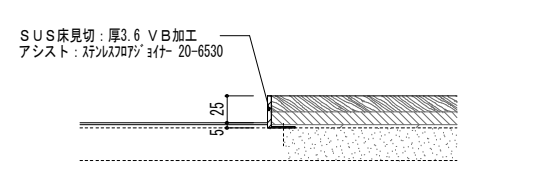
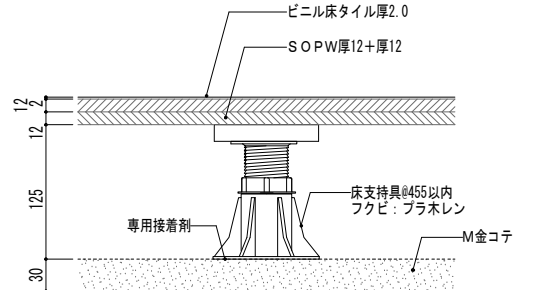
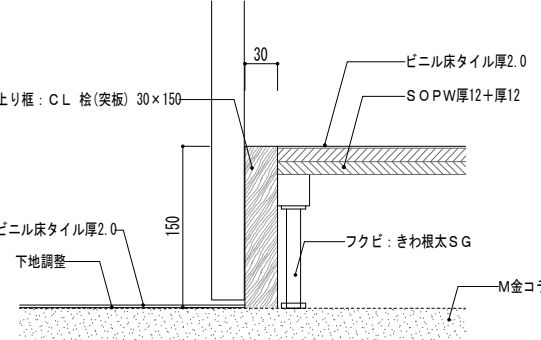
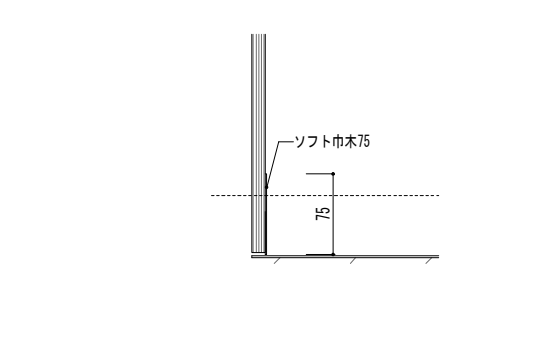
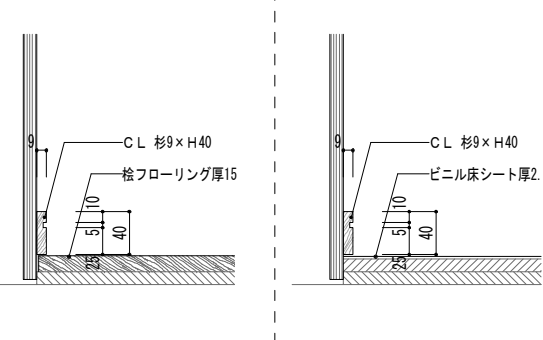
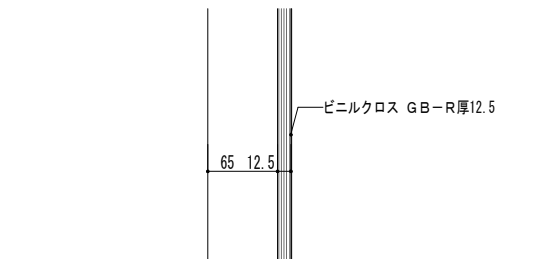
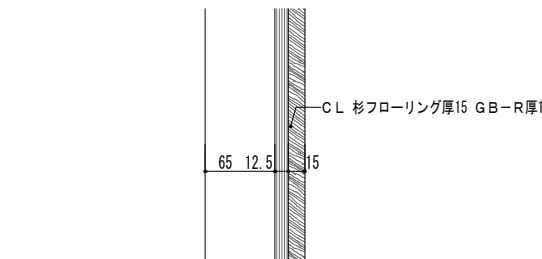
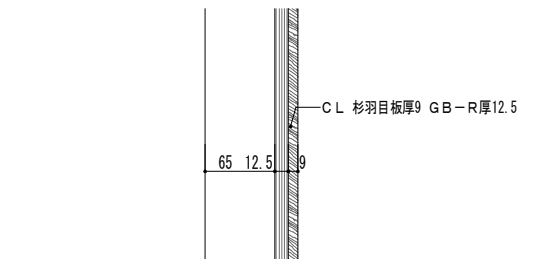
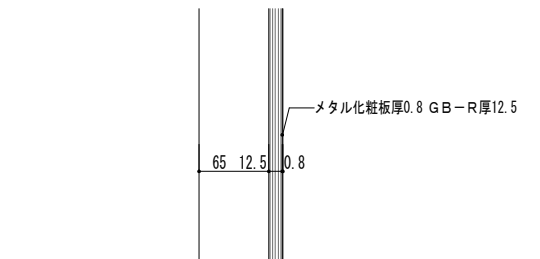
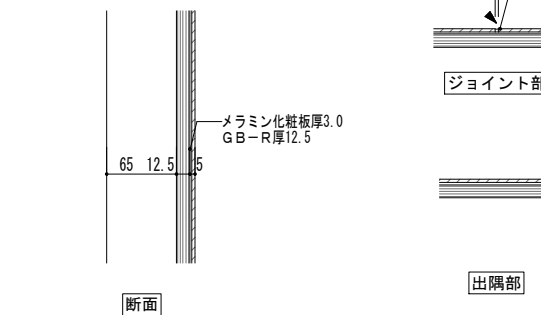
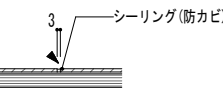
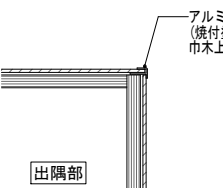
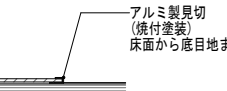
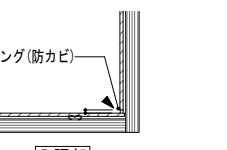
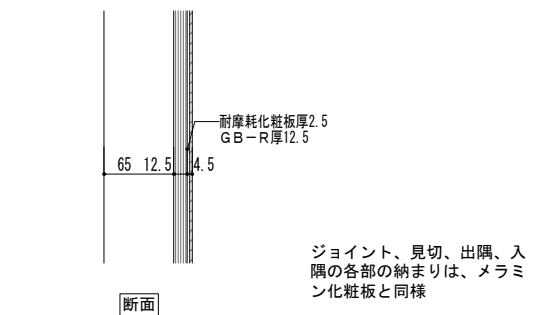


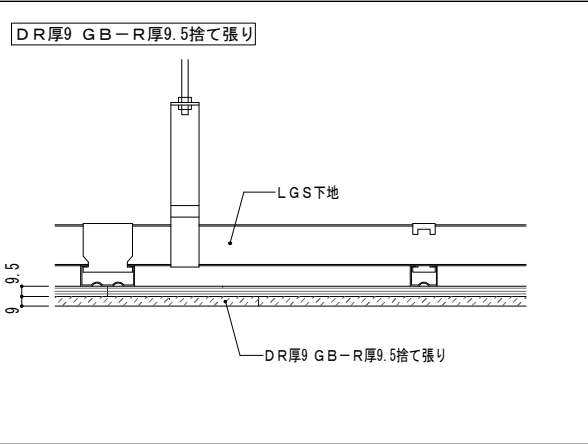
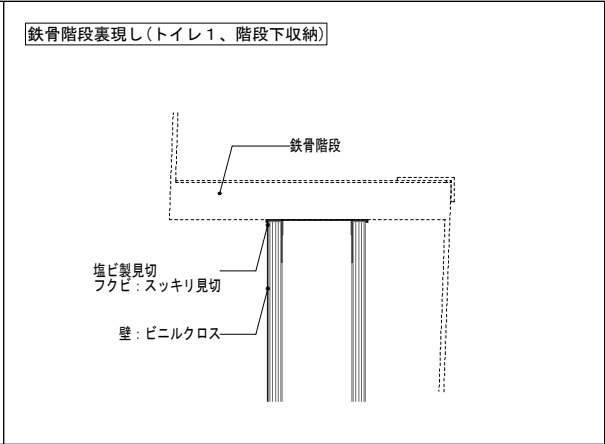
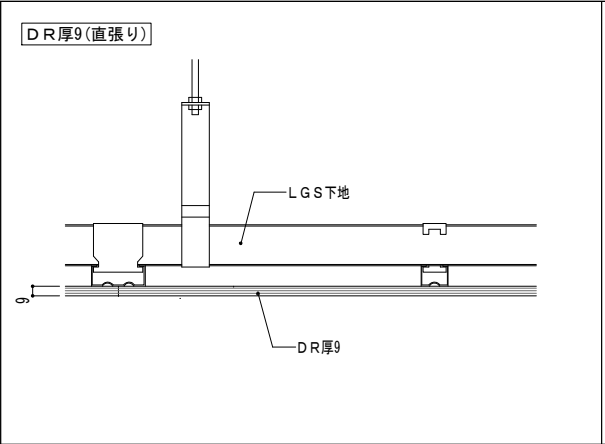
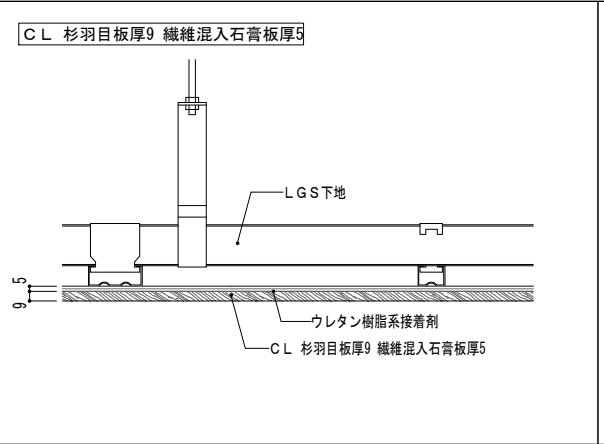
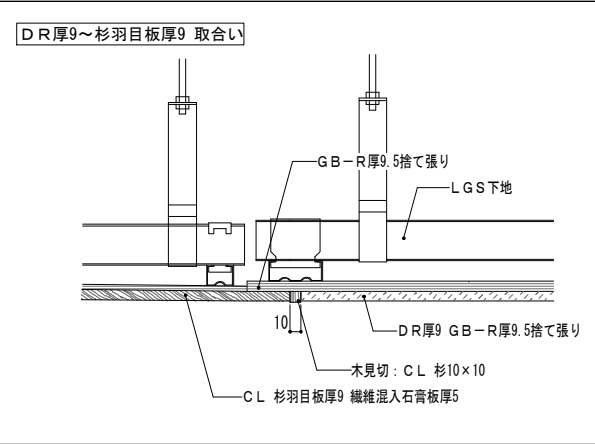
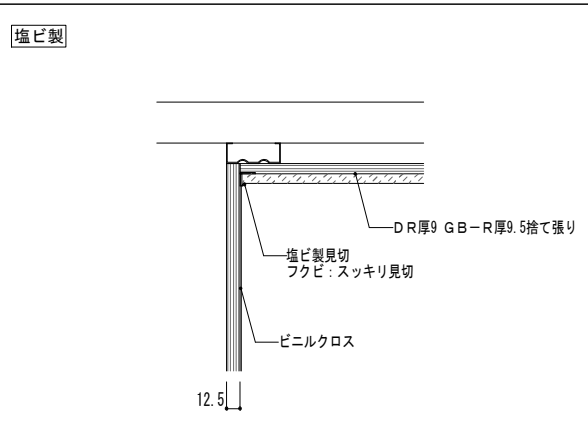
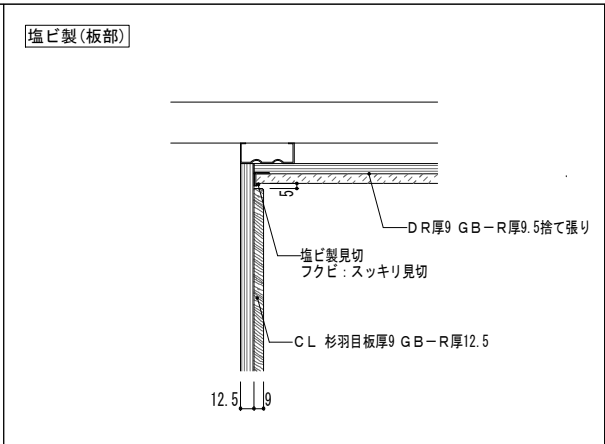
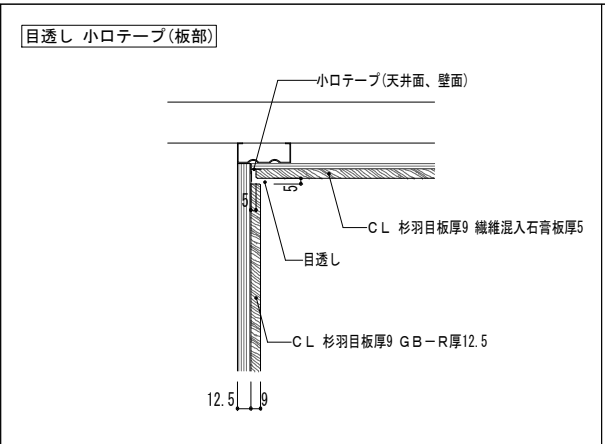
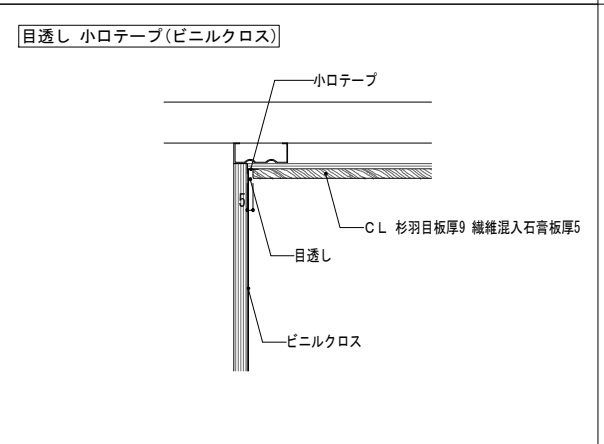
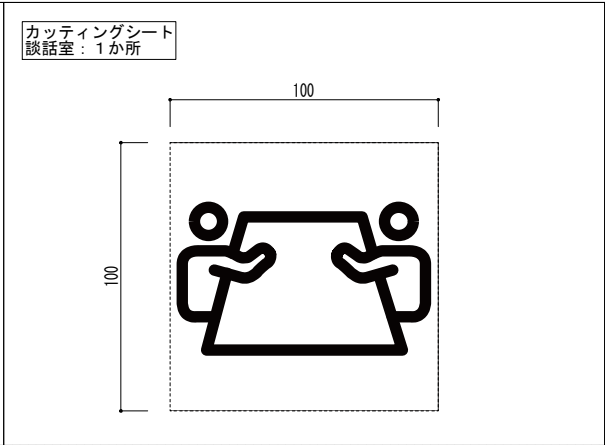
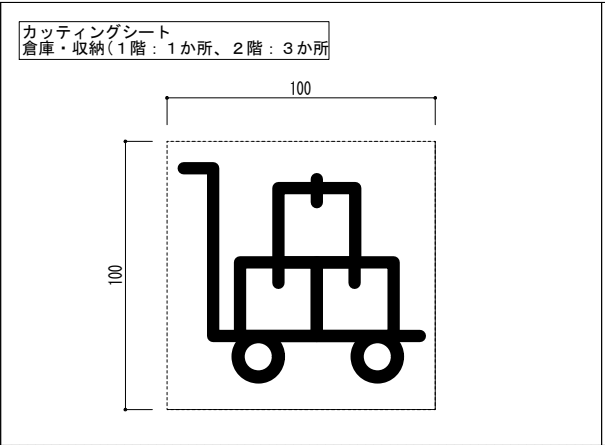
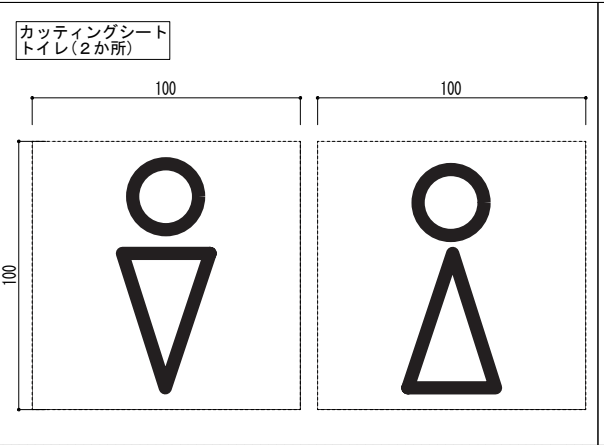
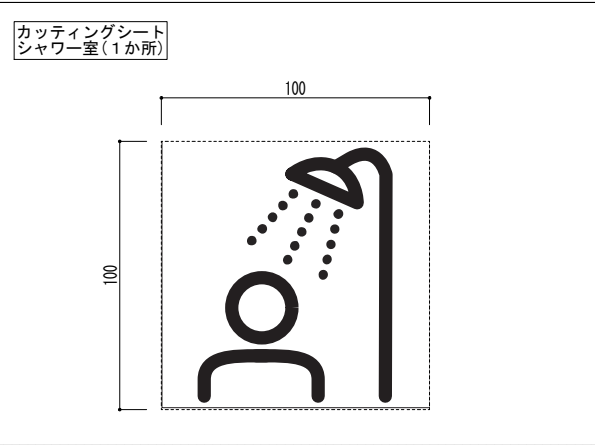
L=2,200

- 製品及び施工に関するご注意●
- ・仕上げ材および躯体の強度は、取付け前に外壁メーカー様にご確認ください。
  - ・下地の強度不足等による躯体破損、事故等の損害についての責任は負いかねます。
  - ・壁面の下地確認と補強対策は必ず行ってください。
  - ・外壁材裏に空気層がある場合は、締付けにより外壁材が破損しないよう補強対策を行ってください。
  - ・ボルト・ナットが緩む恐れがありますので、緩まないよう緩み止め対策を行ってください。



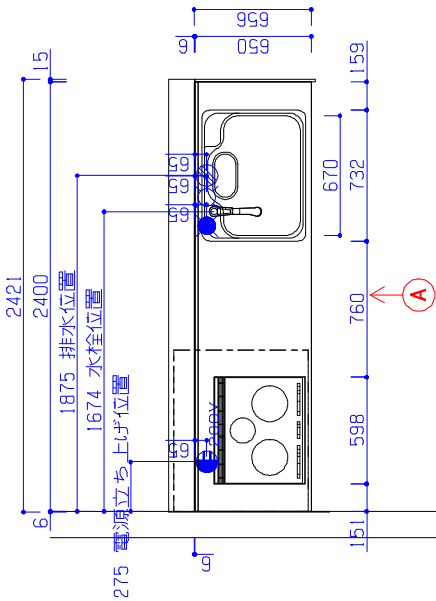
S=1:5

床詳細図 1 : 5					
<div>ビニル床タイル厚2.0</div> <div></div>	<div>桧フローリング厚15</div> <div></div>	<div>ビニル床シート厚2.0</div> <div></div>	<div>SUS床見切(玄関～廊下)</div> <div></div>	<div>乾式二重床組(脱衣室)</div> <div></div>	
床詳細図 1 : 5		巾木詳細図 1 : 5			
<div>上り框(ホール～脱衣室)</div> <div></div>	<div>ソフト巾木H75</div> <div></div>	<div>CL 杉8×H40</div> <div></div>			
壁詳細図 1 : 5					
<div>ビニルクロス GB-R厚12.5</div> <div></div>	<div>CL 杉フローリング厚15横張り GB-R厚12.5</div> <div></div>	<div>CL 杉羽目板厚9横張り GB-R厚12.5</div> <div></div>	<div>メタル化粧板厚0.8 GB-R厚12.5</div> <div></div> <div>断面</div>		
壁詳細図 1 : 5					
<div>メラミン化粧板厚3.0 耐水合板厚12</div> <div></div> <div>断面</div>	<div>ジョイント部</div> <div></div> <div>出隅部</div> <div></div> <div>平面</div>		<div>見切部</div> <div></div> <div>入隅部</div> <div></div>	<div>耐摩耗化粧板厚2.5 GB-R厚12.5</div> <div></div> <div>断面</div>	<div>ジョイント、見切、出隅、入隅の各部の納まりは、メラミン化粧板と同様</div>

天井詳細図 1 : 5				
<div>DR厚9 GB-R厚9.5捨て張り</div> 	<div>鉄骨階段表現し(トイレ1、階段下収納)</div> 	<div>DR厚9(直張り)</div> 	<div>CL 杉羽目板厚9 繊維混入石膏板厚5</div> 	<div>DR厚9~杉羽目板厚9 取合い</div> 
廻縁詳細図 1 : 5				
<div>塩ビ製</div> 	<div>塩ビ製(板部)</div> 	<div>目透し 小ロテープ(板部)</div> 	<div>目透し 小ロテープ(ビニルクロス)</div> 	
サイン詳細図 1 : 2				
<div>サイン特記事項</div> <div>(1)使用材料 a. 木材 : VOC商品(F★★★★対応) b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5(アルミ押出型材) c. アクリル : JIS-K-5718 d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304 H/L仕上 (2)フォント 1. 書体は、原稿を作成し監督員の承諾を受ける。 (3)ピクトグラム 1. 図柄は、原稿を作成監督員の承諾を受ける。 (4)取付位置・方法 a. 取付位置は、視認性を考慮し、監督員と協議の上決定すること。 b. 取付方法は、取付位置の下端等を考慮し適切な方法で取り付けること。 c. 障害者用サインは、福祉要綱に基づき、監督員と協議の上決定すること。 (5)その他 a. サイン施工は、当該施設のほか工事と十分に調整協議をすること。</div>	<div>カッティングシート 談話室 : 1か所</div> 	<div>カッティングシート 倉庫・収納(1階 : 1か所、2階 : 3か所)</div> 	<div>カッティングシート トイレ(2か所)</div> 	<div>カッティングシート シャワー室(1か所)</div> 

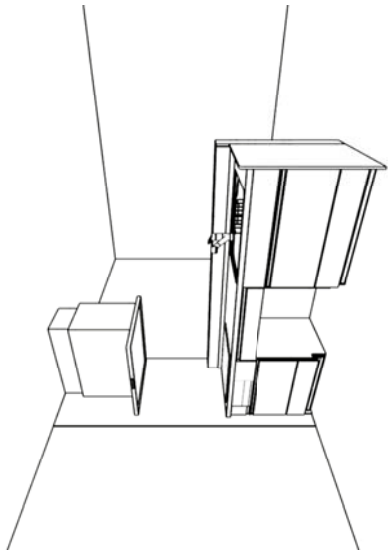
サイン詳細図 1:2 1:2





平面図

縮尺 1/30



本体の「取付・設置」以外の関連工事（大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事、建具工事等）は法的有資格者による工事が必要になります。

■設備記号・展開図表示記号

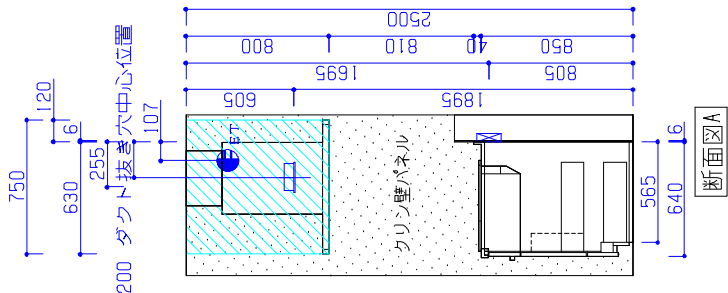
記号	記号の意味	記号	記号の意味
○	給水位置	●	コンベト取付位置
●	給湯位置	● <sub>2</sub>	コンベト取付位置/2口
●	排水位置	● <sub>200V</sub>	コンベト取付位置/200V
▲	ガス配管位置	● <sub>ET</sub>	アース付コンベト取付位置
→	電源取出し位置	● <sub>E</sub>	2極接地極付コンベト取付位置
④	ガス 対応あり	★	ガス 対応なし ネット (電源ユニット付き)
○	部番：ガス 対応なし ネット	□	部番：扉開放防止部品付き

■商品概要

商品シリーズ	STEDIA
扉シリーズ	class5
扉カラー	メイン色 スエードホワイト サブ色
キャビネットカラー	
取手種類	ライン取手(シルバー)
W・D・H	240cm/65cm/85cm
トップカラー	ステンレス/ドット柄コイニング加工
シンク種類	美・サイレントシンク (小) SVシンク/ガラス
天井高さ	確定 (2500mm)
壁パネル	クリン壁パネル/ステンレス
壁パネル部材	
アストラタイプ	
開放防止部材	なし
水栓金具	サイレント水栓
引出し仕様	サイレントレール (底板ステンレス あり)
食器洗浄乾燥器	なし
調理器	3口IHヒーター
レンジフード	グリル：水無面焼き W=90cm/ともクリンフード サイドタイプ
吊戸	
カウンタートップ	
ガラスタイプ	

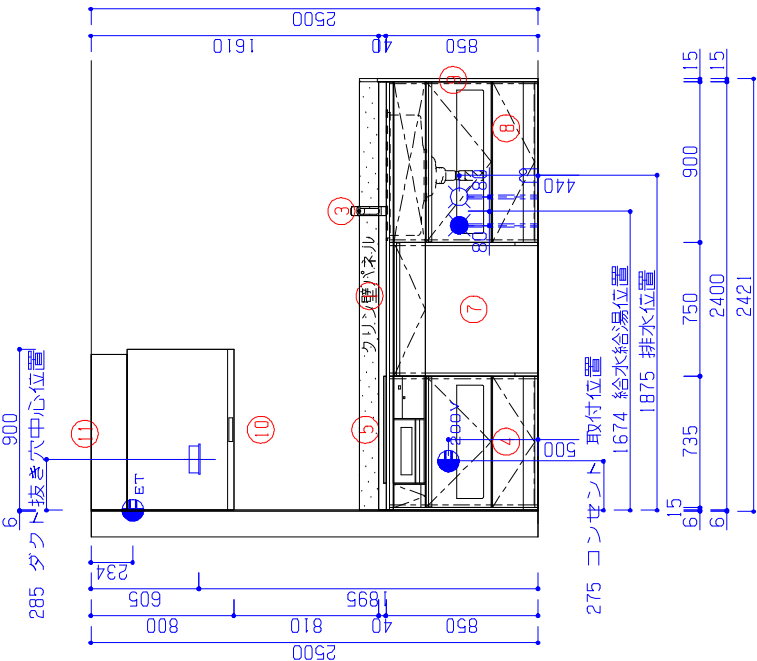
■必ずお読み下さい

天井裏板取付下地 (天井側) は建築工事にてご用意下さい。  
以下の工事・部材は別途ご用意下さい。  
・ダクト工事、壁面開口、屋外化粧カバー等  
・給排水配管、電気配線、および接続工事  
【重要】ともクリンフードサイドタイプが選択されております。取付に關しては、必ず別紙「ともクリンフードサイドタイプビス固定位置について」を確認してください。



断面図A

縮尺 1/30



展開図A

■設備記号・展開図表示記号

記号	記号の意味	記号	記号の意味
○	給水位置	●	コンベト取付位置
●	給湯位置	● <sub>2</sub>	コンベト取付位置/2口
●	排水位置	● <sub>200V</sub>	コンベト取付位置/200V
▲	ガス配管位置	● <sub>ET</sub>	アース付コンベト取付位置
→	電源取出し位置	● <sub>E</sub>	2極接地極付コンベト取付位置
④	ガス 対応あり	★	ガス 対応なし ネット (電源ユニット付き)
○	部番：ガス 対応なし ネット	□	部番：扉開放防止部品付き

本体の「取付・設置」以外の関連工事（大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事、建具工事等）は法的有資格者による工事が必要になります。

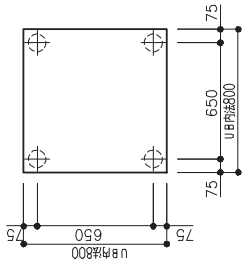
■商品詳細

No	詳細	設備等
1	D650/1型	
3	サイル水栓 ハンドリ付き	
5	W=60cm 3口IHヒーター	5800W (A2200V) 差し込みプラグ30 A 250V 2極 (接地極付き)
10	W=90cmとともクリンフード* (対面)	(A2100V) コンセント (15A、アー ス端子) ダクト径150mm

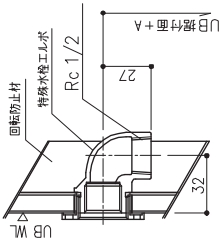
■必ずお読み下さい

天井裏板取付下地 (天井側) は建築工事にてご用意下さい。  
以下の工事・部材は別途ご用意下さい。  
・周囲躯体、仕上げ、取り付け用下地工事  
・ダクト工事、壁面開口、屋外化粧カバー等  
・給排水配管、電気配線、および接続工事  
【重要】ともクリンフードサイドタイプが選択されております。取付に關しては、必ず別紙「ともクリンフードサイドタイプビス固定位置について」を確認してください。

JSV0808UL コロナガシ ●は、基本仕様からの変更箇所				
名 称	仕 様 ・ 寸 法	色 ・ 柄	特 記 事 項	備 考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル (須磨防カビ仕様・モールド) 点検口450 (縁り点検口・落下防止用継付・石膏ボード2枚貼り)	ホワイト		
壁パネル	HQパネル	ベージュホワイト		
● 床パネル	FRP カラリ床 (緑色)	ホワイト (併NW1)		ACA01
ドア枠	アルミブライト処理	アイボリー		
ドアパネル	扉戸 ドア脱着機構付 面材：型紙スチレン板 W=800 (特別開口幅 671mm)	アイボリー 面材：半透明		
● シャワー水栓	TBV034332型 壁付サーモスタットシャワー器具 (兼浴用) (パイプ径L=70)			SSGFK
● シャワーヘッド	コンフォートエアーブクシングシャワー ホース：L=1600 鋼圧糸有	ヘッド：メタル調 ホース：シルバー		SRW15 SSGFK
● シャワーハンガー	THC51E 上段：角渡調整式シャワーハンガー 下段：固定式シャワーハンガー	メタル調		SRW15 SSGFK
● 照明	電源内蔵型LEDダウンライト 1灯あたりの消費電力2.1W 電球色 VVFL1.6φ×2C L=1.3m付		(以降接続別途)	KSCE1
ジョイントボックス	エコミージョイント WJ3107相当品		(ジョイントボックスま での配線及びジョイント ボックス内の配線別途)	
● 換気口	パイプファン AC100V 消費電力3.2/3.8W (50/60Hz)		(以降接続別途)	IKK85
給水エルボ (シャワー用)	青銅製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)	
給湯エルボ (シャワー用)	青銅製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)	
● 排水トラップ	ABS樹脂 排水深50mm 接続口 VP50φ ヘアークャッチャー付 高圧洗浄対応 保温カバー付		(以降接続別途)	ACA01
● タオル掛け	ステンレス製 角パイプ L=300	座：シルバー		KTA22
● 取っ柄	コーナー取っ柄2段	ストーンホワイト		ESA51



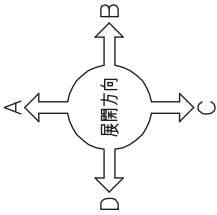
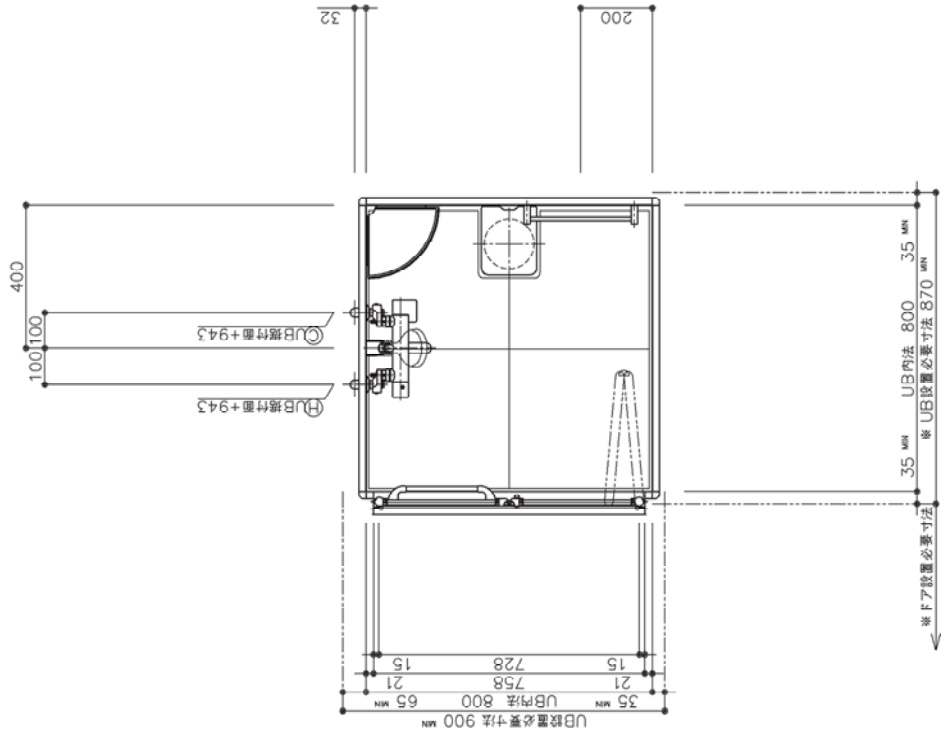
床支持位置図



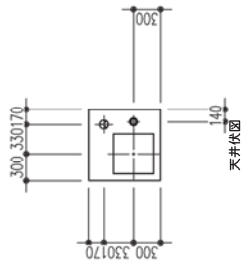
名称	A寸法
シャワー用給水エルボ	943
シャワー用給湯エルボ	943

※各器具の穴加工・補強は現場加工となります。

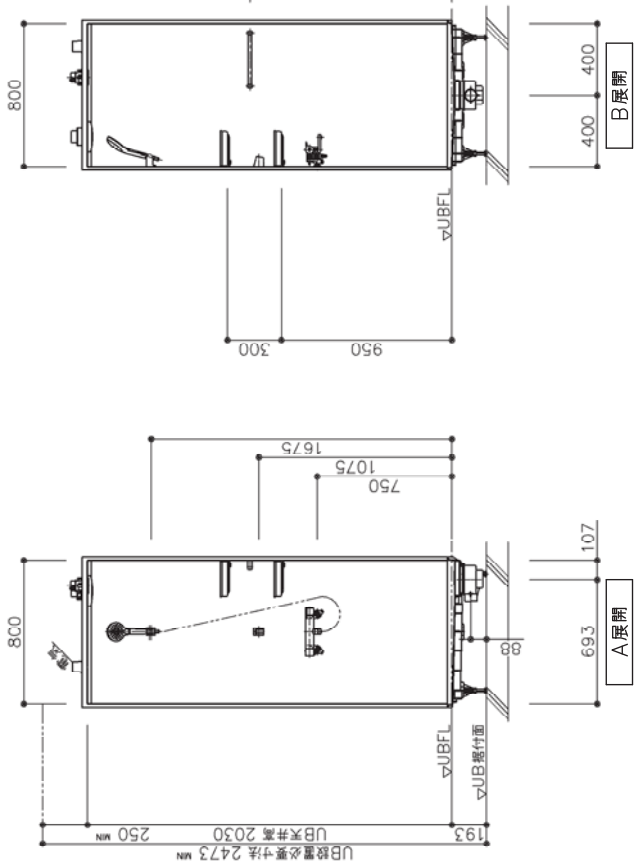
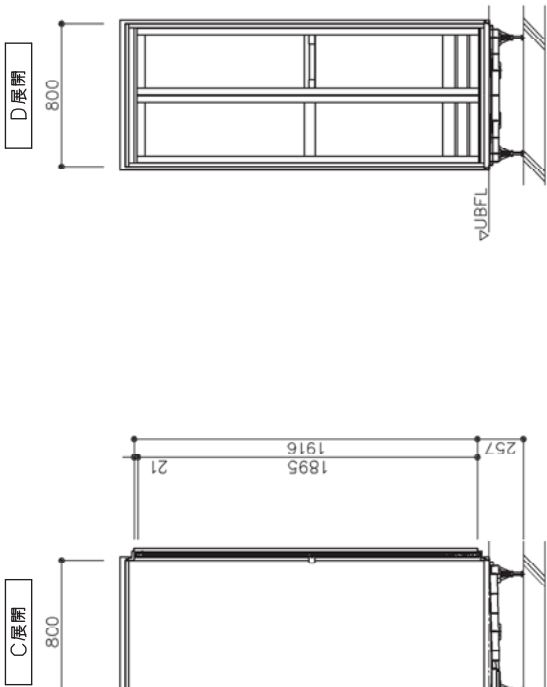
商品 (図面) は、諸般の事情により、予告なく改良、仕様変更などを行う場合があります★マークは、消費生活用製品安全法「長期使用製品安全点検制度」で指定された「特定保守製品」です。



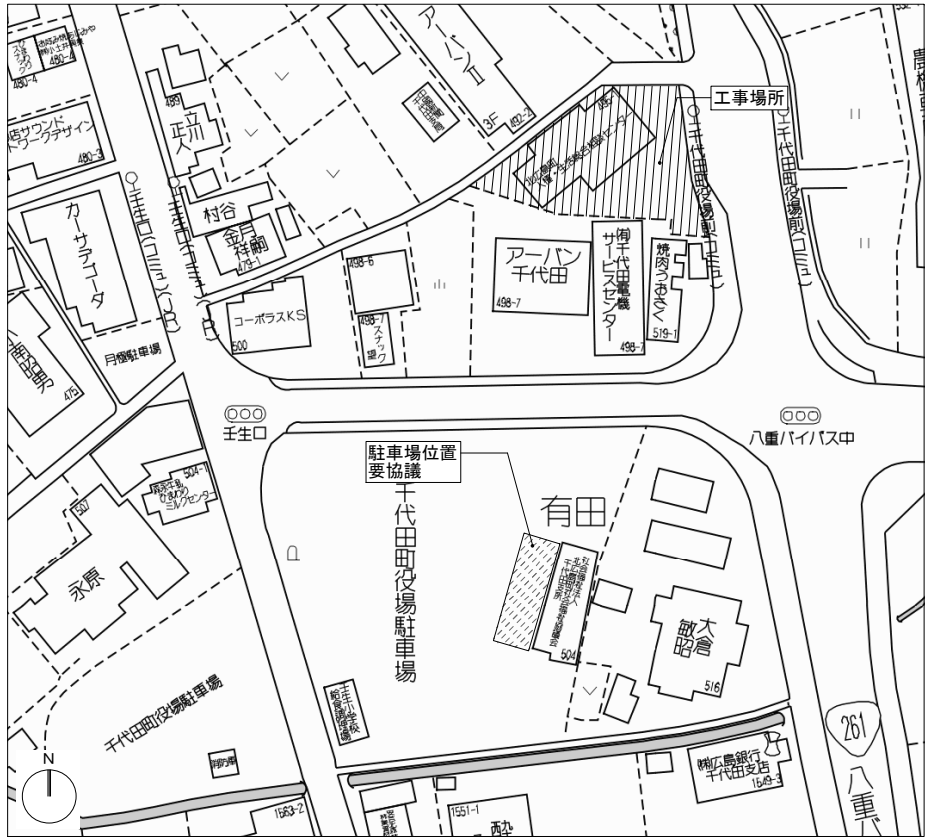
※UB設置必要寸法に  
ドア設置必要寸法は含んていません。  
ドア納まりについての詳細は必ず  
矩計図をご確認ください。



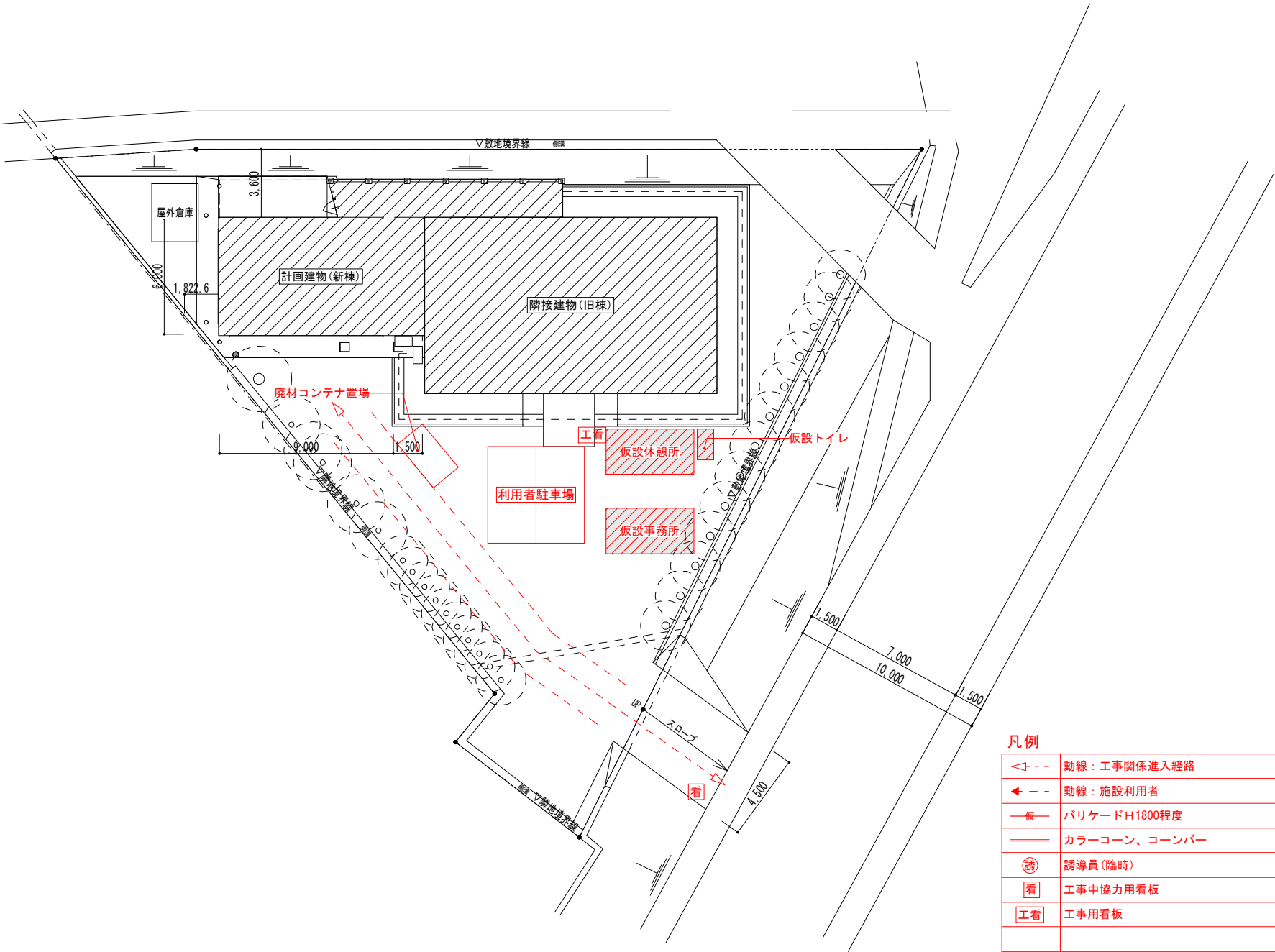
↑は、諸般の事情により、予告なく改良、仕様変更などを行う場合があります。



※UB据付高さ調整範囲 193～227mm



駐車場位置



凡例

⇐ - -	動線：工事関係進入経路
⇐ - -	動線：施設利用者
—仮—	バリケードH1800程度
——	カラーコーン、コーンバー
誘	誘導員(臨時)
看	工事中協力用看板
工看	工事用看板

特記事項

- ・仮設図に記載された仮設資材等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全な施工に努めること。
- ・材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。
- ・基本的に作業員は、外部より施工箇所にアクセスすること。ただし、工程上やむを得ず校内を通る場合は、事前に学校関係者に連絡すること。
- ・仮設事務所は備品、電気設備、OA機器、インターネット環境など備え置き、管理者が円滑に現場管理、書類作成業務等取り組める環境とすること。

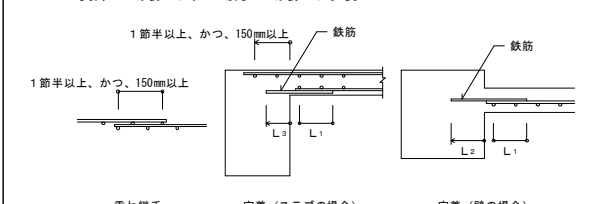
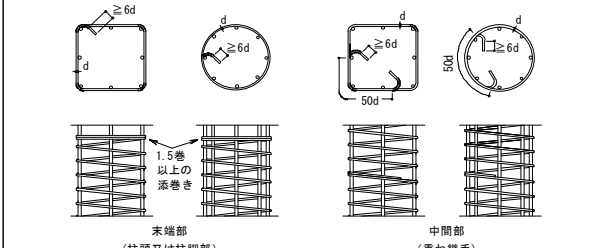
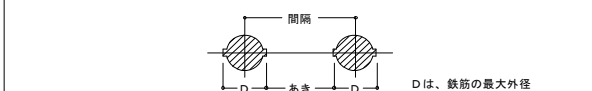
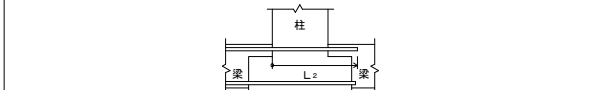
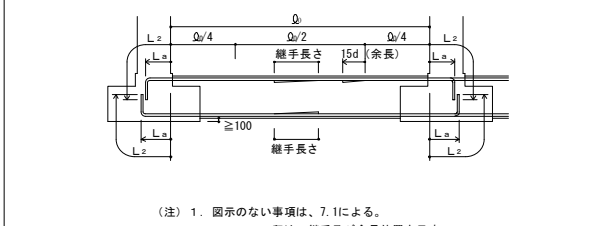
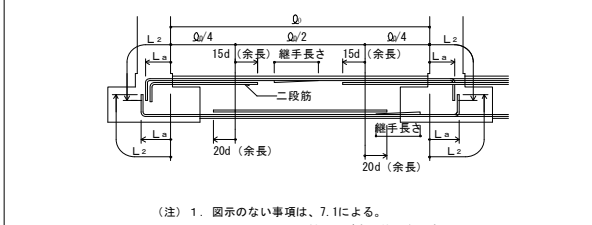
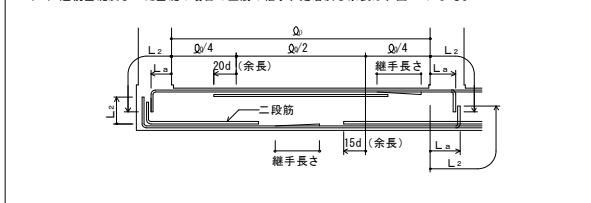
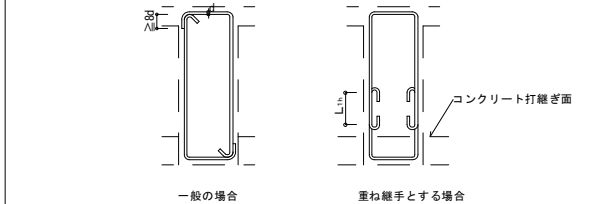
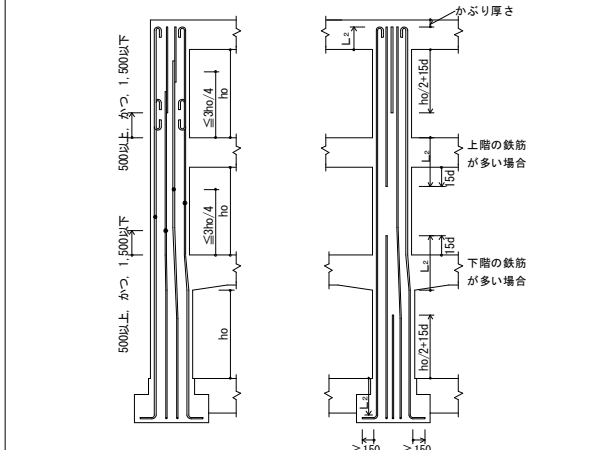
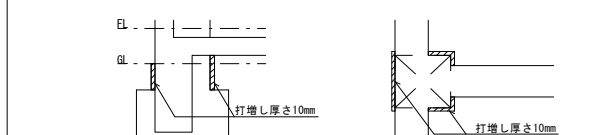
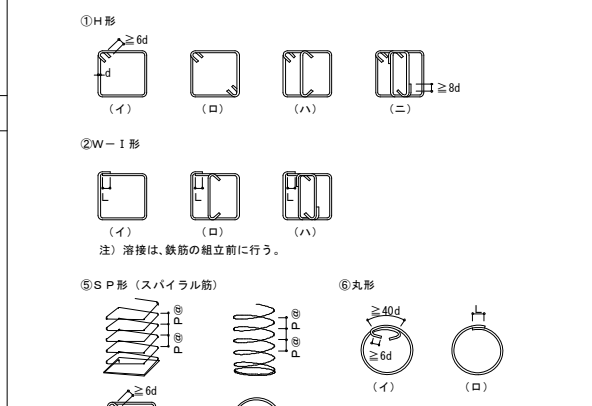
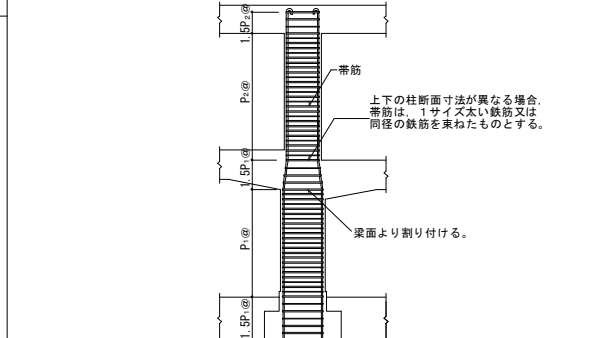

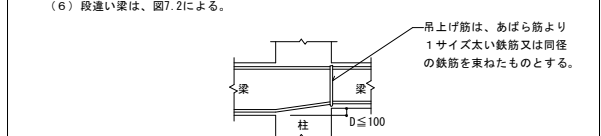
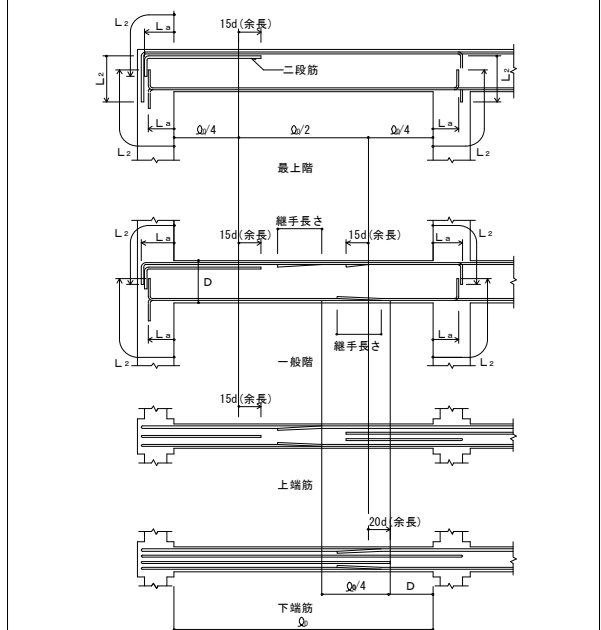
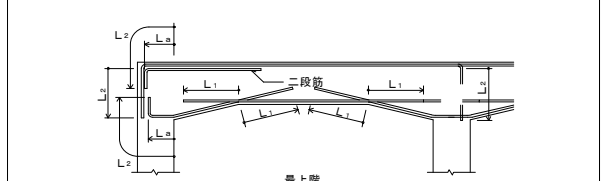


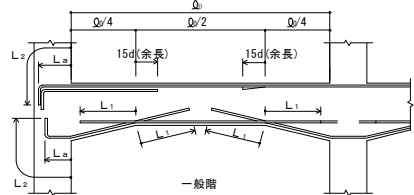
配置図 1:200







建物概要等		構造関係共通事項（共通事項）		構造関係共通事項（配筋標準図）		（３）耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d以上（軽量コンクリートの場合は50d以上）又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。	
1. 建物概要等		建物概要		1.1 鉄筋の加工		（４）隅り合う継手の位置は、表3.2による。 ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。	
		構-1 総則				表3.2 隅り合う継手の位置	
		2. 構造設計条件等				（b）鉄筋の定着 （１）鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。 （２）柱に取り付け梁の引張り鉄筋の直線定着長さは、40d以上（軽量コンクリートの場合は50d以上）とする。	
		3. 地盤調査資料				表3.3 鉄筋の定着の長さ	
		4. 液状化対策				（注）1. L <sub>1</sub> 、L <sub>1h</sub> : 2. から4. までの直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ 2. L <sub>2</sub> 、L <sub>2h</sub> : 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ 3. L <sub>3</sub> : 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁は除く。 4. L <sub>3h</sub> : 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ 5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分Qを含まない。 また、中間部での折曲げは行わない。 6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。	
		※当該数地の既往調査報告書 ・構造図による				図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ	
		・有り （範囲・工法・仕様・計測・試験等については構造図を参照） ○無し		構-2 施工方法及び計画書関連等		（2）梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)をすべて満足するものとする。 (i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上 (ii) 余長は8d以上とする。 (iii) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さL <sub>a</sub> 及びL <sub>b</sub> は表3.4に示す長さとする。 ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。	

<p>表3.4 鉄筋の投影定着の長さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄筋の種 類</th><th>コンクリートの設計基準強度 <math>f_c</math> (N/mm<sup>2</sup>)</th><th><math>L_a</math></th><th><math>L_b</math></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">SD295A SD295B</td><td>18</td><td>20d</td><td>15d</td></tr> <tr> <td>21</td><td>15d</td><td>15d</td></tr> <tr> <td>24, 27</td><td>15d</td><td>15d</td></tr> <tr> <td rowspan="5"></td><td>30, 33, 36</td><td>15d</td><td>15d</td></tr> <tr> <td>18</td><td>20d</td><td>20d</td></tr> <tr> <td>21</td><td>20d</td><td>20d</td></tr> <tr> <td>24, 27</td><td>20d</td><td>15d</td></tr> <tr> <td>30, 33, 36</td><td>15d</td><td>15d</td></tr> <tr> <td rowspan="3">SD345</td><td>21</td><td>20d</td><td>20d</td></tr> <tr> <td>24, 27</td><td>20d</td><td>15d</td></tr> <tr> <td>30, 33, 36</td><td>15d</td><td>15d</td></tr> <tr> <td rowspan="3">SD390</td><td>21</td><td>20d</td><td>20d</td></tr> <tr> <td>24, 27</td><td>20d</td><td>20d</td></tr> <tr> <td>30, 33, 36</td><td>20d</td><td>15d</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. <math>L_a</math> : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。)</p> <p>2. <math>L_b</math> : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持小梁及び片持スラブを除く。)</p> <p>3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5 dを加えたものとする。</p> <p>(3) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。        なお、<math>L_1</math>は表3.1に、<math>L_2</math>及び<math>L_3</math>は表3.3による。</p>  <p>図3.4 溶接金網の継手及び定着</p> <p>(4) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による</p>  <p>図3.5 スパイラル筋の継手及び定着</p>	鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 $f_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	$L_a$	$L_b$	SD295A SD295B	18	20d	15d	21	15d	15d	24, 27	15d	15d		30, 33, 36	15d	15d	18	20d	20d	21	20d	20d	24, 27	20d	15d	30, 33, 36	15d	15d	SD345	21	20d	20d	24, 27	20d	15d	30, 33, 36	15d	15d	SD390	21	20d	20d	24, 27	20d	20d	30, 33, 36	20d	15d	 <p>図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔</p> <p>(e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。</p> <p>(f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。</p> <p>5.1 基礎梁</p> <p>(a) 一般事項</p> <p>(1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。</p> <p>(2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b)(4)による。</p>  <p>図5.1 梁筋の基礎梁内への定着</p> <p>(b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。</p>  <p>図5.2 主筋の継手、定着及び余長(その1)</p> <p>(c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。</p>  <p>図5.3 主筋の継手、定着及び余長(その2)</p>	<p>(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。</p>  <p>図5.4 主筋の継手、定着及び余長(その3)</p> <p>(注) 1. 図示のない事項は、7.1による。        2. 印は、継手及び余長位置を示す。        3. 破線は、柱内定着の場合を示す。        4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)</p> <p>5.2 基礎梁のあばら筋等</p> <p>(a) 一般事項</p> <p>(1) あばら筋の径および間隔は、構造図による。</p> <p>(2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。        ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。</p>  <p>図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置</p> <p>(b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。</p> <p>(c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。</p> <p>6.1 柱</p> <p>(a) 一般事項</p> <p>(1) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3h/4(hoは柱の内法高さ)以下とする。</p> <p>(2) 継手、定着及び余長は、図6.1による。        ただし、柱頭定着長さ<math>L_2</math>が確保できない場合は、構造図による。</p>  <p>図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長</p> <p>(注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。        2. 隅り合う継手の位置は、表3.2「隅り合う継手の位置」による。        3. 継手及び定着は、すべての階に適用できる。</p>	<p>(b) 柱打増し部</p> <p>(1) 打増し部分に、壁、梁、スラブ等がとりつく場合の壁、梁、スラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。</p> <p>(2) 土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。</p>  <p>図6.2 柱打増し部</p> <p>6.2 帯筋</p> <p>(a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。</p> <p>(b) 帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。</p> <p>(1) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。</p> <p>(2) 溶接する場合の溶接長さ<math>L_1</math>は、両面フレア溶接の場合は5 d以上、片面フレア溶接の場合は10 d以上とする。</p> <p>(3) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。</p>  <p>図6.3 帯筋組立の形</p> <p>(c) フック及び継手の位置は交互とする。</p> <p>(d) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。</p>  <p>図6.4 帯筋の割付け</p> <p>(注) 1. 柱に取り付け梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P<sub>1</sub>@または1.5P<sub>2</sub>@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。        2. 図中のP<sub>1</sub>@、P<sub>2</sub>@は、特記された帯筋の間隔を示す。</p>	<p>7.1 大梁</p> <p>(a) 一般事項</p> <p>(1) 梁の上がり下がり又はFLを基準とした寸法値とする。</p> <p>(2) 地中梁下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は構造図による。</p> <p>(3) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合のスラブ、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。</p> <p>(b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項</p> <p>(1) 継手中心位置は、次による。        上端筋：中央 <math>Q_0/2</math>以内        下端筋：柱面より梁せい(D)以上離し、<math>Q_0/4</math>を加えた範囲以内</p> <p>(2) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。</p> <p>(3) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。</p>  <p>図7.1 梁主筋の梁内定着</p> <p>(4) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。        なお、定着の方法は3.1(b)(2)による。        上端筋：曲げ降ろす        下端筋(一般)：原則、曲げ上げる。        下端筋(ハンチ付き)：原則、曲げ上げる。        (5) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。        (6) 段違い梁は、図7.2による。</p>  <p>図7.2 段違い梁</p> <p>(c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。</p>  <p>図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長</p> <p>(注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合(基礎梁を除く)には、フックを付ける。        2. 印は、継手及び余長を示す。        3. 破線は、柱内定着の場合を示す。        4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)</p> <p>(d) ハンチのある場合の定着及び余長は、図7.4による。</p>  <p>図7.4 ハンチのある場合の定着及び余長</p>
鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 $f_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	$L_a$	$L_b$																																																			
SD295A SD295B	18	20d	15d																																																			
	21	15d	15d																																																			
	24, 27	15d	15d																																																			
	30, 33, 36	15d	15d																																																			
	18	20d	20d																																																			
	21	20d	20d																																																			
	24, 27	20d	15d																																																			
	30, 33, 36	15d	15d																																																			
SD345	21	20d	20d																																																			
	24, 27	20d	15d																																																			
	30, 33, 36	15d	15d																																																			
SD390	21	20d	20d																																																			
	24, 27	20d	20d																																																			
	30, 33, 36	20d	15d																																																			



- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着を示す。
5. 梁主筋のみみ込長さ（柱せいの3/4倍以上）

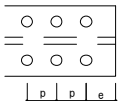


構造関係共通事項(鉄骨標準図)

1-1 縁端距離及びボルト間隔

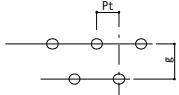
(a) 縁端距離及びボルト間隔  
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。  
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1 縁端距離及びボルト間隔 (単位mm)		
ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12		
M16	40	60
M20		
M22		
M24	45	70



(b) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔  
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2 千鳥のゲージ及びボルト間隔 (単位mm)			
ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt		
	ねじの呼び		
	M12, M16, M20, M22	M24	
35	50	65	
40	45	60	
45	40	55	
50	35	50	
55	25	45	
60	-	40	



(c) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径  
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位mm)											
A型 H型	25 26	g <sup>2</sup>	最大 軸径	B		50 55	30 35	最大 軸径	C		50 55
				125	75				125	75	
60	35	16	150	90	22	70	40	20			
65	35	20	175	105	22	75	40	22			
70	40	20	200	120	24	80	45	22			
75	40	22	250	150	24	90	50	24			
80	45	22	300	150	40 <sup>1)</sup>	24	100	24			
90	50	24	350	140	70	24					
100	55	24	400	140	90	24					
125	50	35	24								
130	50	40	24								
150	55	55	24								
175	60	70	24								
200	60	90	24								

※ 1 千鳥打ちとした場合

(d) ボルト記号

表1.4 高力ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T・S10T)		○	Φ	Φ	Φ	※
溶融亜鉛めっき高力ボルト (FRT相当)			+	+	+	米

表1.5 普通ボルト径の記号

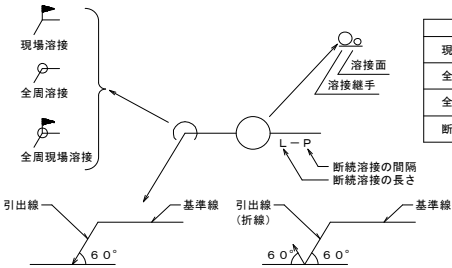
区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト		○	Φ	Φ	Φ	※

表1.6 溶接継手及び溶接面の分類記号

溶 接 継 手	分 類		記 号
	完全溶込み溶接	突合わせ継手 T型継手 かど継手	
			B
			T
			L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	フラア溶接		F L
	片面溶接		1
溶 接 面	両面溶接		2

表1.7 溶接の補助記号

区 分	補助記号
現 場 溶 接	▶
全 周 溶 接	○
全 周 現 場 溶 接	▶○
断続溶接の長さ及び間隔	L-P



※特記無き限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図1.1 溶接記号の記載例

1-2 溶接継手の種類別開先標準

突合わせ継手(B)の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接  
及びセルフシールドアーク溶接)

A (サブマージアーク自動溶接)

1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
$t \leq 6$	
$6 < t \leq 19$	

1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
$t \leq 12$	
$12 < t \leq 22$	

$19 < t \leq 40$	

$22 < t \leq 40$	

$40 < t \leq 60$	
$D1 = 2(t - 2) / 3$ $D2 = (t - 2) / 3$	

$40 < t \leq 60$	
$D1 = (t - 6) / 2$ $D2 = (t - 6) / 2$	

D1 = 2 (t - 2) / 3  
D2 = (t - 2) / 3

D1 = (t - 6) / 2  
D2 = (t - 6) / 2

T型継手(T)の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接  
及びセルフシールドアーク溶接)

A (サブマージアーク自動溶接)

1 (片面溶接)

2 (両面溶接)

$t \leq 6$

$1/4 t \leq S \leq 10$

$1/4 t \leq S \leq 10$

$19 < t \leq 40$

$1/4 t \leq S \leq 10$

$D1 = 2(t - 2) / 3$

$D2 = (t - 2) / 3$

$1/4 t \leq S \leq 10$

1 (片面溶接)

2 (両面溶接)

$t \leq 12$

$1/4 t \leq S \leq 10$

$1/4 t \leq S \leq 10$

$22 < t \leq 40$

$1/4 t \leq S \leq 10$

$D1 = (t - 6) / 2$

$D2 = (t - 6) / 2$

$1/4 t \leq S \leq 10$

D1 = 2 (t - 2) / 3  
D2 = (t - 2) / 3

D1 = (t - 6) / 2  
D2 = (t - 6) / 2

部材が直交しない場合の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)

1 (片面溶接)

$6 < t \leq 40$

$1/4 t \leq S \leq 10$

2 (両面溶接)

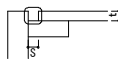
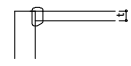
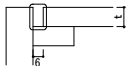
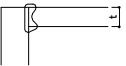
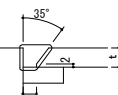
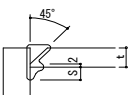
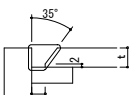
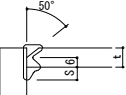
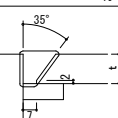
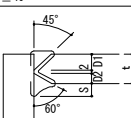
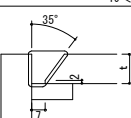
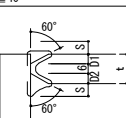
$6 < t \leq 19$

$1/4 t \leq S \leq 10$

$19 < t \leq 40$

$1/4 t \leq S \leq 10$

かど継手(L)の開先標準

(単位 : mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接 及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
$t \leq 6$		$t \leq 12$	
			
$S = t$			
$6 < t \leq 19$		$12 < t \leq 19$	
			
$1/4 t \leq S \leq 10$		$1/4 t \leq S \leq 10$	
$19 < t \leq 40$		$19 < t \leq 40$	
			
$D1 = 2(t - 2) / 3$ $D2 = (t - 2) / 3$ $1/4 t \leq S \leq 10$		$D1 = (t - 6) / 2$ $D2 = (t - 6) / 2$ $1/4 t \leq S \leq 10$	

隅肉溶接(F)の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)

1 (片面溶接)

$t \leq 16$

2 (両面溶接)

$t \leq 16$

$16 < t \leq 40$

隅肉溶接のサイズ

(単位：mm)																			
t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21

部分溶込み溶接(P)の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)

1 (片面溶接)

$12 \leq t \leq 40$

t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	13	14	14	15	16

$1/4 t \leq S \leq 10$

2 (両面溶接)

$16 \leq t \leq 40$

$D1 = (t - 2) / 2$

$D2 = (t - 2) / 2$

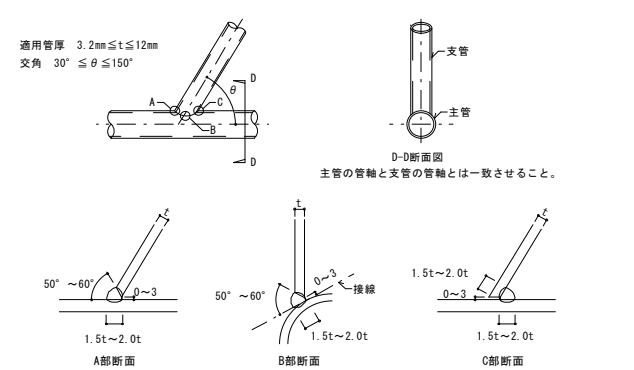
$1/4 t \leq S \leq 10$

フラア溶接(FL)の開先標準

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)			
1 (丸鋼等片面溶接)	2 (丸鋼等両面溶接)	3 (軽量形鋼V形溶接)	4 (軽量形鋼L形溶接)
$t \geq 3$ のとき $S = t$ $t < 3$ のとき $S = 3$		$t \geq 3$ のとき $S = t$ $t < 3$ のとき $S = 3$	$t \geq 3$ のとき $S = t$ $t < 3$ のとき $S = 3$

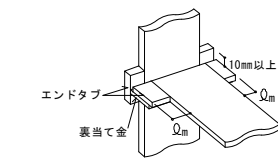
1-3 鋼管分岐継手詳細

自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。



1-4 鉄骨溶接施工

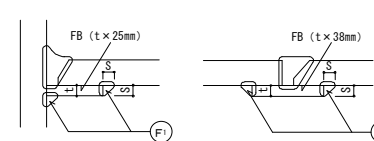
- (a) エンドタブ・裏当て金の鋼材の種類及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。  
(b) エンドタブ  
エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。



溶接方法	Qm
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

(c) 裏当て金

- (1) 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。  
(2) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。

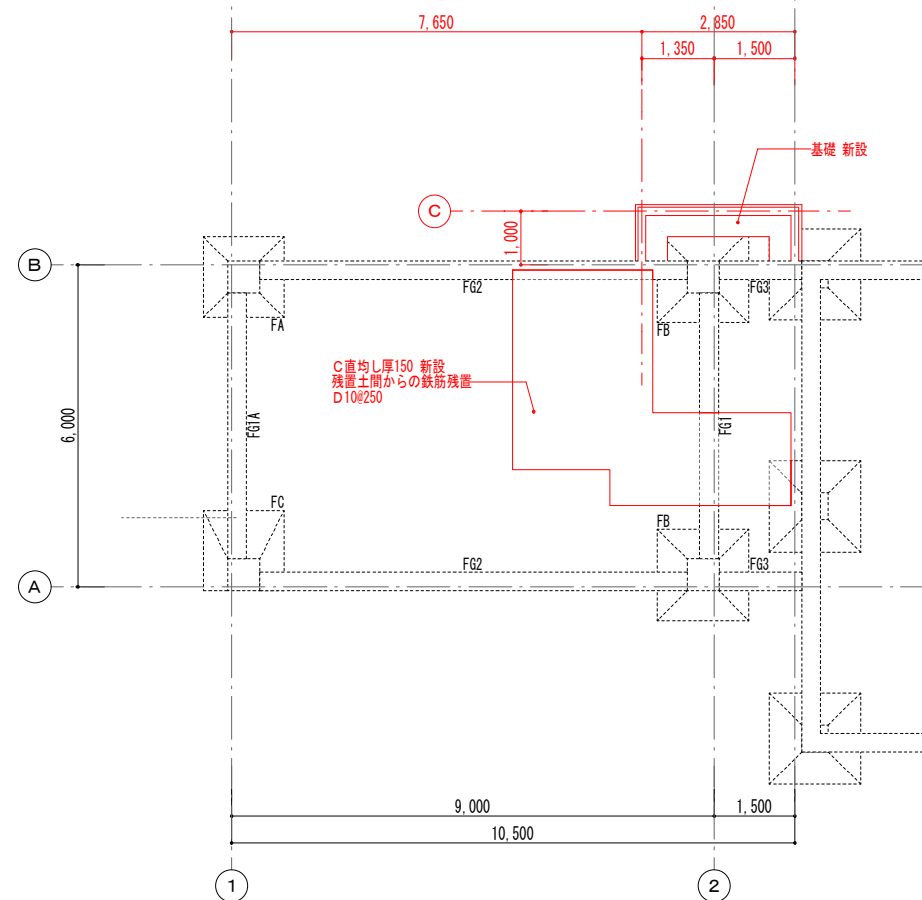


溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

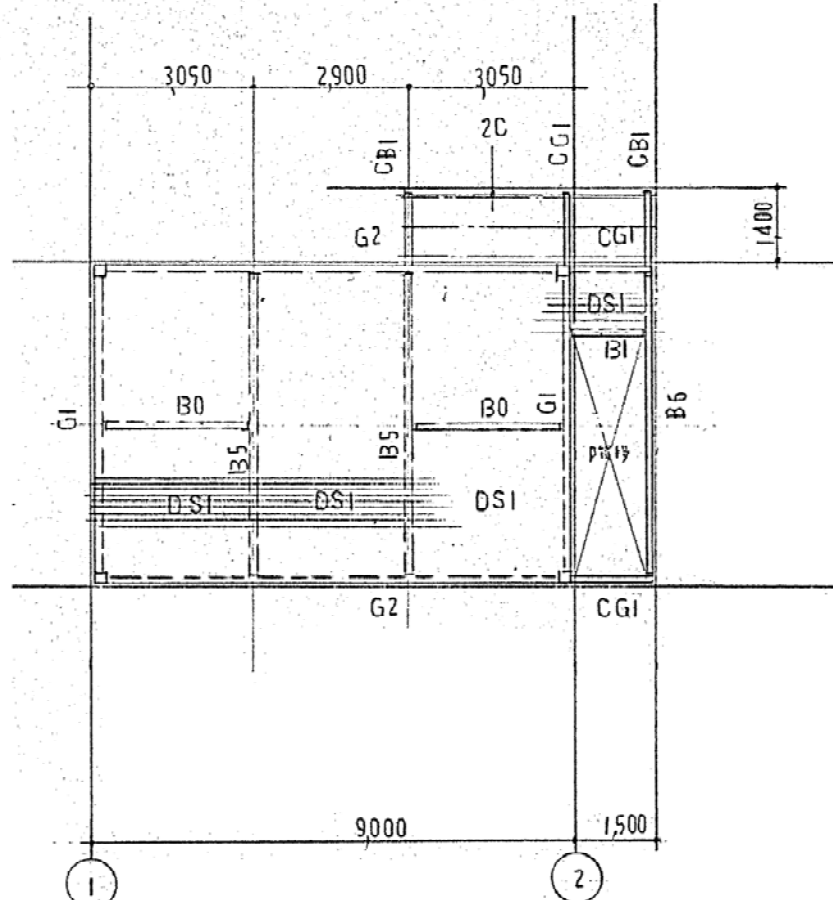
溶接のサイズ	(単位：mm)
裏当て金の厚さ	S
t ≤ 9	5
t > 9	9



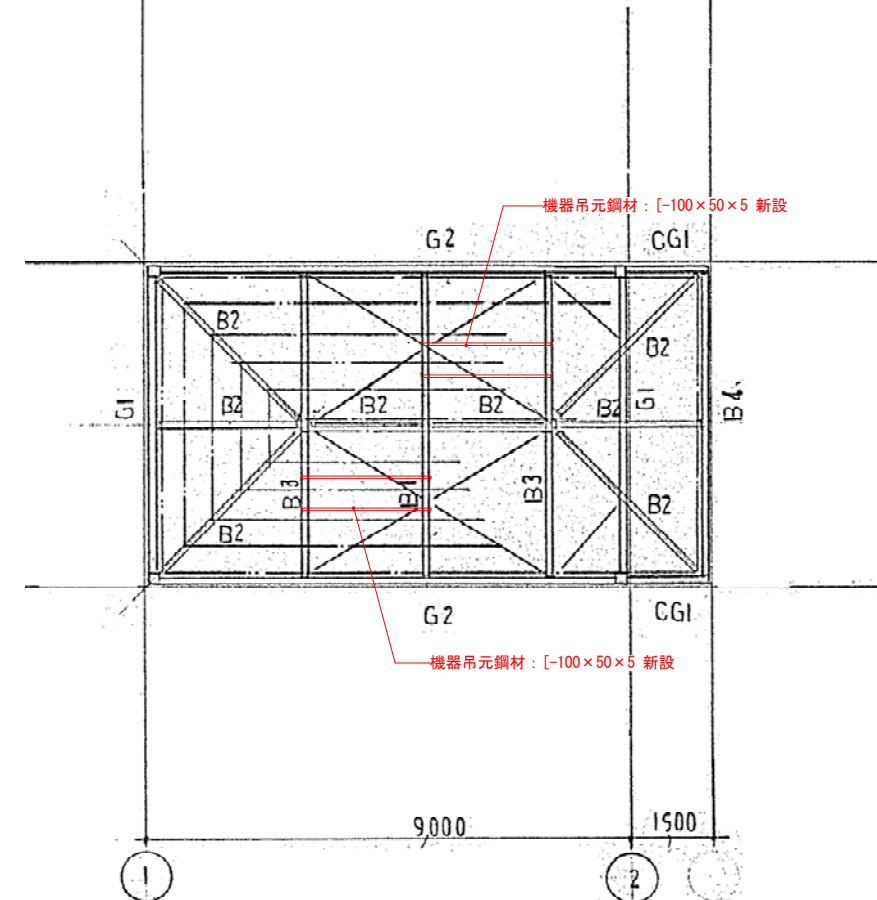




基礎伏図(改修後) 1:100



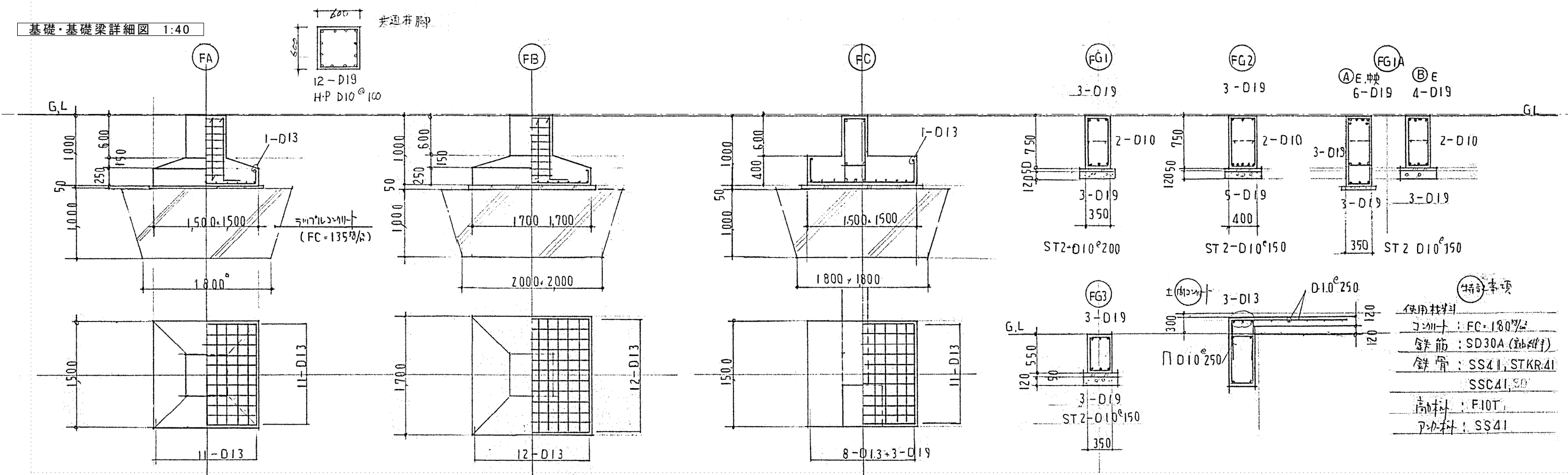
2階梁床伏図 1:100



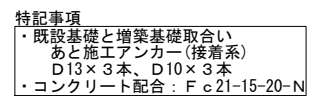
R階梁床伏図 1:100

特記事項  
 母屋: C-100x50x20x2.3  
 胴縁: タテ C-100x50x20x2.3@505, @3030は2C  
 屋根ブレース: L-65x6 GPL-6 HTB2-M16  
 母屋: C-100x50x20x2.3@600, ネコL-100x75x7

基礎・基礎梁詳細図 1:40







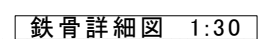
符号	部材	JOINT (片側)
RG1	H-298・149・5.5・8	2FR-9 6-M20 2WR-6 3-M20
2G1	H-400・200・8・13	2FR-9 6-M20 2WR-6 4-M20
RG2	(2) E BH-300・150・9・12 中欠 (1) E H-298・149・5.5・8	RG1 に全じ
2G2	(1)(2) E BH-400・200・9・16 中欠 H-400・200・8・13	2G1 に全じ
RCG1	RG1 に全じ	
2CG1	H-396・199・7・11	2FR-9 6-M20 2WR-6 3-M20
2CG2	2CG1 に全じ	
2C1	□ - 300・300・9	
1C1	□ - 300・300・12	BR-19・350・350 AB-4-M22 L・900
B0	2C-100・50・20 <sup>23</sup> 中欠 FB-6・50 e 750 のみ	GR-6 2-M16
B1	H-248・124・5・8	GR-6 3-M16
B2	H-198・99・4 <sup>5,7</sup>	GR-6 2-M16
B3	H-250・125・6・9	GR-6 3-M16
B4	B1 に全じ	
B5, B6	H-346・174・6・9	GR-9 4-M20
CBI	H-346・174・6・9	2FR-9 6-M20 2WR-6 3-M20

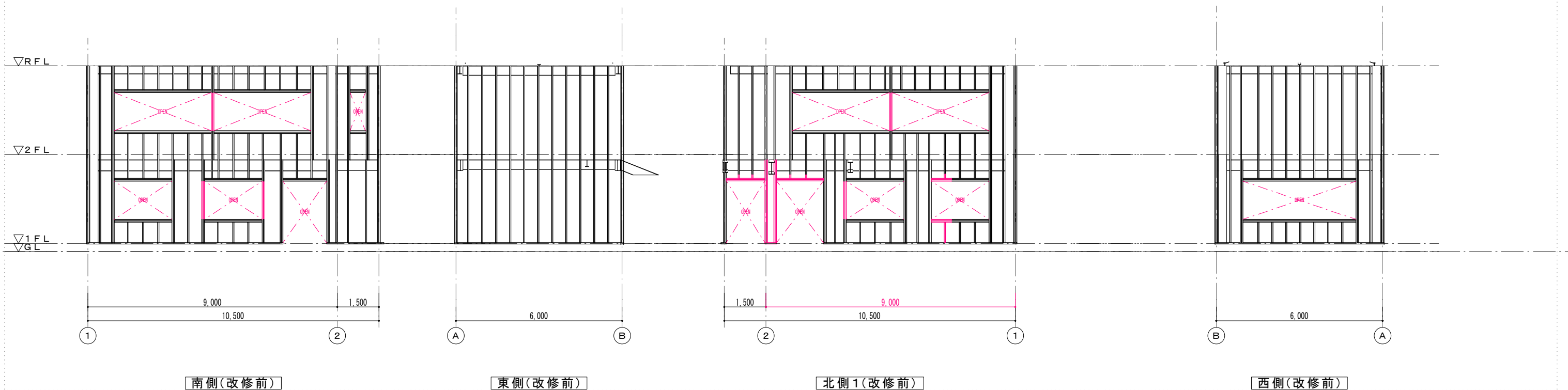
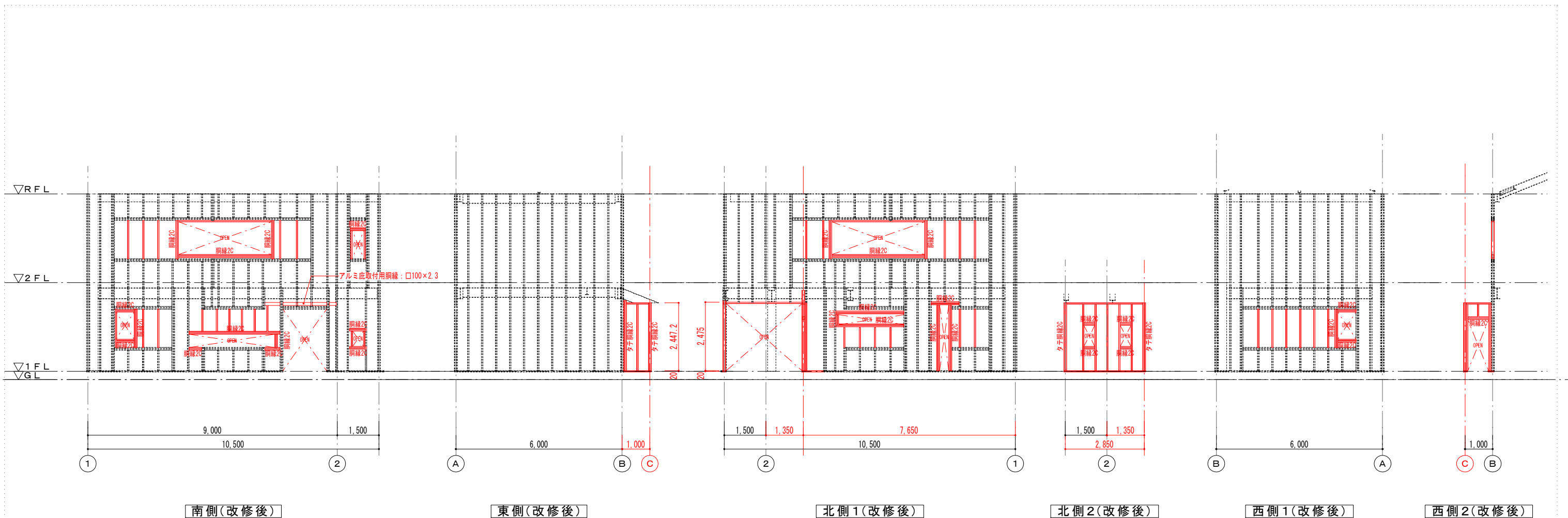
共通事項

STUD BOLT (2階梁)

---

DSI ユニタ





I. 工事概要

1. 工事名称  
：北広島町子ども第三の居場所開設工事

2. 工事場所  
：広島県山県郡北広島町有田495番地

3. 建物概要

建　物　名　称	構　　　造	階　数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令第Ⅱ表第Ⅰ号の区分	備　考
新棟	S造	2階	128.85	(6)項ハ(3)	改修
旧棟	R C造	平屋	132.00	(1)項	既設

4. 工事項目（○印の付いたものが対象工事項目）

建築物及び屋外工事項目	工                種                別
●電灯設備	改設一式
●動力設備	改設一式
・電気熱設備	
・雷保護設備	
・受変電設備	
・電力貯蔵設備	
・発電設備	
◎構内通信情報網設備	改設一式
◎構内交換設備	改設一式
・情報表示設備	
・映像・音響設備	
・拡声設備	
・誘導支援設備	
・テレビ共同受信設備	
・監視カメラ設備	
・駐車場管制設備	
・防犯・入退室管理設備	
・火災報知設備	
・中央監視制御設備	
・医療関係設備	
・構内配電線路	
・構内通信線路	

5. 指定部分 ※無し ・あり（工期令和年月日）  
対象部分：  
（改修工事の場合の部分使用※無し ・あり）

II. 工事仕様

1. 共通仕様  

（１）特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房庁官営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（令和４年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」（令和４年版）」」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準準則（電気設備工事編）」（令和４年版）」（以下「標準図」という。）による。  
（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様の適用する。（３）本工事は工事中及び完成後に必要に応じ次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。  
ア 公共事業労働費調査…工事中に実施（調査書の記入提出、発注者実施への協力等）イ 契約不適合調査…建設工事請負契約約款第４条６分の５に定める期間内  
（４）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（１）特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを用いる。ただし、○印のない場合は×印を適用する。  
（２）特記事項で「特記がなければ」、「」以内に具体的な材料・品質性能・工程検査方法を明示している場合において、「それらが関係法令等（条例を含む）」に抵触する場合には、関係法令等の遵守（JIS A 173）を優先とする。

一一般共通事項

⑥完成時の提出書類等  
※建築工事に準ずる

⑦施工図書

8.足場

9.工用電力、水、その他

10.監督職員事務所

11.受注者事務所その他

12.建設発生土の処理

13.非破壊検査

14.既存躯体への穿孔

15.あと施エアンカー

16.電気工士

⑰耐震措置

(1) 工事完成図書引渡書A版 2部  
(2) 完成図書 1部  
(3) 完成図面・施工图面二折り製本A3版製本 1部  
(4) 縮小完成図面・施工图面二折り製本A4版製本 2部  
(5) 工事写真  
( 工事中写真A4版カラーサービス版 ) 1部  
( 完成写真A4版カラーサービス版 ) 2部  
(6) 電子成果品（電子納品）CDR 2部  
(7) 工事監理図書A4版 1部  
(8) 工事概要調書A4版 2部  
(9) 諸官庁届出書類一覧表A4版 1部  
(10) 諸官庁届出書類（正）A4版 1部  
(11) 運転操作説明書A4版製本・取扱説明書 1部  
(12) 展開接続図A3版製本 部  
(13) 保全管理台帳A4版・設備台帳A4版 式  
(13) 型式台帳 部  
※型式台帳は、監督職員が指定する様式で作成する。建物で使用する部品、機器を記入し提出すること。  
※建築工事に伴う工事の提出部数は、建築工事に合わせる。  
※工事写真は「巻頭工事写真作成要領」によるほか監督職員の指示による。  
※既存完成図（CADデータ含む）の修正を行う（間切切、重名も現状に合わせて修正する）こととする。

別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人捺印の上提出する。なお、当該建築物の取得する施工図の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲するものとす。

本工程で設置する。 ・外部足場 （ 種 ） ・内部足場 （ 種 ）  
本工程に必要な工用電力、水及び手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。  
本工程で設置する  
構内につくことができる  
※ 現場説明書の施工条件明示による  
・ 構内指示場所に敷き均し  
・ 構内指示場所に堆積

はりつ工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。探査方法は電磁誘導式を原則とする。放射線透過検査等により埋物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。

穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工すること。

施工後確認試験  
試験方法 引張試験機による引き張り試験  
試験箇所数 1 施工単位に対し 1 本以上  
対象機器 ( ・ 配電盤 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置 ・ 変圧器 ・ )  
確認強度 対象機器ごとのアンカールート1本に作用する引抜き力以上  
最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。  
設備機器の固定は次に示す設計用地震力に耐える方法とする。  
たし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造業者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。  
(1) 機器の据付け及び取付け  
設計用水平地震力は、機器質量 [ k N ] に、地域係数 ( ・ 1 . 0 ※ 0 . 9 ・ 0 . 8 ) と次に示す設計用標準水平加速度を乗じたものとする。  
設計用標準水平加速度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防護支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防護支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下及び1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防護支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

  
上層とは2～6階建ての場合は最上階、7～9階建ての場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階建て以上の場合は上層4階とし、  
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。  
水槽類には燃料小出し槽を含む。  
重要機器は次のものを示す。  
( ・ 配電盤 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視制御装置 ・ 通信総合室 ・ )  
(2) 設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
(3) 横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。

(1) EM電線類で規格等の記載のないものは、ハラゲン及び鉛を含まないものとする。  
(2) 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。  
(3) 筐体内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品は除く。  
EM-高圧架橋が「リフレクター」牌、JIS493S「6600V鋼橋」「リフレクタブル(弾性押型)」によるものとし、次による。  
呼称(図示記事) 種 類  
6KV EM-C(E)(E) 6600V 架橋が「リフレクセル耐火性」が「リフレンシブタイプ」(6600 CE/F(EE))  
6KV EM-C(EI)(EE) 6600V リフレクト型架橋が「リフレクセル耐火性」が「リフレンシブタイプ」(6600 CE/F(EE))

分電盤、制御盤、端子箱などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承認を受けて変更してよしとしかねない。  
塗装する部分 ・居室 ( ) ・廊下 ・屋上、屋側 ・屋外 ・機械室 (付属品を含む)

屋外露出配管(厚肉電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ【めっき附着量300g / m以上】とする。

○金属材料(ステンレス、新金屬も含む) ・樹脂製(使用場所 )

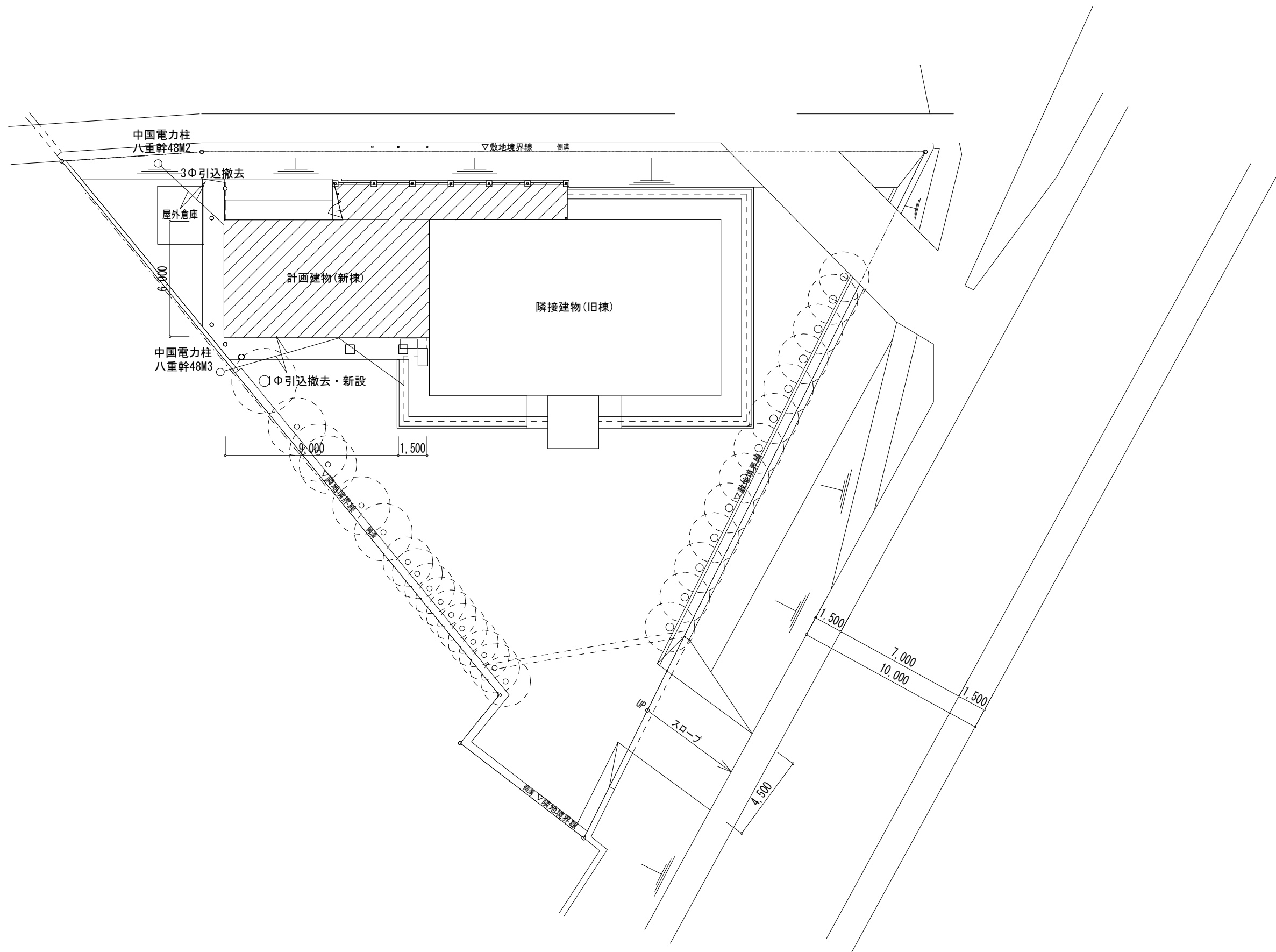
シート等を貼付し、用途を表示する。

スチレン製が「紙」製の塗装 ※有(メーカ指定色又は指定色仕上) ・無(素地仕上)

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛めつきを施したものとする。

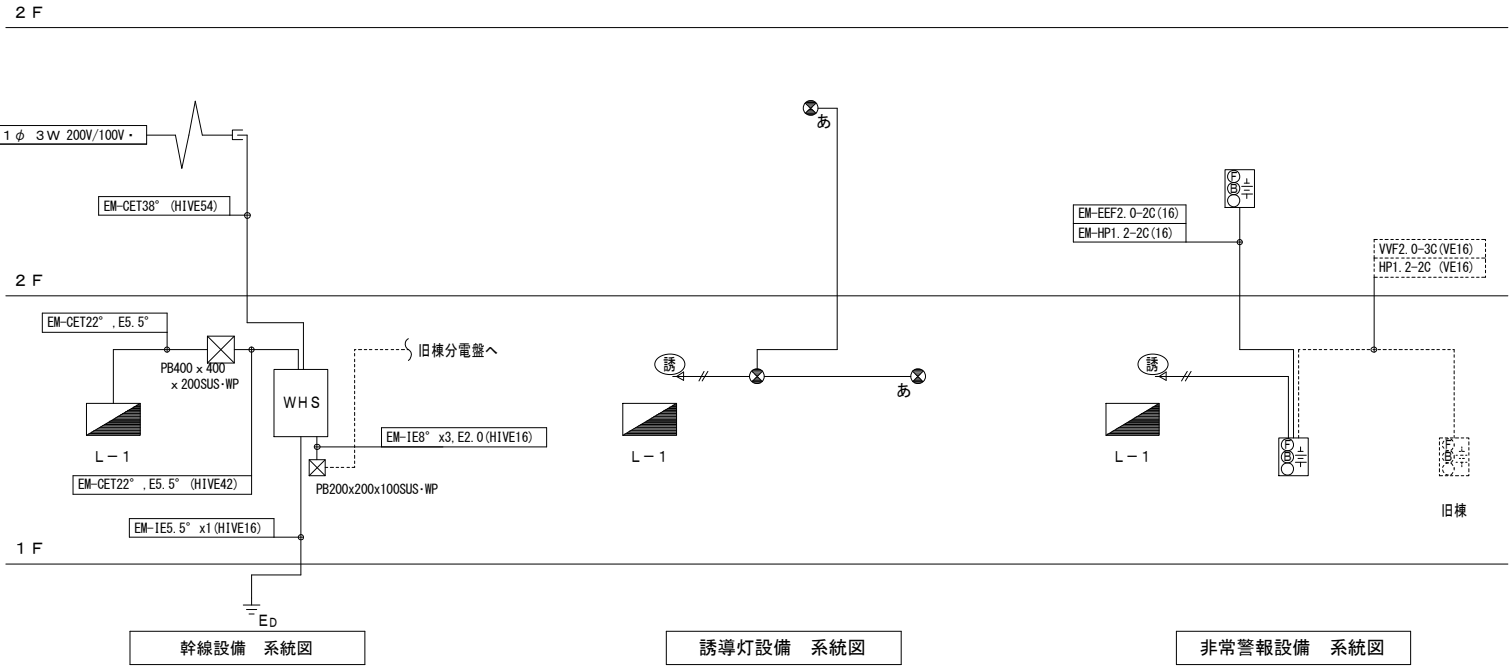
接地極

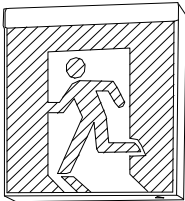
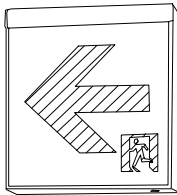
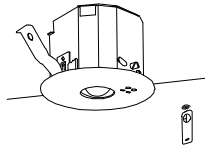
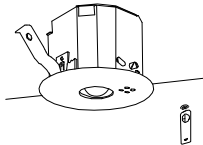
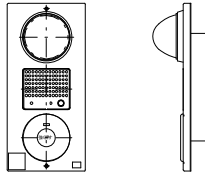

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共 同 接 地	E <sub>共用</sub>	10 Ω 以下	EB × 3並 - 2組
・ 共 同 接 地	E <sub>共用</sub>	10 Ω 以下	FB × 3並 - 2組
・ A 種	E <sub>A</sub>	10 Ω 以下	EB × 3並 - 2組
・ B 種	E <sub>B</sub>	10 Ω 以下	EB × 3並 - 2組
・ C 種	E <sub>C</sub>	10 Ω 以下	EB × 3並 - 2組
・ D 種	E <sub>D</sub>	100 Ω 以下	EB × 1
・ E 種	E <sub>E</sub>	100 Ω 以下	EB × 1
・ 高 圧 避 電 鋼 線	E <sub>H</sub>	10 Ω 以下	EB × 3並 - 2組
・ 交 換 機 用	E <sub>J</sub>		

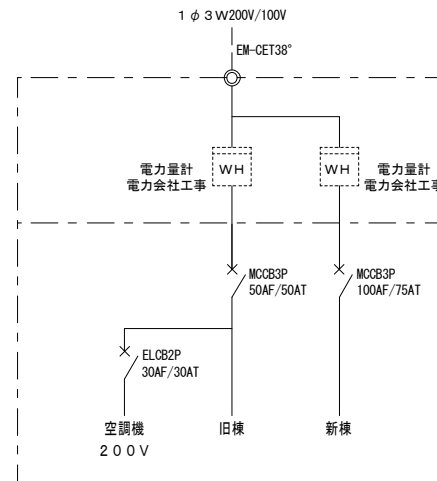
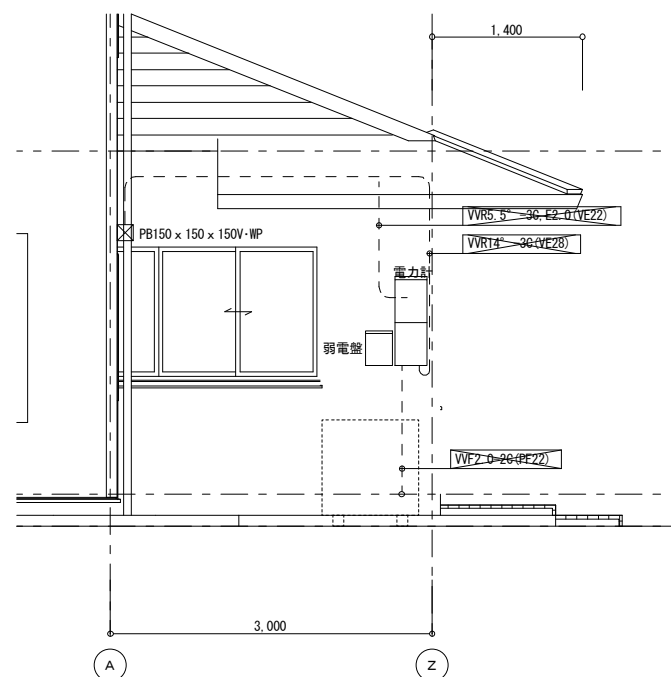
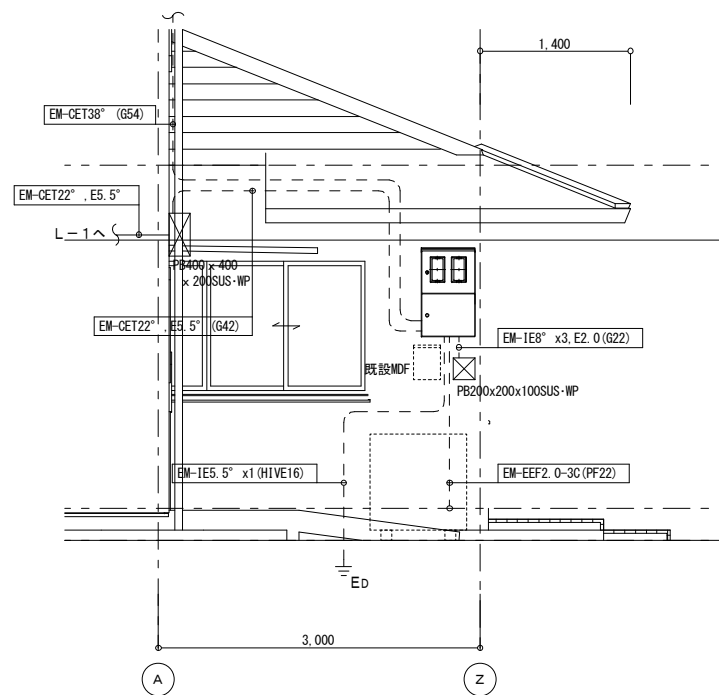
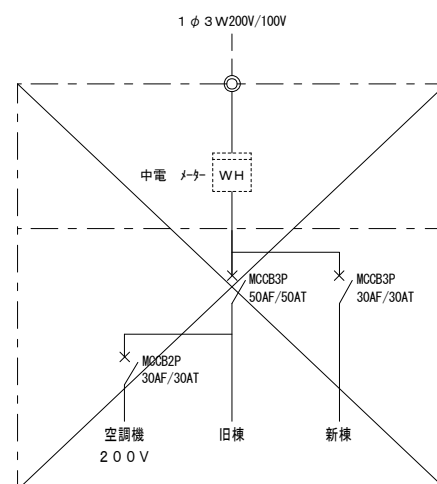


配置図 1 : 150

凡 例	
記 号	品 名
	引込開閉器盤
	電灯分電盤
	ブルボックス
	避難口誘導灯
	通路尤度応答
	非常用照明
	非常警報設備複合装置 埋込型
	取外しを示す。(再使用あり)
	撤去を示す。(再使用なし)
(再)	取外し品再取付を示す。
※改修後の図中点線は既設を示す。	



照 明 器 具 姿 図																																																								
(注 1) 図中、型番は参考型番を示す。																																																								
																																																								
C級 片面型 壁・天井直付型 ニッケル水素蓄電池		C級 片面型 壁・天井直付型 ニッケル水素蓄電池																																																						
あ	LED C級 避難口誘導灯片面型	SH1-FSF20-C	い	LED C級 通路誘導灯片面型	ST1-FSF22-C																																																			
<p>φ100低天井・小空間用 (～3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 非常灯評定番号：L A L E－004 レンズ：ガラス、カバー：銅板</p> 		<p>φ100低天井用 (～3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 非常灯評定番号：L A L E－004 レンズ：ガラス、カバー：銅板</p> 																																																						
<table><tr><td>NNFB90605K</td><td colspan="5">ハナニック (単位：m)</td></tr><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.5m</td><td>2.8m</td><td>2.9m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>3.8</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>3.2 3.0</td></tr></table>		NNFB90605K	ハナニック (単位：m)					器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.8m	2.9m	単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	3.2 3.0	<table><tr><td>NNFB91605C</td><td colspan="5">ハナニック (単位：m)</td></tr><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.5m</td><td>2.9m</td><td>3.3m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9 4.9</td></tr></table>		NNFB91605C	ハナニック (単位：m)					器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.9m	3.3m	単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9 4.9	<table><tr><td>種類</td><td>自動式サイレン</td></tr><tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60H z</td></tr><tr><td>消費電力</td><td>警戒時最大：6.5VA 警報時最大：8.5VA</td></tr><tr><td>予備電源</td><td>DC6V 0.29Ah ニッケルカドニウム蓄電池</td></tr><tr><td>音響装置</td><td>サイレン音90db以上 DC6V 250mA</td></tr><tr><td>使用周囲温度</td><td>－10～＋40℃</td></tr><tr><td>備考</td><td>専用埋込ボックス共</td></tr></table>			種類	自動式サイレン	電源	AC100V 50/60H z	消費電力	警戒時最大：6.5VA 警報時最大：8.5VA	予備電源	DC6V 0.29Ah ニッケルカドニウム蓄電池	音響装置	サイレン音90db以上 DC6V 250mA	使用周囲温度	－10～＋40℃	備考	専用埋込ボックス共
NNFB90605K	ハナニック (単位：m)																																																							
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.8m	2.9m																																																			
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	3.2 3.0																																																			
NNFB91605C	ハナニック (単位：m)																																																							
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.9m	3.3m																																																			
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9 4.9																																																			
種類	自動式サイレン																																																							
電源	AC100V 50/60H z																																																							
消費電力	警戒時最大：6.5VA 警報時最大：8.5VA																																																							
予備電源	DC6V 0.29Ah ニッケルカドニウム蓄電池																																																							
音響装置	サイレン音90db以上 DC6V 250mA																																																							
使用周囲温度	－10～＋40℃																																																							
備考	専用埋込ボックス共																																																							
う	LED非常灯 (JE9W相当)	K1-LRS11-1	え	LED非常灯 (JE13W相当)	K1-LRS11-2	 非常警報設備複合装置埋込型内器																																																		

[illegible]

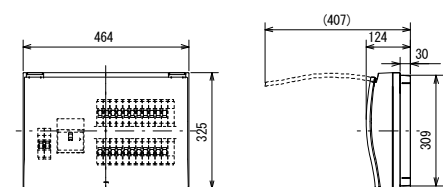
引入開閉器箱  
屋外壁掛型 鋼板製  
300W×800H×180D

## 分電盤リスト (NO. 1)

[illegible]

盤仕様（製造者標準仕様とする）	
函体	樹脂製
扉板、面板	樹脂製
把手	－
塗装	メーカー標準色
型式	屋内露出壁掛型、住宅用フタ付

接地端子付とする。



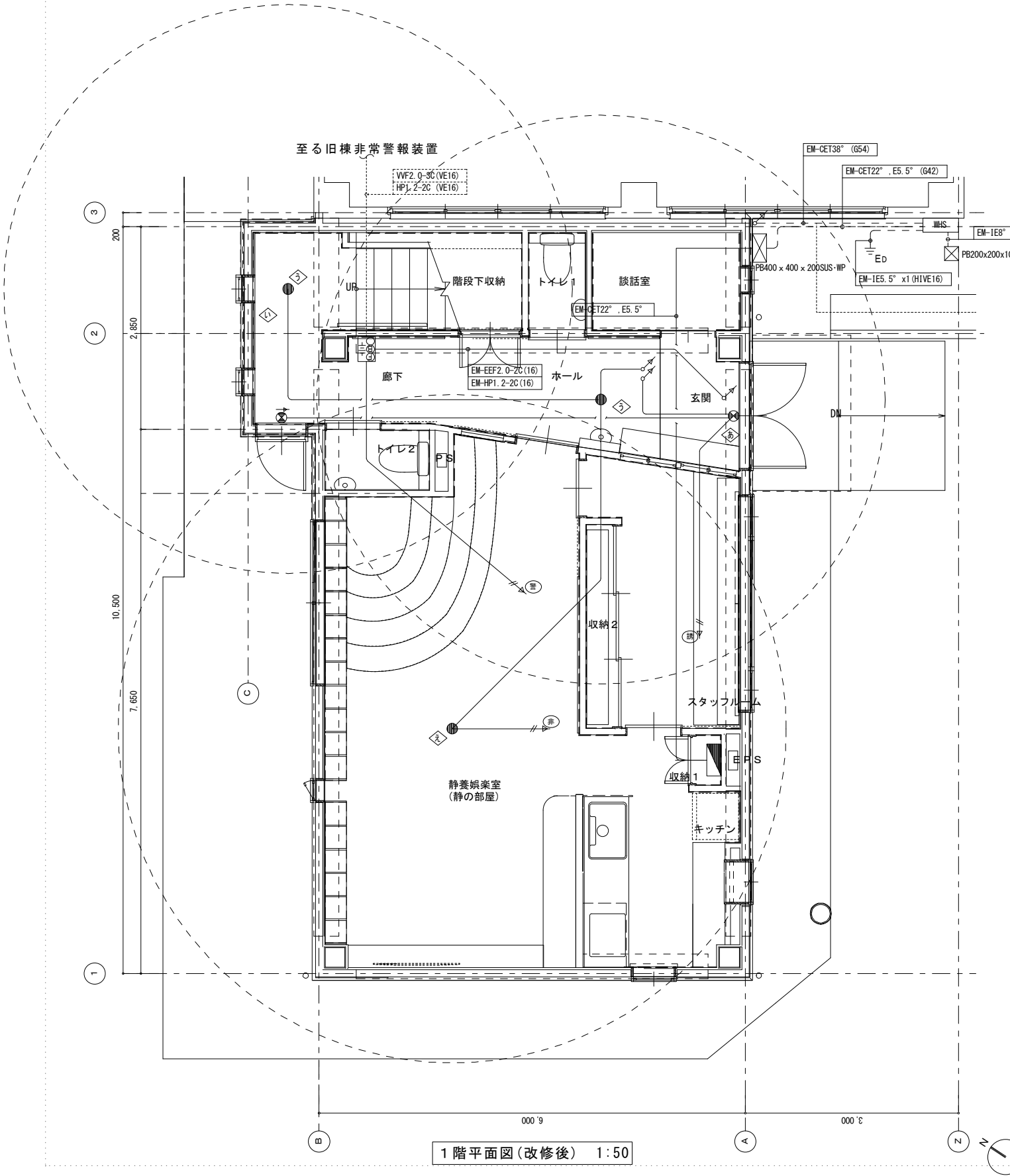
(注記) 形状・寸法は参考とする。

屋内露出壁掛型  
住宅用フタ無し

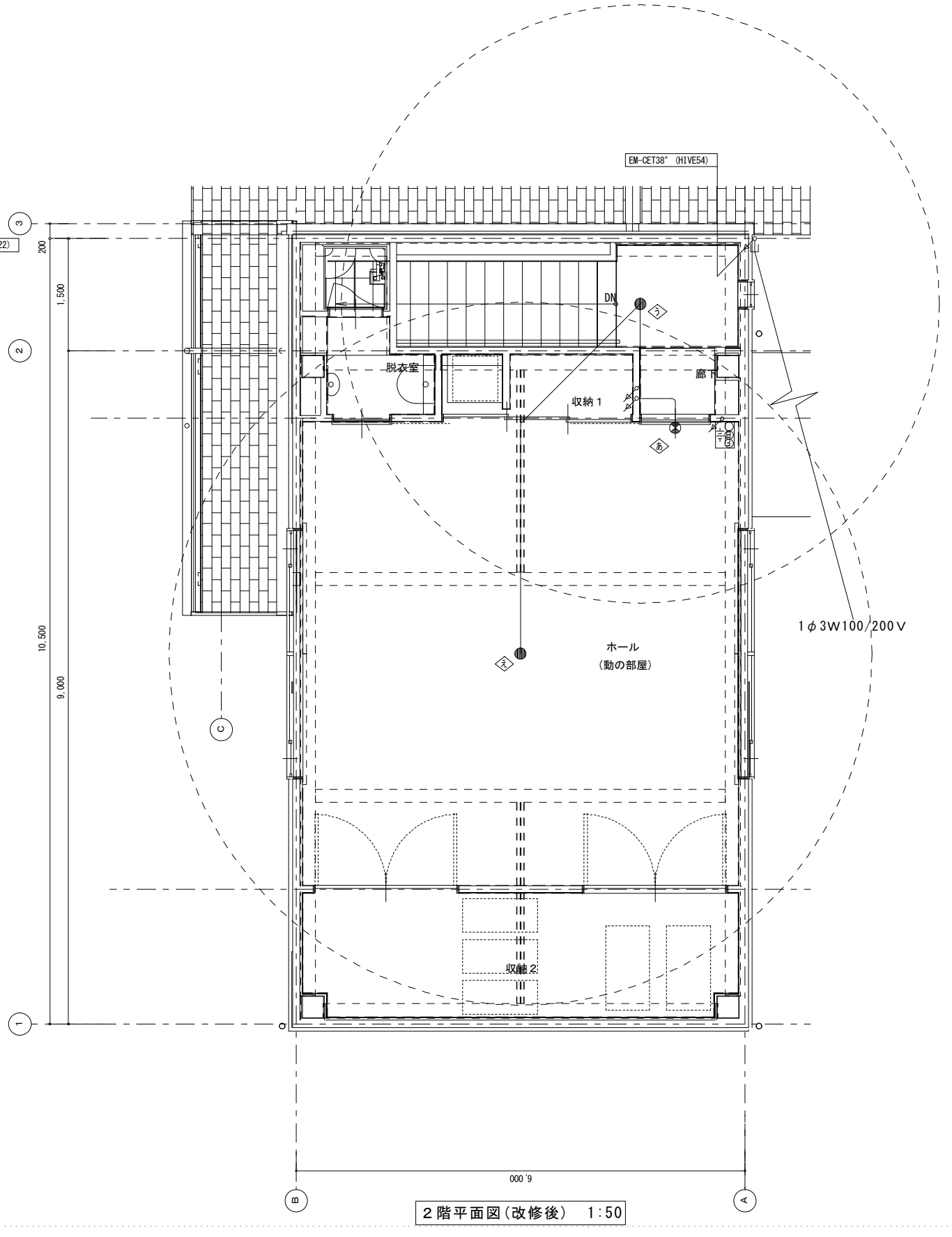
MCCB 3P  
30A

回路番号	電圧 (V)	電流 (A)	電圧 (V)	電流 (A)	電圧 (V)	電流 (A)	電圧 (V)	電流 (A)
1	100	○	1	20	○	1	20	○
2	100	○	1	20	○	1	20	○
3	100	○	1	20	○	1	20	○
4	100	○	1	20	○	1	20	○
誘	100	○	1	20	○	1	20	○
警	100	○	1	20	○	1	20	○
非	100	○	1	20	○	1	20	○

1階  
2階  
1階  
2階  
誘導灯  
非常警報  
非常灯



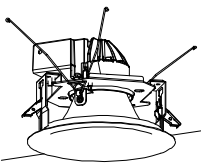
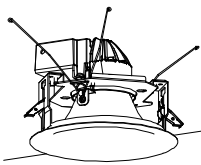
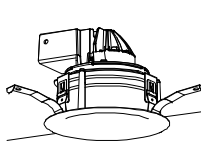
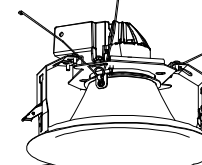
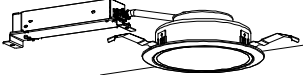



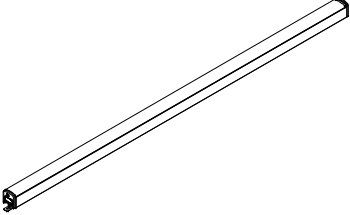
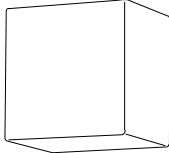
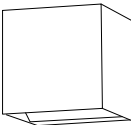
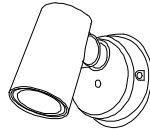
1 階平面図 (改修後) 1:50



2 階平面図 (改修後) 1:50

照 明 器 具 姿 図

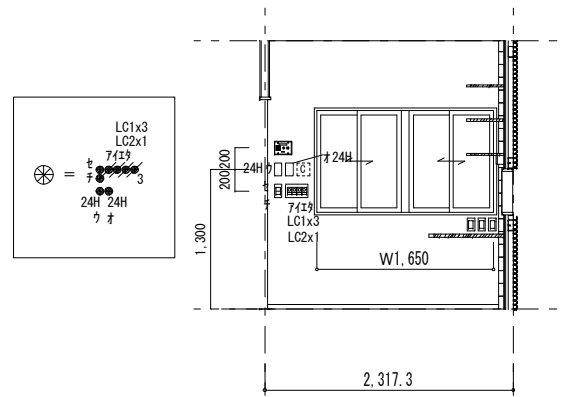
(注1) 図中、型番は参考型番を示す。  
(注2) 照明器具の消費電力はJIS C8105-3に規定する方法により測定された値とする。

調光  【適合調光器（別売）】信号線式ライコンNQ21507    パナソニック NYY56108K+NTS90151LE9 電源ユニット別売、3500K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：1230lm、消費電力：13W、電圧：100-242V 光源遮光角30°、光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板・枠：アルミ（ホワイトつや消し仕上） グラデーション反射板 埋込穴φ150 LED<ワンコア（ひと粒）タイプ>、一般タイプ		  パナソニック NYY56108K+NTS90151LE9 電源ユニット別売、3500K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：1230lm、消費電力：13W、電圧：100-242V 光源遮光角30°、光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板・枠：アルミ（ホワイトつや消し仕上） グラデーション反射板 埋込穴φ150 LED<ワンコア（ひと粒）タイプ>、一般タイプ		  パナソニック NYY56208K+NTS90260LE9 電源ユニット別売、3500K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：600lm、消費電力：6.3W、電圧：100-242V 光源遮光角30°、光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板・枠：アルミ（ホワイトつや消し仕上） グラデーション反射板 埋込穴φ125 LED<ワンコア（ひと粒）タイプ>、一般タイプ		  パナソニック NYY56208K+NTS90260LE9 電源ユニット別売、3500K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：4885lm、消費電力：39.4W、電圧：100-242V 光源遮光角30°、光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板・枠：アルミ（ホワイトつや消し仕上） グラデーション反射板 埋込穴φ200 LED<ワンコア（ひと粒）タイプ>、一般タイプ	
A 1	LEDソフトライトダウンライト150形	A 2	LEDソフトライトダウンライト150形	B	LEDソフトライトダウンライト60形	C	LEDソフトライトダウンライト200形
  パナソニック XND1069WNLE9 5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：1045lm、消費電力：7W、電圧：100-242V 光源遮光角15度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150 LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ		  パナソニック LGB51569WCE1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束470lm、消費電力4.6、電圧100V 天井面・壁面取付専用 （ホワイト）、セード：プラスチック（乳白つや消し）		  パナソニック LGB51346KXG1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束1200lm、消費電力18.3W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、拡散タイプ、ケアフル施工 両面化粧配線、位相制御式（2線式） カバー：プラスチック（乳白） L1000タイプ		  L1200タイプ パナソニック LGB51376XG1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束1615lm、消費電力24W、電圧100V 拡散タイプ、両面化粧配光、壁面・天井面・据置取付専用 カバー：プラスチック（乳白） 送り用コネクタ付、連結タイプ 位相制御式（2線式）、ケアフル施工	
D	ダウンライト 100形	E	LEDシーリングライト 60形電球1灯器具相当	F10	LED手元灯 L1000タイプ	F12	LED手元灯 L1200タイプ
調光  【適合ライトコントロール】LED埋込逆位相調光スイッチ0（ロータリー式）（3.2A）WTC57583W    L1200タイプ パナソニック LGB50290XB1 LED内蔵、電源ユニット内蔵2個、ハイパワータイプ（高光束） 拡散タイプ、天井直付型・壁置付型・据置取付型 光束維持時間40000時間（光束維持率70%） 温白色（3500K）、Ra83 器具光束3880lm、消費電力37W、電圧100V （ホワイト）、カバー（乳白つや消し）付 送り用端子台付、位相制御式（2線式）、L1200タイプ		  パナソニック XLGB82807CE1 LEDフラットランプφ70、クラス500 1灯（口金GX53-1） 電球色（2700K）、高演色Ra90 器具光束200lm、消費電力5W、電圧100V 拡散タイプ、ツマミネジ方式 （ホワイト） W=110 H=110 出しろ75		  パナソニック SLW81572LE1 LED内蔵、電源ユニット内蔵、拡散タイプ、美ルック 防雨型 光束維持時間40000時間（光束維持率70%）、電球色（2700K）、高演色Ra93 器具光束277lm、消費電力6W、電圧100V アルミダイカスト（シルバーマタリックレザーステン仕上） カバー：アクリル（透明つや消し） W=95 H=95 出しろ98		  パナソニック LGW40585LE1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束430lm、消費電力5.9W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型 アルミダイカスト（シルバーマタリック） ハネル：アクリル（透明） 可動範囲上下90度、回転方向330度	
G		H	LEDブラケット 60形電球1灯器具相当	I	LEDブラケット 60形電球1灯相当	J	LEDスポットライト 60形電球1灯器具相当

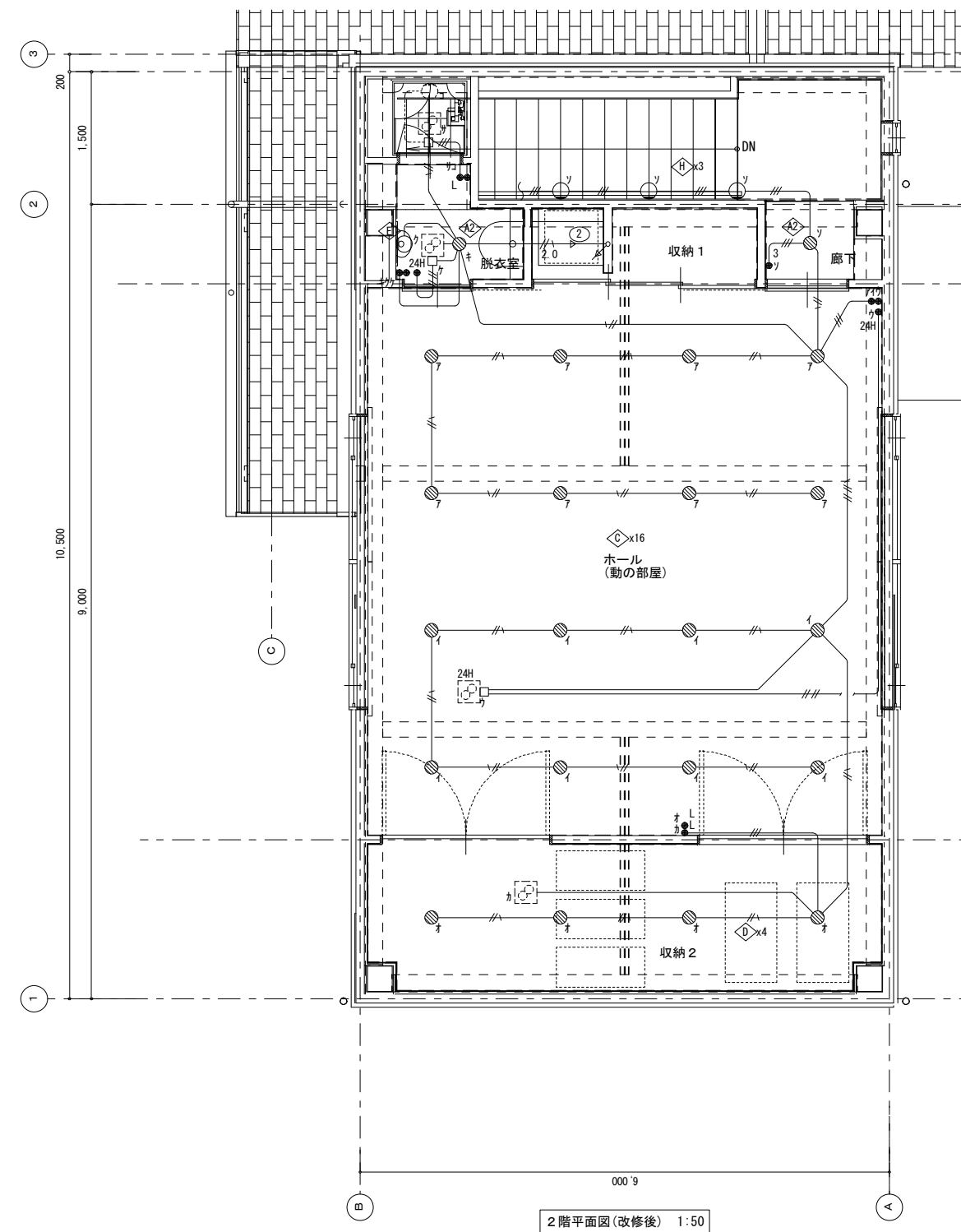
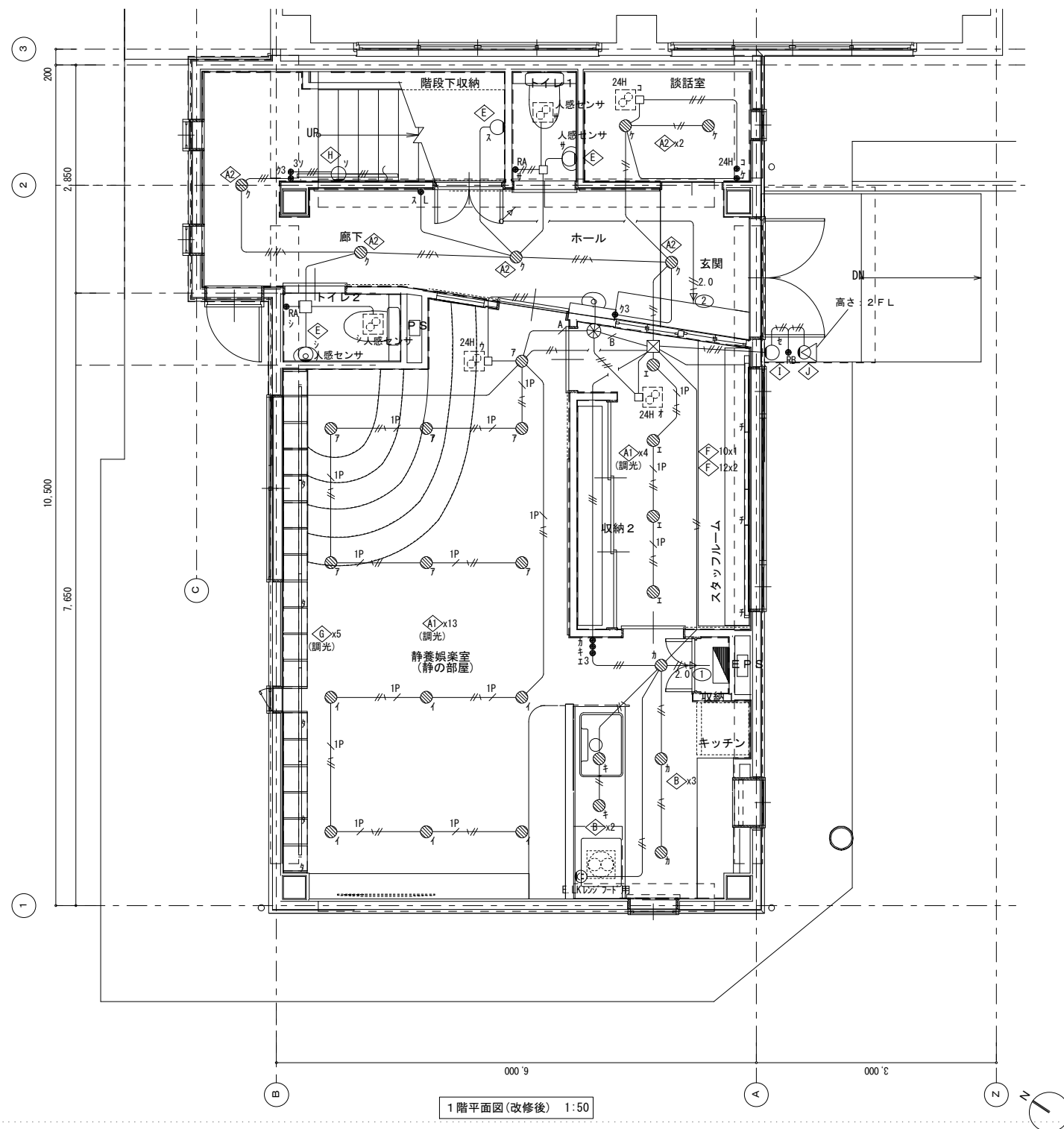
凡 例		※配線器具類は、パナソニック「アドバンスシリーズ」として プレートはセレクトスイッチ・コンセントプレート（シルバー）とする。	
記 号	品 名		
	電灯分電盤		
	ダウンライト		
	ブラケットライト		
	スポットライト		
	間接灯、手元灯		
	天井扇（機械設備工事）		
●	スイッチ	1P15Ax1	
●L	スイッチ	1PL15Ax1	
●3	スイッチ	3W15Ax1	
●RA	熱線センサ付自動スイッチ	観機 壁付 換気扇連動形	
●RB	熱線センサ付自動スイッチ	観機 壁付 屋外型	
●C1	調光スイッチ	信号線式調光スイッチ NQ21507	
●C2	調光スイッチ	逆位相調光スイッチ WTA57583WK	
●24H	24時間換気スイッチ	機械設備工事支給品取付	
⊗	集合スイッチ		
⊕2	コンセント	2P15Ax2	
台上家具用⊕3	コンセント	2P15Ax3 パナニッ:WCF8403CW	
⊕2E	コンセント	2P15Ax2 接地極付	
⊕2EET	コンセント	2P15Ax2 接地極接地端子付	
⊕EET	コンセント	2P15・20A兼用x1 接地極接地端子付	
⊕200V30AE	コンセント	2P30Ax1 接地極付 200V	
⊕WP	防水コンセント	2P15Ax2 接地極接地端子付	
⊠	給湯器リモコン		
⊠	空調機リモコン		
⧵	取外しを示す。（再使用あり）		
×	撤去を示す。（再使用なし）		
(再)	取外し品再取付を示す。		
※改修後の図中点線は既設を示す。			

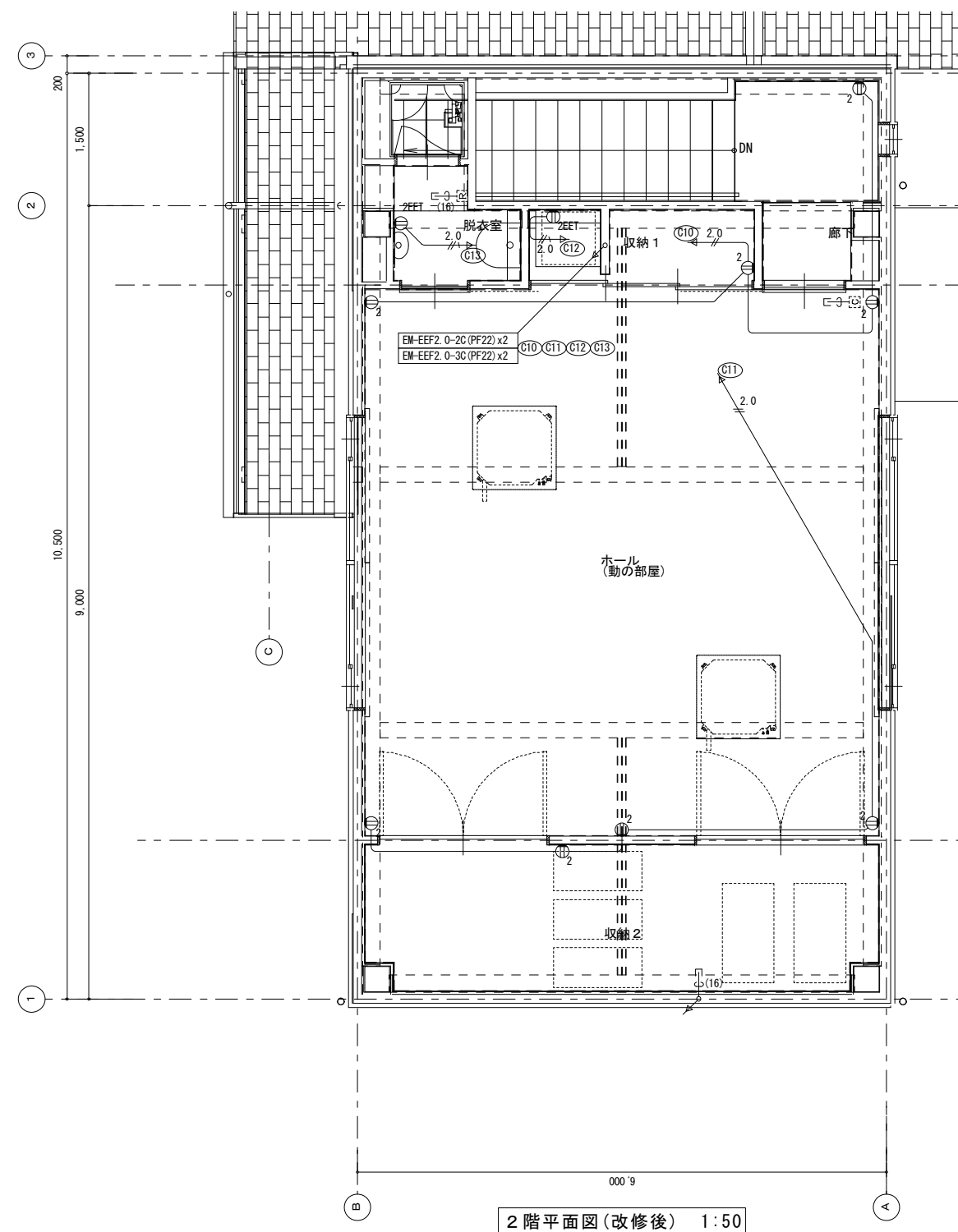
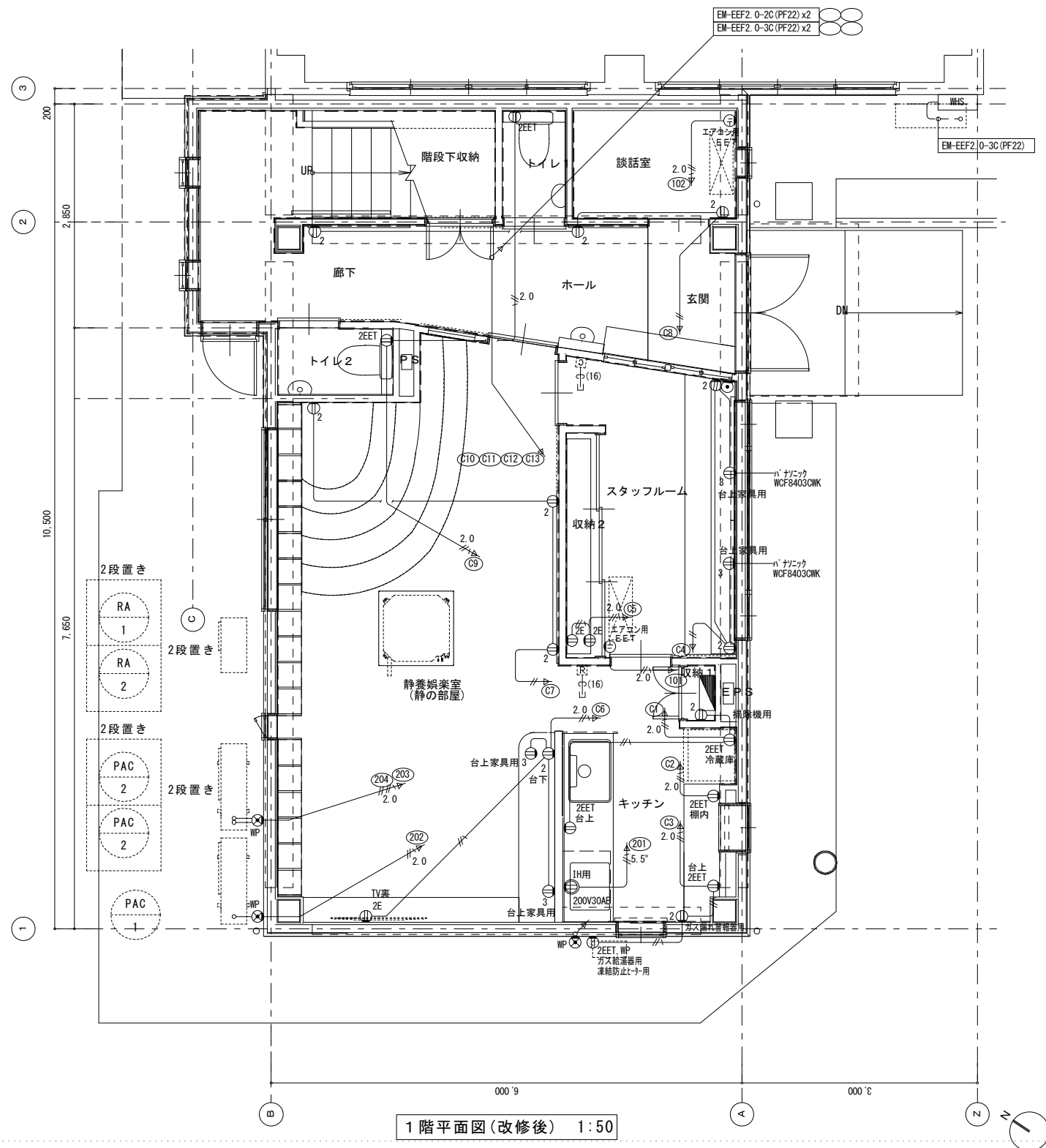
注 記	
1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。	
・改修後	
	EM-EEF2.0-2C (PF22)
	EM-EEF2.0-3C (PF22) 1芯7-1
	EM-EEF1.6-2C (PF16)
	EM-EEF1.6-3C (PF16) 1芯7-1
	EM-EEF1.6-3C (PF16)
	EM-EEF1.6-2Cx2 (PF22)
	EM-EEF1.6-2C+3C (PF22)
	EM-EEF1.6-2C+3C (PF22) 1芯7-1
	EM-EEF1.6-3Cx2 (PF28)
	EM-CPEE0.9-1P (PF16)
※二重天井内はケーブル配線とする。	





B面  
1階 スタッフルーム 展開図 1:50





2 F

2 F

1 F

弱电設備 系統図

※配線器具類は、パナソニック「アドバンスシリーズ」とし  
プレートはセレクトスイッチ・コンセントプレート(シルバー)とする。

記 号	品 名
	端子盤 壁掛型 400 x 500 x 100程度
	防雨入線カバー
	ケーブル取出し口
	2分配器 CATV用
	テレビ端子 1端子型
	呼出表示器(1窓・壁埋込型)
	電源アダプター
	復旧ボタン
	呼出ボタン(引きひも付)
	取外しを示す。(再使用あり)
	撤去を示す。(再使用なし)
(再)	取外し品再取付を示す。
※改修後の図中点線は既設を示す。	

注 記	
1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。	
・改修後	
	(PF16)
	(PF22)
	EM-S-5C-FB (PF16) ※二重天井内はケーブル配線
	EM-AE1.2-2C (PF16) ※二重天井内はケーブル配線

呼出表示器(1窓・壁埋込型)

CN-1A34/A

電源電圧	DC12V (電源アダプターから供給)
形状	壁埋込型 (JIS3個用スイッチボックス)
材質	ステンレス
窓数	1窓
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯

PS

電源アダプター

PS-1225A

電源電圧	AC100V 50/60Hz
入力容量	75VA
出力電圧	DC12V
出力電流	2.5A
形状	据置・壁取付 (専用金具) 両用
材質	難燃性樹脂

呼出ボタン(引きひも付)

NBR-7HMA-TC110

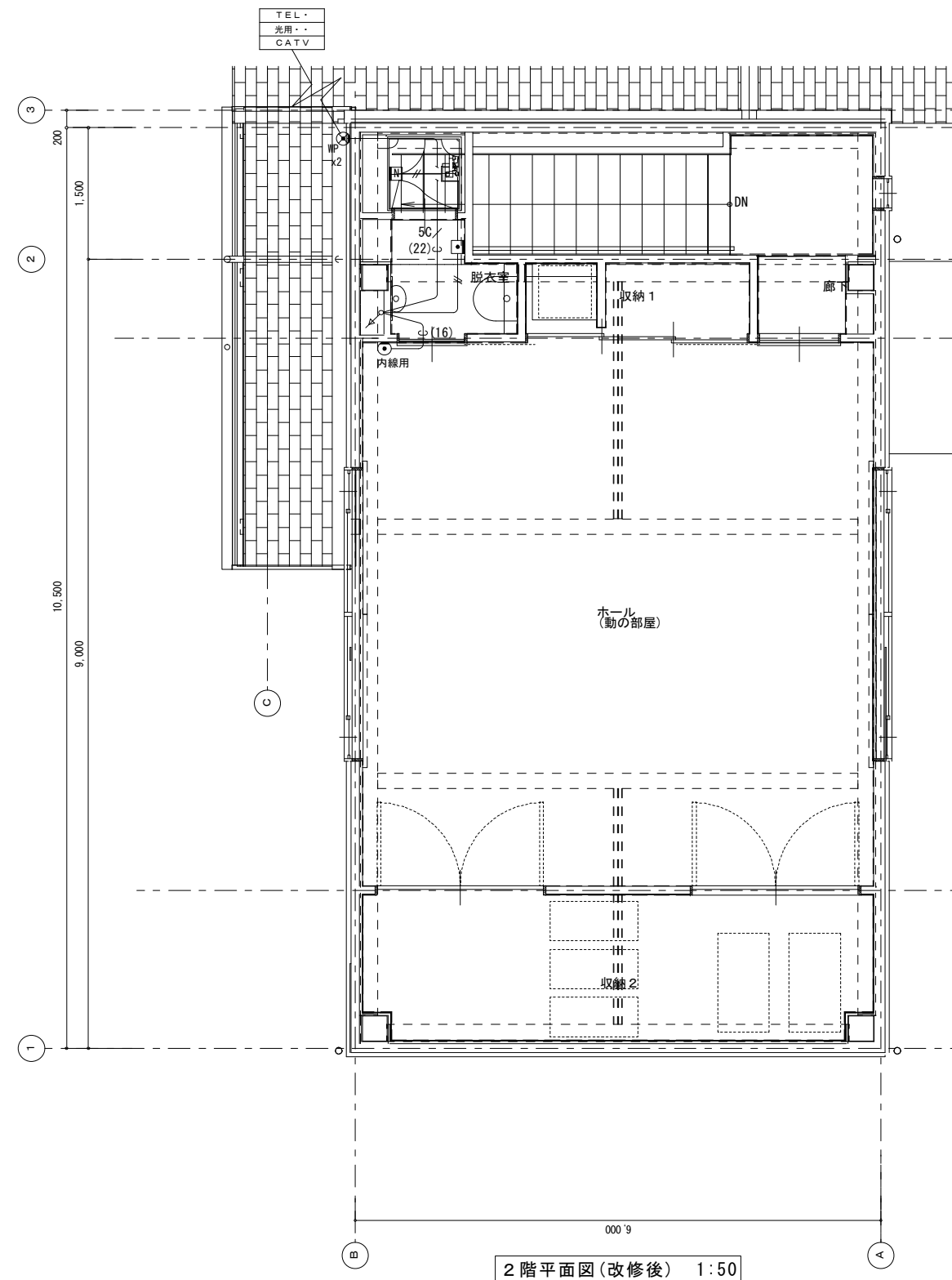
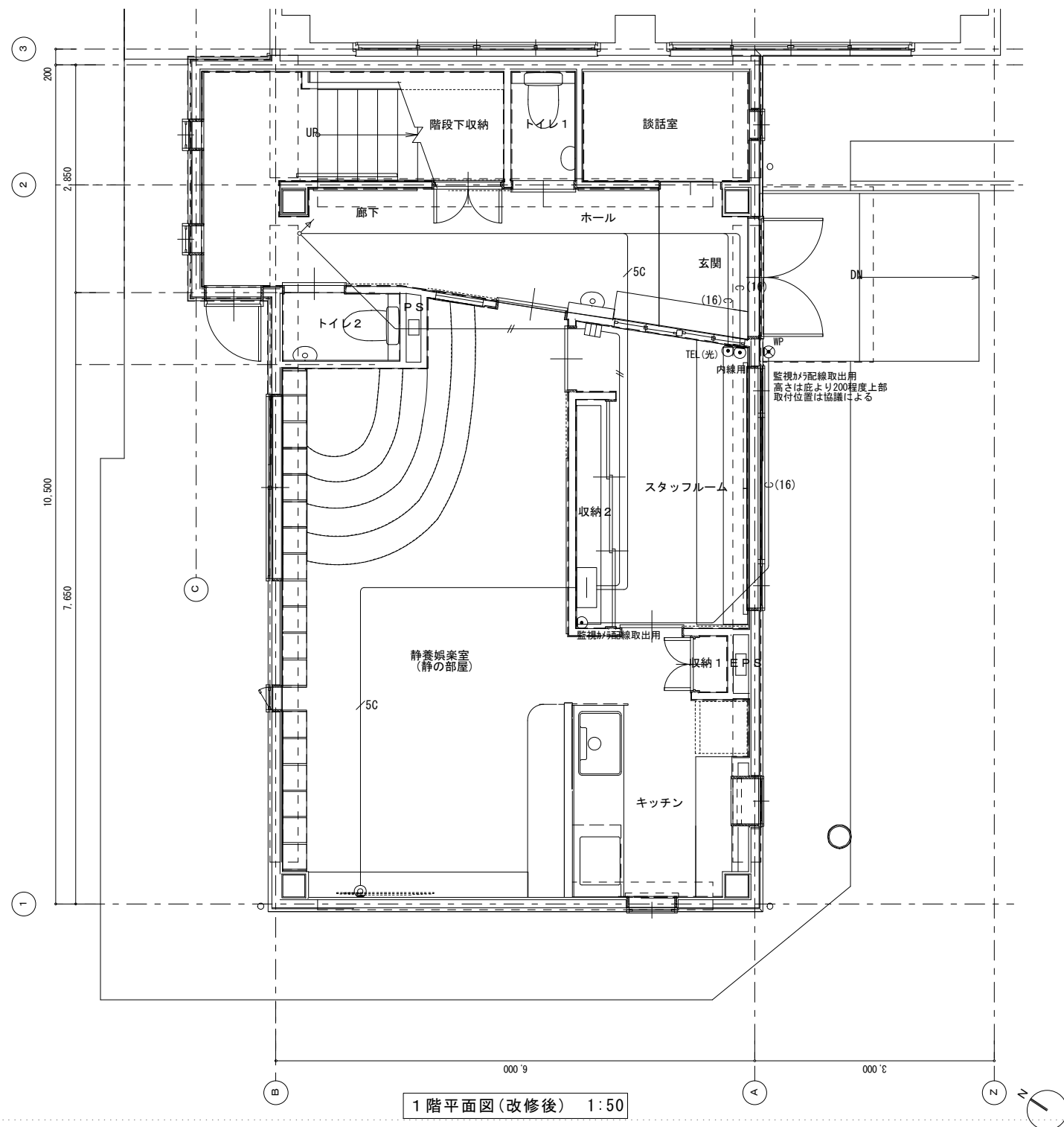
N

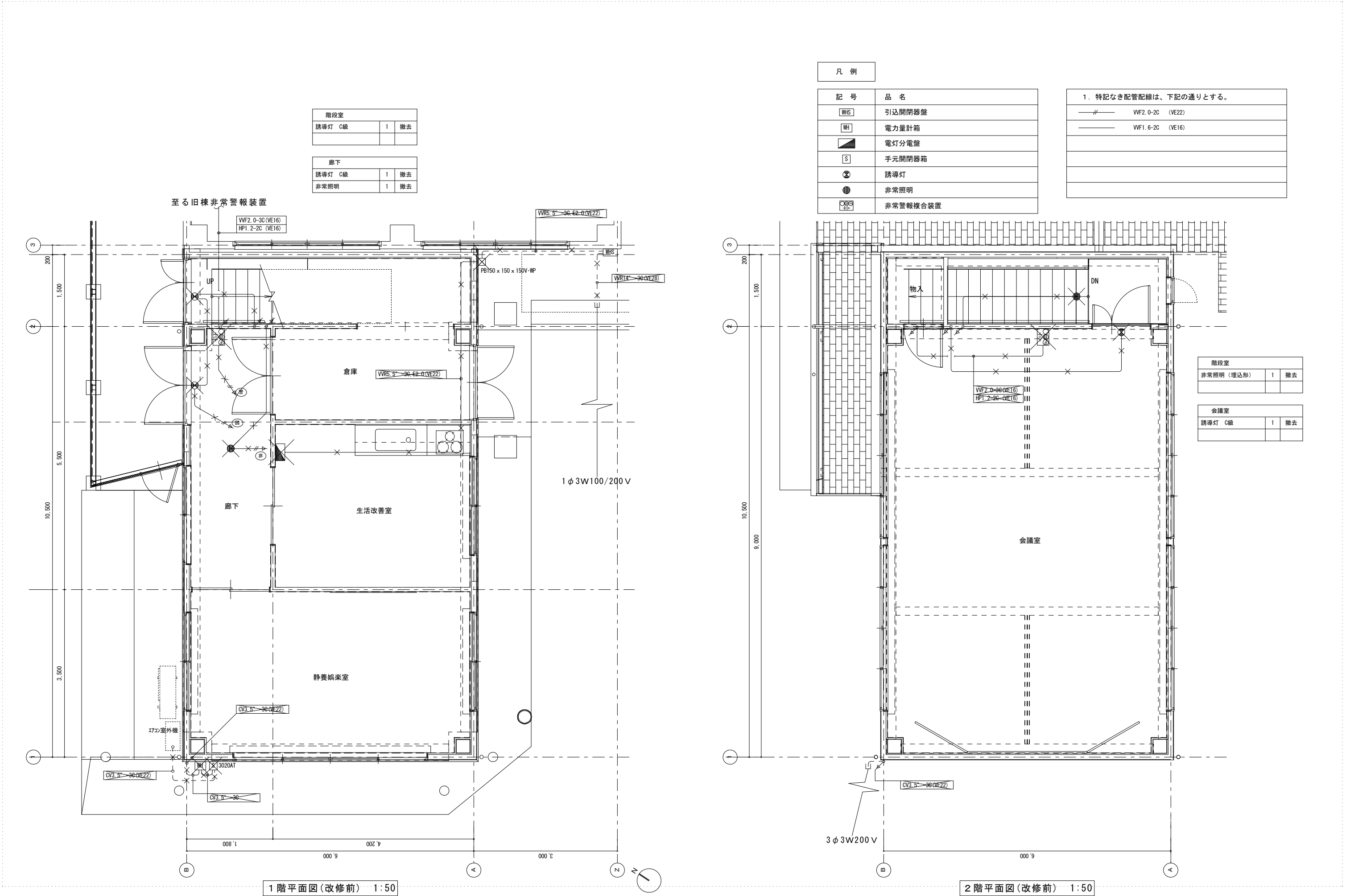
復旧ボタン

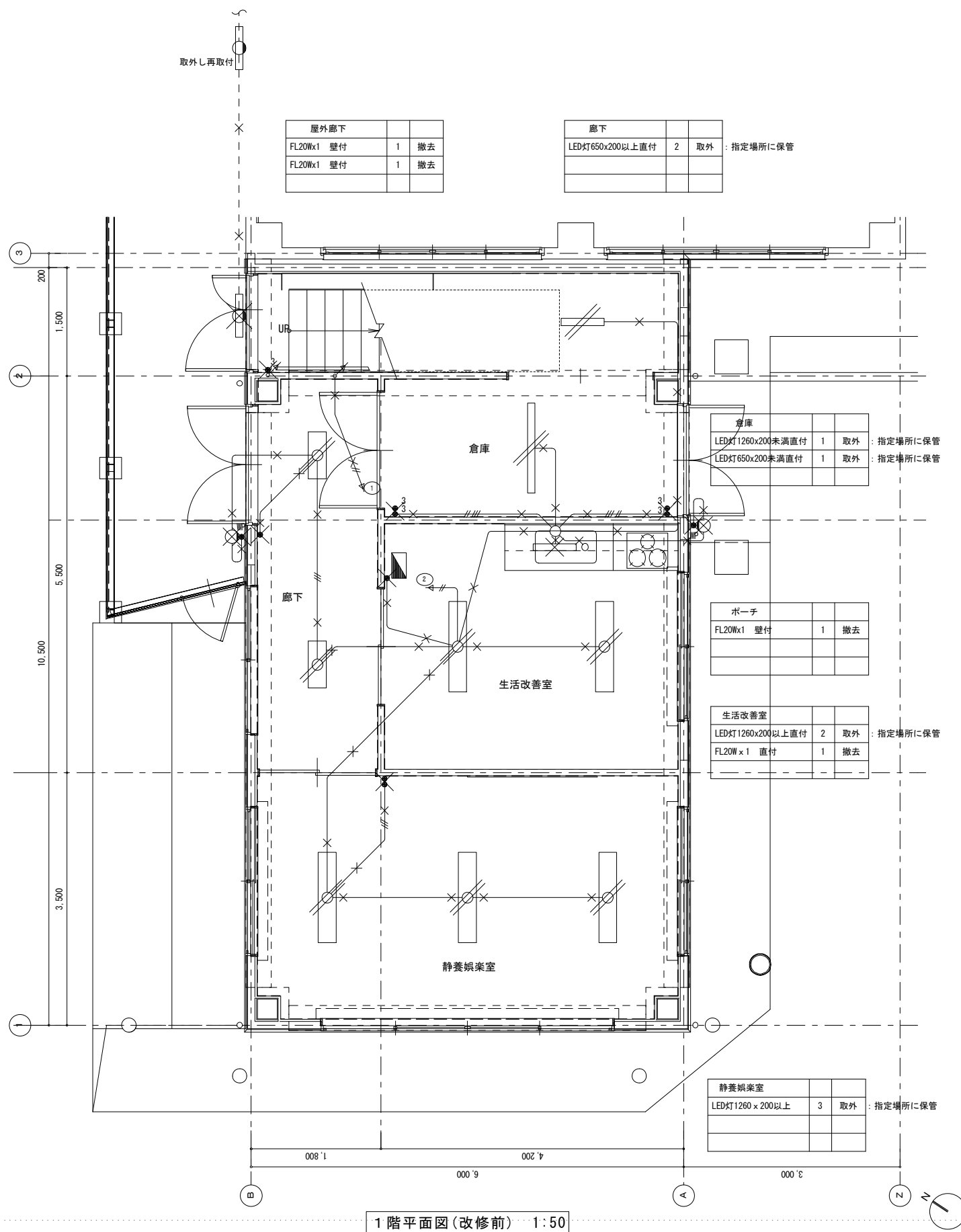
NBR-2A-C

形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)
材質	自己消火性樹脂
備考	引きひも式・押ボタン式両用 点字案内文有

形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)
材質	樹脂
備考	非防水形





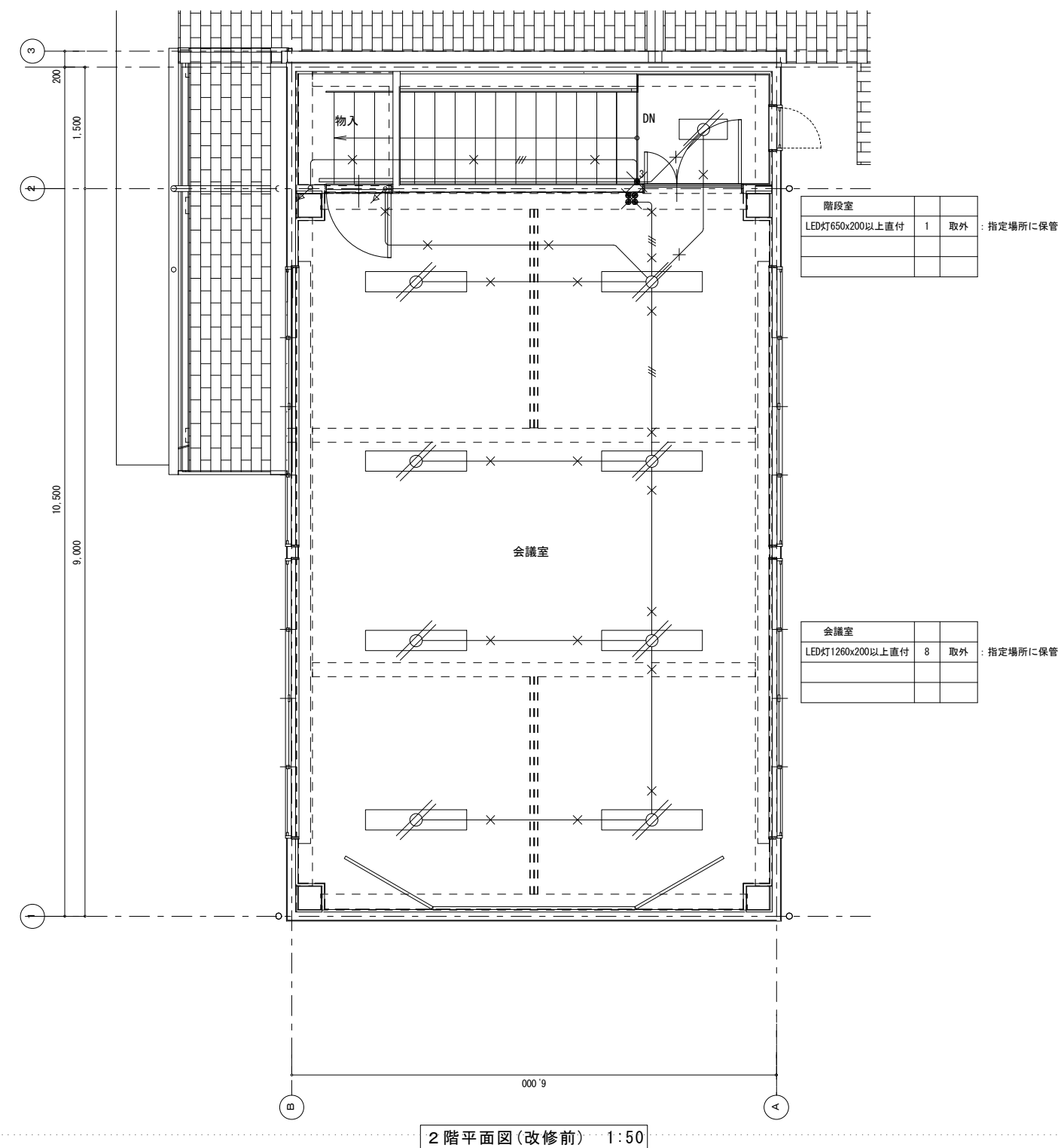


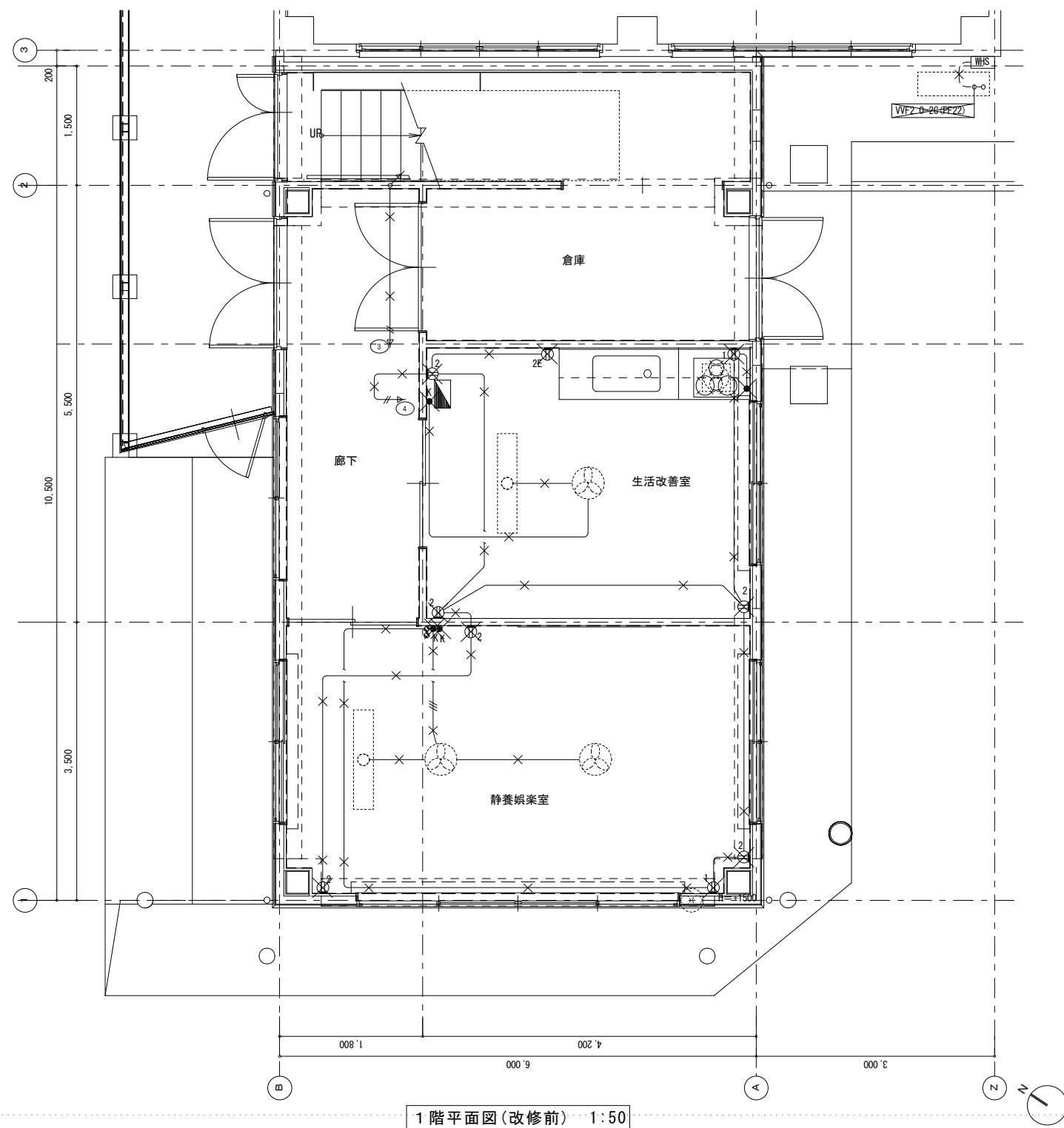
凡 例

記 号	品 名
	電灯分電盤
	ダウンライト
	ブラケットライト
	天井直付灯
	天井扇（機械設備工事）
●	スイッチ 1P15Ax1
●3	スイッチ 3W15Ax1
●WP	防水スイッチ 1P15Ax1



1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。	
———//———	WF2. 0-2C (VE22)
———// <sup>2</sup> / <sub>0</sub> ———	WF2. 0-3C (VE22)
———	WF1. 6-2C (VE16)
———///———	WF1. 6-3C (VE16)
———///#———	WF1. 6-2C+3C (VE28)

※既設LED照明は、取外し後指定場所に保管の事。

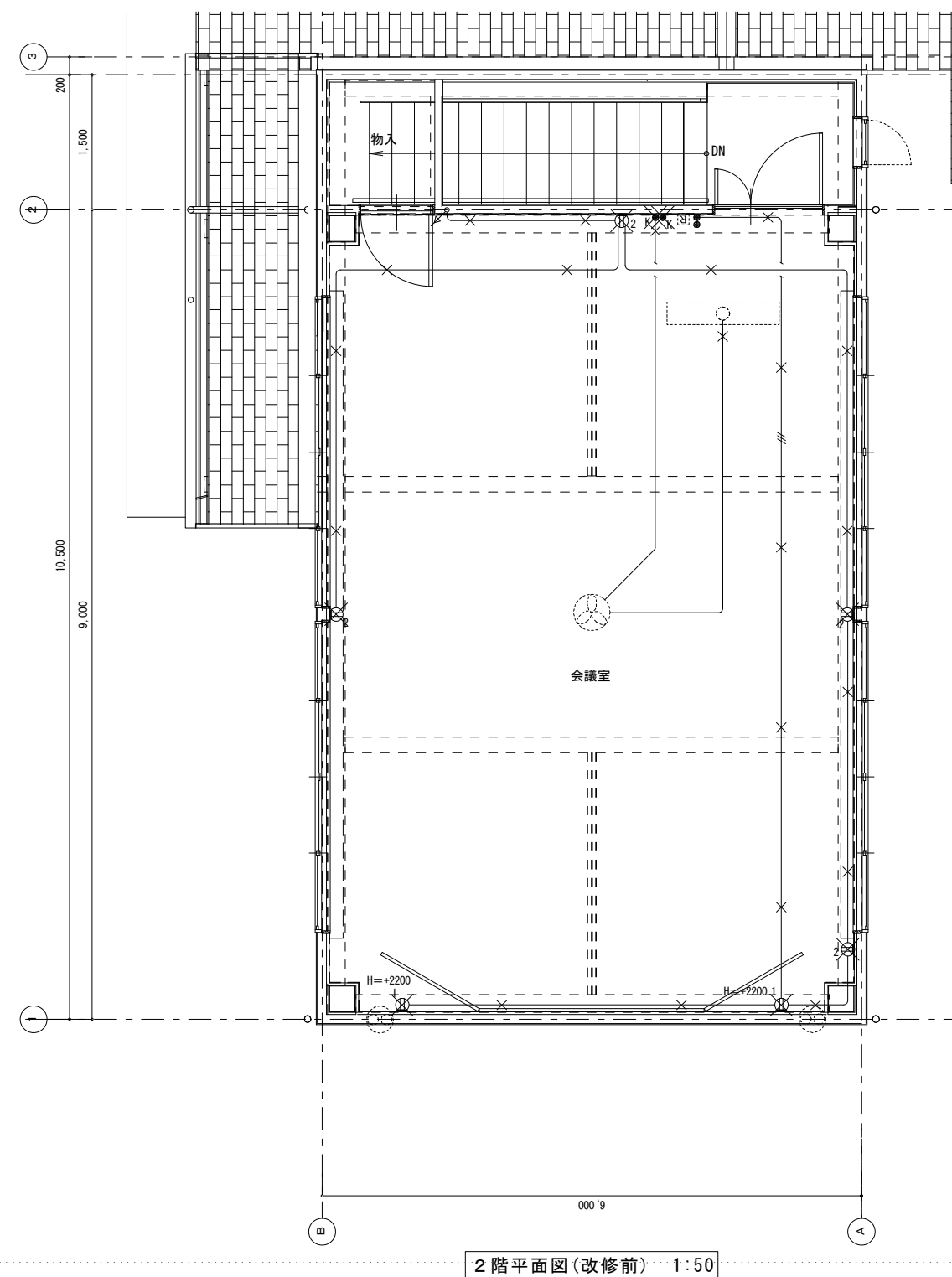




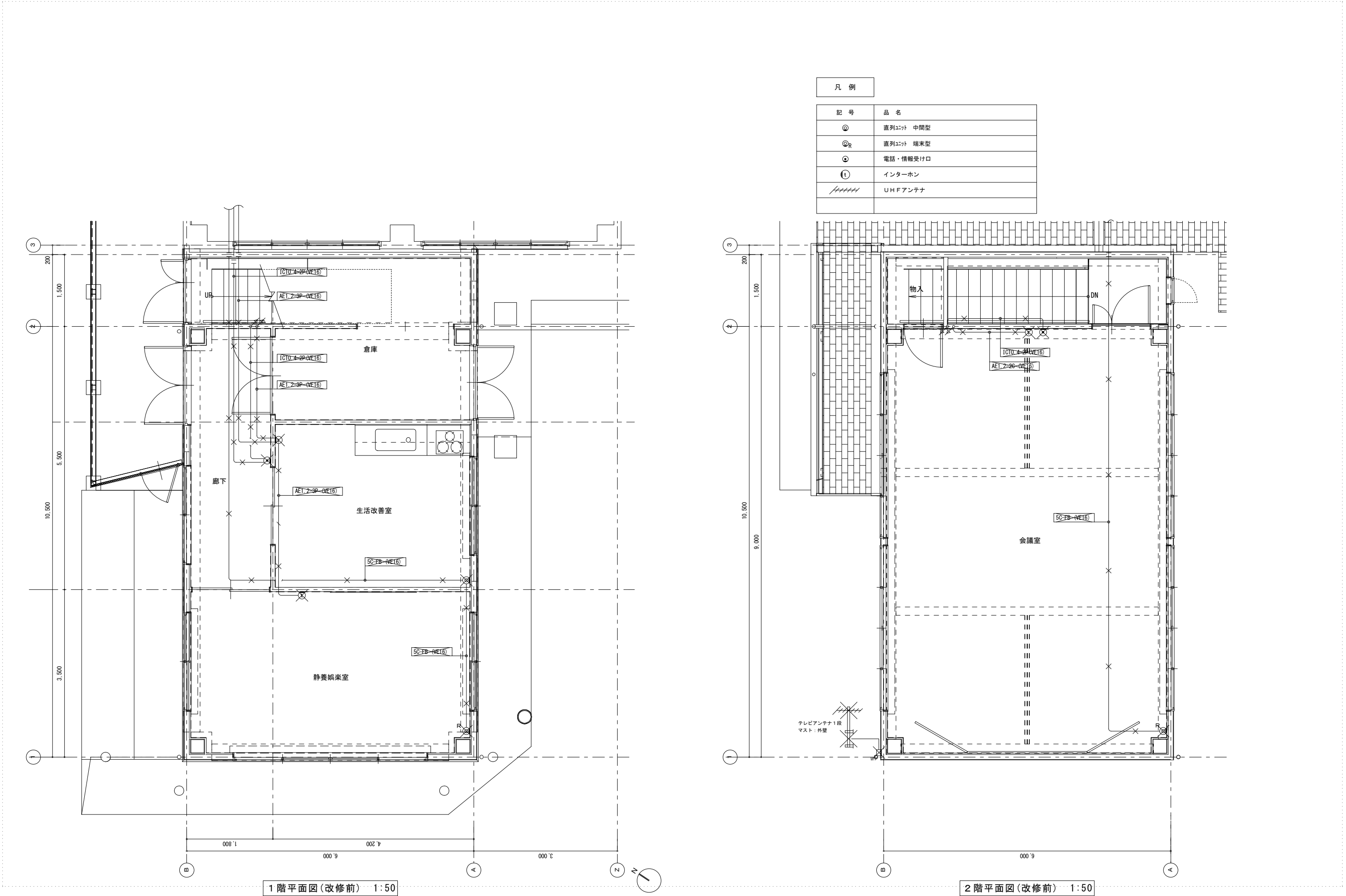
凡 例

記 号	品 名
	電灯分電盤
	扇風機 機械設備工事
①1	コンセント 2P15Ax1
①2	コンセント 2P15Ax2
①2 E	コンセント 2P15Ax2 接地極付
●	スイッチ 1P15Ax1
●K	扇風機スイッチ

1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。	
—//—	WF2. 0-2C (VE22)
—	WF1. 6-2C (VE16)







機修繕機械設備工事

特記仕様書

Ⅰ. 工 事 概 要

1. 工 事 名 称

北広島町子ども第三の居場所開設工事

1. 工 事 場 所

広島県山県郡北広島町有田495番地

2. 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
新棟	S造	2階建て	128.85	(6)項ハ(3)	改修
旧棟	R C造	平屋	132.00	(1)項	既設

3. 工 事 種 目

(○印の付いたものを適用する)

建物別及び屋外	工 事 種 別		
工 事 種 目	新棟		屋 外
○ 空 気 調 和 設 備	改修一式		
○ 換 気 設 備	改修一式		
・ 排 煙 制 御 設 備			
・ 自 動 制 御 設 備			
・ 衛 生 器 具 設 備	改修一式		
・ 給 水 設 備	改修一式		
・ 排 水 設 備	改修一式		
・ 給 湯 設 備	改修一式		
・ 消 火 設 備			
○ ガ ス 設 備	改修一式		
・ 厨 房 設 備			
・ 浄 化 槽 設 備			
・ 雨 水 利 用 設 備			
・ 特殊ガス設備			
・ 電 気 設 備 工 事	電気設備工事の部による		
・ 建 築 工 事	建築工事の部による		

4. 指 定 部 分

※ 無し ・ 有り (工期 令和 年 月 日)

対象部分：

5. 設 備 概 要

(改修の場合は既存の概要を示す。)

空 調 設 備	空気調和 方式等	・ 空気調和 (○パッケージ方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式 ・ ファンコイルユニット・ダクト併用方式 ・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 )
	主要熱源	・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ マルチパッケージ形空気調和機 ○ パッケージ形空気調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 ・ テリングユニット ・ 吸収冷水温水機 ・ 吸収冷水温水機ユニット ・ 鋼製ボイラー ・ 鉄鉄製ボイラー ・ 温水発生機 ( ・ 真空式 ・ 無圧式 ) ・ 1種換気 ( ・ 2種換気 ( ○ 3種換気
	換 気 設 備	・ 機械排煙 ( ・ 有 ( ・ 無し ) 適用法規 ( ・ 建基法 ・ 消防法 )
	排 煙 設 備	・ 自動制御方式 ( ・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 )
	給水方式	○ 水道直結 ・ 高置タンク ・ ポンプ直送 ・ 水道直結増圧
	排水方式	建物内の汚水と雑排水 ( ○ 合流 ・ 分流 ) ポンプ排水 ・ 有 ( ・ 汚水 ・ 雑排水 ・ 湧水 ) ○ 無
	放 汚 水	○ 直放流下水管 ・ 浄化槽
	流 雑排水	○ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途樹
	先 排水槽	・ 有 (計画容量： m3 ) ・ 無
	給湯設備	○ 有 ( ・ 局所式 ・ 中央式 ) ・ 無 熱源 ( ・ 電気 ・ 都市ガス ○ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油 ) ・ 屋内消火栓 ・ 連絡送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連絡散水装置 ・ 粉末消火装置 ・ 不活性ガス消火 ( ・ 窒素 ・ ) ・ ハロゲン化物消火 ・ フード等用簡易自動消火装置 ○ 無
消火設備	ガス設備	・ 都市ガス 種別 ( ・ M J / m3 N ) ○ 液化石油ガス
	浄化槽設備	・ 有 ( ・ 合併処理 ・ 小規模合併処理 ) ○ 無

Ⅱ. 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様

1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の標準仕様書等  
による。ただし、○印の付いたものを適用する。  
・ 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和4年版 (以下「標準仕様書」という。)  
・ 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和4年版  
(以下「改修標準仕様書」という。)  
・ 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 令和4年版 (以下「標準図」という。)

2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記  
仕様書を適用する。

2. 特 記 仕 様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。  
ただし、○印のない場合は ※ 印を適用する。  
○印 ※ 印の場合は共に適用する。

区分

項 目	特 記 事 項
① 施工図等	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
2. 保安規定	中国地方整備局制定の営繕工事事業用工作物電気保安規程を ( ・ 適用 ・ 準用 ) する。
③ 施工条件	現場説明書による。
4. 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を、監督職員に提出する。
5. 養生材の処理等	引渡しを要するもの ・ 有 ( ・ 機器類 ・ 金属類 ・ ) ※ 54. 建設廃棄物の処理も 確認すること 特別管理産業廃棄物 ※ 無 ・ 有 ( ・ 配管用保温材 ・ ) 再生資源化を図るもの ※ 無 ・ 有 ( ・ ) アスベスト含有設備資機材 (ガスケット、パッキン、たわみ継手等) は関係法令に従い適切に処理を行う。引渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とする。
※ 54. 建設廃棄物の処理も 確認すること	撤去機材等 (アスベスト類を含む) の搬出・処分費 ※ 本工事 ・ 別途工事 フロン、臭化リチウム液、残油処理の搬出・処分費 ※ 本工事 ・ 別途工事

一般  
共  
通  
事  
項

⑥ 環境への配慮

1) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (グリーン購入法) に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。

2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。  
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。  
② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。  
③ 接着剤は、可塑性 (フタル酸ジエーナブチル及びフタル酸ジエーナエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。  
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2) ①の材料等を使用する場合は次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。  
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。  
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。  
③ 安定的な供給が可能であること。  
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

⑧ 機材の承諾図

⑨ 図形表示

⑩ 容量等の表示

11. 技能士の適用

12. 化学物質の濃度測定

⑬ インバーター用制御及び操作盤

14. 総合試運転調整

⑮ 弁類

⑯ 伸縮管継手

⑰ 防振継手

⑱ 絶縁継手

19. スリーブ

20. 瞬間流量計

⑳ 配管の建物導入部

22. ステンレス鋼管の接合方法

㉑ ビニル管の接合方法

24. ポリエチレン管の接合方法

25. 溶接配管の検査

26. 異種管の接続

㉒ 支持金物・固定金具

㉓ 埋設表示

㉔ 保温

㉕ 溶融亜鉛めっきは ※ 2種35 ・ 2種50  
標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。  
1) 屋内露出 (一般居室、廊下) の外装は ※ A1 ・ A2  
2) 冷媒管の保温外装は  
屋内露出 ・ 合成樹脂カバー (A1・(イ・ロ)・V I)  
○ 保温化粧ケース (耐候性樹脂製)  
屋外露出 ・ ステンレス鋼板 (E2・(イ・ロ)・V I)  
○ 保温化粧ケース  
屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐候性樹脂 ・ ステンレス鋼板  
・ 高耐食鋼板 (溶融亜鉛めっき)  
3) 標準仕様書以外で多湿箇所の適用 ( ・ ※ 無 ・ ) とする。  
4) 全熱交換器の機器外気側ダクト ( ・ ※ 給気側 ・ 排気側外壁より 1 m ) は、保温 (25 mm厚) する。  
5) 厨房用排気ダクトの断熱 (隠ぺい部) ・ I・(イ)・Ⅹ 又は h・(イ)・Ⅹ ・ 行わない。  
6) 共同溝の保温種別は ( ・ 配管 ・ ・ )  
ダクト： ( ・ ) とする。

㉖ 撤去機材等 (アスベスト類を含む) の搬出・処分費  
※ 本工事 ・ 別途工事  
フロン、臭化リチウム液、残油処理の搬出・処分費  
※ 本工事 ・ 別途工事

一般  
共  
通  
事  
項

⑥ 塗装

31. 足場

㉒ 工事用電力、水、その他

33. 監督職員事務所

34. 工事用仮設備

㉓ 土工事

36. コンクリート工事

37. 耐震措置

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。  
ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。  
1) 設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、  
地域係数 ( ・ 1.0 ・ ※ 0.9 ・ 0.8 ) と、  
次に示す設計用標準水平地震を乗じたものとする。  
設計用標準水平地震 ・ 特定の施設 ・ 一般の施設  
設置場所機器種別重要機器一般機器重要機器一般機器  
上層階防振設置機器2.02.02.02.02.01.5  
屋上及び塔屋水槽類2.01.51.51.51.0  
機2.51.51.01.00.6  
中間階防振設置機器1.51.51.51.51.0  
水槽類1.51.01.00.6  
機1.00.60.60.60.4  
地階1階防振設置機器1.01.01.01.00.6  
水槽類1.51.01.01.00.6  
上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3、13階建以上の場合は上層4階とする。  
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。  
重要機器は次のものを示す。  
・ 給水機器 ( ・ )  
・ 排水機器 ( ・ )  
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災機器  
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備  
・ 避難経路上に設置する機器  
2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。  
1) E M電線類で規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、電線及びE Mケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。  
2) 電線の色別は、原則として電気設備工事の工事仕様書による。  
・ 施工に先立ち、改修工事関連部分 (施工部位により既存性能を損なうおそれのある部分) の事前確認を行い監督職員に報告書を出す。  
・ 既存設備システムの事前調査を行い監督職員に報告書を出す。調査を行う前に監督職員に調査計画書を出す。  
改修工事の対象となる既存設備システム  
・ 排水放流先 ・ 中央監視盤  
撤去する配管、ダクト (付属品含む) の保温材は、配管・ダクト等より分離する。  
施工後確認試験  
試験方法 引張試験機による引張り試験  
試験箇所数 1施工単位に対し1本以上  
対象機器 ( ・ 配電盤 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置 ・ 変圧器 ・ )  
確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上  
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い、監督職員に報告する。原則、探査方法は走査式埋設物調査 (電磁誘導法または電磁波レーダ法) とする。  
放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。  
図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。  
電気設備工事、建築工事等との合併工事の場合は工種区分とする。  
( ・ ) 書きの室名は天井井を示し、その他は天井ありを示す。  
(1) 工事竣工図書引渡し書 A4版  
(2) 完成図書 (A4版)  
(3) 諸官庁届出書類一覧表 (諸官庁届出書類 (正) 許可証 (正) 共)  
(4) 完成図面・施工図面二折製本 A3版  
(5) 縮小完成図面・施工図面二折製本 A4版  
(6) 工事記録写真 A4版 (工事記録写真カラーサービス版)  
(完成写真カラーサービス版)  
(7) 運転操作説明書・取扱説明書を簡易にまとめたもの A4版製本  
(8) 工事監理図書 A4版  
(9) 電子成果品 (電子納品)  
(10) 建物基本情報及び型式台帳 (監督員が指定する様式で作成)  
(11) その他監督員が必要と指示したもの (フロン台帳等)  
電子成果品を「営繕工事電子納品要領」 (以下、要領という) に基づき作成する。  
※ 電子納品対象データは同要領に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。

46. 電子納品

一般  
共  
通  
事  
項

㉒ 塗装

31. 足場

㉒ 工事用電力、水、その他

33. 監督職員事務所

34. 工事用仮設備

㉓ 土工事

36. コンクリート工事

37. 耐震措置

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。  
ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。  
1) 設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、  
地域係数 ( ・ 1.0 ・ ※ 0.9 ・ 0.8 ) と、  
次に示す設計用標準水平地震を乗じたものとする。  
設計用標準水平地震 ・ 特定の施設 ・ 一般の施設  
設置場所機器種別重要機器一般機器重要機器一般機器  
上層階防振設置機器2.02.02.02.02.01.5  
屋上及び塔屋水槽類2.01.51.51.51.0  
機2.51.51.01.00.6  
中間階防振設置機器1.51.51.51.51.0  
水槽類1.51.01.00.6  
機1.00.60.60.60.4  
地階1階防振設置機器1.01.01.01.00.6  
水槽類1.51.01.01.00.6  
上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3、13階建以上の場合は上層4階とする。  
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。  
重要機器は次のものを示す。  
・ 給水機器 ( ・ )  
・ 排水機器 ( ・ )  
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災機器  
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備  
・ 避難経路上に設置する機器  
2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。  
1) E M電線類で規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、電線及びE Mケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。  
2) 電線の色別は、原則として電気設備工事の工事仕様書による。  
・ 施工に先立ち、改修工事関連部分 (施工部位により既存性能を損なうおそれのある部分) の事前確認を行い監督職員に報告書を出す。  
・ 既存設備システムの事前調査を行い監督職員に報告書を出す。調査を行う前に監督職員に調査計画書を出す。  
改修工事の対象となる既存設備システム  
・ 排水放流先 ・ 中央監視盤  
撤去する配管、ダクト (付属品含む) の保温材は、配管・ダクト等より分離する。  
施工後確認試験  
試験方法 引張試験機による引張り試験  
試験箇所数 1施工単位に対し1本以上  
対象機器 ( ・ 配電盤 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置 ・ 変圧器 ・ )  
確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上  
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い、監督職員に報告する。原則、探査方法は走査式埋設物調査 (電磁誘導法または電磁波レーダ法) とする。  
放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。  
図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。  
電気設備工事、建築工事等との合併工事の場合は工種区分とする。  
( ・ ) 書きの室名は天井井を示し、その他は天井ありを示す。  
(1) 工事竣工図書引渡し書 A4版  
(2) 完成図書 (A4版)  
(3) 諸官庁届出書類一覧表 (諸官庁届出書類 (正) 許可証 (正) 共)  
(4) 完成図面・施工図面二折製本 A3版  
(5) 縮小完成図面・施工図面二折製本 A4版  
(6) 工事記録写真 A4版 (工事記録写真カラーサービス版)  
(完成写真カラーサービス版)  
(7) 運転操作説明書・取扱説明書を簡易にまとめたもの A4版製本  
(8) 工事監理図書 A4版  
(9) 電子成果品 (電子納品)  
(10) 建物基本情報及び型式台帳 (監督員が指定する様式で作成)  
(11) その他監督員が必要と指示したもの (フロン台帳等)  
電子成果品を「営繕工事電子納品要領」 (以下、要領という) に基づき作成する。  
※ 電子納品対象データは同要領に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。

46. 電子納品

一般  
共  
通  
事  
項

47. 工事中情報共有システム

㉒ 履行報告

㉓ 建設廃棄物の処理

㉔ 優先順位

㉕ 官公署その他への手続き等

㉖ 別契約の関係工事との協調

㉗ 調査への対応

㉘ 工事現場の表示

57. 交通誘導員

58. 説明板等

㉘ 工事中の補償

㉙ 工事後の補償

㉚ 完成引渡しまでの管理

62. 快速トイレモデル工事

(1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。  
(2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html  
(3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのアルビム提供者 (以下「サービス提供者」という。) との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。  
(4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならぬ。  
標準仕様書第1編1.1.4に基づいて適切に行うこと。  
工事の着手に先立ち、現場の体制・組織、仮設計画、安全衛生管理、緊急時の連絡、災害予防その他の現場運営に必要な計画を定めた「総合施工計画書」を作成し提出する。  
また各種別の工事の施工にあたっては「工種別施工計画書」を作成する。  
約款第11条に規定する工事履行報告書は、営繕課で示す様式「期間別工事工程報告書」で、工程写真、状況写真を添付して月2回提出する。  
(1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県 (環境県民局) 及び保健所設置政令市等 (広島市、呉市、福山市) が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設 (許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設) で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破碎等 (選別を含む) により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。 (原則、県内処分)  
(2) 本工事における再資源化に要する費用 (運搬費を含む処分費) は、前記 (1) に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費 (平日の受入費用) の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用 (単価) は変更しない。  
(3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物処理税相当額を見込んでいる。  
設計図書の優先順位は次の順序とする。  
①技術的説明事項 (追加説明、質問回答を含む)  
②設計図書 ③設計図面 ④標準仕様書・標準図  
官公署その他への手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関の検査において、その検査に必要な資機材及び労務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。  
建築、電気その他別契約の関係工事について、工程及び、取合部分の施工に關し、常に緊密に連絡し、工事の円滑な進捗を図るものとする。  
工事中及び竣工後、下記に示す調査を行うため発注者より連絡があれば対応すること。  
①公共事業労務費調査…工事中に実施 (調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等)  
②契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。  
※ 工事名等の表示板 (900mm×600mm) ・ 工事概要等の説明看板 (900mm×600mm) 作業期間、交通誘導員を (人/日) 配置すること。  
・ 説明書 (監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書等を作成する。)  
・ 説明板 (監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)  
地上物件、地中埋設物等で本工事に起因して損傷した場合は、速やかに修繕し、完全に復元するものとする。  
工事完成引渡後、施工または機器、材料の不備による故障は、約款第41条 (契約不適合) により1年間受注者の負担で完全に修繕するものとする。  
工事完了後も予め監督職員の指示した日時までは受注者で管理し、各種公課に対する料金及び各種の被害 (火災、盗難、破損等) は一切受注者の負担とする。  
本工事は快速トイレモデル工事 (・発注者指定型・受注者希望型) であり、「快速トイレモデル工事試行要領 (令和4年6月1日一部改正)」に基づき実施するものとする。  
快速トイレチェックシートの様式は、「広島県の調達情報」の「様式集」建設工事関係、その他の契約関係の様式に掲載されている。  
また、完成検査まで提出するアンケートは、「広島県の調達情報」の「入札・契約制度」入札・契約制度関係要綱に掲載されている。

別表-1

品 目	機 材 名	品 目	機 材 名
ボイラー	鋼製ボイラー 鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー	送風機	遠心送風機 (多翼形送風機) 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機
温水発生機	真空式温水発生機 (鋼製・鉄製) 無圧式温水発生機 (鋼製・鉄製)	ポンプ	機形遠心ポンプ 水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用)
冷凍機	チンクユニット 及び 空気熱源ヒートポンプユニット 吸収冷凍機	ダクト付用品	風量 ユニット ( 定風量、変風量 ) 立形遠心 ポンプ
冷却塔	自動制御 システム	自動制御	自動制御 システム
冷却塔	冷却塔	衛生器具	衛生器具 ユニット
空気調和機	ユニット形空気調和機 フォトリフレクト型ユニット形ファンコイルユニット	タンク	FRP製 バルタタンク 密閉型鋼製タンク (空調用・給湯用)
空気調和機	ステンレス 鋼板製 バルタタンク ( 溶接絶縁形・ボルト絶縁形)	空気調和機	ステンレス 鋼板製 バルタタンク ( 溶接絶縁形・ボルト絶縁形)
空気調和機	スプリングラックシステム 不活性ガス混合システム 泡漏システム	空気調和機	スプリングラックシステム 不活性ガス混合システム 泡漏システム
空気調和機	エアフィルター (バネル形・折込み形) 自動取捨エアフィルター	空気調和機	エアフィルター (バネル形・折込み形) 自動取捨エアフィルター
空気調和機	全熱交換機 (図形・静止形)	空気調和機	全熱交換機 (図形・静止形)

一般  
共  
通  
事  
項

47. 工事中情報共有システム

㉒ 履行報告

㉓ 建設廃棄物の処理

㉔ 優先順位

㉕ 官公署その他への手続き等

㉖ 別契約の関係工事との協調

㉗ 調査への対応

㉘ 工事現場の表示

57. 交通誘導員

58. 説明板等

㉘ 工事中の補償

㉙ 工事後の補償

㉚ 完成引渡しまでの管理

62. 快速トイレモデル工事

(1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。  
(2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html  
(3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのアルビム提供者 (以下「サービス提供者」という。) との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。  
(4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならぬ。  
標準仕様書第1編1.1.4に基づいて適切に行うこと。  
工事の着手に先立ち、現場の体制・組織、仮設計画、安全衛生管理、緊急時の連絡、災害予防その他の現場運営に必要な計画を定めた「総合施工計画書」を作成し提出する。  
また各種別の工事の施工にあたっては「工種別施工計画書」を作成する。  
約款第11条に規定する工事履行報告書は、営繕課で示す様式「期間別工事工程報告書」で、工程写真、状況写真を添付して月2回提出する。  
(1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県 (環境県民局) 及び保健所設置政令市等 (広島市、呉市、福山市) が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設 (許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設) で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破碎等 (選別を含む) により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。 (原則、県内処分)  
(2) 本工事における再資源化に要する費用 (運搬費を含む処分費) は、前記 (1) に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費 (平日の受入費用) の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用 (単価) は変更しない。  
(3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物処理税相当額を見込んでいる。  
設計図書の優先順位は次の順序とする。  
①技術的説明事項 (追加説明、質問回答を含む)  
②設計図書 ③設計図面 ④標準仕様書・標準図  
官公署その他への手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関の検査において、その検査に必要な資機材及び労務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。  
建築、電気その他別契約の関係工事について、工程及び、取合部分の施工に關し、常に緊密に連絡し、工事の円滑な進捗を図るものとする。  
工事中及び竣工後、下記に示す調査を行うため発注者より連絡があれば対応すること。  
①公共事業労務費調査…工事中に実施 (調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等)  
②契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。  
※ 工事名等の表示板 (900mm×600mm) ・ 工事概要等の説明看板 (900mm×600mm) 作業期間、交通誘導員を (人/日) 配置すること。  
・ 説明書 (監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書等を作成する。)  
・ 説明板 (監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)  
地上物件、地中埋設物等で本工事に起因して損傷した場合は、速やかに修繕し、完全に復元するものとする。  
工事完成引渡後、施工または機器、材料の不備による故障は、約款第41条 (契約不適合) により1年間受注者の負担で完全に修繕するものとする。  
工事完了後も予め監督職員の指示した日時までは受注者で管理し、各種公課に対する料金及び各種の被害 (火災、盗難、破損等) は一切受注者の負担とする。  
本工事は快速トイレモデル工事 (・発注者指定型・受注者希望型) であり、「快速トイレモデル工事試行要領 (令和4年6月1日一部改正)」に基づき実施するものとする。  
快速トイレチェックシートの様式は、「広島県の調達情報」の「様式集」建設工事関係、その他の契約関係の様式に掲載されている。  
また、完成検査まで提出するアンケートは、「広島県の調達情報」の「入札・契約制度」入札・契約制度関係要綱に掲載されている。

別表-1

品 目	機 材 名	品 目	機 材 名
ボイラー	鋼製ボイラー 鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー	送風機	遠心送風機 (多翼形送風機) 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機
温水発生機	真空式温水発生機 (鋼製・鉄製) 無圧式温水発生機 (鋼製・鉄製)	ポンプ	機形遠心ポンプ 水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用)
冷凍機	チンクユニット 及び 空気熱源ヒートポンプユニット 吸収冷凍機	ダクト付用品	風量 ユニット ( 定風量、変風量 ) 立形遠心 ポンプ
冷却塔	自動制御 システム	自動制御	自動制御 システム
冷却塔	冷却塔	衛生器具	衛生器具 ユニット
空気調和機	ユニット形空気調和機 フォトリフレクト型ユニット形ファンコイルユニット	タンク	FRP製 バルタタンク 密閉型鋼製タンク (空調用・給湯用)
空気調和機	ステンレス 鋼板製 バルタタンク ( 溶接絶縁形・ボルト絶縁形)	空気調和機	ステンレス 鋼板製 バルタタンク ( 溶接絶縁形・ボルト絶縁形)
空気調和機	スプリングラックシステム 不活性ガス混合システム 泡漏システム	空気調和機	スプリングラックシステム 不活性ガス混合システム 泡漏システム
空気調和機	エアフィルター (バネル形・折込み形) 自動取捨エアフィルター	空気調和機	エアフィルター (バネル形・折込み形) 自動取捨エアフィルター
空気調和機	全熱交換機 (図形・静止形)	空気調和機	全熱交換機 (図形・静止形)

一般  
共  
通  
事  
項

47. 工事中情報共有システム

㉒ 履行報告

㉓ 建設廃棄物の処理

㉔ 優先順位

㉕ 官公署その他への手続き等

㉖ 別契約の関係工事との協調

㉗ 調査への対応

㉘ 工事現場の表示

57. 交通誘導員

58. 説明板等

㉘ 工事中の補償

㉙ 工事後の補償

㉚ 完成引渡しまでの管理

62. 快速トイレモデル工事

(1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。  
(2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html  
(3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのアルビム提供者 (以下「サービス提供者」という。) との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。  
(4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならぬ。  
標準仕様書第1編1.1.4に基づいて適切に行うこと。  
工事の着手に先立ち、現場の体制・組織、仮設計画、安全衛生管理、緊急時の連絡、災害予防その他の現場運営に必要な計画を定めた「総合施工計画書」を作成し提出する。  
また各種別の工事の施工にあたっては「工種別施工計画書」を作成する。  
約款第11条に規定する工事履行報告書は、営繕課で示す様式「期間別工事工程報告書」で、工程写真、状況写真を添付して月2回提出する。  
(1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県 (環境県民局) 及び保健所設置政令市等 (広島市、呉市、福山市) が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設 (許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設) で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破碎等 (選別を含む) により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。 (原則、県内処分)  
(2) 本工事における再資源化に要する費用 (運搬費を含む処分費) は、前記 (1) に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費 (平日の受入費用) の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用 (単価) は変更しない。  
(3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物処理税相当額を見込んでいる。  
設計図書の優先順位は次の順序とする。  
①技術的説明事項 (追加説明、質問回答を含む)  
②設計図書 ③設計図面 ④標準仕様書・標準図  
官公署その他への手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関の検査において、その検査に必要な資機材及び労務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。  
建築、電気その他別契約の関係工事について、工程及び、取合部分の施工に關し、常に緊密に連絡し、工事の円滑な進捗を図るものとする。  
工事中及び竣工後、下記に示す調査を行うため発注者より連絡があれば対応すること。  
①公共事業労務費調査…工事中に実施 (調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等)  
②契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。  
※ 工事名等の表示板 (900mm×600mm) ・ 工事概要等の説明看板 (900mm×600mm) 作業期間、交通誘導員を (人/日) 配置すること。  
・ 説明書 (監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書等を作成する。)  
・ 説明板 (監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)  
地上物件、地中埋設物等で本工事に起因して損傷した場合は、速やかに修繕し、完全に復元するものとする。  
工事完成引渡後、施工または機器、材料の不備による故障は、約款第41条 (契約不適合) により1年間受注者の負担で完全に修繕するものとする。  
工事完了後も予め監督職員の指示した日時までは受注者で管理し、各種公課に対する料金及び各種の被害 (火災、盗難、破損等) は一切受注者の負担とする。  
本工事は快速トイレモデル工事 (・発注者指定型・受注者希望型) であり、「快速トイレモデル工事試行要領 (令和4年6月1日一部改正)」に基づき実施するものとする。  
快速トイレチェックシートの様式

空 調 和 ・ 換 気 設 備	① 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="4">室 内 (調整目標値)</th></tr><tr><th colspan="2">一 般 系 統</th><th colspan="2"></th></tr><tr><th>温度(℃)</th><th>湿度</th><th>温度(℃)</th><th>湿度</th><th>温度(℃)</th><th>湿度</th></tr><tr><td>夏季 34. 9℃</td><td>51. 0%</td><td>28. 0℃</td><td>50. 0%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬季 -0. 2℃</td><td>69. 9%</td><td>19. 0℃</td><td>40. 0%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)				一 般 系 統				温度(℃)	湿度	温度(℃)	湿度	温度(℃)	湿度	夏季 34. 9℃	51. 0%	28. 0℃	50. 0%	℃	%	冬季 -0. 2℃	69. 9%	19. 0℃	40. 0%	℃	%	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)	29. 機器用基礎	1. 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。	排水設備	4) 屋外排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)	石綿含有設備資材の処理について
	外 気 条 件				室 内 (調整目標値)																															
一 般 系 統																																				
温度(℃)	湿度	温度(℃)	湿度	温度(℃)	湿度																															
夏季 34. 9℃	51. 0%	28. 0℃	50. 0%	℃	%																															
冬季 -0. 2℃	69. 9%	19. 0℃	40. 0%	℃	%																															
② 配管材料	※重複して適用の場合の使用区分は図示による	2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)	30. 空調用流体の水質基準	2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。	・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (車道部)	I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法																														
3. 弁類	4. 空調機用トラップ	3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)	31. フィルターの予備品	3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りにしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。	記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。		1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。																													
5. 鋼板製煙道		4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)		防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。	水中形三相誘導電動機は、( ※ 乾式 ・ 油封式 ) とする。	撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。																														
6. ばい煙濃度計	7. 冷却塔	5) 蒸気還水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370Sch40)		日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用水質ガイドライン) による。	着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。	2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。																														
8. ユニット形 空気調和機		6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)		空気調和機器等又は「パナソニック」の装着枚数の100%を予備品 (枠付) として納める。77281ユニットは総台数の ( ・ 50% ・ 100% ) に当たる7748予備品 (枠付) として納める。	※ 別途工事 ・ 本工事	(1) ダクト・フランジ部																														
9. ファンコイルユニット		7) 冷媒 ① 断熱材被覆鋼管		自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。		ダクト・フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。																														
⑩ パッケージ形 空気調和機		8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (SUS304)				1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクト・フランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。																														
11. マルチパッケージ形 空気調和機		9) 空調用排水 ① 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管				2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。																														
⑫ 集中管理リモコン ・個別リモコン		図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。				3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。																														
13. 空気清浄装置		トラップの形式はフロートボール式 (床置型) ※ FRP製保温型				(2) たわみ継手フランジ部																														
14. オイルポンプ		1) 厚さ ※ 3. 2mm ・ 4. 5mm				たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。																														
15. 開放形膨張タンク		2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない				1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクト・フランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。																														
16. 地下オイルタンク		3) ばいじん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない				2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。																														
17. オイルサービスタンク		4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。				3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。																														
⑬ ダクト		投光器及び受光器は、送風器付きとする。				(3) 配管フランジ部																														
19. チャンパー等		標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。				配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。																														
20. 吹出口・吸込口の ボックス		コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は				1) 配管の切断は、フランジ部分にかけられない箇所において行う。																														
21. グリス除去装置		※ 不要 ・ 図示による。				(4) 成形保温材付き配管の曲線部																														
22. 風量測定口		風量30. 000m <sup>3</sup> /hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。				成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。																														
23. 温度計		冷温水管の接続部 (注・通) にはボール弁を取付ける。				1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。																														
24. 圧力計		※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。				2) ビニルシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。																														
25. ダンパー		( 定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形 )				3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。																														
26. 定風量・変風量 ユニット		床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。				II. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤出費・運搬費・処分費は別途)																														
27. 冷温水管等のエア抜き		インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。				(1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。																														
		内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む)				(2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。																														
		パッケージ形空気調和機の記載による。				(3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。																														
		集中管理リモコンの機能は、				(4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																														
		※ 標準仕様書に記載されている機能																																		
		・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能																																		
		・ エネルギーの管理に関する機能 (外部記憶媒体への出力機能含)																																		
		リモコンの系統区分は図示による。																																		
		ろ材ユニットは ( ・ 再生式 ・ 非再生式 ) とし、形式及び性能等は図示による。																																		
		形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形																																		
		本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製																																		
		鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要																																		
		1) 据付け方法は ※ 標準図 (施工32) (二重殻タンク)																																		
		・ 標準図 (施工33) (タンク室有り)																																		
		2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト																																		
		3) 遠隔油量指示装置 (液面計は ( ・ 抵抗変式式 ・ 磁変式 ) で ( ・ 屋内 ・ 屋外 ) より油量監視用) を取付ける。																																		
		4) 基礎杭は ※ 不要																																		
		・ 要 (但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事)																																		
		5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途工事 )																																		
		油面計はゲージ式 (側圧式) とする。																																		
		1) ② 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト																																		
		2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法																																		
		(共板フランジ又はスライドオンフランジ)																																		
		(ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする)																																		
		・ アングルフランジ工法																																		
		3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1. 6mm厚鋼板製とする。																																		
		4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。																																		
		1) シーリングディフューザーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。																																		
		2) 接続するダクトの施工が困難な場所ではフレキシブルダクトを使用してもよい。																																		
		3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。																																		
		4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。																																		
		※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製																																		
		・ グリエクストラクター ・ グリスフィルター																																		
		標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。																																		
		・ 空調機のサプライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト																																		
		標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。																																		
		・ 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト																																		
		機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計																																		
		・ ガード付き温度計																																		
		標準図によるほか図示した箇所に取付ける。																																		
		(1) 防火ダンパーは表示等により区分する。																																		
		(2) 防煙ダンパー 遠隔復帰式 (定格入力力はDC24V、0. 7A以下。)																																		
		・ メカニカル形 ・ 風速センサー形																																		
		1) エア溜まりを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置 ( ※ 手動 ・ 自動 ) を設ける。																																		
		2) 自動エア抜き弁装置は、標準図 (施工38 (g)) による。																																		
		3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。																																		

凡 例			
記 号	名 称	管 種	備 考
—— - ——	給水管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP (JIS K 6742)
———┐———	污水管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP (JIS K 6741)
———	雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP (JIS K 6741)
- - - - -	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP (JIS K 6741)
———┐———	給湯管	銅管 硬質 (M)	CU (JIS H 3300)
——— G ——	液化石油ガス管 (露出部)	配管用炭素鋼鋼管 (白)	S6P (白) (JIS G 3452)
——— G —┐—	液化石油ガス管 (地中埋設部)	ポリエチレン被覆銅管	PL (JIS G 3469)
———┐———	弁類		JIS 10K 青銅製 形、サイズは図示による
——— R ——	冷媒管	断熱材被覆銅管	JCDA 0009 ・空調屋内外機関電源線 (メーカー標準品)、操作線は冷媒管に共巻きとする。
——— D ——	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP (JIS K 6741)
——— O A ——	換気風道 (外気)	スパイラルダクト	亜鉛鉄板製
——— E A ——	換気風道 (排気)	スパイラルダクト	亜鉛鉄板製
- - - ┐———	接続替表示		既設管と新設管の接続
- ┐ ┐ ┐ -	放棄表示		不要な配管の残置。
- - - - -	既設配管		

衛生機器表

記 号	名 称	仕 様	電 源			起動方式	台 数	設置場所	備 考
			φ	V	kW				
WHG-1	ガス給湯器	形 式：屋外壁掛形 給湯専用	1	100	48W	消費電力(参考)	1	1階 屋外	
		仕 様：20号			37.5	ヒータ(参考)			
		付属品：浴室リモコン、台所リモコン、コード (20mx2本)、配管カバー							
		凍結予防ヒーター							

衛生器具表

器具名	型番		付属品・摘要	1階				2階			屋 外	合 計
				ホール	キッチン	トイレ1	トイレ2	脱衣室	洗濯機室	シャワー室		
洋風大便器	CFS498B、TCF5564AD	BC-P110S、DQ-PA150CH CW-PA21LQE-NE-R1、CF-020-SET	手動フラッシュタンク式、床給水 床排水 (参考消費電力) AC100V-311W 洗浄便座 (貯湯式)、便器洗浄リモコン含む			1	1					2
紙巻器	YH702	CF-63HST	ステンレス製 棚付二連			1	1					2
壁掛手洗器	LSH90AAP	AWL-33 (P)	丸形 立水栓 壁給水 壁排水			1	1					2
壁掛手洗器	LSH90BAPT	AWL-33 (B)、KF-90	丸形 立水栓 壁給水 壁排水 タオル掛け付	1				1				2
ミニドルゴ			手洗用 トラップ取付	1		1	1					3
タオルリング	YT408R	FKF-AD70C	ステンレス製			1	1					2
洗濯機パン	PWP740N2W、PJ2008NW	PF-7464AC、TP-52	740タイプ 横引トラップ						1			1
洗濯機用水栓	TW11RF	LF-WJ50KQA-U	緊急止水機能付き 寒冷地仕様						1			1
化粧鏡	YMK11K3	KF-D3083AS	200x800			1	1					2
化粧棚	YMK511K3	KF-88	アルミ製			1	1	1				3
化粧鏡	YM4560A	KF-4560	450x600					1				1
マルテシンク	SK507、TKS05314J T9R、T8C、TK40P	S-21S、SF-WM437SY、SF-10E SF-21PAM、LF-6L	壁掛シンク®混合水栓 (一般地・寒冷地共用) 壁排水					1				1
ユニットシャワー			[建築工事] シャワー水栓 排水トラップ共 ※配管接続は本工事							[1]		[1]
キッチン			[建築工事] 混合水栓、排水トラップ共 ※配管接続は本工事		[1]							[1]
散水栓	TK28KUNH13	LF-33G-13-CV	キー式 13A カップリング付 散水栓ボックスB-3共								1	1
凍結防止ヒーター (H1)			自己温度制御凍結防止帯 電熱部 1m (参考消費電力) AC100V-14W								2	2
ガス漏れ警報器			液化石油ガス用 AC100V		1							1

特 記 事 項

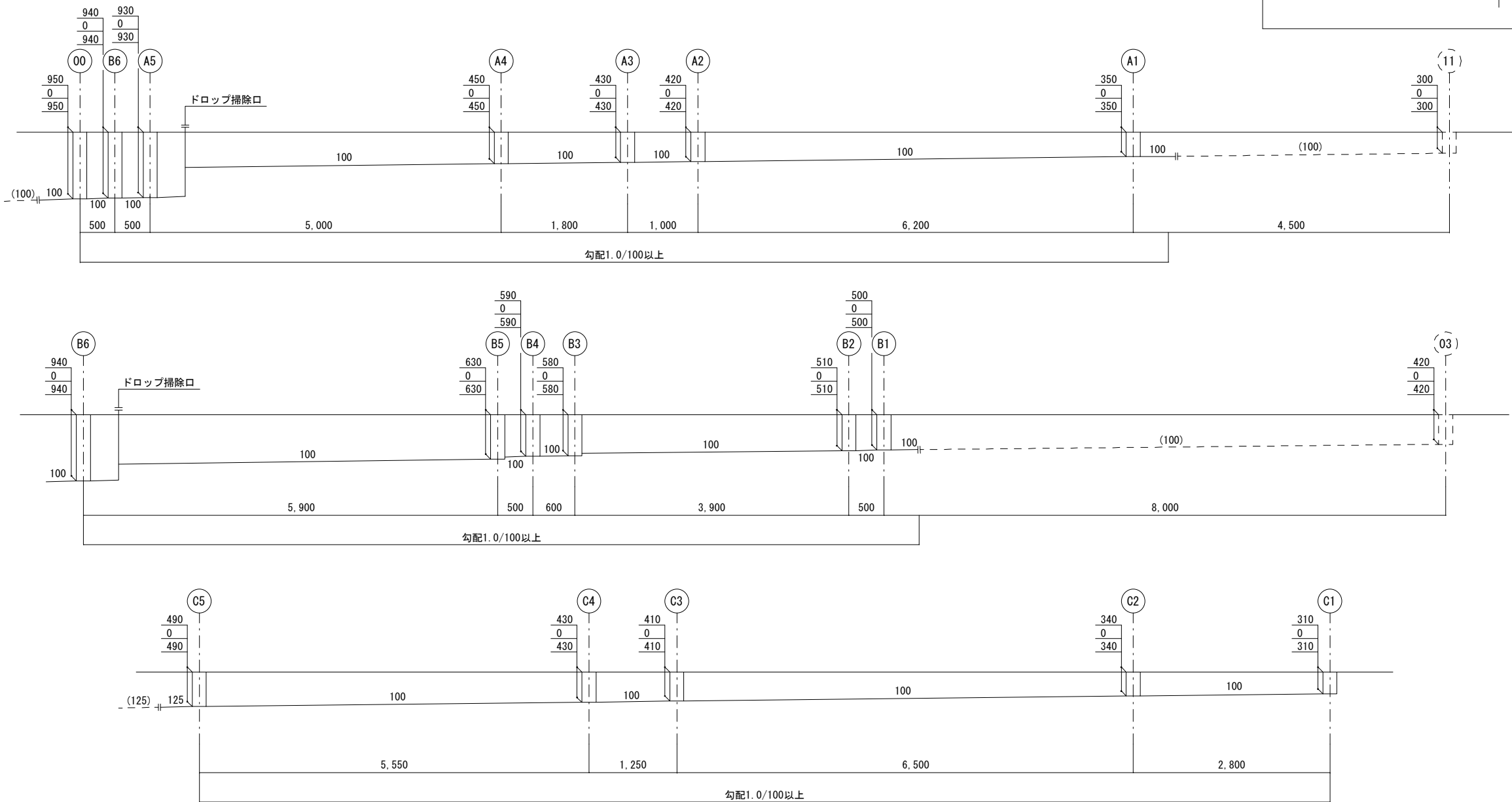
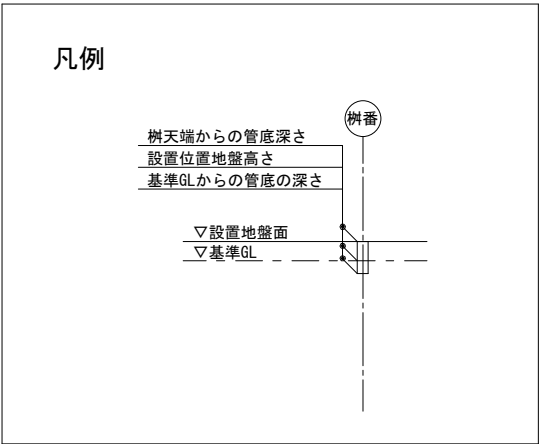
- 給水方式は直結直圧方式である。
- 下水排除方式は下水本管直結方式である。
- 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は破損した場合は、既成にならい補修すること。
- 新設給水管およびガス管の土被りは、特記無き限り300mm以上とし、車両通行部は600mm以上とする。
- 吊金具は、ステンレス製 (SUS304) とする。(吊ボルト共)
- 埋設給水管の建物導入部は変位吸収配管施工とすること。
- 排水の配管勾配及び管底は、再度敷地レベル等を十分調査の上決定し、施工すること。
- ガス設備は液化石油ガスである。

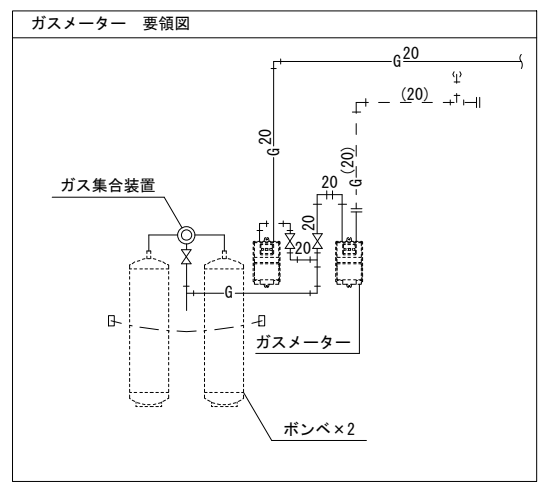
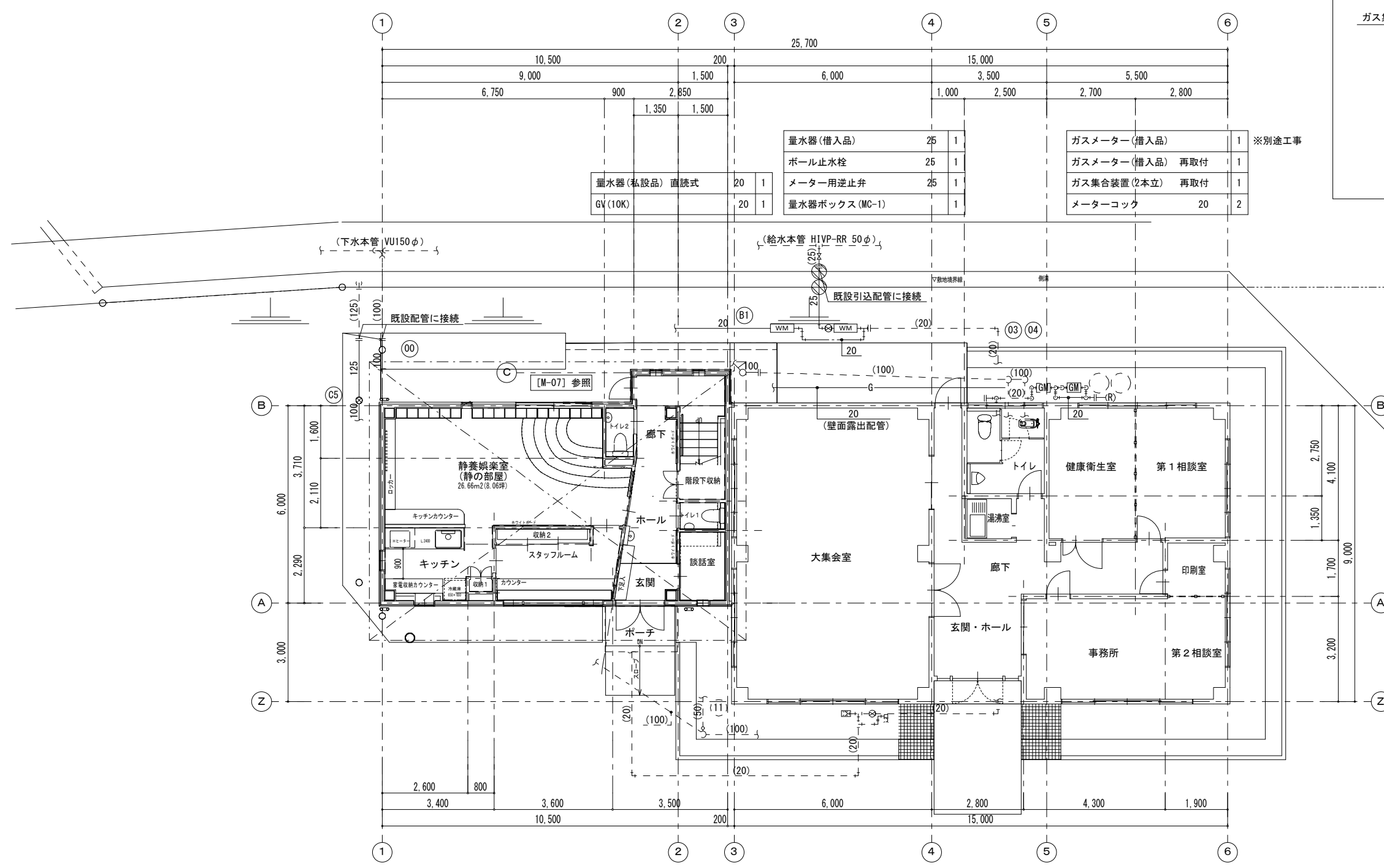


汚水樹表							
記号	名 称	呼 称	G L ± 0より 管底深さ	設置位置 G L	樹天端からの 管底深さ	樹 蓋	備 考
⑪	既設汚水樹		3 0 0 H	0 H	3 0 0 H	樹脂製蓋	
A1	汚水小口径樹	S T 1 0 0 - 1 5 0 φ	3 5 0 H	0 H	3 5 0 H	樹脂製蓋	
A2	汚水小口径樹	9 0 L 1 0 0 - 1 5 0 φ	4 2 0 H	0 H	4 2 0 H	樹脂製蓋	
A3	汚水小口径樹	S T 1 0 0 - 1 5 0 φ	4 3 0 H	0 H	4 3 0 H	樹脂製蓋	
A4	汚水小口径樹	9 0 Y 1 0 0 - 1 5 0 φ	4 5 0 H	0 H	4 5 0 H	樹脂製蓋	
A5	汚水小口径樹	9 0 L 1 0 0 - 2 0 0 φ	9 3 0 H	0 H	9 3 0 H	樹脂製蓋	
⑩3	既設汚水樹		4 2 0 H	0 H	4 2 0 H	樹脂製蓋	
B1	汚水小口径樹	4 5 L 1 0 0 - 1 5 0 φ	5 0 0 H	0 H	5 0 0 H	樹脂製蓋	
B2	汚水小口径樹	4 5 L 1 0 0 - 1 5 0 φ	5 1 0 H	0 H	5 1 0 H	樹脂製蓋	
B3	汚水小口径樹	4 5 Y S 1 0 0 - 1 5 0 φ	5 8 0 H	0 H	5 8 0 H	樹脂製蓋	3 cm段差付
B4	汚水小口径樹	4 5 Y 1 0 0 - 1 5 0 φ	5 9 0 H	0 H	5 9 0 H	樹脂製蓋	
B5	汚水小口径樹	4 5 Y S 1 0 0 - 1 5 0 φ	6 3 0 H	0 H	6 3 0 H	樹脂製蓋	3 cm段差付
B6	汚水小口径樹	9 0 Y 1 0 0 - 2 0 0 φ	9 4 0 H	0 H	9 4 0 H	樹脂製蓋	
⑩0	公共樹	S T 1 0 0 - 2 0 0 φ	9 5 0 H	0 H	9 5 0 H	樹脂製蓋	

記号	名 称	呼 称	G L ± 0より 管底深さ	設置位置 G L	樹天端からの 管底深さ	樹 蓋	備 考
C1	雨水樹	9 0 L 1 0 0 - 1 5 0 φ	3 1 0 H	0 H	3 1 0 H	樹脂製蓋	
C2	雨水樹	S T 1 0 0 - 1 5 0 φ	3 4 0 H	0 H	3 4 0 H	樹脂製蓋	
C3	雨水樹	4 5 Y 1 0 0 - 1 5 0 φ	4 1 0 H	0 H	4 1 0 H	樹脂製蓋	
C4	雨水樹	4 5 L 1 0 0 - 1 5 0 φ	4 3 0 H	0 H	4 3 0 H	樹脂製蓋	
C5	雨水樹	9 0 Y 1 2 5 - 1 5 0 φ	4 9 0 H	0 H	4 9 0 H	樹脂製蓋	

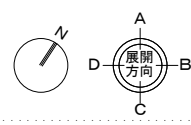
※既設配管等を充分測定、調査の上、施工のこと。

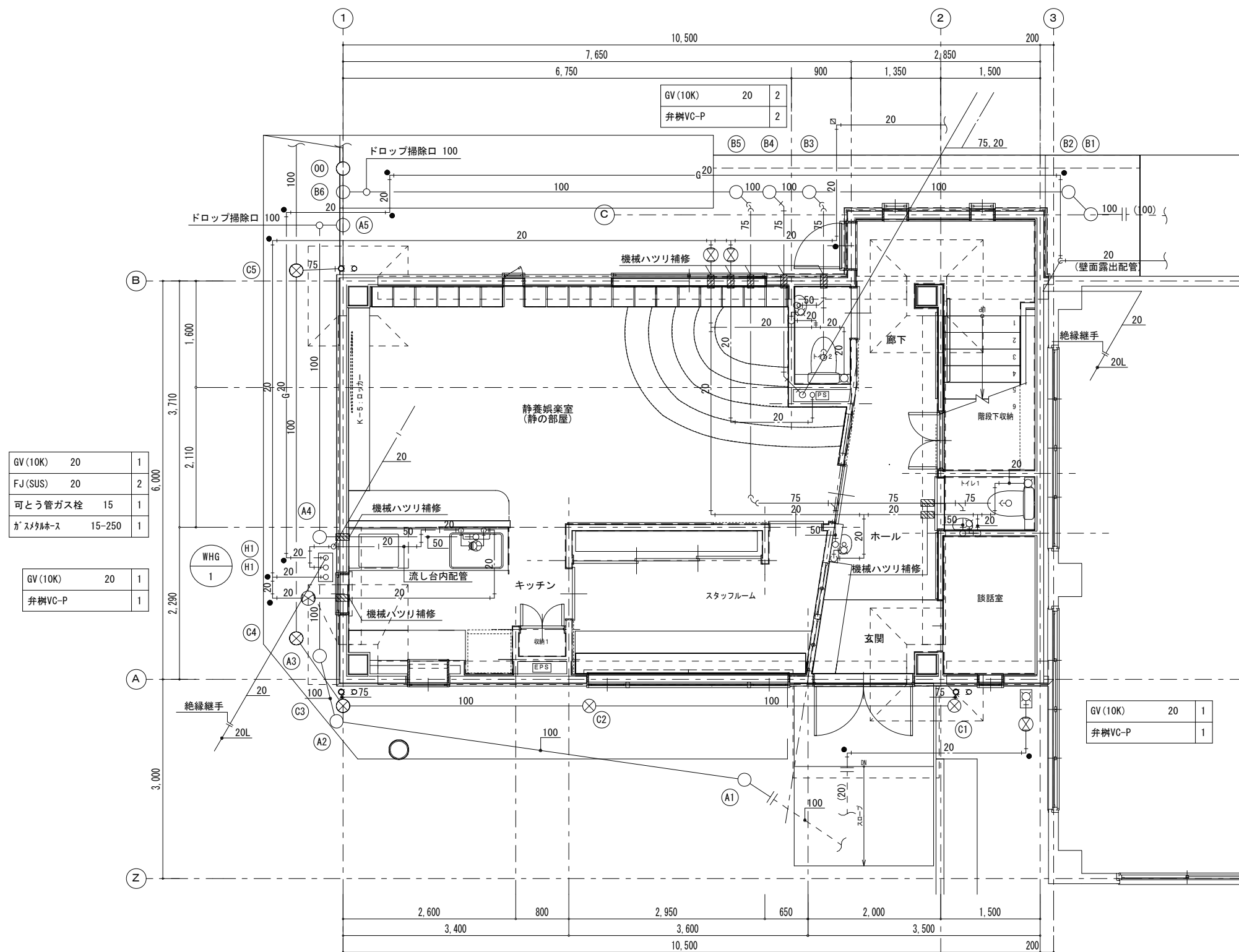




衛生設備 1階平面図(改修後) 1:100

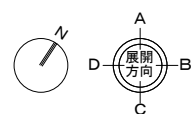
【特記事項】  
⊗ : 機械ハツリ補修を示す。



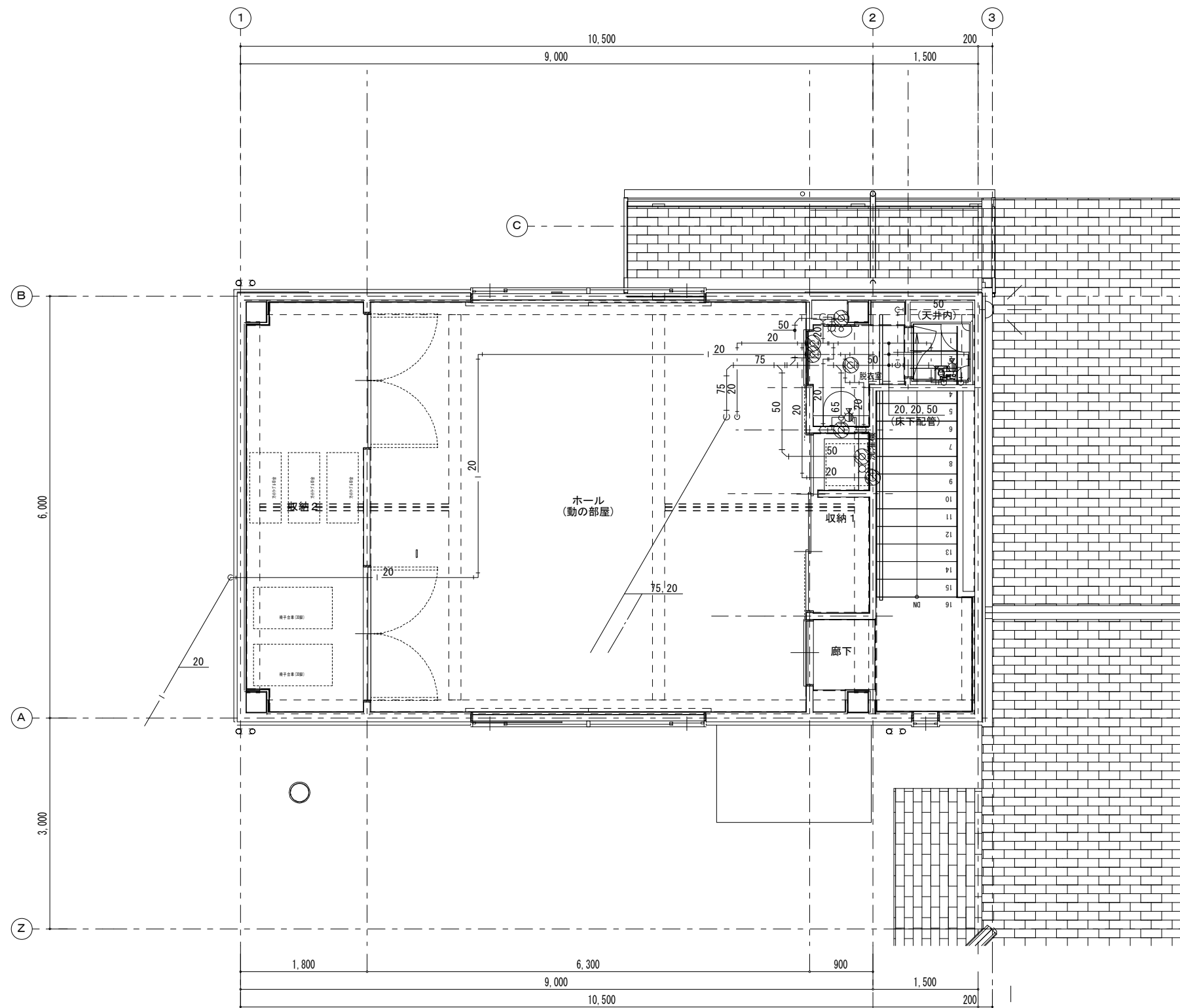


衛生設備 1階平面詳細図(改修後) 1:50

- [特記事項]
- : 埋設表示(鉄製・舗装部)
  - : 埋設表示(コンクリート製・非舗装部)





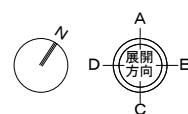


通気金具(露出形)	50	1
-----------	----	---

衛生設備 2階平面詳細図(改修後) 1:50

[特記事項]

⊗ : 機械ハツリ補修を示す。



特 記 事 項

1. パッケージ形空調和機及びルームエアコンは、製造者の標準仕様とする。
2. パッケージ形空調和機の能力表示はJ I S条件による。(JIS B 8616)
3. ルームエアコンの能力表示はJ I S条件による。(JIS C 9612)
4. 使用する冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。
5. 使用する機器はグリーン購入法適合品とする。
6. 電源線、操作線は製造者の標準品（エコケーブル仕様）とし、屋外露出部は保温外装材内に配線する。
7. 屋内機は支持部と機器固定部間に振れ止めを4面に設ける。ただし、支持部と機器固定部間が250mm以下の場合を除く。
8. 採用する機器によりドレンアップ後の口径が本国と異なる場合は、受注者の責任において、製造者標準口径にて施工を行うものとする。

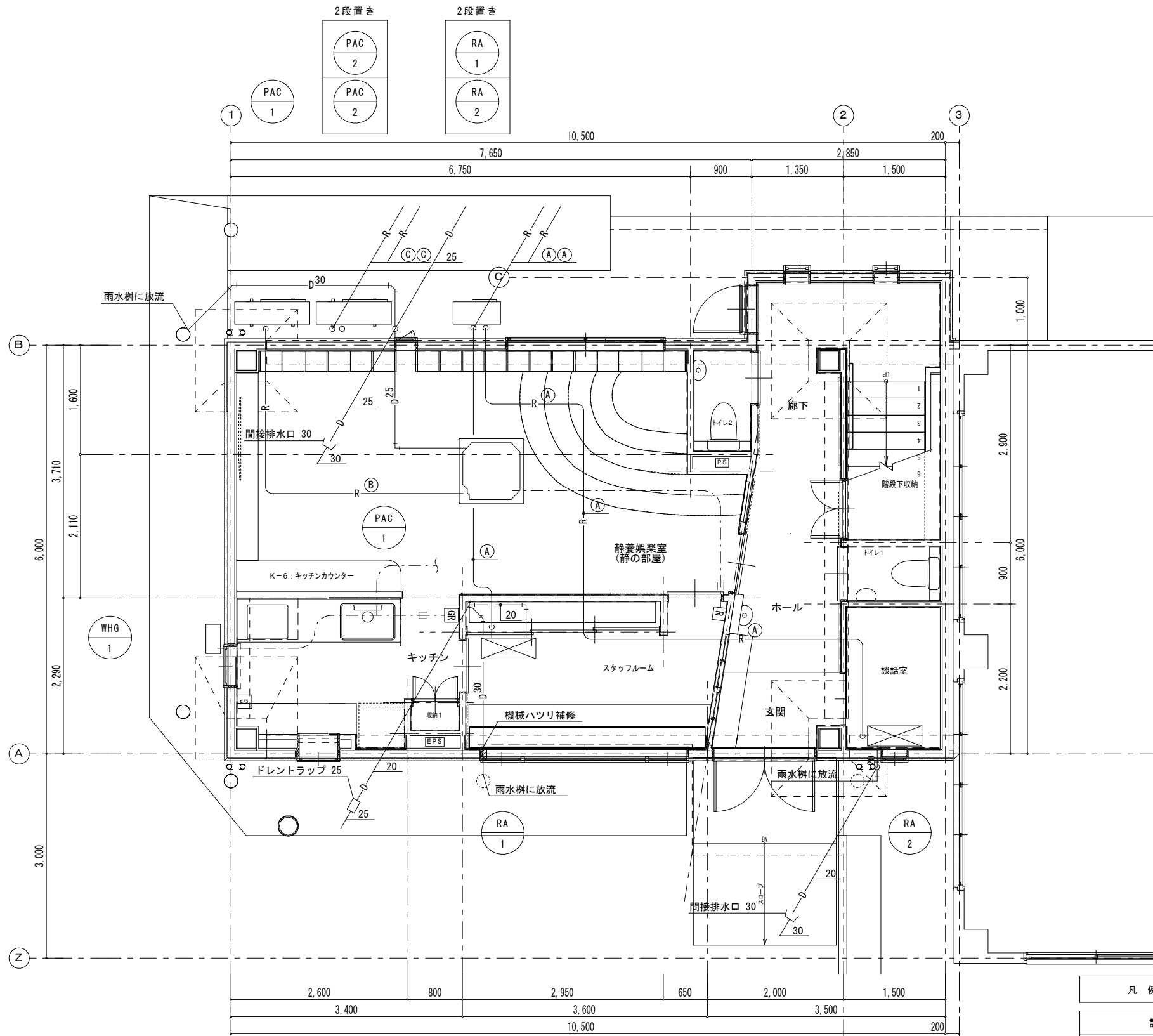
空調機器表

記 号	名 称	仕 様	電源	設置場所	数量	備考
<div><div>PAC</div><div>1</div></div>	電気式空冷パッケージ形 空調和機	型 式： シングル形 天井埋込カセット形4方向	1φ×200V	屋外機：屋外	1	
		インバーター制御		屋内機		
		冷房能力： 定格 7.1kW (参考冷房消費電力)	1.98kW	1階 静養娯楽室		
		暖房能力： 定格 8.0kW (参考暖房消費電力)	2.01kW			
		圧縮機(参考)： 1.60kW				
		送風機(参考)： (屋内)0.050kW (屋外)0.060kW				
		付属品： 防振ゴム、転倒防止金物、ワイヤードリモン、樹脂製ﾌﾞﾛｯｸ				
<div><div>PAC</div><div>2</div></div>	電気式空冷パッケージ形 空調和機	型 式： シングル形 天井埋込カセット形4方向	1φ×200V	屋外機：屋外	2	
		インバーター制御		屋内機		
		冷房能力： 定格 4.5kW (参考冷房消費電力)	1.05kW	2階 ホール		
		暖房能力： 定格 5.0kW (参考暖房消費電力)	1.10kW			
		圧縮機(参考)： 1.00kW				
		送風機(参考)： (屋内)0.050kW (屋外)0.040kW				
		付属品： 防振ゴム、転倒防止金物、ワイヤードリモン(1個/2台)				
		二段置き架台(1基/2台)、樹脂製ﾌﾞﾛｯｸ				
<div><div>RA</div><div>1</div></div>	ルームエアコン	型 式： 壁掛暖房強化形 コンパクトモデル	1φ×100V	屋外機：屋外	1	
		冷房能力： 定格 2.5kW (参考冷房消費電力)	0.53kW	屋内機		
		暖房能力： 定格 3.2kW (参考暖房消費電力)	0.63kW	1階 スタッフルーム		
		送風機(参考)： (屋内)0.028kW (屋外)0.050kW				
		付属品： ワイヤレスリモコン、転倒防止金物、二段置き架台(1基/2台)				
		樹脂製ﾌﾞﾛｯｸ				
<div><div>RA</div><div>2</div></div>	ルームエアコン	型 式： 壁掛暖房強化形 コンパクトモデル	1φ×100V	屋外機：屋外	1	
		冷房能力： 定格 2.2kW (参考冷房消費電力)	0.45kW	屋内機		
		暖房能力： 定格 2.8kW (参考暖房消費電力)	0.53kW	1階 談話室		
		送風機(参考)： (屋内)0.028kW (屋外)0.050kW				
		付属品： ワイヤレスリモコン、転倒防止金物				



冷媒配管リスト

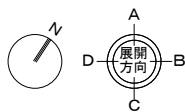
記号	配管サイズ (参考)
Ⓐ	6.4φ 9.5φ
Ⓑ	6.4φ 12.7φ
Ⓒ	9.5φ 15.9φ



空調設備 1階平面図(改修後) 1:50

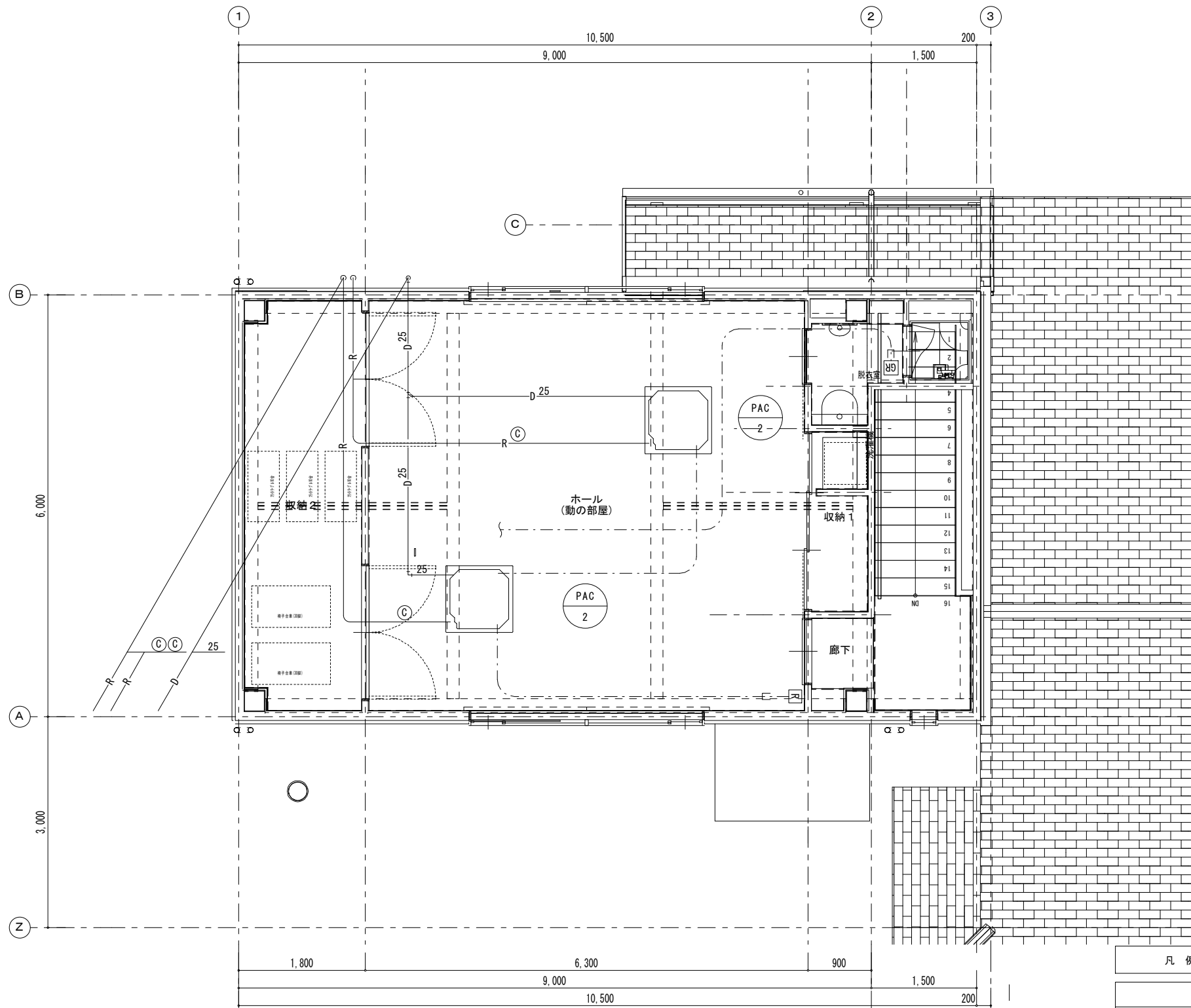
凡 例

記 号	名称	配線種別
— —	壁内電線管	別途電気設備工事
----	リモコン線	天井内配線
Ⓐ	空調リモコン	エアコンメーカー標準品
Ⓑ	給湯リモコン	給湯器メーカー標準品
Ⓒ	ガス漏れ警報器	



冷媒配管リスト

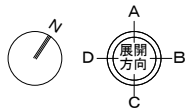
記号	配管サイズ (参考)
Ⓐ	6.4φ 9.5φ
Ⓑ	6.4φ 12.7φ
Ⓒ	9.5φ 15.9φ



空調設備 2階平面図(改修後) 1:50

凡 例

記 号	名 称	配線種別
— —	壁内電線管	別途電気設備工事
----	リモコン線	天井内配線
Ⓐ	空調リモコン	エアコンメーカー標準品
Ⓑ	給湯リモコン	給湯器メーカー標準品
Ⓒ	ガス漏れ警報器	



換気機器表

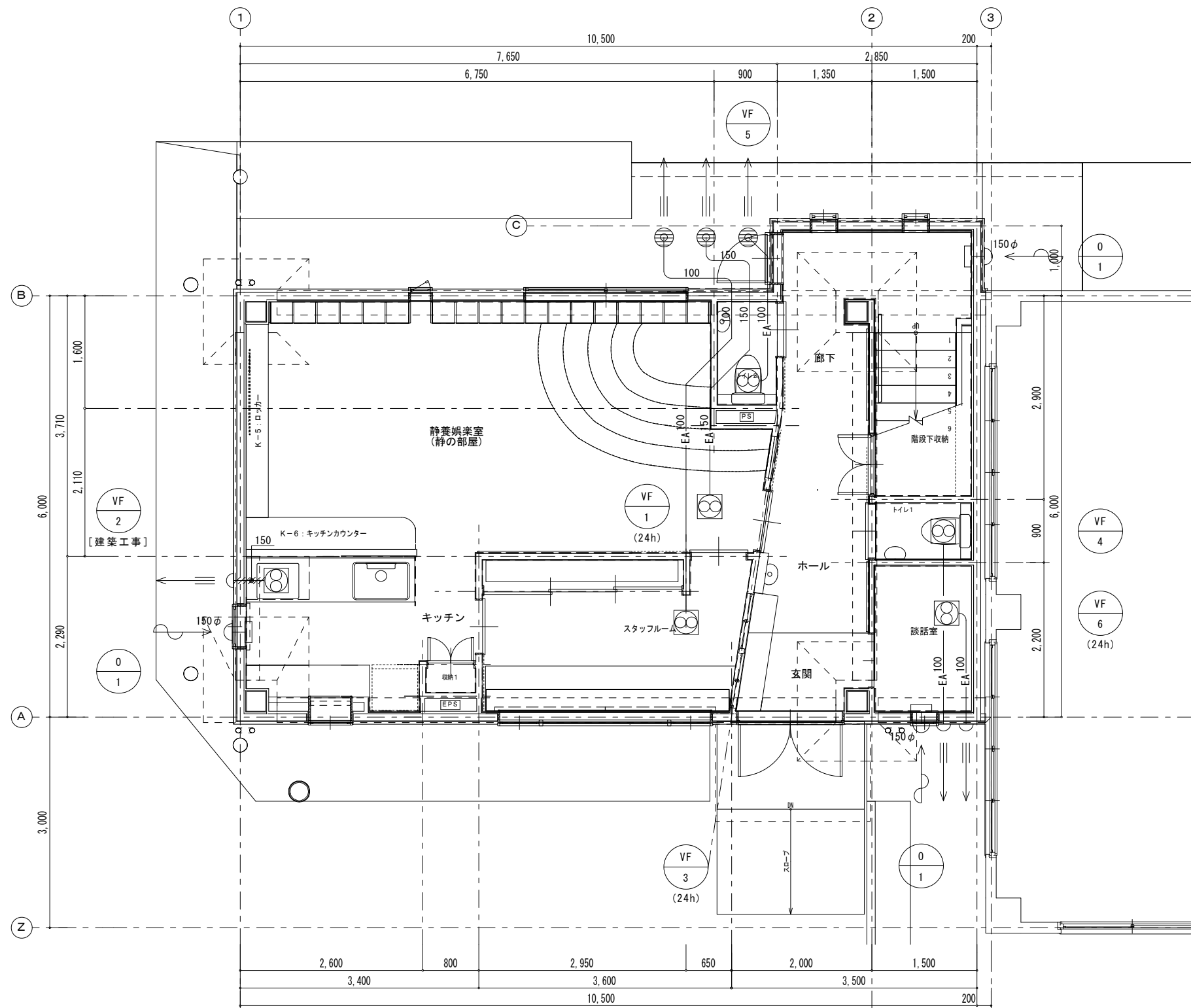
記 号	名 称	仕 様	電源	設置場所	数量	備考
<div><div>VF</div><div>1</div><div>(24h)</div></div>	天井埋込形換気扇 (24時間換気機能付)	型 式 : 低騒音形 インテリハ <sup>®</sup> ㊦	1φ×100V	1階 静養娯楽室	1	
		風 量 : 300 m3/h × 30Pa (参考消費電力)	49W			
		風量 (24h) : 30 m3/h × 30Pa				
		付属品 : 天吊金具、コントロールスイッチ(強弱切)				
		※スイッチは電気設備に支給・取付とする。				
<div><div>VF</div><div>2</div><div></div></div>	レンジフード	[建築工事]		1階 キッチン	1	
		※ダクト接続及びフード新設は本工事				
<div><div>VF</div><div>3</div><div>(24h)</div></div>	天井埋込形換気扇 (24時間換気機能付)	型 式 : 低騒音形 インテリハ <sup>®</sup> ㊦	1φ×100V	1階 スタッフルーム	1	
		風 量 : 60 m3/h × 30Pa (参考消費電力)	9.3W			
		風量 (24h) : 10 m3/h × 30Pa				
		付属品 : 天吊金具、コントロールスイッチ(強弱切)				
		※スイッチは電気設備に支給・取付とする。				
<div><div>VF</div><div>4</div><div></div></div>	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ×100V	1階 トイレ1	1	
		風 量 : 40 m3/h × 30Pa (参考消費電力)	9.3W			
		付属品 : 天吊金具				
<div><div>VF</div><div>5</div><div></div></div>	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ×100V	1階 トイレ2	1	
		風 量 : 40 m3/h × 30Pa (参考消費電力)	9.3W			
		付属品 : 天吊金具				
<div><div>VF</div><div>6</div><div>(24h)</div></div>	天井埋込形換気扇 (24時間換気機能付)	型 式 : 低騒音形 インテリハ <sup>®</sup> ㊦	1φ×100V	1階 談話室	1	
		風 量 : 60 m3/h × 30Pa (参考消費電力)	9.3W			
		風量 (24h) : 10 m3/h × 30Pa				
		付属品 : 天吊金具、コントロールスイッチ(強弱切)				
<div><div>VF</div><div>7</div><div></div></div>	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ×100V	2階 収納2	1	
		風 量 : 140 m3/h × 30Pa (参考消費電力)	15.5W			
		付属品 : 天吊金具				

記 号	名 称	仕 様	電源	設置場所	数量	備考		
<div><div>VF</div><div>8</div></div>	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ×100V	2階 ホール	1			
		風 量 : 300 m3/h × 30Pa (参考消費電力)	49W					
		付属品 : 天吊金具						
<div><div>VF</div><div>9</div><div>(24h)</div></div>	天井埋込形換気扇 (24時間連続運転)	型 式 : 2部屋換気用 低騒音形	1φ×100V	2階 脱衣室	1			
		風 量 : 40 m3/h × 20Pa (参考消費電力)	23W	2階 洗濯機室				
		付属品 : 天吊金具、副吸込グリル						
		コントロールスイッチ(24時間換気用)						
		※スイッチは電気設備に支給・取付とする。						
<div><div>VF</div><div>10</div></div>	換気扇	[建築工事] シャワー付属品		2階 シャワー室	1			
		※ダクト接続及びフード新設は本工事						
<div><div>0</div><div>1</div></div>	自然給気ユニット	型 式 : 壁据付 手動式シャッター付		1階 キッチン	4			
		付属品 : フィルター		1階 談話室				
		ダクト径 : 150φ		1階 廊下				
				2階 収納2				
	名 称	仕 様		1階	2階		数量	備考
	丸形防風板付ベンドキャップ (覆い付)	ステンレス製 網目3メッシュ・指定色焼付塗装	100φ	2	3		5	SMU100RMS
		〃	150φ	4	3		7	SMU150RMS
								(参考型番)
	軒裏フード (覆い付)	ステンレス製 網目3メッシュ・指定色焼付塗装	100φ	2			2	AT-100NBNS
		〃	150φ	1			1	AT-150NBNS
								(参考型番)
								(株式会社メルコエアテック)

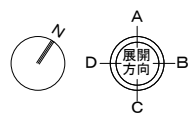


注 記

・火気使用機器の排気を行うダクトはRW50t巻とする。（図中：//////）

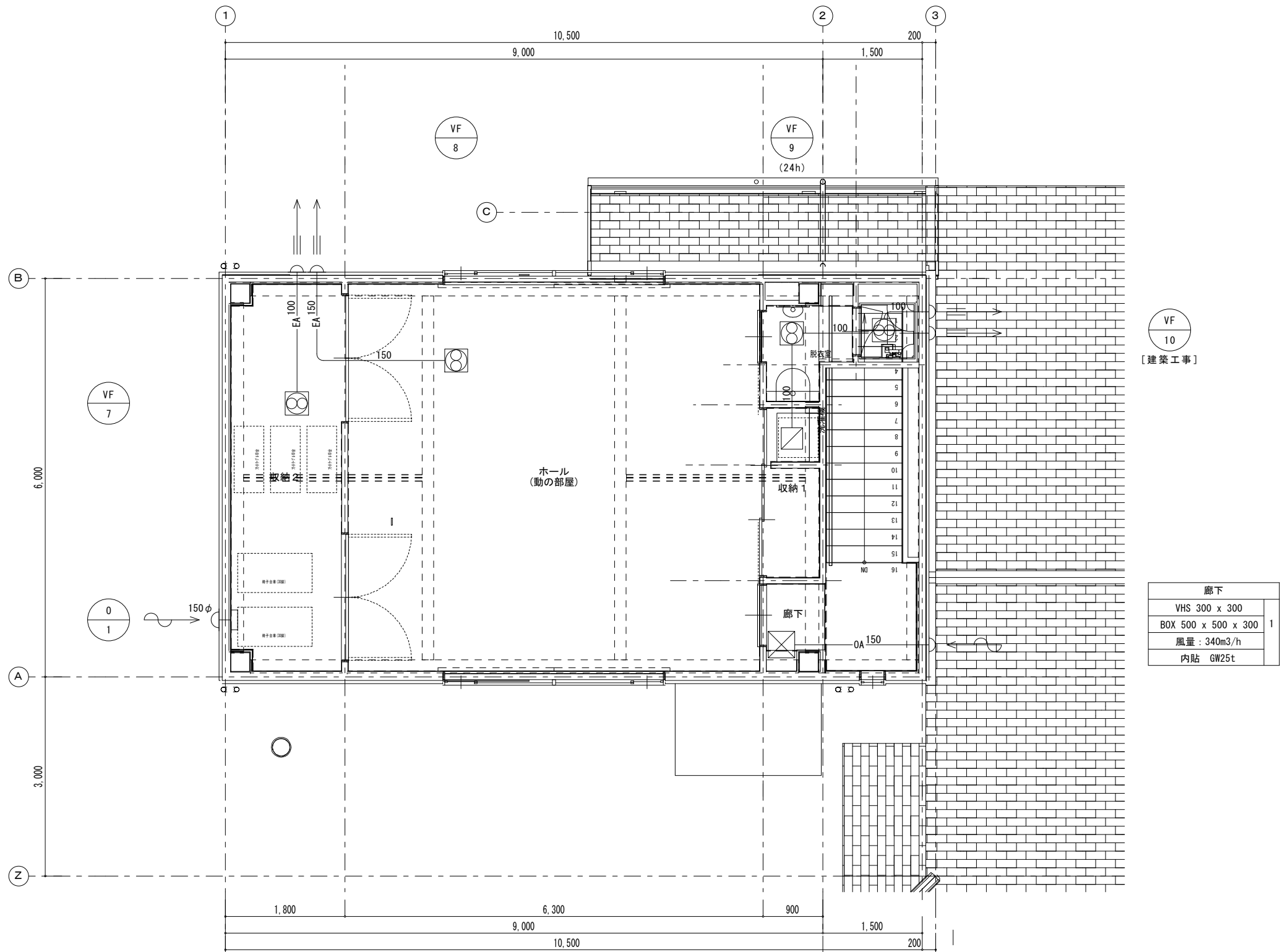


換気設備 1階平面図(改修後) 1:50

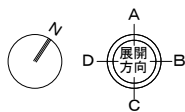


注 記

・外気取入れダクト(OA)は保温 (GW25t) する。



換気設備 2階平面図(改修後) 1:50





凡例(既設)

記 号	名 称	管 種	備 考
—— - ——	既設給水管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP
—————	既設排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP
—— G ——	既設液化石油ガス管	配管用炭素鋼鋼管	SGP(白)
—— R ——	既設冷媒管	断熱材被覆銅管	
—— D ——	既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP
	既設換気風道	スパイラルダクト	亜鉛鉄板製
——✕——	既設バルブ類		青銅製 形、サイズは図示による
/////////.	撤去表示		
—✕—✕—✕—	放棄表示		不要な配管の残置

既設空調機器表

記 号	名 称	仕 様	電源	設置場所	数量	備 考
<div>RA 1 (撤去)</div>	ルームエアコン	型 式：冷暖兼用セパレート形 壁掛形	1φ×100V	屋内機	1	
		冷房能力：定格 2.8kW		1階 静養娯楽室		
		暖房能力：定格 4.0kW		屋外機：屋外		
		冷媒種類：R22(充填量0.7kg)				
		型 番：RA-2820PV (長府製作所)				
		重 量：(屋内機)7.6kg (屋外機)32.0kg				
<div>AC 1 (撤去)</div>	電気式空冷パッケージ形 空気調和機	型 式：ツイン形 天井埋込カセット形	3φ×200V	屋内機	1	
		冷房能力：定格 11,200kcal		2階 会議室		
		暖房能力：定格 13,260kcal		屋外機：屋外		
		冷媒種類：R22(充填量3.6kg)				
		型 番：AIU-663H x2/ROA-1252HT (東芝)				
		重 量：(屋内機)29kg (屋外機)112kg				

注記  
※撤去を行う機器の冷媒ガスは回収し、適切に処理すること。

既設換気機器表

記 号	名 称	仕 様	電源	設置場所	数量	備 考
<div>F 1 (撤去)</div>	換気扇	型 式：格子タイプ	1φ×100V	1階 静養娯楽室	1	
		羽 根 径：300φ				
		付 属 品：ウェザーカバー共				
<div>F 2 (撤去)</div>	レンジフード	型 式：スタンダード形 電気式シャッター	1φ×100V	1階 生活改善室	1	
<div>F 3 (撤去)</div>	換気扇	型 式：格子タイプ	1φ×100V	2階 会議室	2	
		羽 根 径：300φ				
		付 属 品：ウェザーカバー共				
<div>OA 1 (撤去)</div>	給気グリル	型 式：壁付形		1階 生活改善室	1	
		ダクト径：150φ				
<div>KS 1 (撤去)</div>	サイクル扇	型 式：天井取付形 40cm	1φ×100V	1階 静養娯楽室	4	
		付 属 品：速度調節器、ガード(丸鋼)		1階 生活改善室		
		※本体撤去のみ機械設備とし、その他は電気設備工事とする。		2階 会議室		

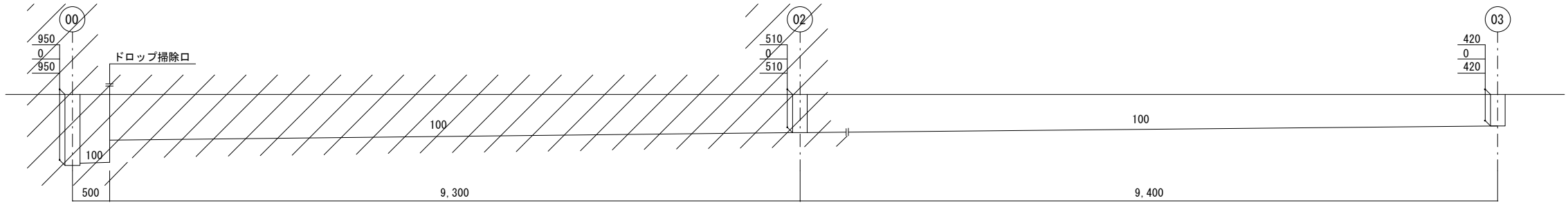
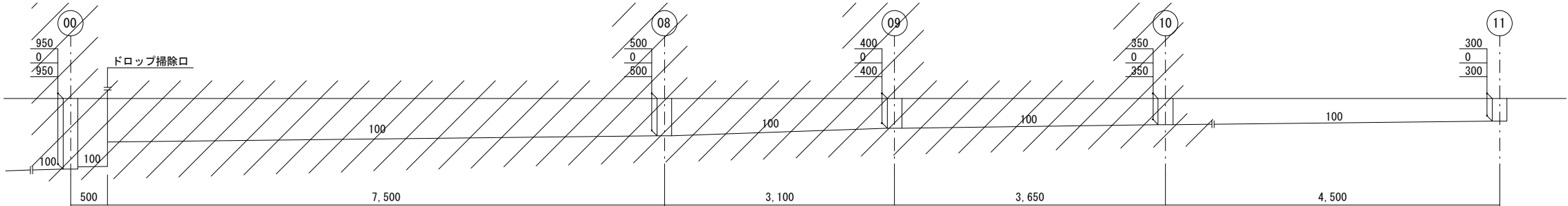
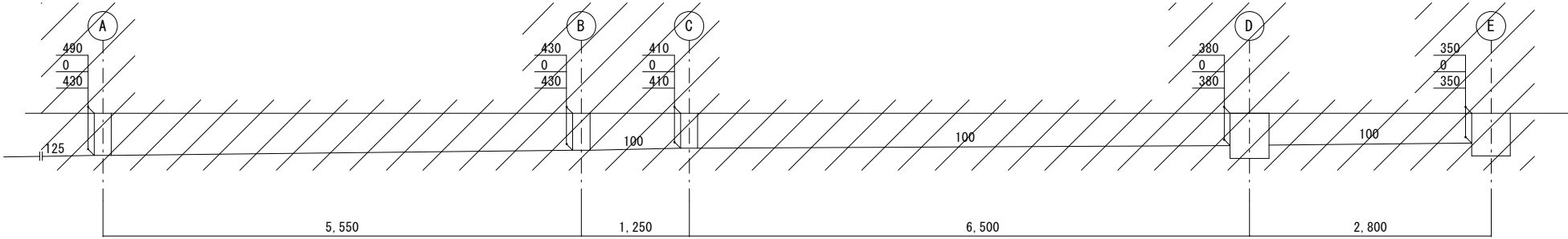
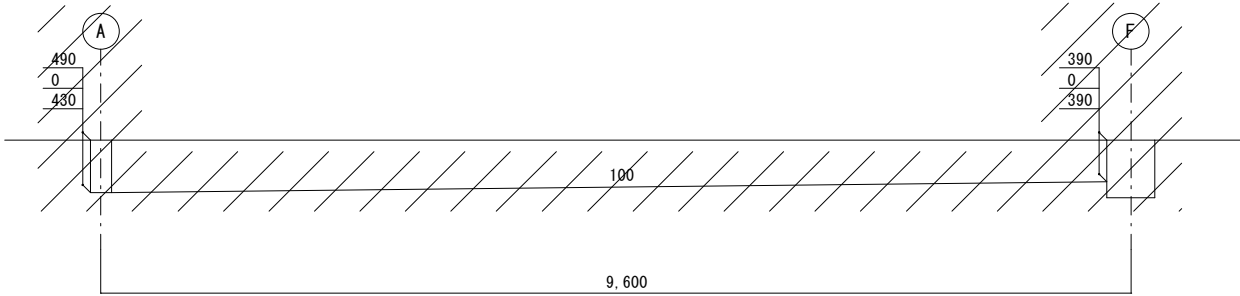
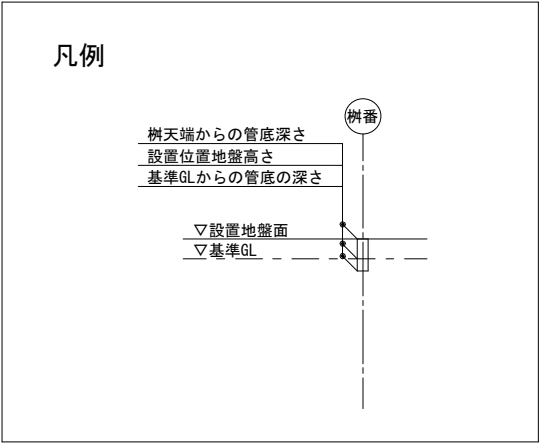


既設汚水樹表

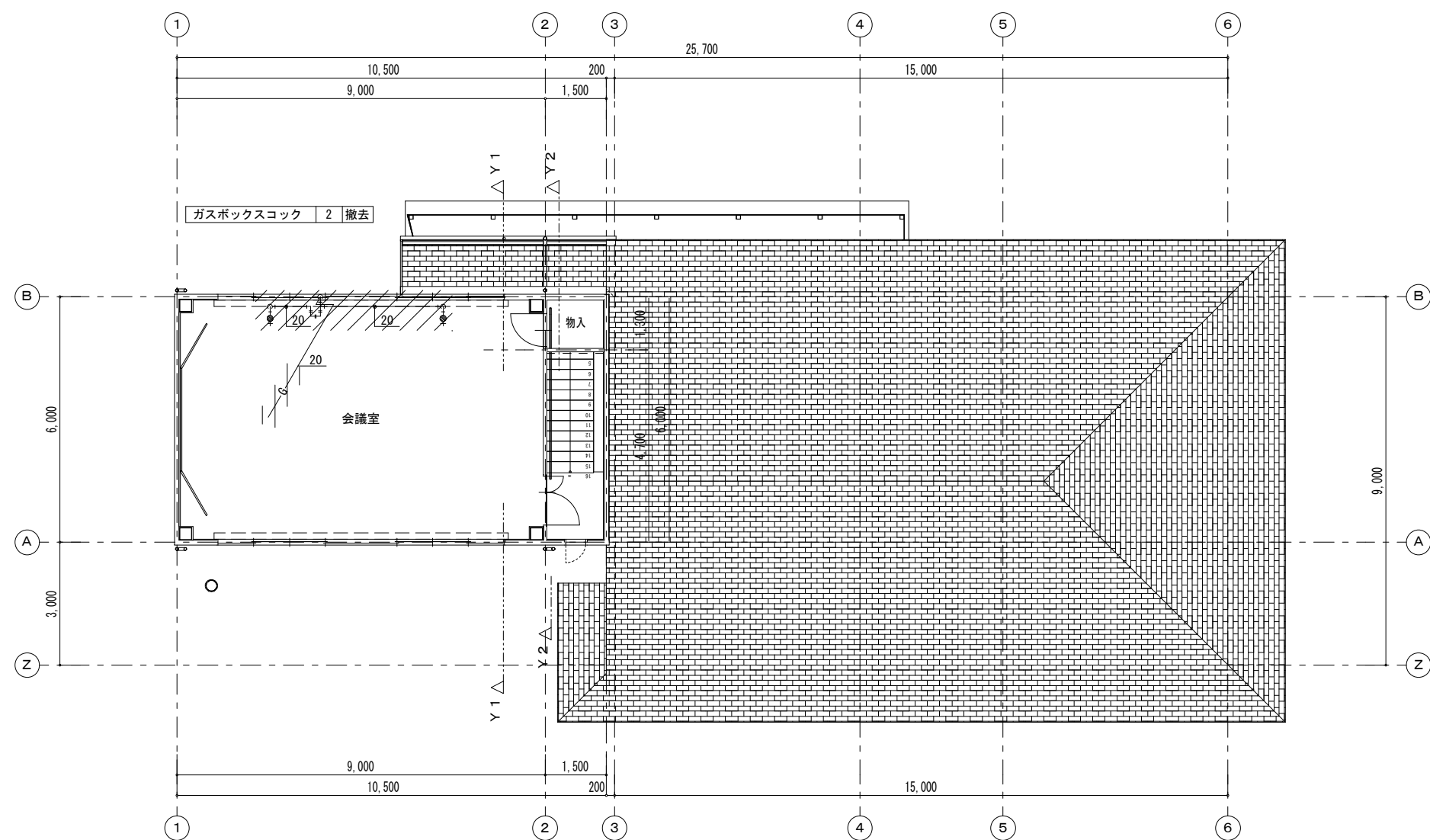
記号	名 称	呼 称	GL±0より 管底深さ	設置位置GL	樹天端からの 管底深さ	樹 蓋	備 考
⑪	汚水樹	U T 100-150φ	300H	0H	300H	樹脂製蓋	
⑩	汚水樹	U T 100-150φ	350H	0H	350H	樹脂製蓋	
⑨	汚水樹	45Y 100-150φ	400H	0H	400H	樹脂製蓋	
⑧	汚水樹	45Y 100-150φ	500H	0H	500H	樹脂製蓋	
⑦	ドロップ掃除口	100φ	580H	0H	580H	樹脂製蓋	
③	汚水樹		420H	0H	420H	樹脂製蓋	
②	汚水樹	S T 100-150φ	510H	0H	510H	樹脂製蓋	
①	ドロップ掃除口	100φ	610H	0H	610H	樹脂製蓋	
①①	汚水樹	WY45LS100-150φ	950H	0H	950H	樹脂製蓋	3cm段差付

記号	名 称	呼 称	GL±0より 管底深さ	設置位置GL	樹天端からの 管底深さ	樹 蓋	備 考
①	雨水樹	RC-2	390H	0H	390H	コンクリート蓋	
②	雨水樹	RC-2	350H	0H	350H	コンクリート蓋	
③	雨水樹	RC-2	380H	0H	380H	コンクリート蓋	
④	雨水樹	90L 100-200φ	410H	0H	410H	樹脂製蓋	
⑤	雨水樹	ST 100-200φ	430H	0H	430H	樹脂製蓋	
⑥	雨水樹	ST 125-200φ	490H	0H	490H	樹脂製蓋	

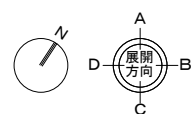
※既設配管等を充分測定、調査の上、施工のこと。





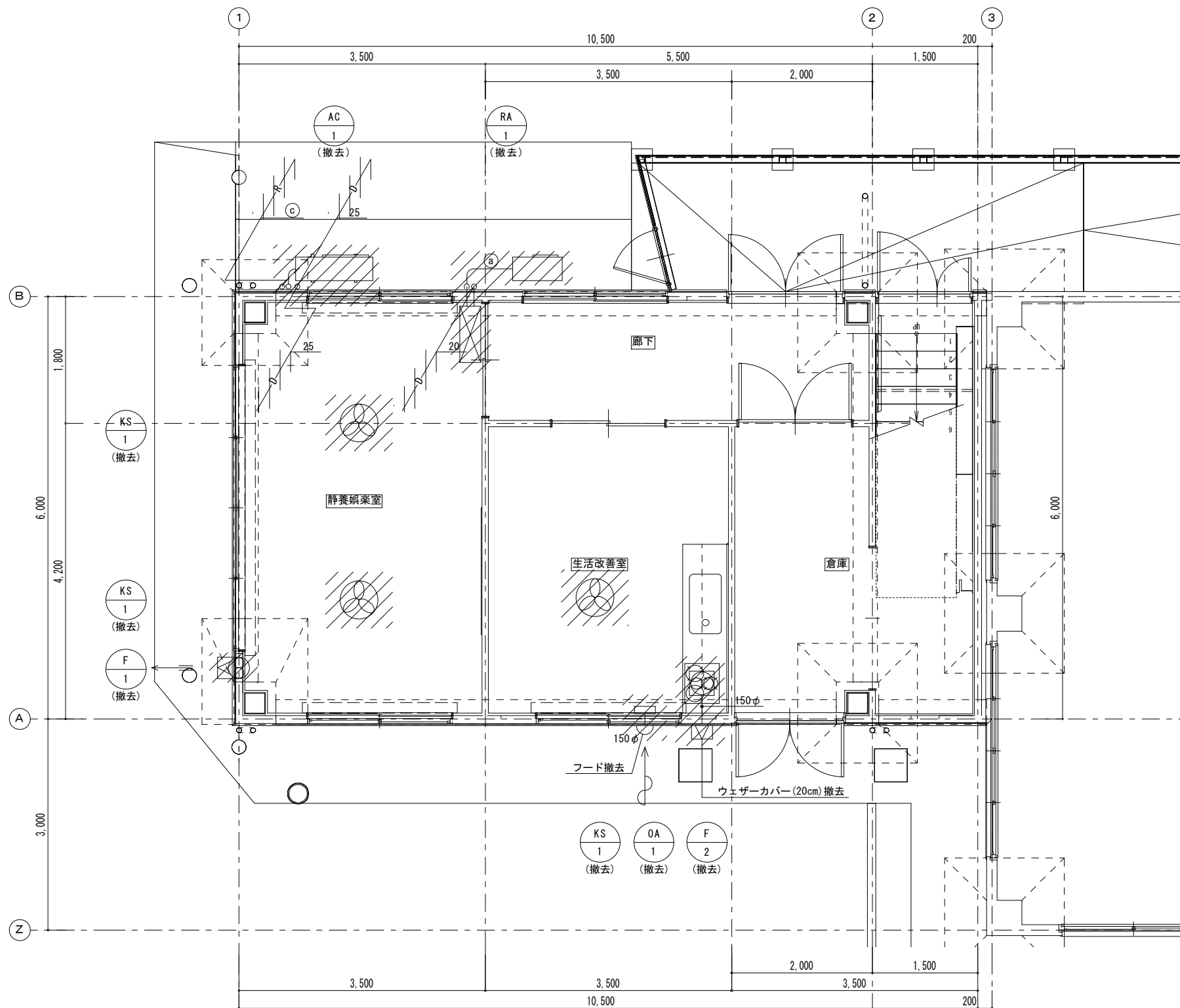


衛生設備 2階平面図(改修後) 1:100

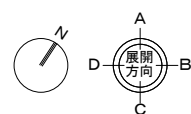


冷媒配管リスト

記号	配管サイズ (参考)
(a)	6.4φ 9.5φ
(b)	9.5φ 15.9φ
(c)	9.5φ 19.1φ

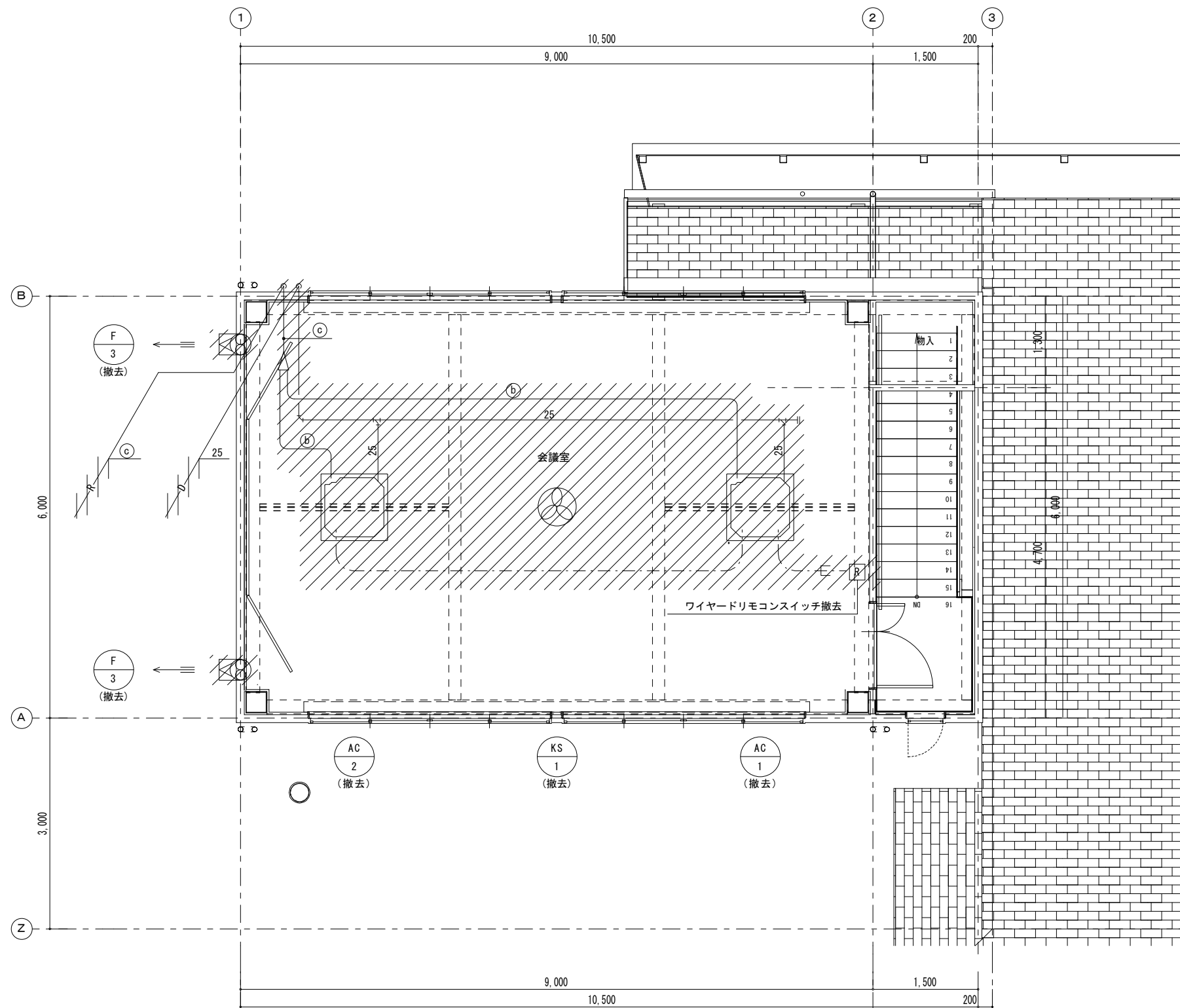


空調・換気設備 1階平面図(改修後) 1:50



冷媒配管リスト

記号	配管サイズ (参考)
(a)	6.4φ 9.5φ
(b)	9.5φ 15.9φ
(c)	9.5φ 19.1φ



空調・換気設備 2階平面図(改修後) 1:50

